御所市　男女共同参画に関する
市民意識調査報告書

令和６年　３月

目　　次

Ⅰ　調査の概要 1
1　調査の目的 1
2　調査方法 1
3　調査結果の表示方法 1

Ⅱ　調査結果の概要
1　市民アンケート 2
2　市内事業所アンケート 5

Ⅲ　市民アンケート調査結果
1　家庭生活について 6
2　地域活動について 41
3　職業生活について 48
4　仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について 61
5　配偶者等からの暴力について 68
6　男女共同参画社会について 85
7　あなたご自身について 123

Ⅳ　事業所アンケート調査結果
1　事業所の概要等について 136
2　従業員の雇用、制度利用、労働環境などについて 142
3　性の多様性に対する配慮について 150
4　男女共同参画への行政の取組について 152

Ⅴ　アンケート調査票
1　市民アンケート 154
2　事業所アンケート 166

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

本調査は、御所市男女共同参画基本計画の改定の基礎資料とするため、市民及び市内事業所を対象にアンケート調査を行い、男女共同参画に関する現状やニーズを把握することを目的とします。

2　調査方法

	市民アンケート	市内事業所アンケート
①　調査期間	調査開始：令和6年1月15日（月） 回収期限：令和6年2月6日（火）	
②　調査対象	●対象者：市内在住の満 18 歳以上の市民（住民基本台帳から無作為抽出） ●対象数：800人	●対象者：国税庁登録の法人格を有する御所市内の企業団体（無作為抽出） ●対象数：200社
③　調査内容	●家庭生活について（1設問） ●地域活動について（4設問） ●職業生活について（6設問） ●仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について（2設問） ●配偶者等からの暴力について（6設問） ●男女共同参画社会について（10 設問） ●回答者について（5設問）	●事業所の概要について（5設問） ●回答者について（1設問） ●従業員の雇用、制度利用、労働環境などについて（10設問） ●性の多様性に対する配慮について（1設問） ●男女共同参画への行政の取組について（1設問） ●事業所の概要について（2設問）
④　調査方法	郵送調査方式 （郵送にて対象者に調査票を配布し、郵送と WEB 回答フォームのどちらかを選択して回収）	
⑤　回収結果	有効配布数：798 件 回　収　数　：353 件 （紙：265 件　WEB：88 件） 回　収　率　：44.2％	有効配布数：200 件 回　収　数　：87 件 回　収　率　：43.5％

3　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0％にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0％を超える場合があります。
・図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合があります。
・属性別クロス集計は、性別、年代、婚姻別と各設問を対象に行い、特徴が見られた項目を報告書に掲載しています。

Ⅱ　調査結果の概要

1　市民アンケート

家庭生活について
○夫婦の家庭での役割について、《理想》では、『女性と男性で同じくらい』と回答している項目が、「キ. 家庭の収入割合」以外の項目で約6割～7割以上となっています。「キ. 家庭の収入割合」は『主に男性の役割』という回答が4割以上になっています。 ○夫婦の家庭での役割について、《現実》では、『主に女性の役割』と回答している項目が、「ア. 食事の支度」、「ウ. 洗濯」で7割以上となっています。「キ. 家庭の収入割合」では、『主に男性の役割』という回答が6割以上になっています。 →夫婦の家庭での役割について、《理想》では家庭の収入割合を除く全ての項目で『女性と男性で同じくらい』となっていますが、《現実》では、家庭の収入割合と土地や家屋の購入決定と近所づきあいを除く、多くの項目で『主に女性の役割』が多くなっており、理想と現実で差が見られます。
地域活動について
○地域の活動や行事等での男女の不平等について、「男女の不平等はない」の割合が4割以上となっています。男女の差を感じているとの回答は、役員選挙や運営への女性参加、地域行事での男女の差、会議での発言等でそれぞれ約1割となっています。 ○男性と女性がともに地域の活動や行事等に積極的に参加するために必要なこととして、「配偶者や家族の協力」「地域の中に仲間がいること」が約5割「参加のきっかけとなる地域活動情報の提供」が約4割となっています。 →地域の活動や行事等での男女の不平等について、「男女の不平等はない」の割合が多くなっていますが、男性と女性がともに地域の活動や行事等に積極的に参加するために周囲の協力や情報提供など参加にむけたきっかけづくりが求められています。 ○防災・災害復興対策での性別に配慮した対応について、「必要である」「どちらかといえば必要である」を合わせて9割の方が必要だと回答しています。具体的な対応として、「避難所の設備（男女別のトイレや更衣室、物干し場など）を整えること」が約9割、「災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制）を整えること」が約7割、「避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」が4割となっています。 →防災・災害復興対策については、避難所や災害時の救援医療体制で性別に配慮した対応が求められており、対策に向けて男女両方の視点を入れることも必要と感じています。
職業生活について
○職場での男女差について、「特に男女格差はない」が約2割となっています。一方で、「お茶くみなどの雑用は、職種に関わらず女性がすることが多い」が約3割となっています。 →性別によって職場での男女差について認識の違いが見られます。「29歳以下」では全体と比較して「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」「慣行として結婚退職制、職場結婚退職制がある」と回答した割合が高く、「60～69歳」では全体と比較して「特に男女格差はない」と回答した割合が高く、「80歳以上」では全体と比較して「女性は同じポストの男性より、出張や視察などの機会が少ない」「お茶くみなどの雑用は、職種に関わらず女性がすることが多い」と回答した割合が高くなっています。

○女性が職業を持つことについて、「職業を持ち、結婚・出産後も働き続ける（育児休業は含む）」が5割以上、「結婚または出産を契機に一旦は退職し、育児終了後に再び働く」の割合が約3割となっています。

○女性が仕事を続けていくために必要なこととして、「安心して子どもを預けられるなど、育児の負担が軽減されること」が約7割、「男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること」「家事の負担が軽減されること」が約6割となっています。

→女性の仕事について、家庭環境との両立やそのための協力や支援が求められています。

○管理につく女性が少ない状況について、「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから」が約5割、「女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから」「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」が約3割となっています。

○今後女性の活躍が進むのがよいと思う分野・立場について、「国会・県議会・市町議会等の議員」が約5割、「国の省庁・県庁・市町の役所等の公務員」「企業の管理職、労働組合の幹部」が約4割となっています。

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

○《希望》では、『「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先』の割合が約3割、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が2割となっています。

○《現状》では、『「家庭生活」を優先』『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が約2割となっています。

→仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について、希望より仕事や家庭生活を優先しているとの回答が多く、『「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先』では希望と比較して現状での回答割合が低くなっています。

○希望と現状が異なる回答をした人の中で、理由として「仕事が忙しくて時間がない」が約4割、「家事や子育てで時間がない」が約3割、「健康状態に不安がある」が約2割となっています。

配偶者等からの暴力について

○「DVやデートDVがテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている」が約4割、「DVやデートDVを見聞きしたことはない」が3割となっています。

○「DV」の経験について、「ない」が8割以上、「ある」が約1割となっています。

○「DV」経験がある方について、「家族や親戚、友人・知人に相談した」が約5割、「どこ（誰）にも相談しなかった」のが4割となっており、相談しなかった理由として「相談しても無駄と思ったから」が約4割となっています。

○「DV」の相談場所の認知度について、「警察」が約5割、「御所市人権センター」が約3割、「すべて知らない」が約2割となっています。

→「DV」について相談をしていない方が多く、相談先の認知度も高くありません。

○性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）で経験したものや見聞きしたものについて、職場・学校・地域・家庭の中で、職場での経験が多くなっています。その中で、「容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする」が2割以上となっています。

男女共同参画社会について

○女性の人権が大切にされていないと思うことについて、『「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある』が約5割、「女性が社会進出できる環境が整っていない」「痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける」が約3割となっています。

○「男性が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を足し合わせた割合が、「女性が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を足し合わせた割合より高い項目は、「家庭」「職場」「社会通念、風潮、しきたり」「政治や行政の場」「社会全般」となっています。

○「女性が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を足し合わせた割合が、「男性が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を足し合わせた割合より高い項目は1つもありません。

→社会環境等において、男性が優遇されているとの認識が高くなっています。

○「男は仕事、女は家事・育児」という考え方について、「そう思わない」が約3割、「どちらともいえない」と「どちらかといえばそう思う」が約2割となっています。

○今後、男性が女性とともに家事や子育て、教育、介護、地域活動などに積極的に参加していくために必要なこととして、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」「労働時間短縮や育児・介護休業制度を取得しやすくする」「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話しあう」が約4割となっています。

○男女共同参画の考え方として、「男性が家族のために食事をつくる」「職場の上司が女性である」「男性が乳幼児の世話をする」では、約7割が「よいと思う」と回答しています。

→男女共同参画に関する考え方として、従来の性別での役割（男性は○○、女性は○○等）といったことではなく、それぞれが理解を進め協働で取り組むといった認識が高くなっています。

○子どもがどのように育ってほしいかについて、《女の子の場合》では、「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」「愛きょうがあり、誰にでも好かれる」が約4割、「自分の考えを人前ではっきり言う」「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」「礼儀作法を心得ている」が約3割となっています。

○続いて、《男の子の場合》では、「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」が約4割、「活発で行動的」「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」「経済的・社会的な自立心」「たくましく頼りがいがある」「自分の考えを人前ではっきり言う」が約3割となっています。

○子どもの学校教育について、《女の子の場合》では、「大学まで」が約5割、「高等学校まで」が約2割となっています。《男の子の場合》では、「大学まで」の割合が約6割、「高等学校まで」が約2割となっています。

→子どもの進路について、男の子も女の子も約半数が「大学まで」の学校教育が必要だと考えています。

→子どもの成長について、性別で求めるものとして、女の子では、「愛きょうや面倒見の良さ、礼儀作法」に関する回答が男の子と比較して高くなっています。男の子では、「活発、頼りがい、物事を最後までやり抜く、自立心」に関する回答が女の子と比較して高くなっています。

○男女平等を進めるために必要なこととして、「古くからの悪しき習慣やしきたりを改める」が約5割、「男性が女性に対する固定的な見方や考え方を改める」「家事・育児などが十分評価される」「女性が知識や技術を習得し、積極的に力をつけていく」が約3割となっています。

○「男女共同参画社会」の実現に向けて御所市が今後力をいれて取り組むべきと思うこととして、「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスの充実」「学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育・学習」「雇用の機会や条件の男女格差を解消するための企業や事業主への働きかけ」が約3割となっています。

○結婚後の「姓」の選択について、「自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい」が約4割、「夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である」が約2割となっています。

2　市内事業所アンケート

事業所の概要について
○従業員数について、約6割が正社員数「1～10人未満」となっており、パート・アルバイト・臨時では「1～10人未満」が約5割、派遣等では、「1～10人未満」が約1割となっています。 ○管理職について、約7割が「1～5人未満」となっています。 ○代表者について、約9割が「男性」、約1割が「女性」となっています。 ○平均勤続年数について、正社員の「10年以上～30年未満」で「女性」が約4割、「男性」が約5割となっています。パート・アルバイト・臨時の「1～10年」で「女性」が約3割、「男性」が約1割となっています。また、「10年以上～30年未満」では「女性」が約2割、「男性」が約1割となっています。 ○平均残業時間について、正社員では、女性で「1～10時間以内」が約2割、男性で「10時間以上50時間未満」が約3割となっています。
従業員の雇用、制度利用、労働環境などについて
○女性管理職が少ない（または、いない）理由として、「女性従業員が少ない、またはいない」が約4割、「特にない」が約3割、「管理職になるために必要となる知識と経験を有する女性が少ない、またはいない」が約2割となっています。 ○「ポジティブ・アクション」（女性社員の活躍推進）に関して、「性別による評価をするようなことのないようにしている」が約5割、「取り組んでいない」が約3割、「仕事と家庭の両立のための支援制度を整備している」「性別に関わりなく能力を発揮できるよう教育訓練や研修を実施している」が約2割となっています。取り組んでいない理由として、「女性従業員が少ない、またはいない」が約4割、「女性自身が希望していない」が約3割「特に必要性を感じない」が約2割となっています。 ○育児休業の取得状況等について、女性の育児休業対象者が、「1人」と回答した事業所が7件あり、そのうち取得したのは6件となっています。「2人」と回答した企業では、2人が取得しています。男性の育児休業対象者が、「1人」と回答した事業所が4件あり、そのうち取得したのは1件となっています。「5人」と回答した企業では、「5人」が取得しています。 ○介護休業の取得状況について、男性は0件で、女性は、「1人」と回答した事業所が2件、「6人」と回答した事業所が1件となっています。介護休業の活用をすすめるうえでの課題として、「代替要員の確保」が約4割、「特に課題はない」が約3割、「柔軟な勤務制度の整備」の割合が約2割となっています。 ○ワーク・ライフ・バランスの推進のために、現在実施している取組について、「長時間残業の削減など働き方の見直し」が約6割、「事業所内で両立支援制度を利用しやすい雰囲気をつくる」が約3割、「仕事と育児や介護との両立支援など制度の充実」が約2割となっています。 ○ハラスメント（セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、妊娠・出産・育児休業等ハラスメント）防止対策に向けての取組について、「特に対策を講じていない」が約5割、「倫理規定などを就業規則に定めている」が約3割となっています。
性の多様性に対する配慮について
○トイレについて、「男女の区別がないトイレを設置」「男性用・女性用トイレと分けて設置」が約5割となっています。 ○性的マイノリティに対する取組について、「取り組んでいない」が約8割となっています。
男女共同参画への行政の取組について
○男女が共同して参画することのできる職場づくりを推進するために、御所市が力を入れていくべき施策として、「保育サービスの充実」「高齢者や障がい者へのサービスの充実」が約4割、「女性に対する就業支援」「特になし」が約3割となっています。

Ⅲ　市民アンケート調査結果

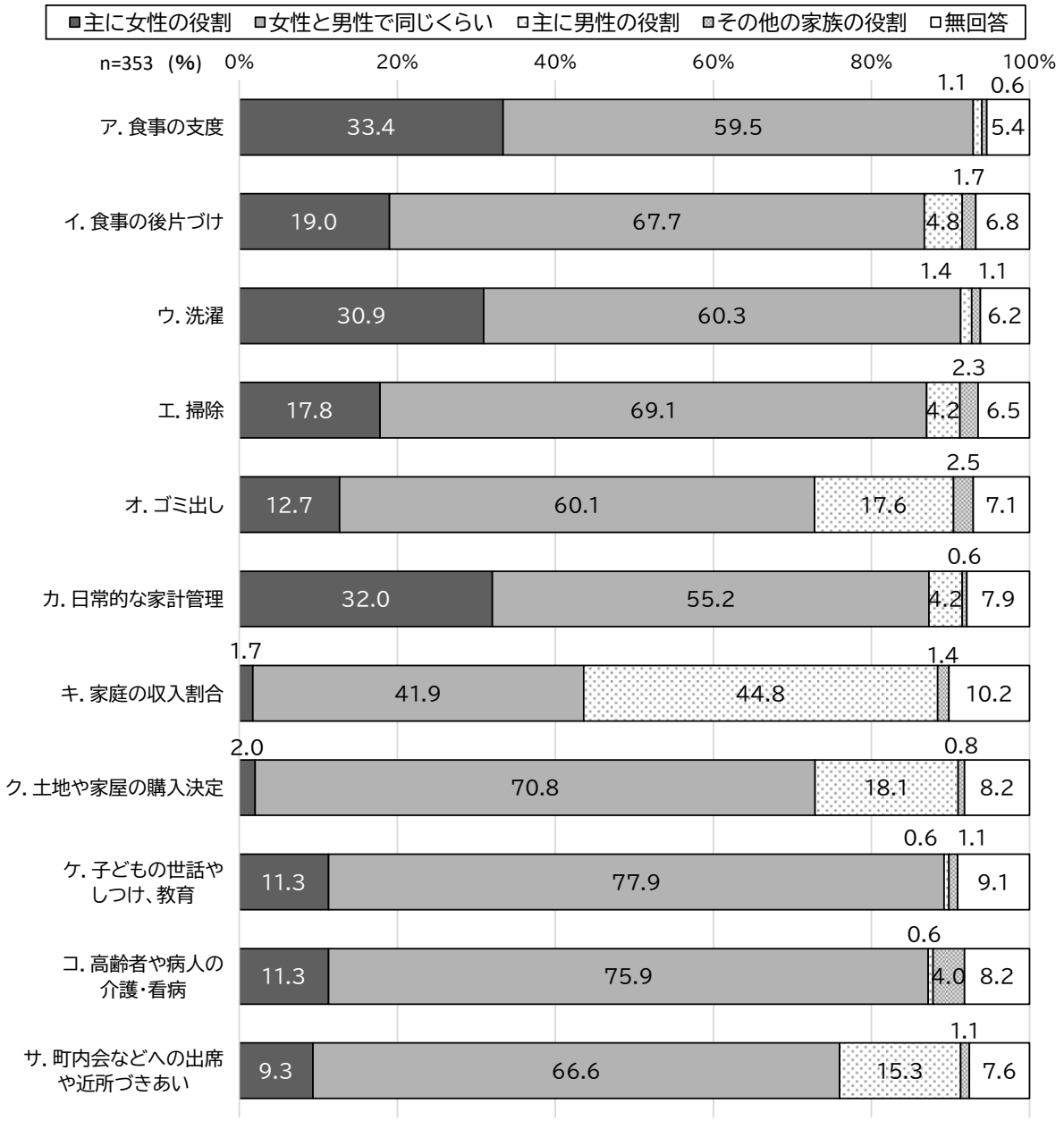
1　家庭生活について

問１　次のア～サの家庭の中での仕事は、夫婦のどちらがするのが理想だと思いますか。また、配偶者・パートナーのいる方は、現実にはどのようにしていますか。【ア～サそれぞれについて、１つだけに○（理想はすべての方、現実はあてはまる方のみ）】

○《理想》では、『女性と男性で同じくらい』と回答している項目が、「キ. 家庭の収入割合」以外の項目で約６割～７割以上となっています。

○「キ. 家庭の収入割合」は『主に男性の役割』という回答が４割以上になっています。

《理想》

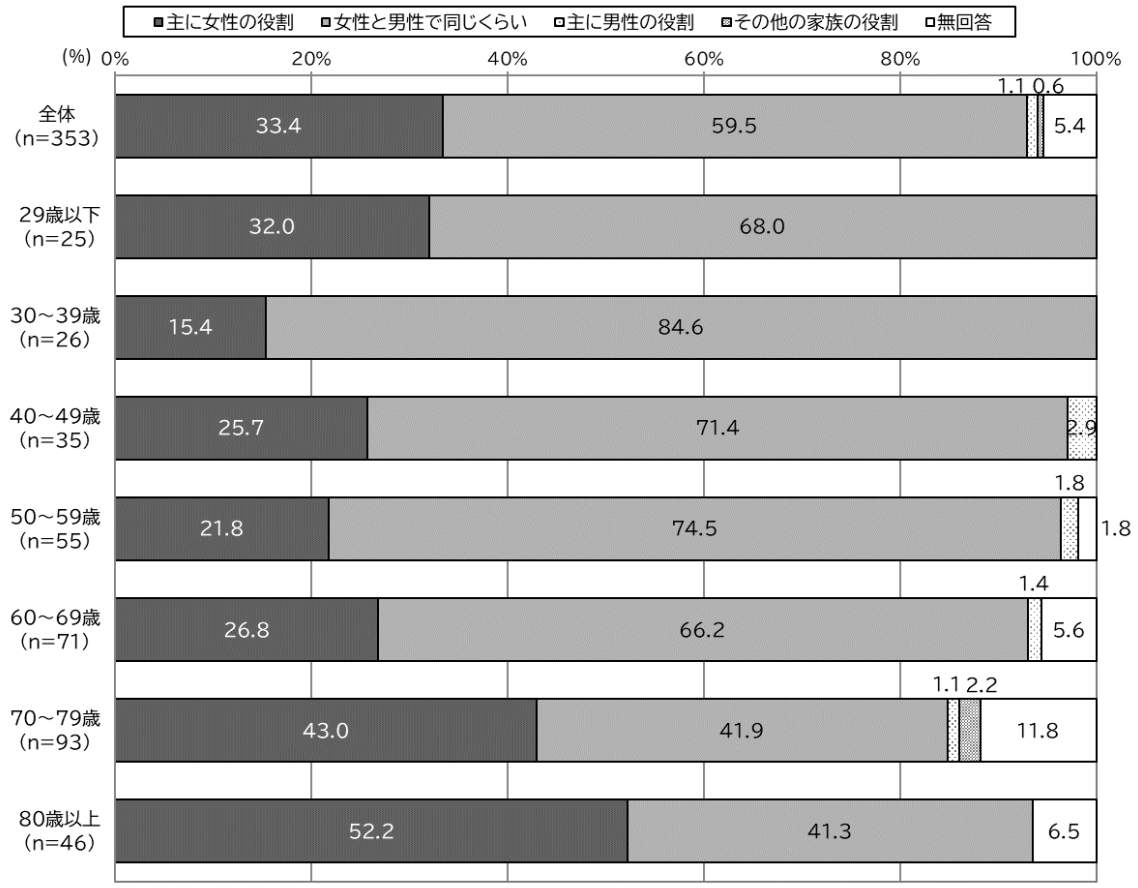


（参考）クロス集計結果

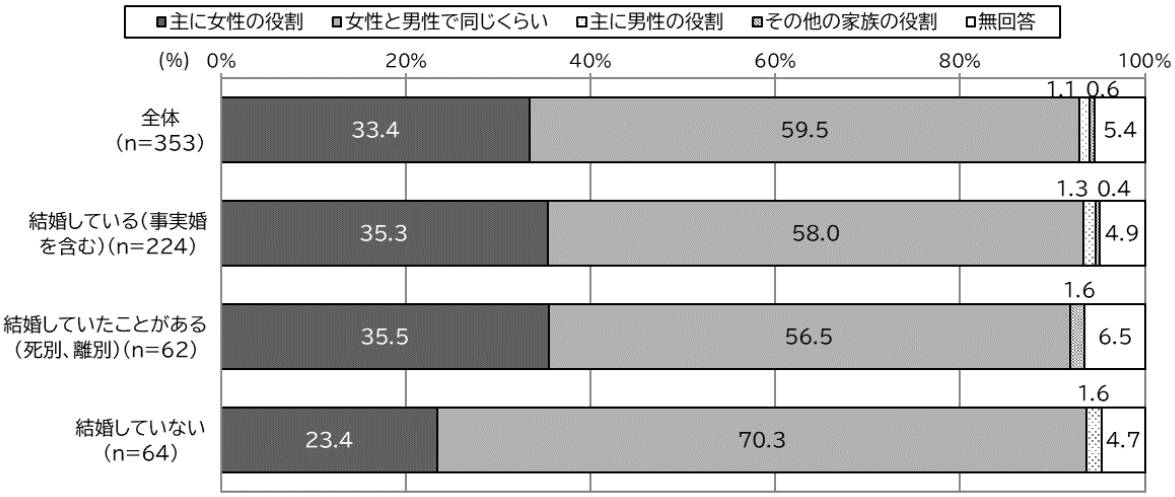
問１【理想】　ア　食事の支度

○年代別では、「30～39歳」と「50～59歳」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「女性と男性で同じくらい」が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。

●年代別



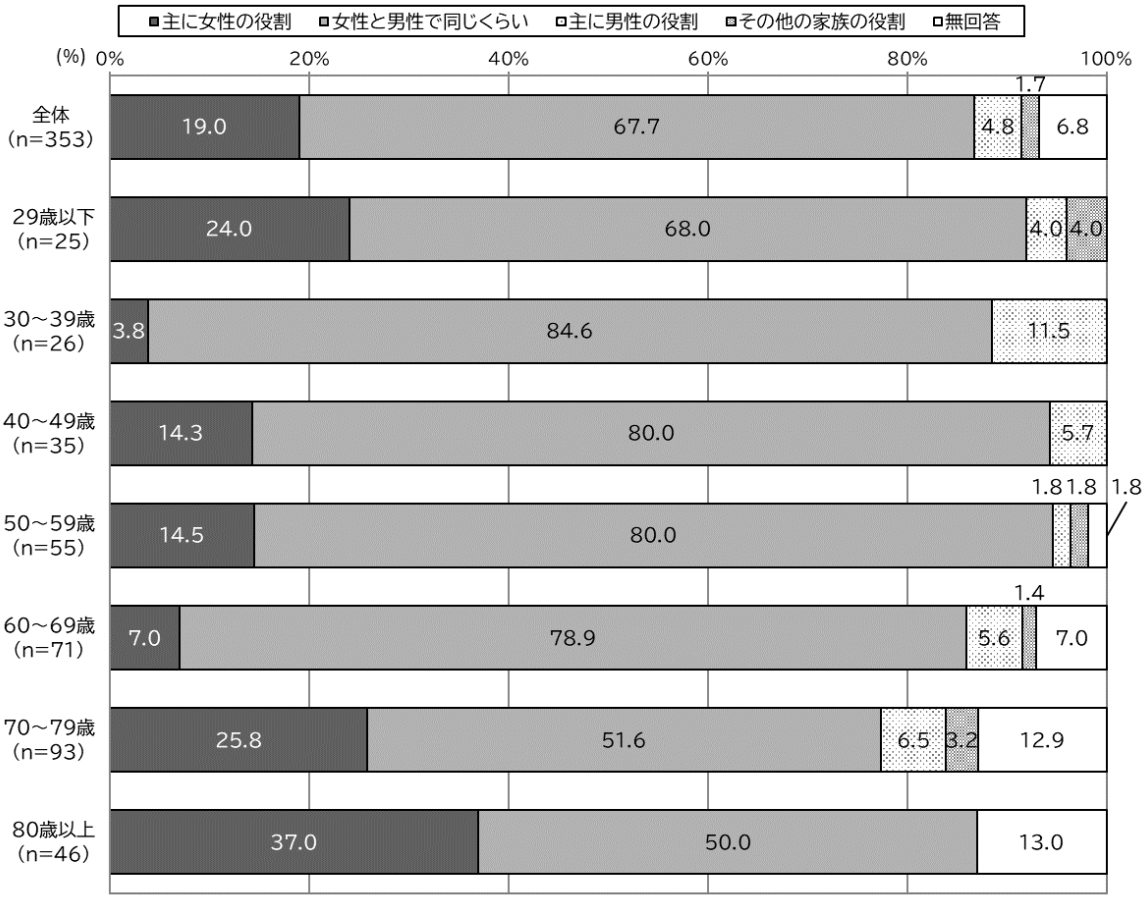
●婚姻別



問１【理想】　イ　食事の後片づけ

○年代別では、「30～39歳」と「60～69歳」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低くなっています。
○「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」が低くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「女性と男性で同じくらい」が低くなっています。

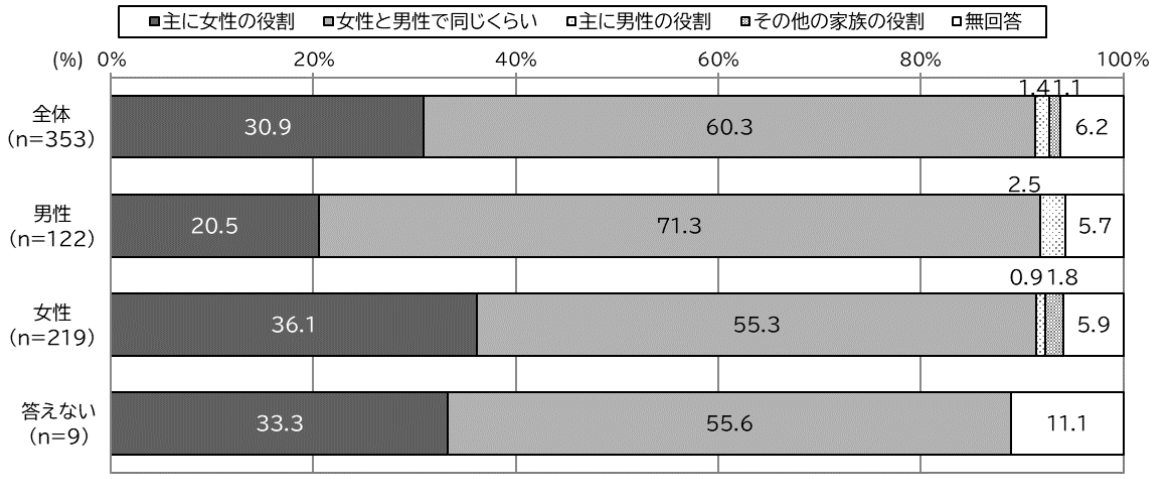
●年代別



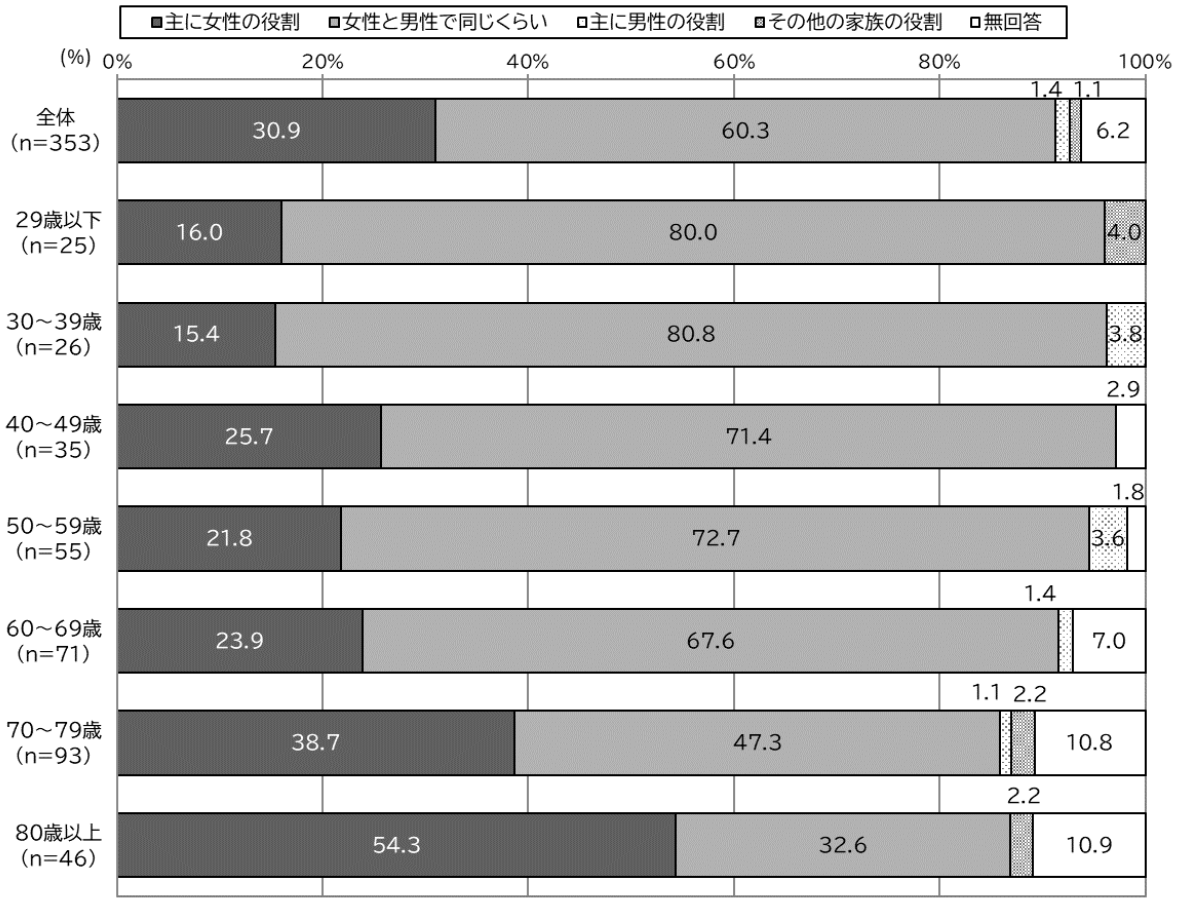
問１【理想】　ウ　洗濯

○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」と「30～39歳」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「40～49歳」と「50～59歳」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「女性と男性で同じくらい」が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。

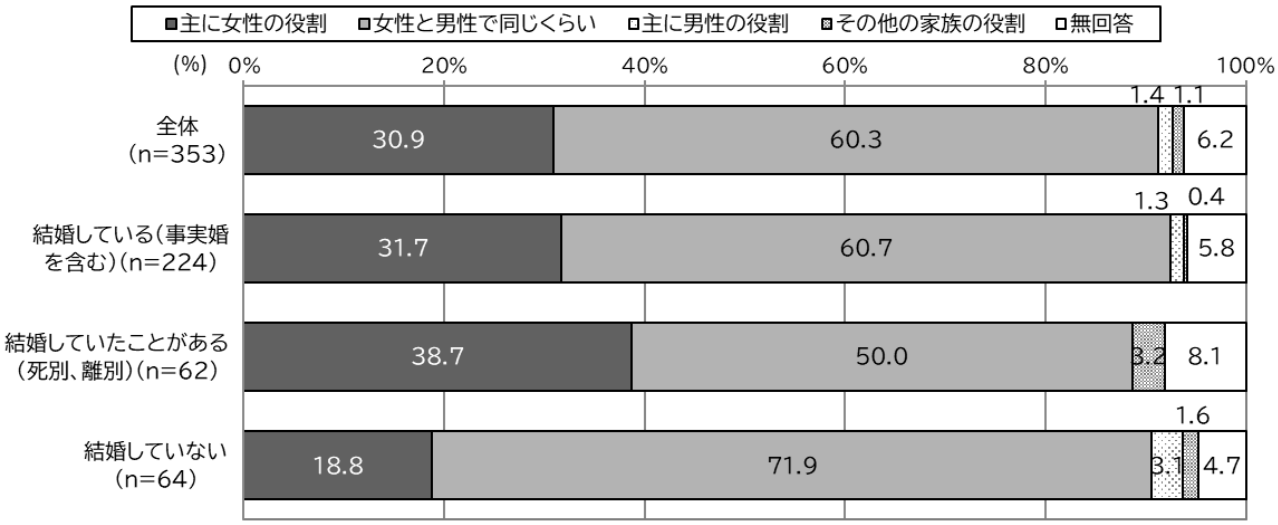
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割 □無回答
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=353） 30.9 60.3 1.4 1.1 6.2
29歳以下（n=25） 16.0 80.0 4.0
30～39歳（n=26） 15.4 80.8 3.8
40～49歳（n=35） 25.7 71.4 2.9
50～59歳（n=55） 21.8 72.7 3.6 1.8
60～69歳（n=71） 23.9 67.6 1.4 7.0
70～79歳（n=93） 38.7 47.3 1.1 2.2 10.8
80歳以上（n=46） 54.3 32.6 2.2 10.9

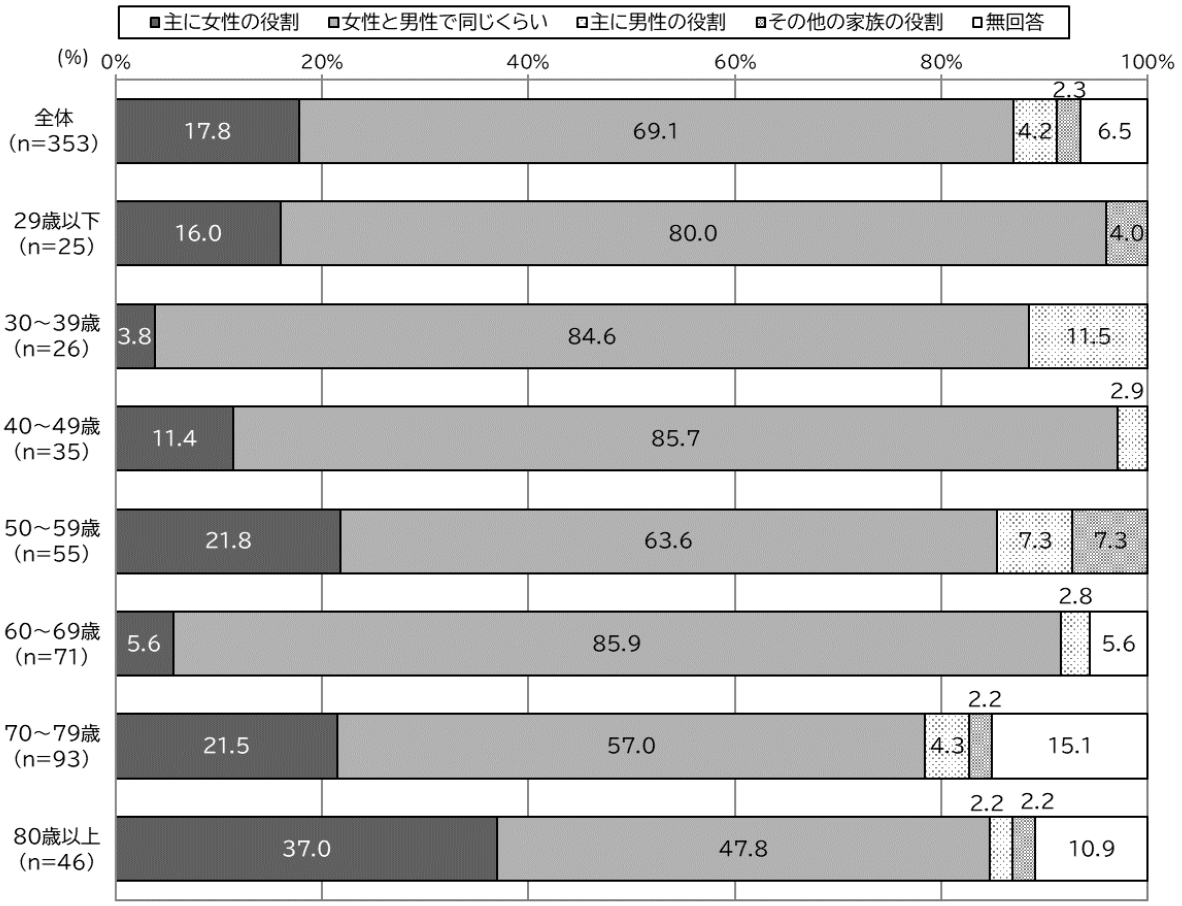
●婚姻別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割 □無回答
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=353） 30.9 60.3 1.4 1.1 6.2
結婚している（事実婚を含む）（n=224） 31.7 60.7 1.3 0.4 5.8
結婚していたことがある（死別、離別）（n=62） 38.7 50.0 3.2 8.1
結婚していない（n=64） 18.8 71.9 3.1 1.6 4.7

問１【理想】　エ　掃除

○年代別では、「30～39歳」と「60～69歳」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合は低くなっています。

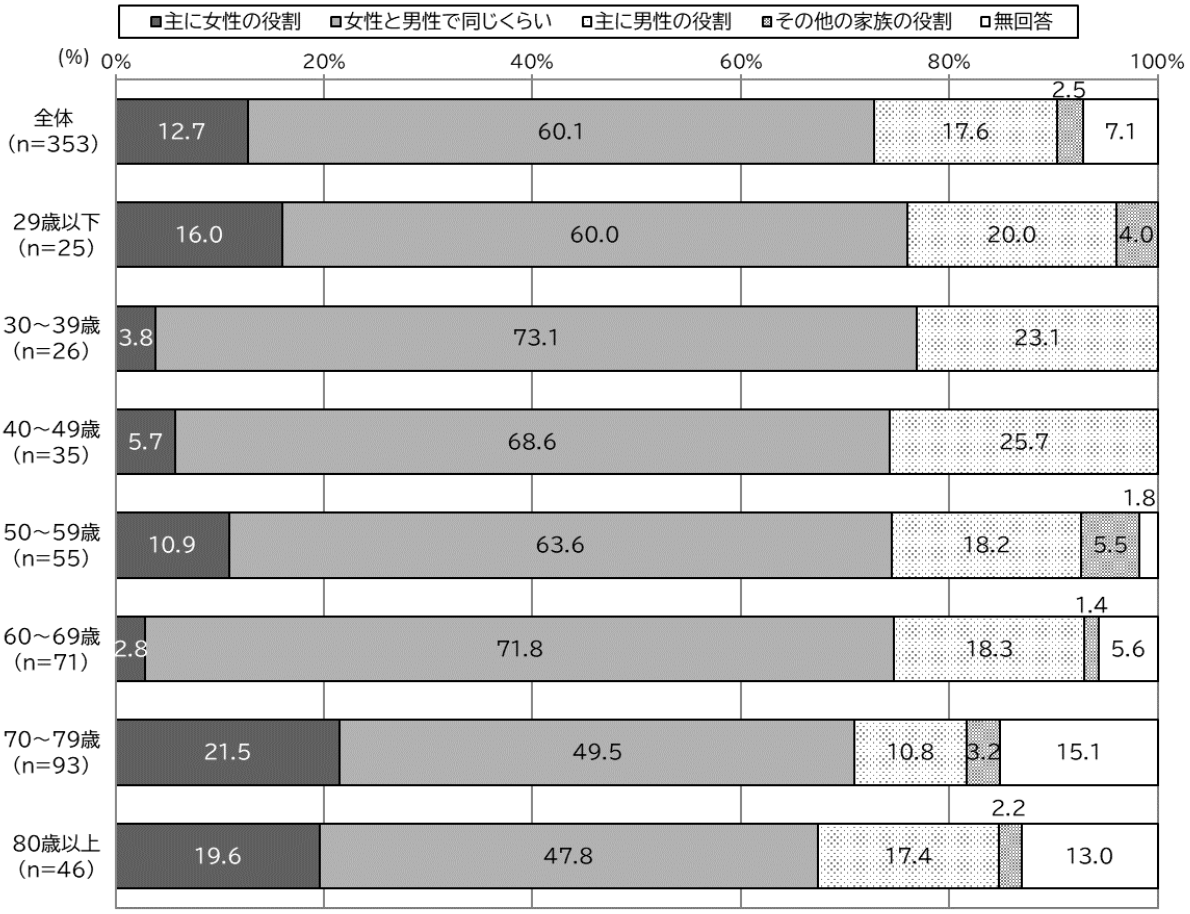
●年代別



問１【理想】　オ　ゴミ出し

○年代別では、「30～39歳」と「60～69歳」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合は高くなっています。

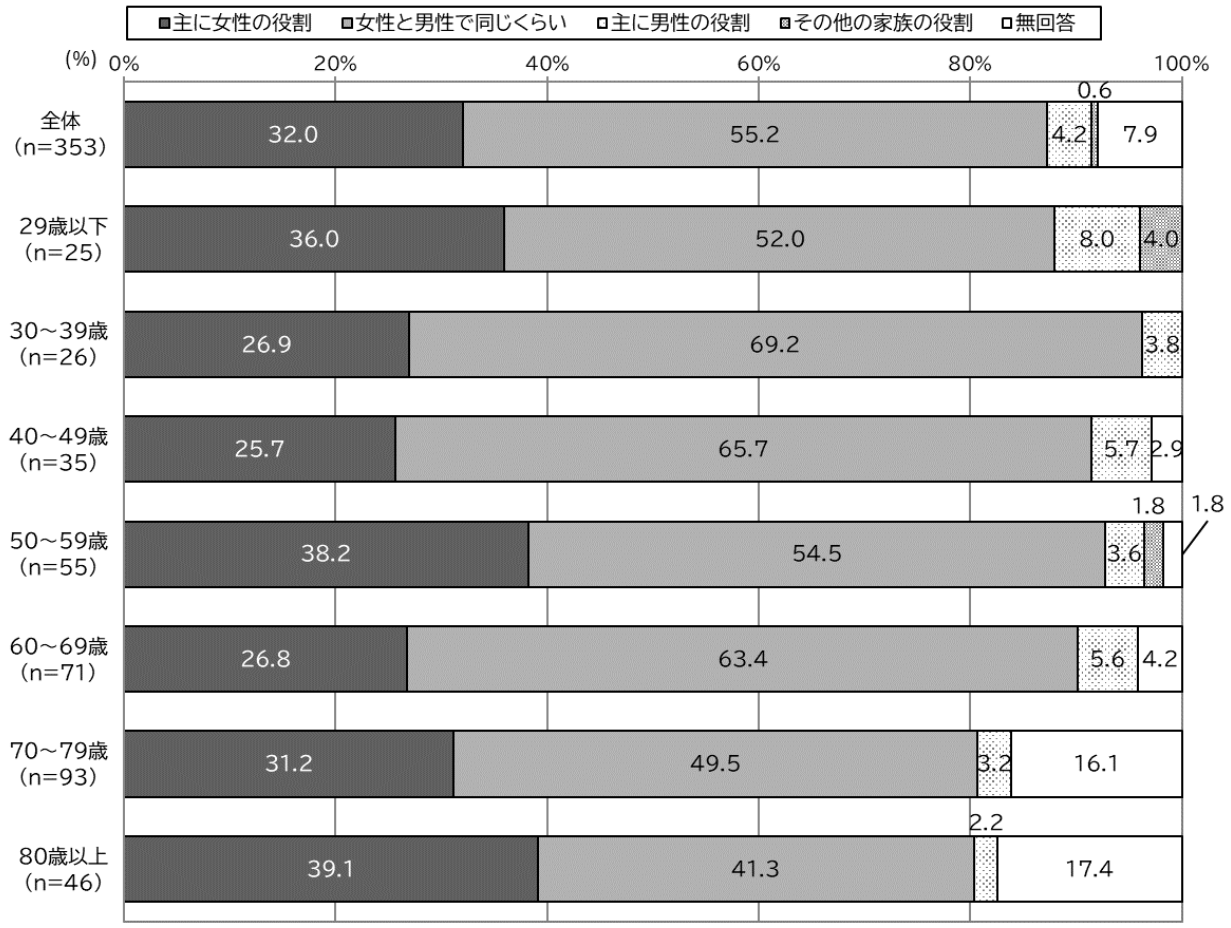
●年代別



問１【理想】　カ　日常的な家計管理

○年代別では、「30～39歳」と「40～49歳」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。

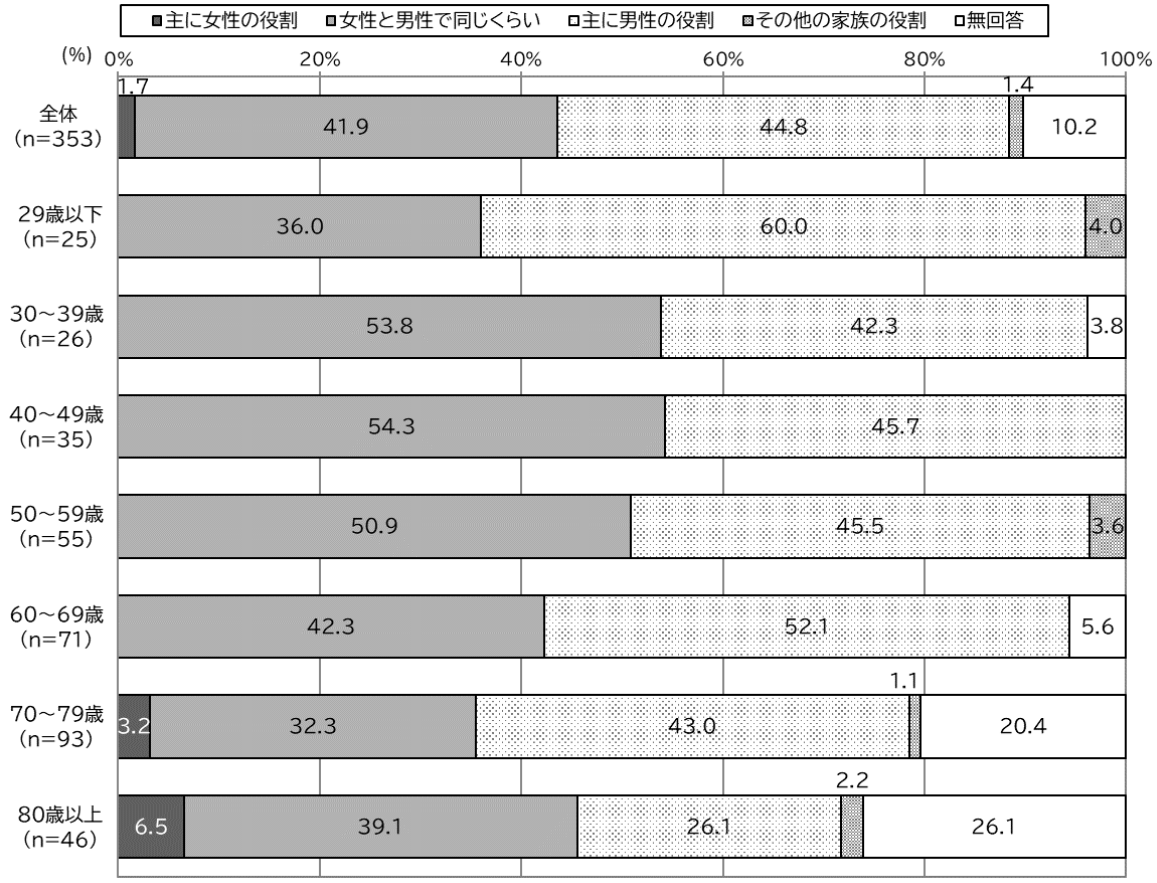
●年代別



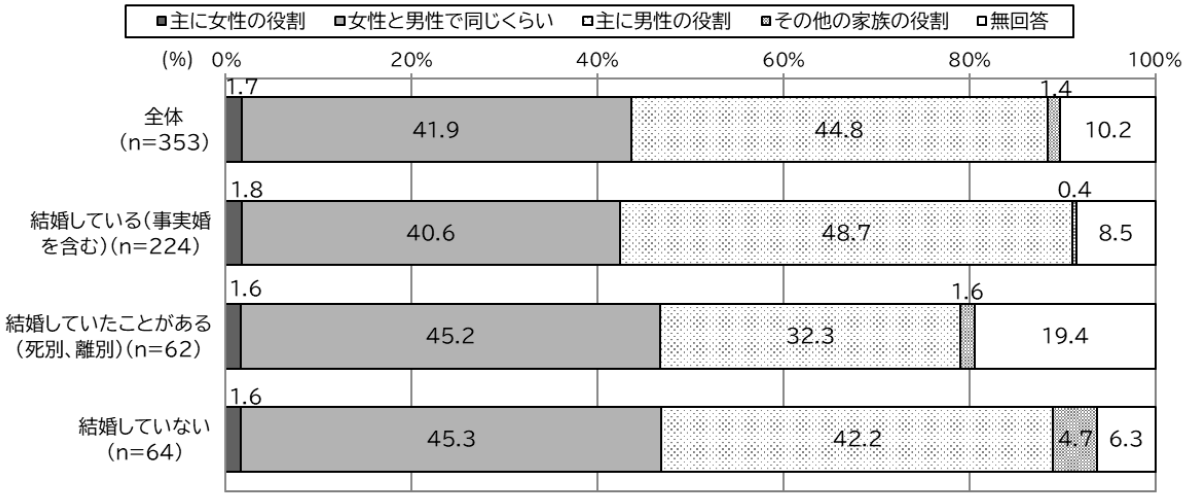
問１【理想】　キ　家庭の収入割合

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「主に男性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○「30～39歳」と「40～49歳」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「主に男性の役割」と回答した割合が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「主に男性の役割」と回答した割合が低くなっています。

●年代別



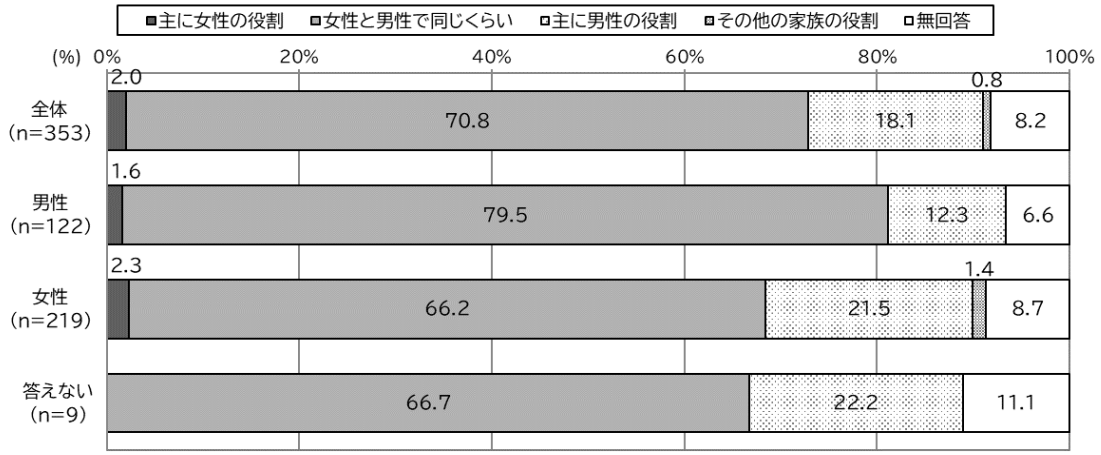
●婚姻別



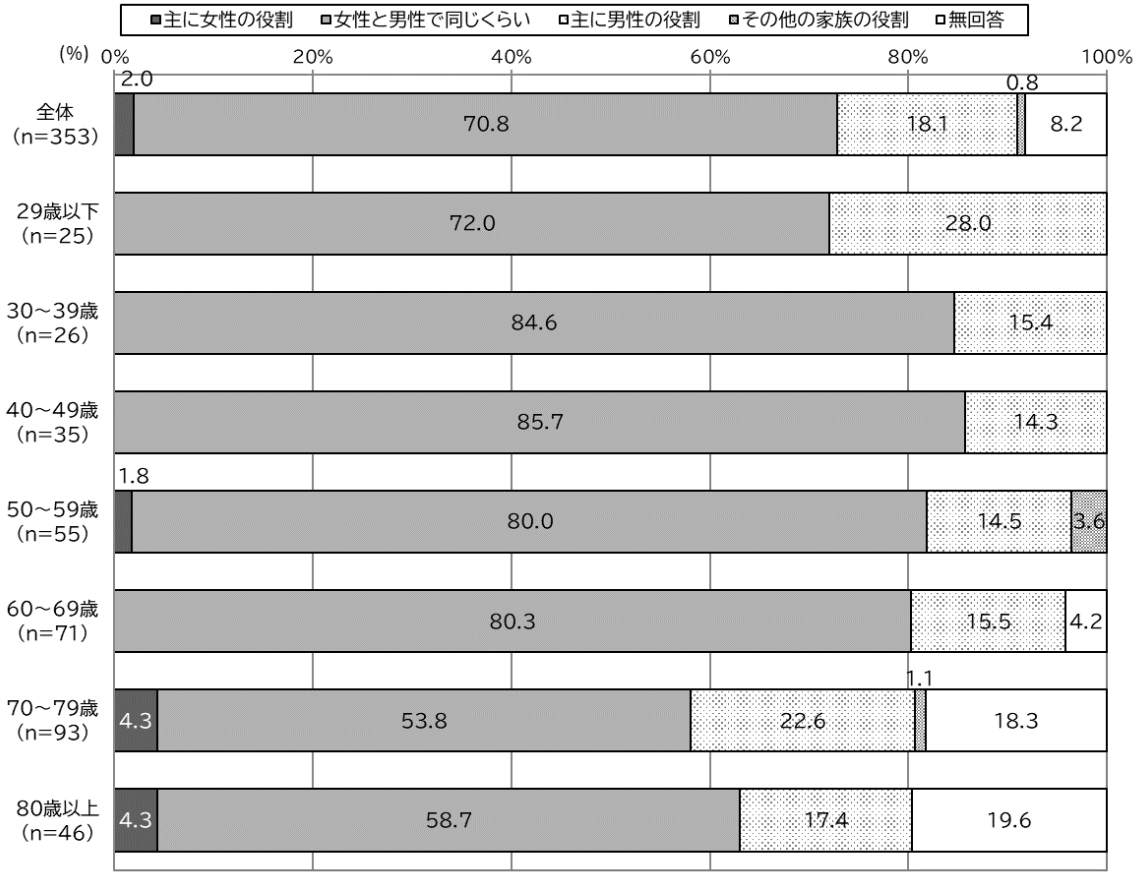
問１【理想】　ク　土地や家屋の購入決定

○性別では、「男性」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「主に男性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○「30～39歳」「40歳～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。

●性別



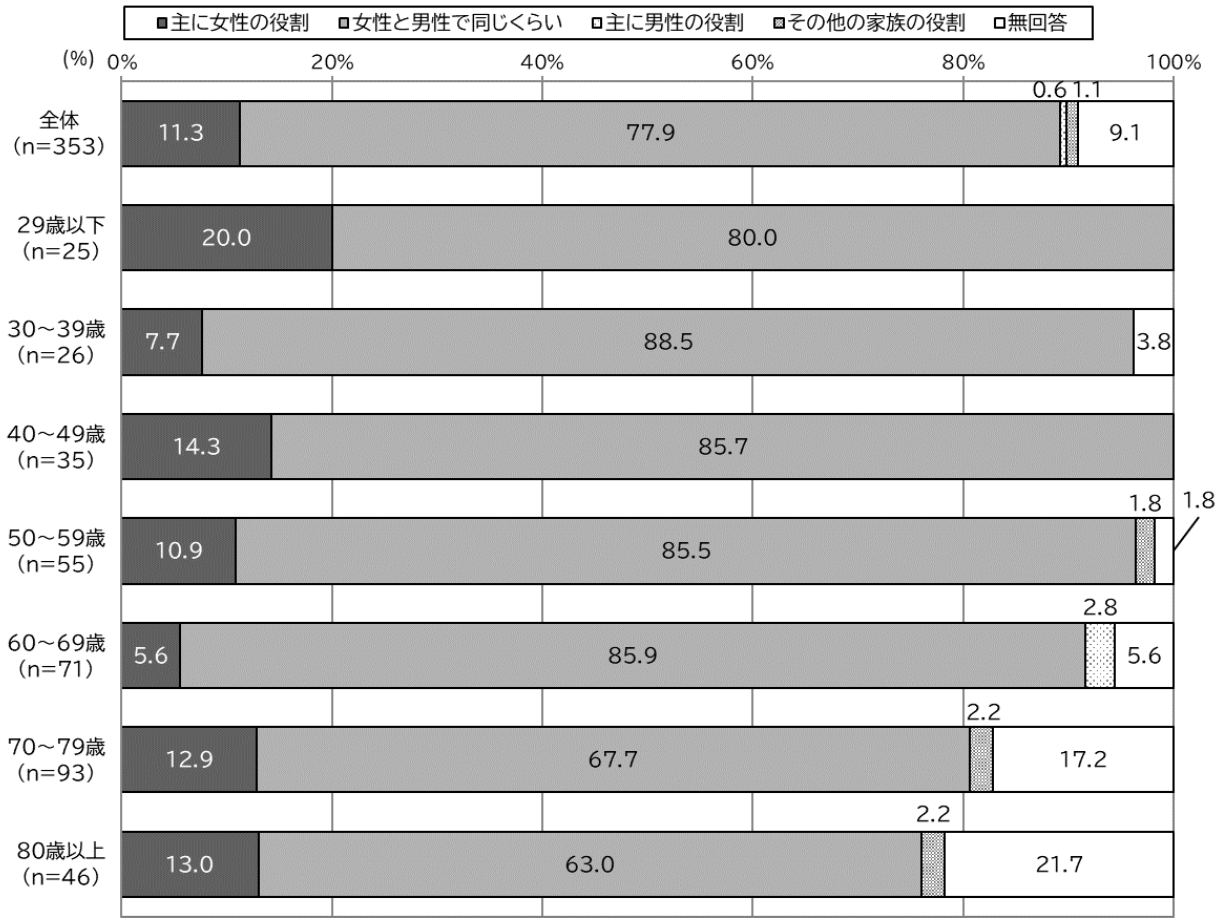
●年代別



問１【理想】　ケ　子どもの世話やしつけ、教育

○年代別では、「30～39歳」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。

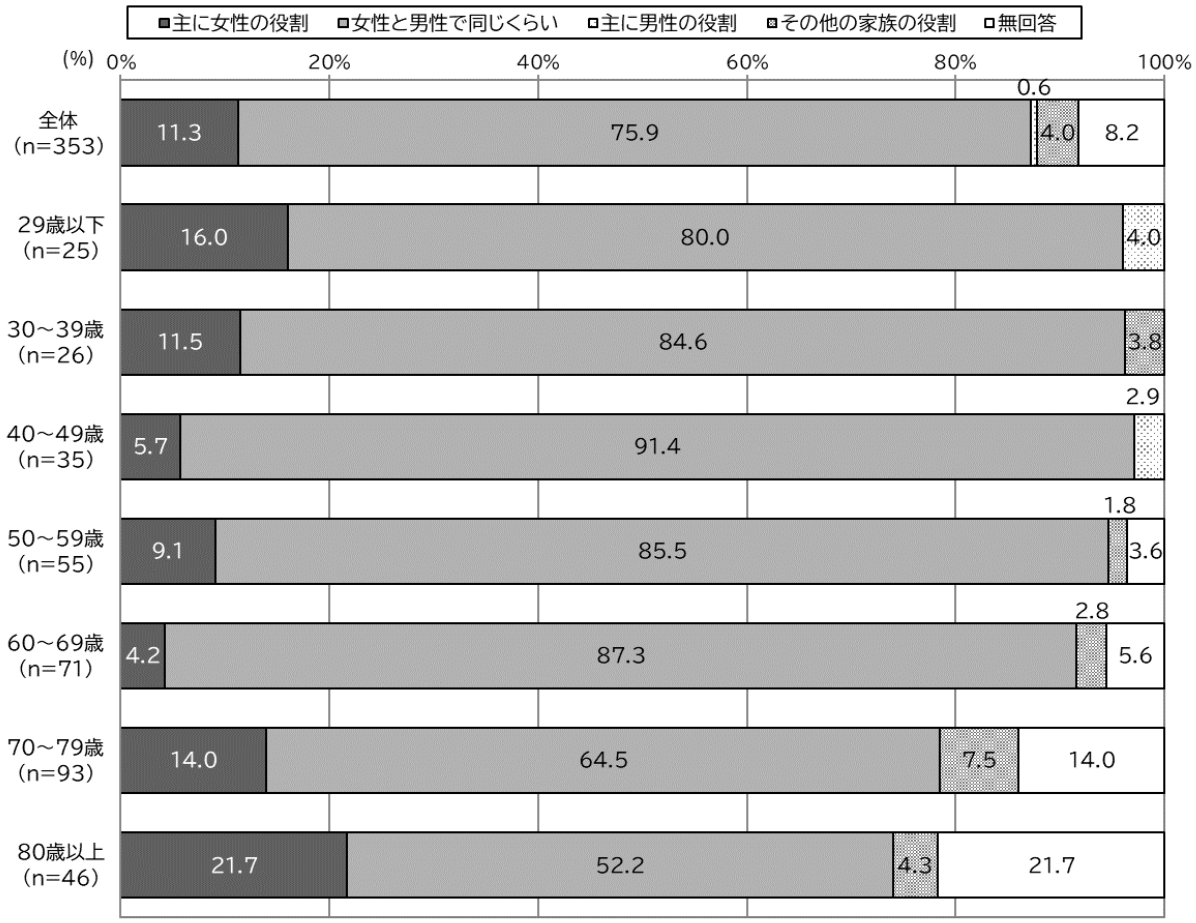
●年代別



問１【理想】　コ　高齢者や病人の介護・看病

○年代別では、「40～49歳」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。

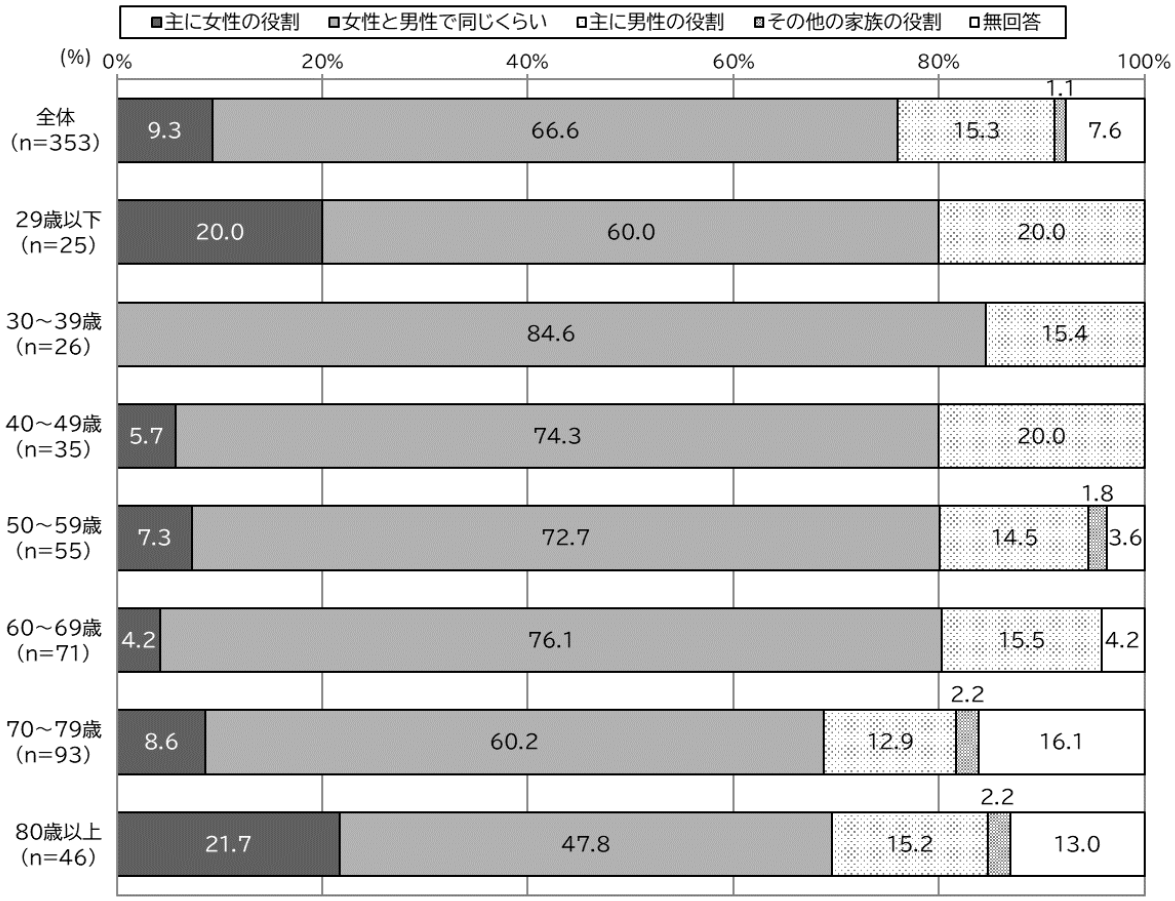
●年代別



問１【理想】　サ　町内会などへの出席や近所づきあい

○年代別では、「30～39歳」と「60～69歳」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「女性と男性で同じくらい」が低くなっています。

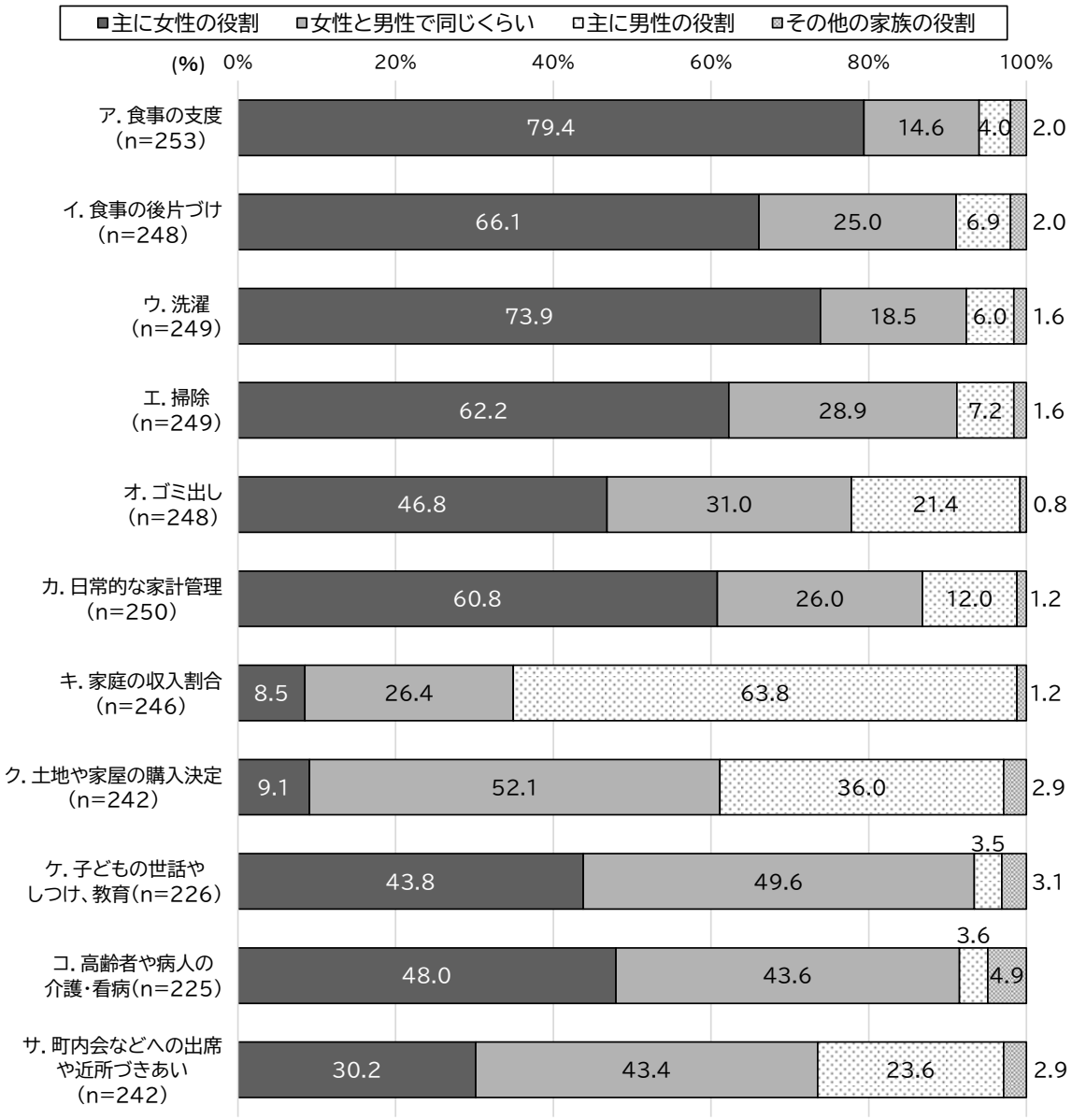
●年代



《現実》 ※あてはまる方のみ回答

○《現実》では、『主に女性の役割』と回答している項目が、「ア. 食事の支度」、「ウ. 洗濯」では 7 割以上となっています。

○「キ. 家庭の収入割合」では、『主に男性の役割』という回答が 6 割以上になっています。



（参考）クロス集計結果

問１【現実】　ア　食事の支度

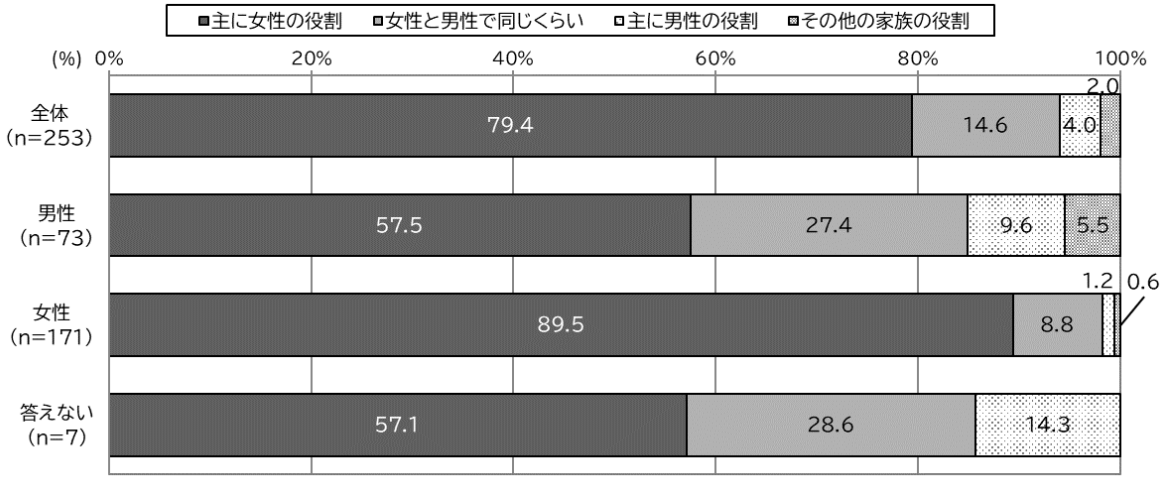
○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。

○「女性」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が高くなっています。

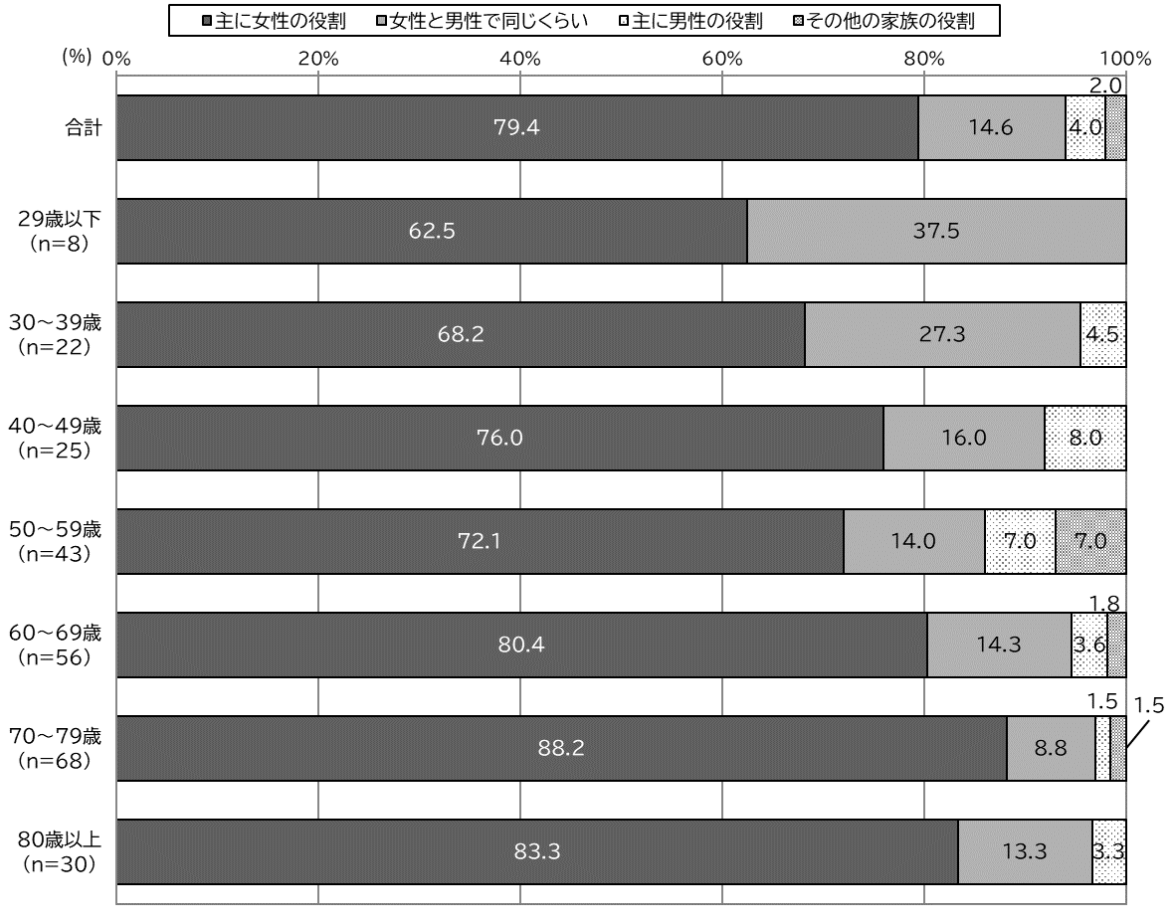
○年代別では、「29歳以下」と「30～39歳」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。

○婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。

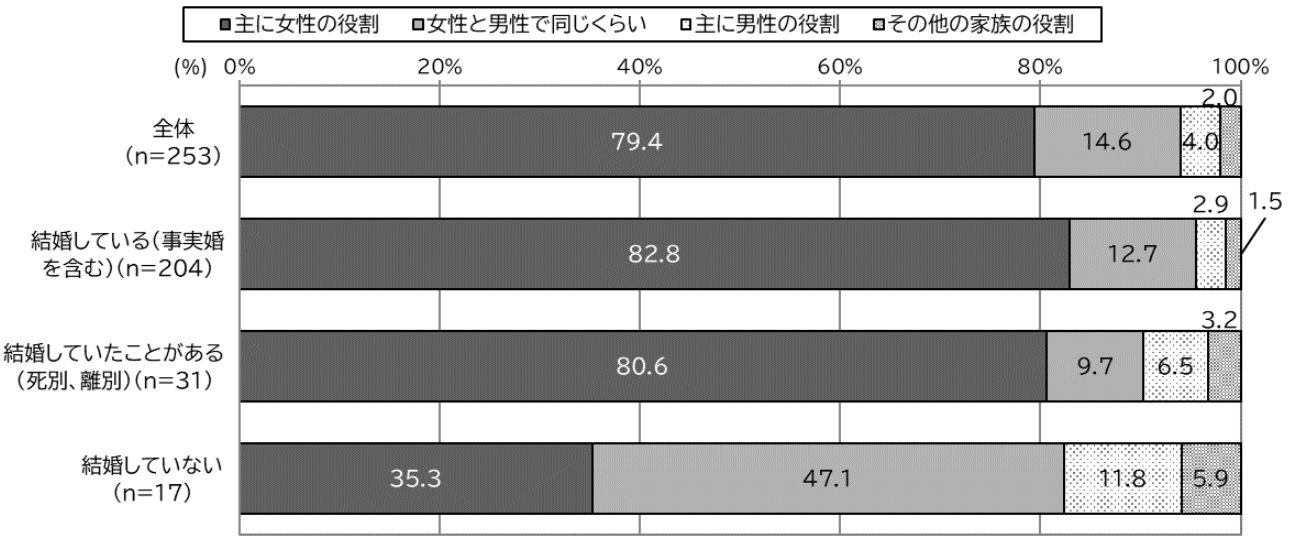
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
合計
79.4
14.6
4.0
2.0
29歳以下（n=8）
62.5
37.5
30～39歳（n=22）
68.2
27.3
4.5
40～49歳（n=25）
76.0
16.0
8.0
50～59歳（n=43）
72.1
14.0
7.0
7.0
60～69歳（n=56）
80.4
14.3
3.6
1.8
70～79歳（n=68）
88.2
8.8
1.5
1.5
80歳以上（n=30）
83.3
13.3
3.3

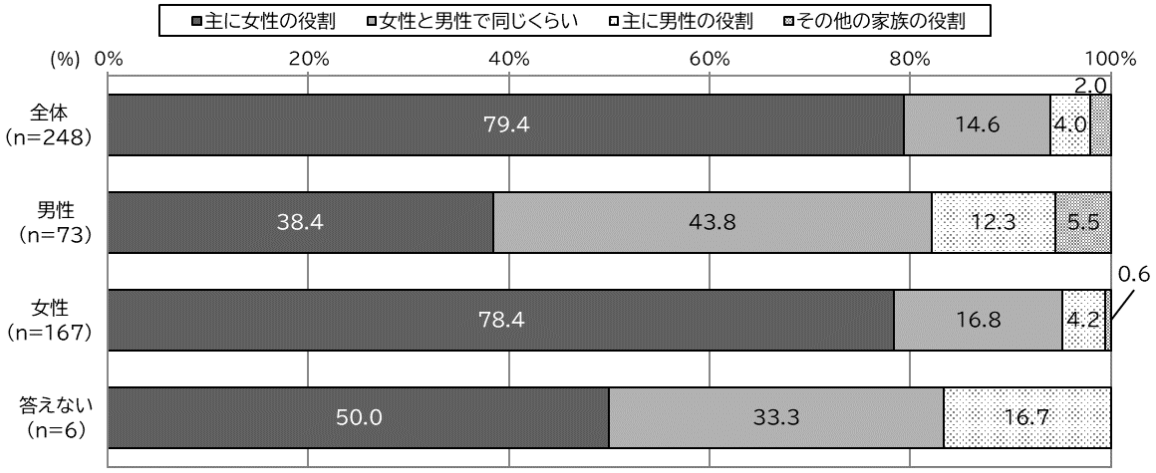
●婚姻別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=253）
79.4
14.6
4.0
2.0
結婚している（事実婚を含む）（n=204）
82.8
12.7
2.9
1.5
結婚していたことがある（死別、離別）（n=31）
80.6
9.7
6.5
3.2
結婚していない（n=17）
35.3
47.1
11.8
5.9

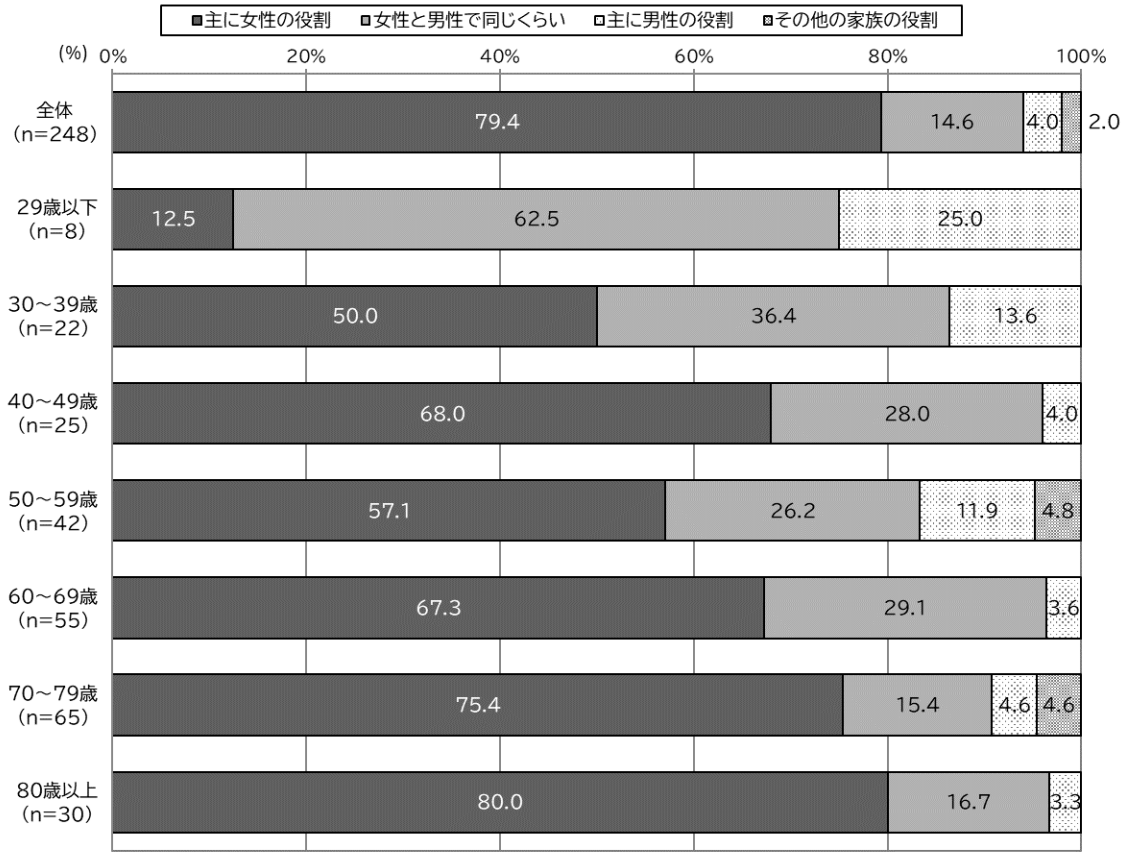
問１【現実】　イ　食事の後片づけ

○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」「主に男性の役割」が高くなっています。
○「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚している（事実婚を含む）」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」と「主に男性の役割」が高くなっています。

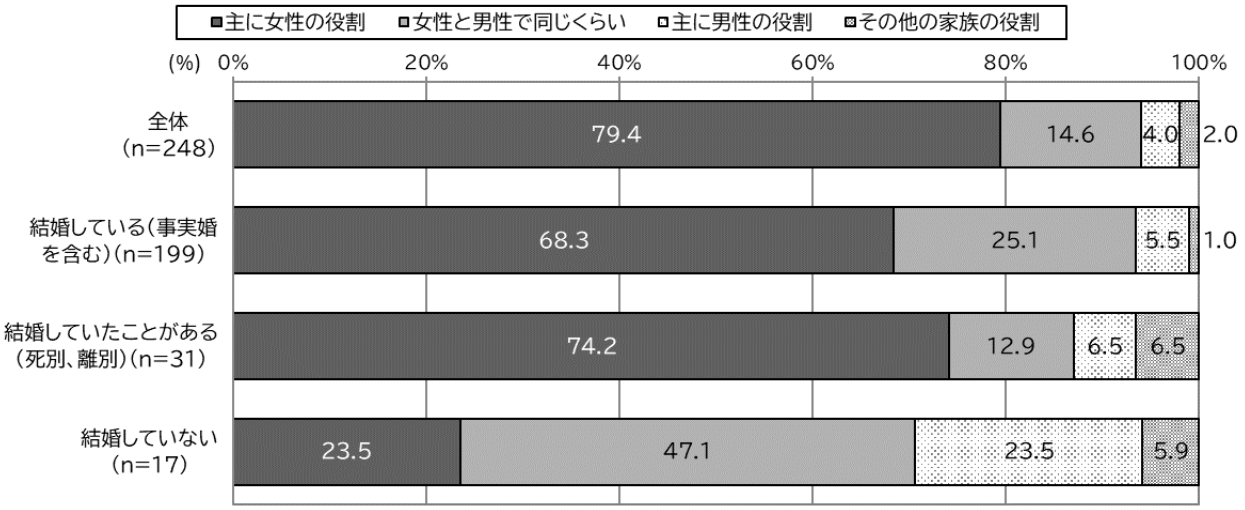
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ▨その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=248） 79.4 14.6 4.0 2.0
29歳以下（n=8） 12.5 62.5 25.0
30～39歳（n=22） 50.0 36.4 13.6
40～49歳（n=25） 68.0 28.0 4.0
50～59歳（n=42） 57.1 26.2 11.9 4.8
60～69歳（n=55） 67.3 29.1 3.6
70～79歳（n=65） 75.4 15.4 4.6 4.6
80歳以上（n=30） 80.0 16.7 3.3

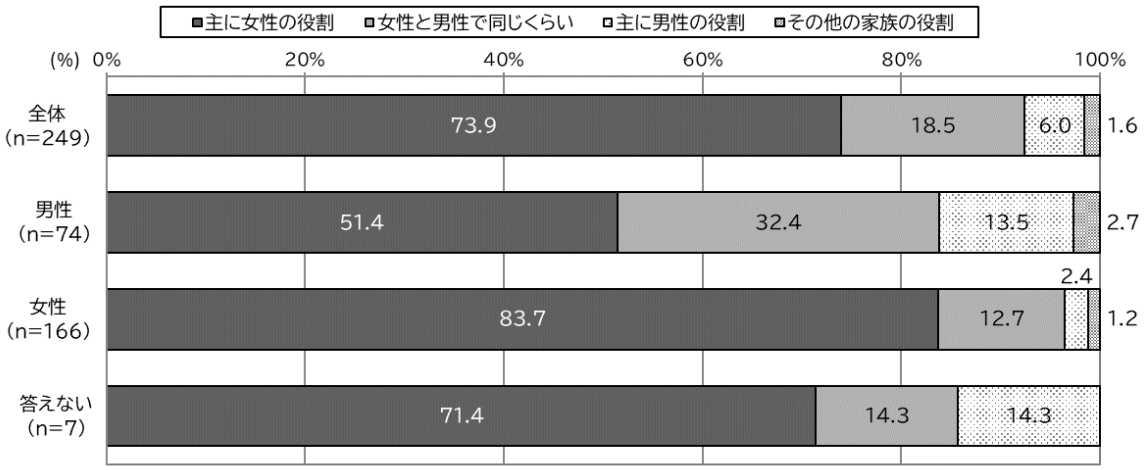
●婚姻別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ▨その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=248） 79.4 14.6 4.0 2.0
結婚している（事実婚を含む）（n=199） 68.3 25.1 5.5 1.0
結婚していたことがある（死別、離別）（n=31） 74.2 12.9 6.5 6.5
結婚していない（n=17） 23.5 47.1 23.5 5.9

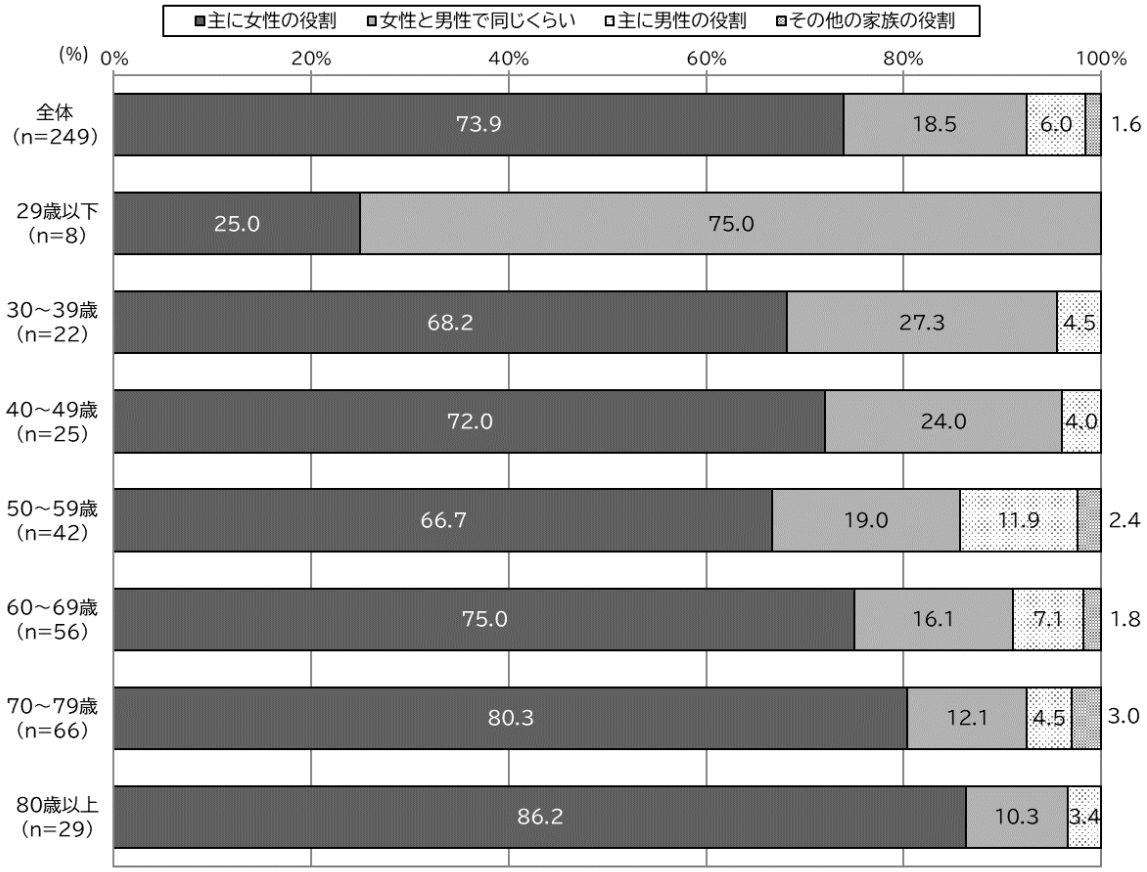
問１【現実】　ウ　洗濯

○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「女性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「主に男性の役割」と回答した割合が低くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」と「主に男性の役割」が高くなっています。

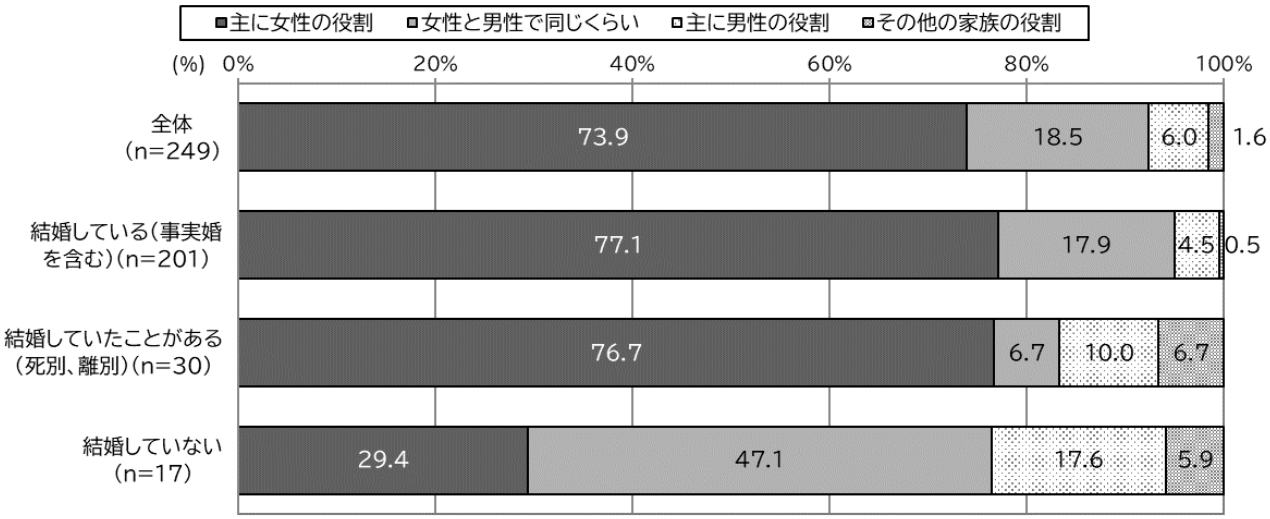
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=249） 73.9 18.5 6.0 1.6
29歳以下（n=8） 25.0 75.0
30～39歳（n=22） 68.2 27.3 4.5
40～49歳（n=25） 72.0 24.0 4.0
50～59歳（n=42） 66.7 19.0 11.9 2.4
60～69歳（n=56） 75.0 16.1 7.1 1.8
70～79歳（n=66） 80.3 12.1 4.5 3.0
80歳以上（n=29） 86.2 10.3 3.4

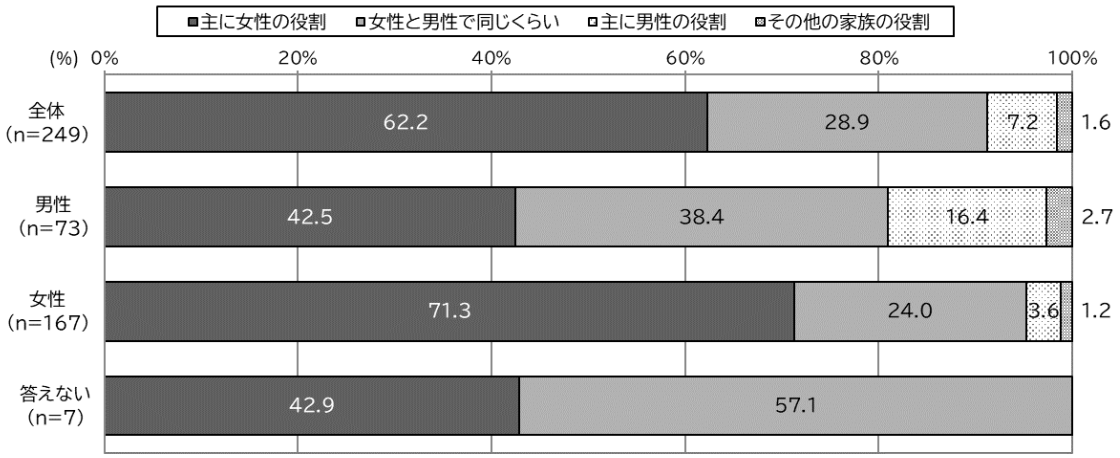
●婚姻別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=249） 73.9 18.5 6.0 1.6
結婚している（事実婚を含む）（n=201） 77.1 17.9 4.5 0.5
結婚していたことがある（死別、離別）（n=30） 76.7 6.7 10.0 6.7
結婚していない（n=17） 29.4 47.1 17.6 5.9

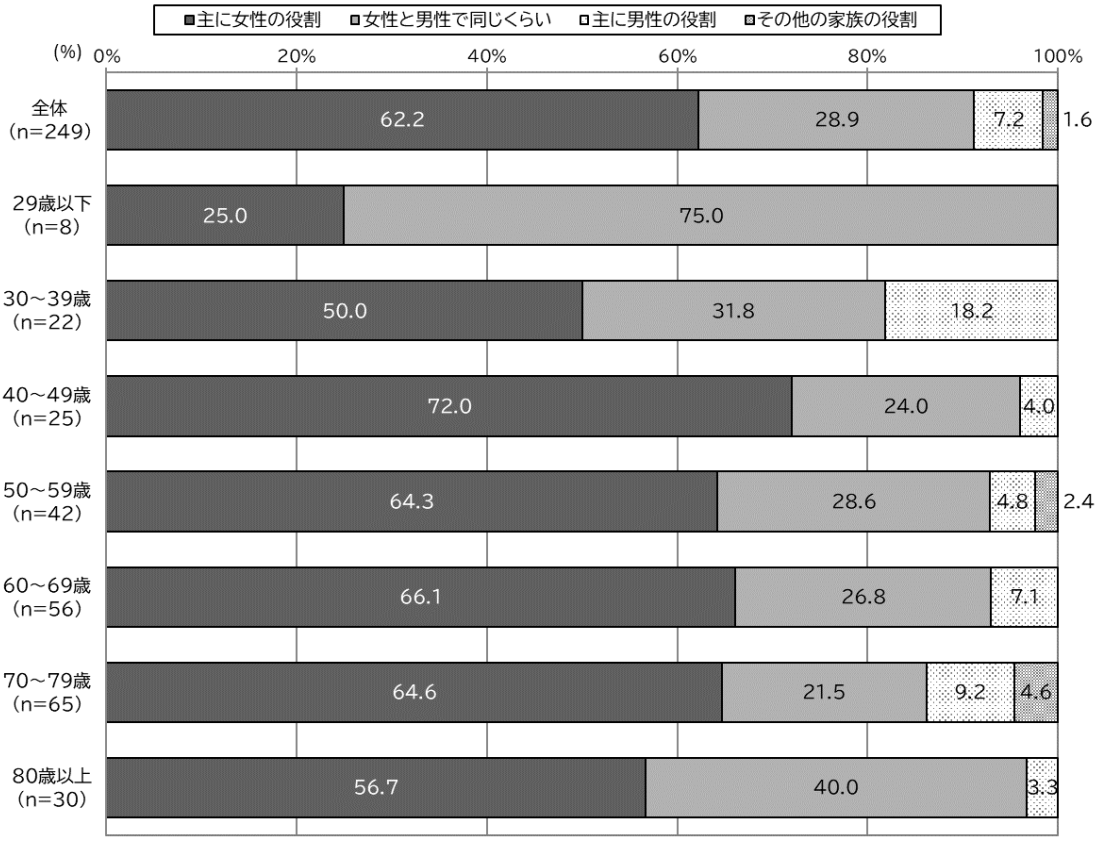
問１【現実】　エ　掃除

○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「主に男性の役割」が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」と「主に男性の役割」が高くなっています。

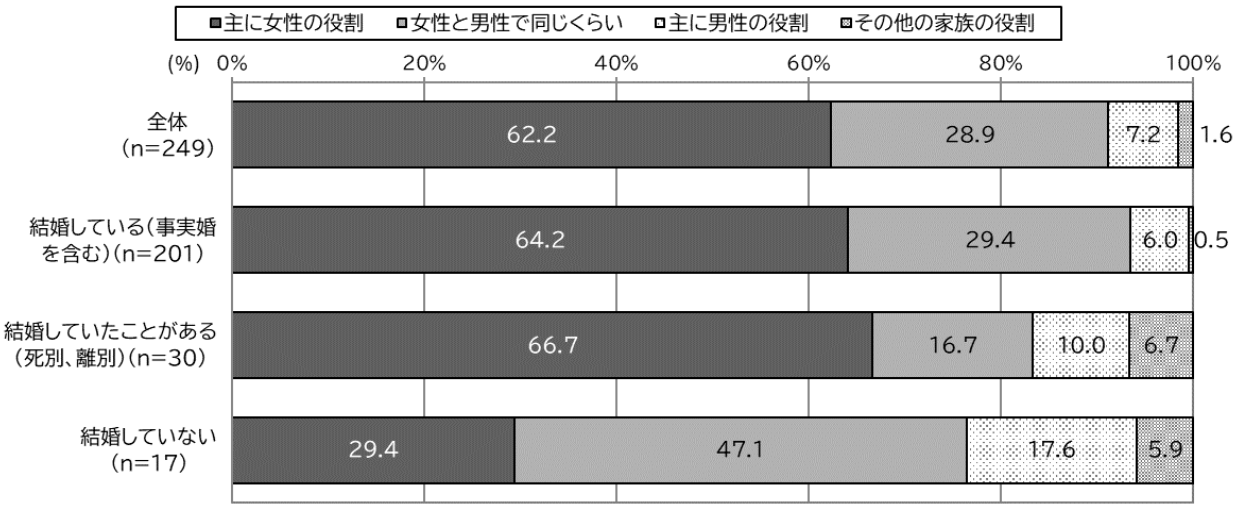
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体 (n=249) 62.2 28.9 7.2 1.6
29歳以下 (n=8) 25.0 75.0
30～39歳 (n=22) 50.0 31.8 18.2
40～49歳 (n=25) 72.0 24.0 4.0
50～59歳 (n=42) 64.3 28.6 4.8 2.4
60～69歳 (n=56) 66.1 26.8 7.1
70～79歳 (n=65) 64.6 21.5 9.2 4.6
80歳以上 (n=30) 56.7 40.0 3.3

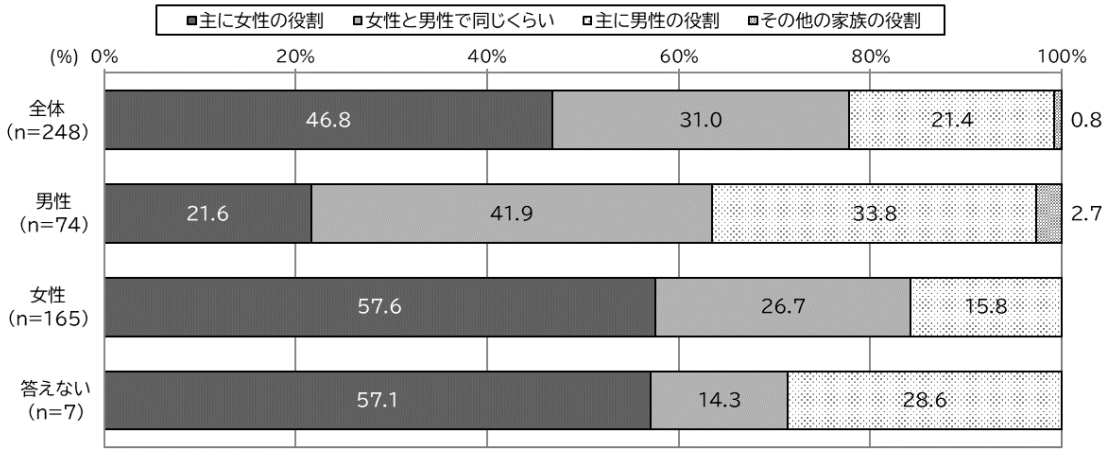
●婚姻別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体 (n=249) 62.2 28.9 7.2 1.6
結婚している(事実婚を含む)(n=201) 64.2 29.4 6.0 0.5
結婚していたことがある(死別、離別)(n=30) 66.7 16.7 10.0 6.7
結婚していない (n=17) 29.4 47.1 17.6 5.9

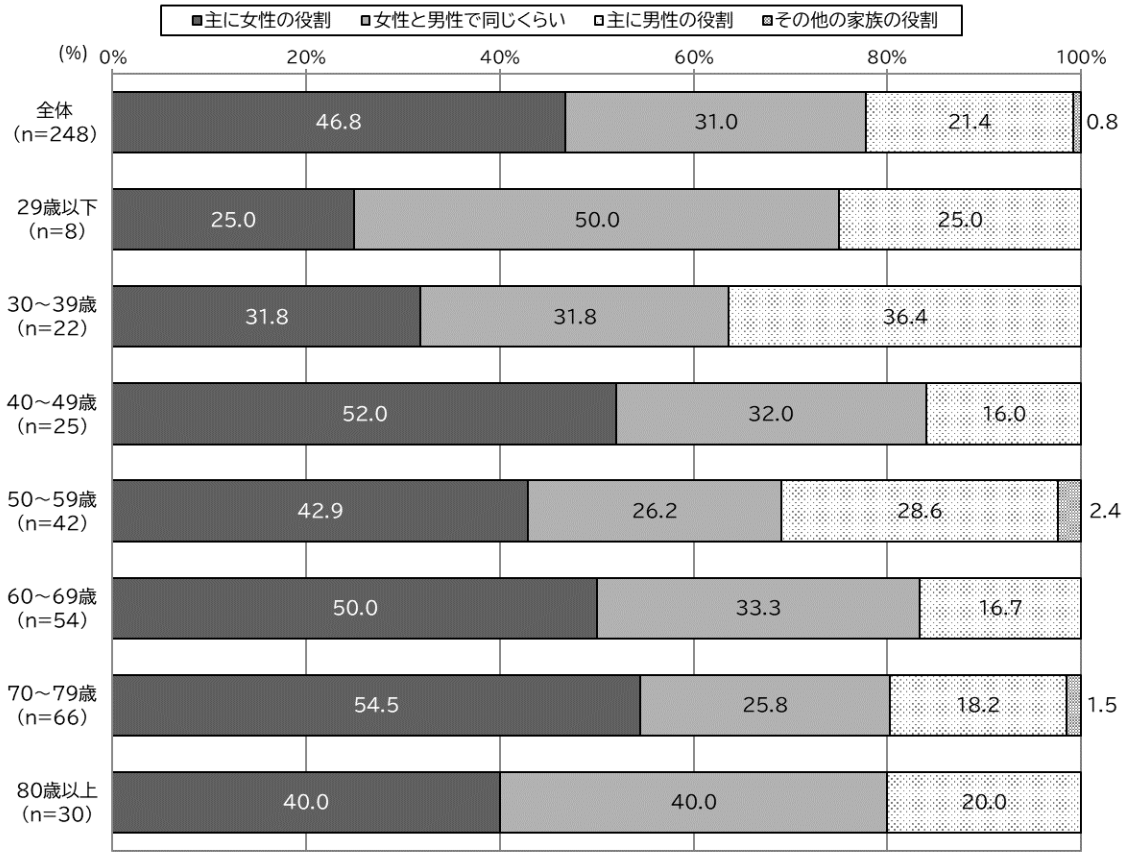
問１【現実】　オ　ゴミ出し

○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」「主に男性の役割」が高くなっています。
○「女性」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「主に男性の役割」が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「主に男性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「主に男性の役割」が低くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。

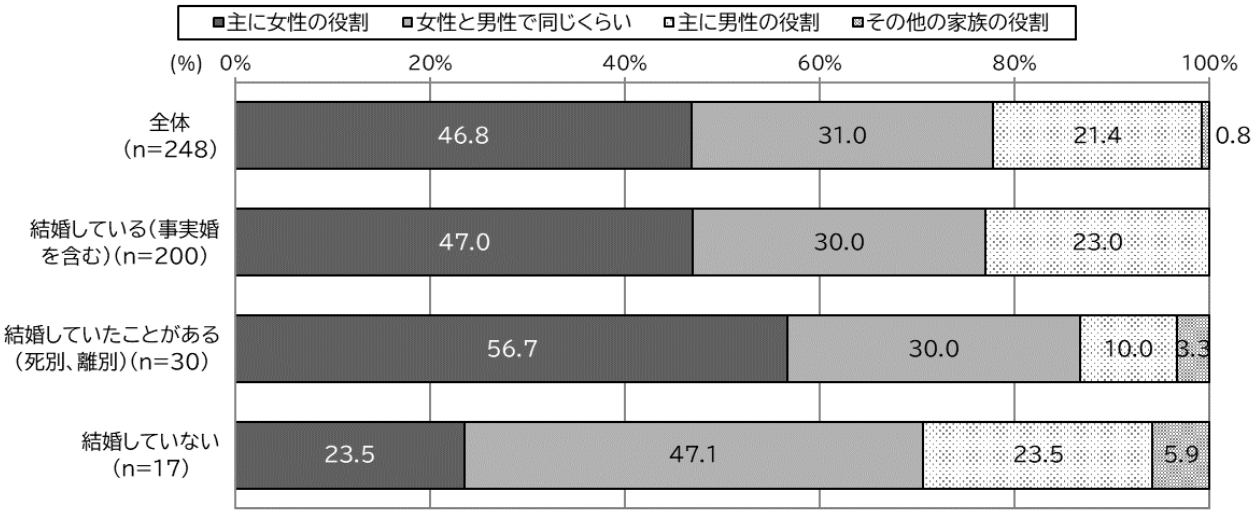
●性別



●年代別


主に女性の役割
女性と男性で同じくらい
主に男性の役割
その他の家族の役割
(%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=248）
46.8
31.0
21.4
0.8
29歳以下（n=8）
25.0
50.0
25.0
30～39歳（n=22）
31.8
31.8
36.4
40～49歳（n=25）
52.0
32.0
16.0
50～59歳（n=42）
42.9
26.2
28.6
2.4
60～69歳（n=54）
50.0
33.3
16.7
70～79歳（n=66）
54.5
25.8
18.2
1.5
80歳以上（n=30）
40.0
40.0
20.0

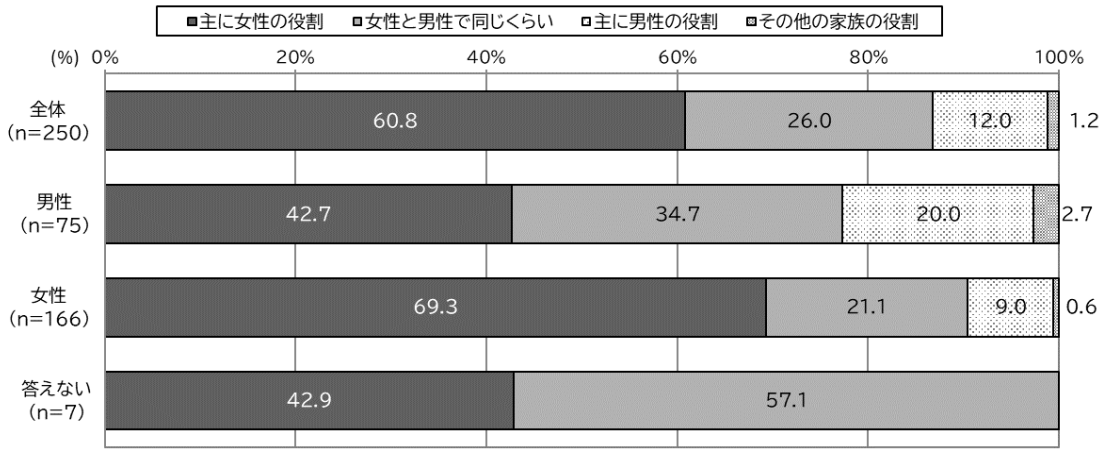
●婚姻別


主に女性の役割
女性と男性で同じくらい
主に男性の役割
その他の家族の役割
(%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=248）
46.8
31.0
21.4
0.8
結婚している（事実婚を含む）（n=200）
47.0
30.0
23.0
結婚していたことがある（死別、離別）（n=30）
56.7
30.0
10.0
3.3
結婚していない（n=17）
23.5
47.1
23.5
5.9

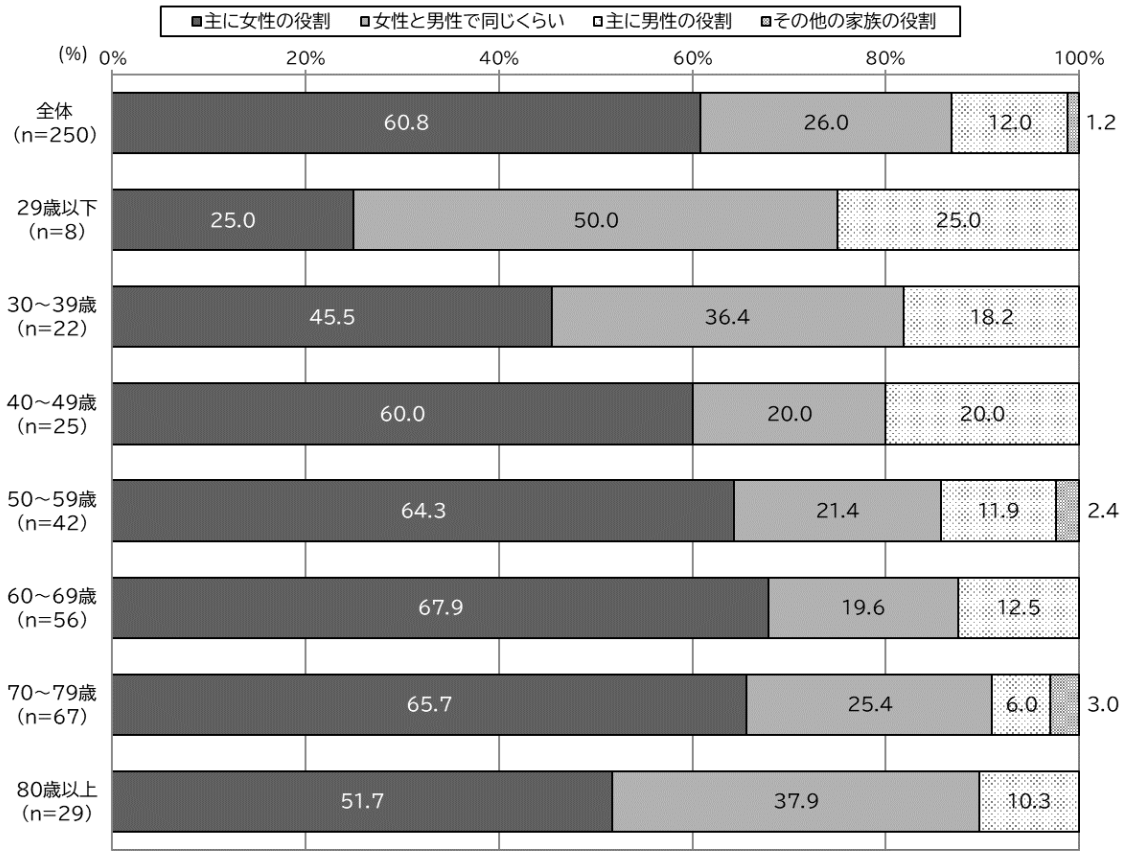
問１【現実】　カ　日常的な家計管理

○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が低くなっています。
○「女性」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」「主に男性の役割」が高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。

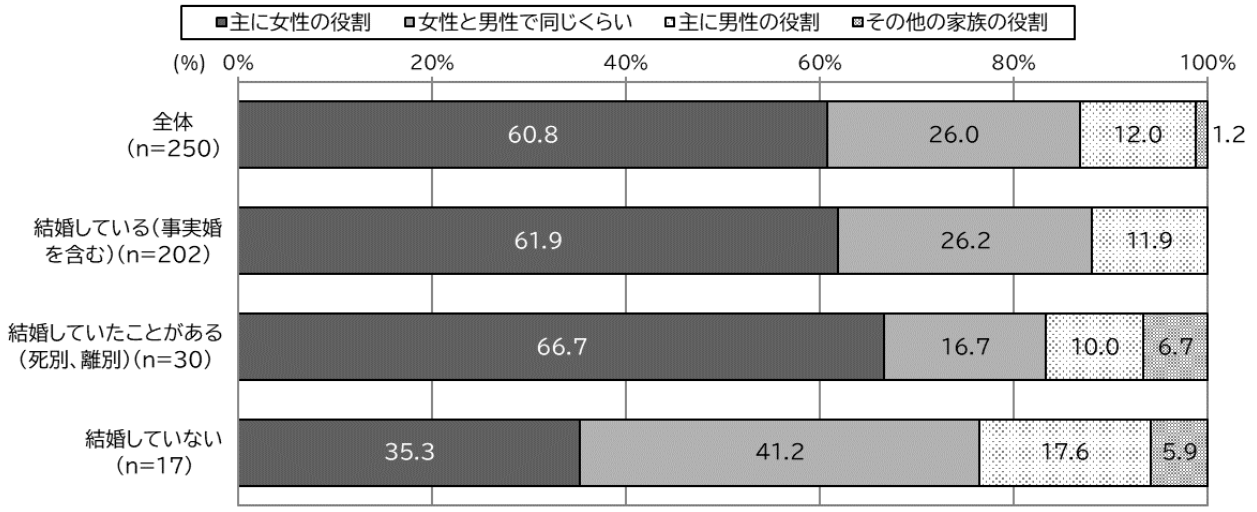
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ▨その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=250） 60.8 26.0 12.0 1.2
29歳以下（n=8） 25.0 50.0 25.0
30～39歳（n=22） 45.5 36.4 18.2
40～49歳（n=25） 60.0 20.0 20.0
50～59歳（n=42） 64.3 21.4 11.9 2.4
60～69歳（n=56） 67.9 19.6 12.5
70～79歳（n=67） 65.7 25.4 6.0 3.0
80歳以上（n=29） 51.7 37.9 10.3

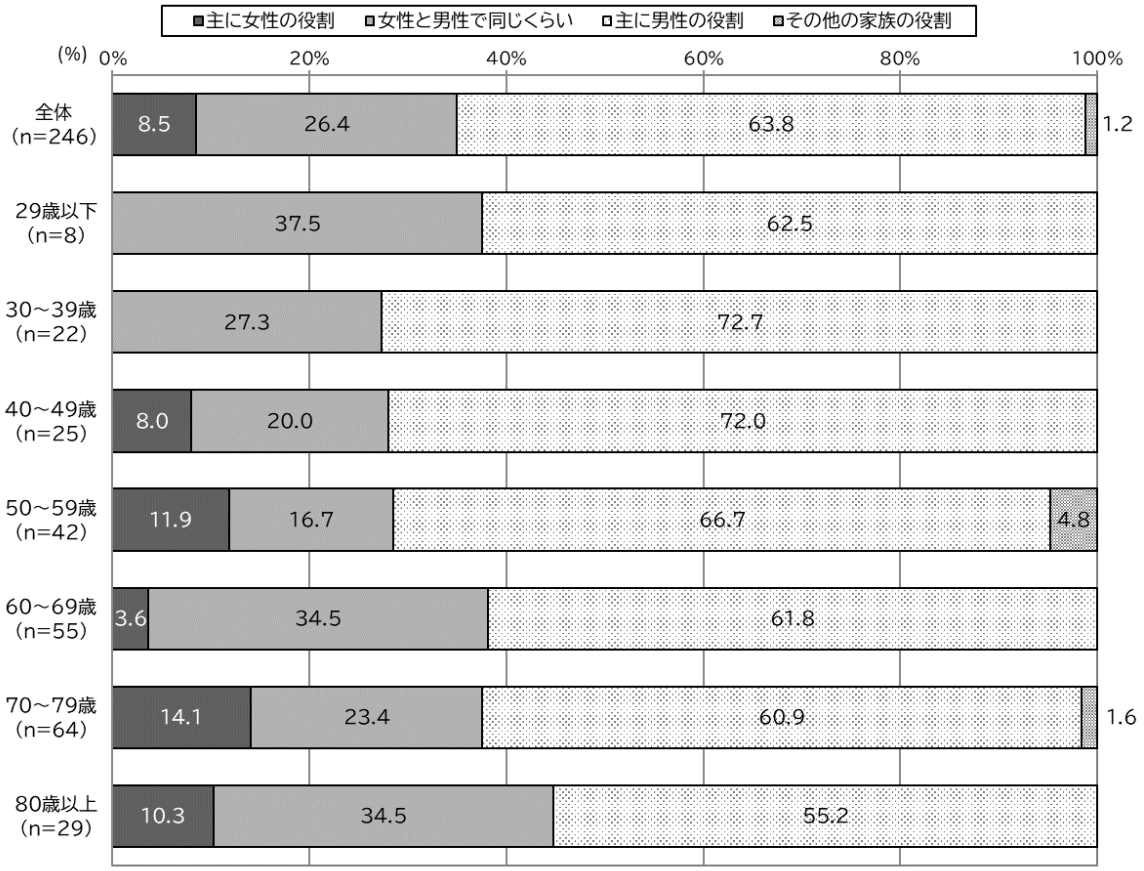
●婚姻別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ▨その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=250） 60.8 26.0 12.0 1.2
結婚している（事実婚を含む）（n=202） 61.9 26.2 11.9
結婚していたことがある（死別、離別）（n=30） 66.7 16.7 10.0 6.7
結婚していない（n=17） 35.3 41.2 17.6 5.9

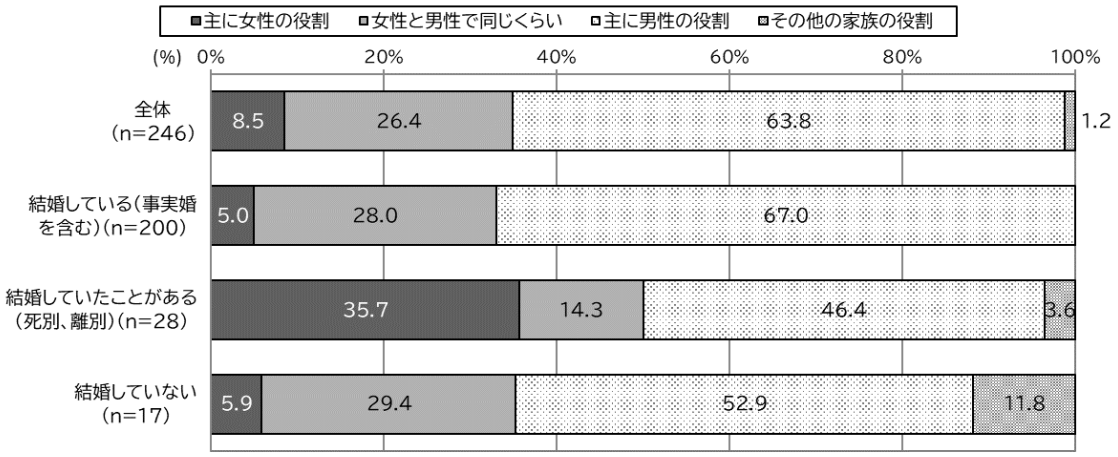
問１【現実】　キ　家庭の収入割合

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「主に男性の役割」が低くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「主に男性の役割」と回答した割合は低く、「その他の家族の割合」が高くなっています。

●年代別



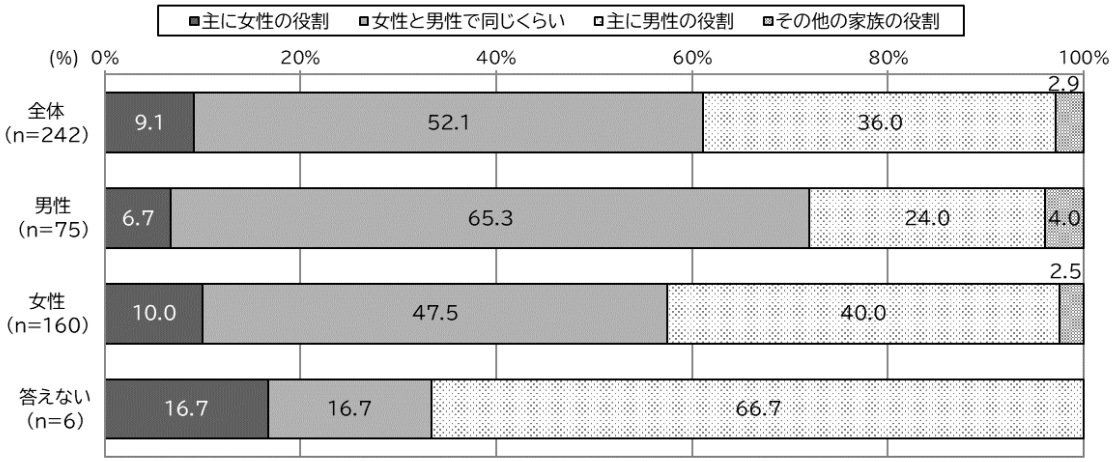
●婚姻別



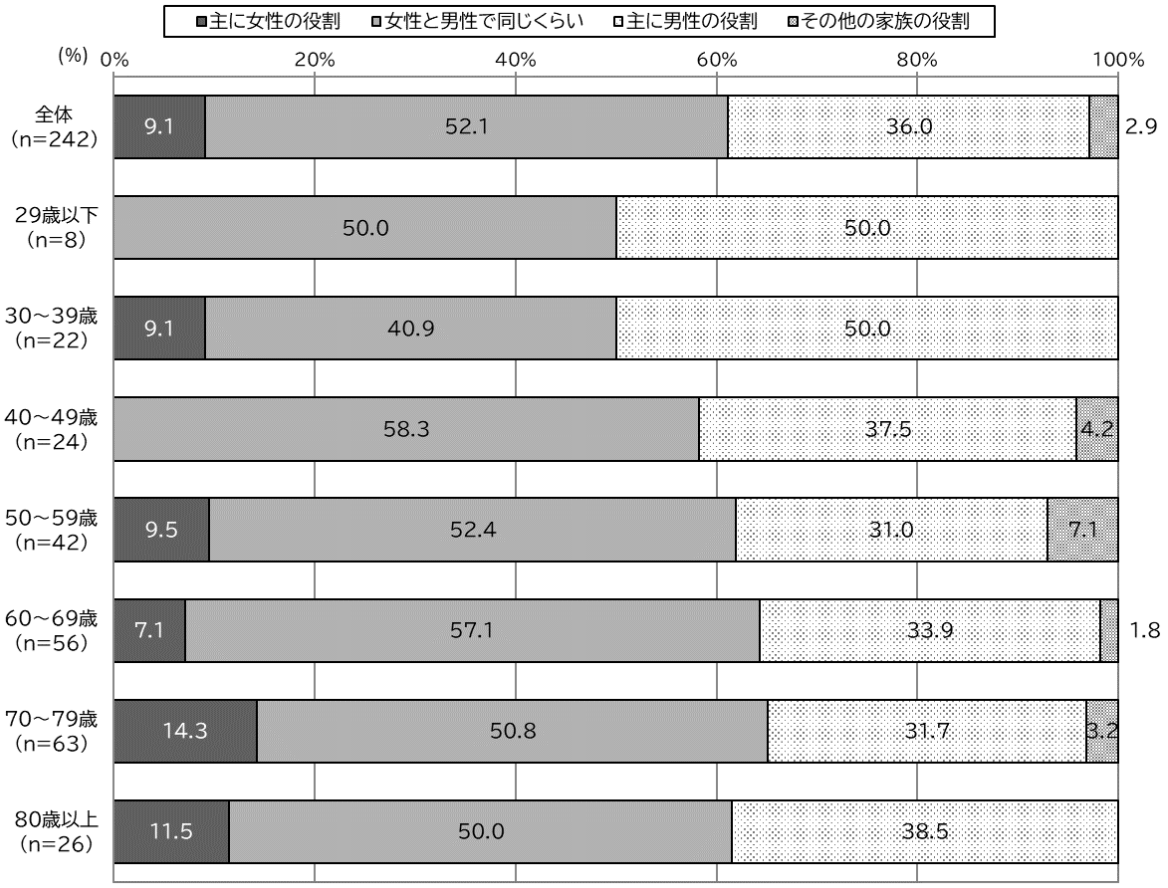
問１【現実】　ク　土地や家屋の購入決定

○性別では、「男性」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合は高く、「主に男性の役割」が低くなっています。
○年代別では、「29歳以下」と「30～39歳」で全体と比較して「主に男性の役割」と回答した割合が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「女性と男性で同じくらい」と「主に男性の役割」が低くなっています。

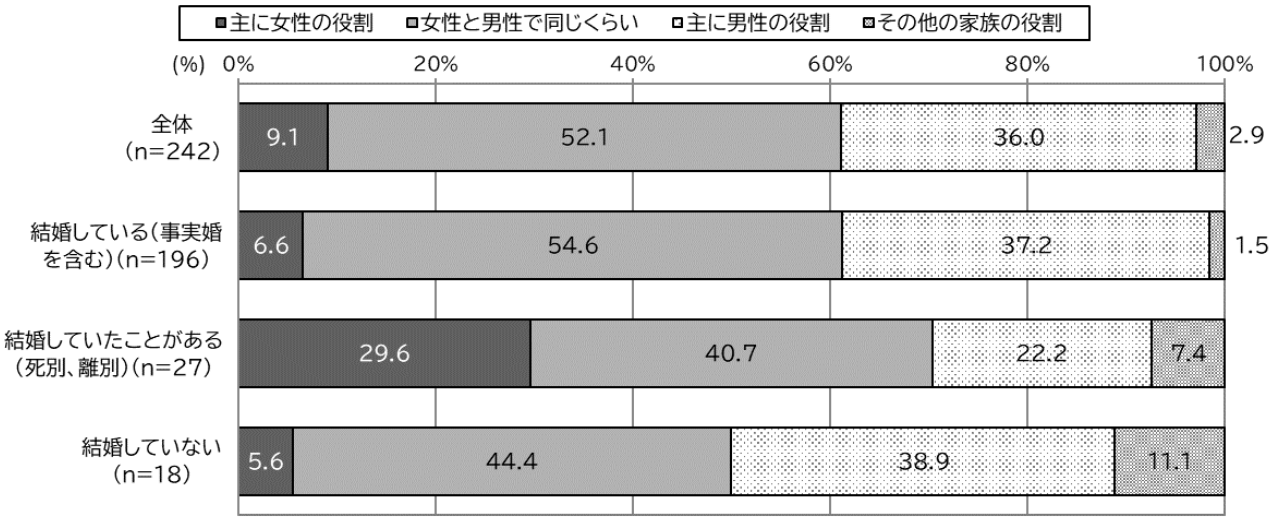
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体 (n=242) 9.1 52.1 36.0 2.9
29歳以下 (n=8) 50.0 50.0
30～39歳 (n=22) 9.1 40.9 50.0
40～49歳 (n=24) 58.3 37.5 4.2
50～59歳 (n=42) 9.5 52.4 31.0 7.1
60～69歳 (n=56) 7.1 57.1 33.9 1.8
70～79歳 (n=63) 14.3 50.8 31.7 3.2
80歳以上 (n=26) 11.5 50.0 38.5

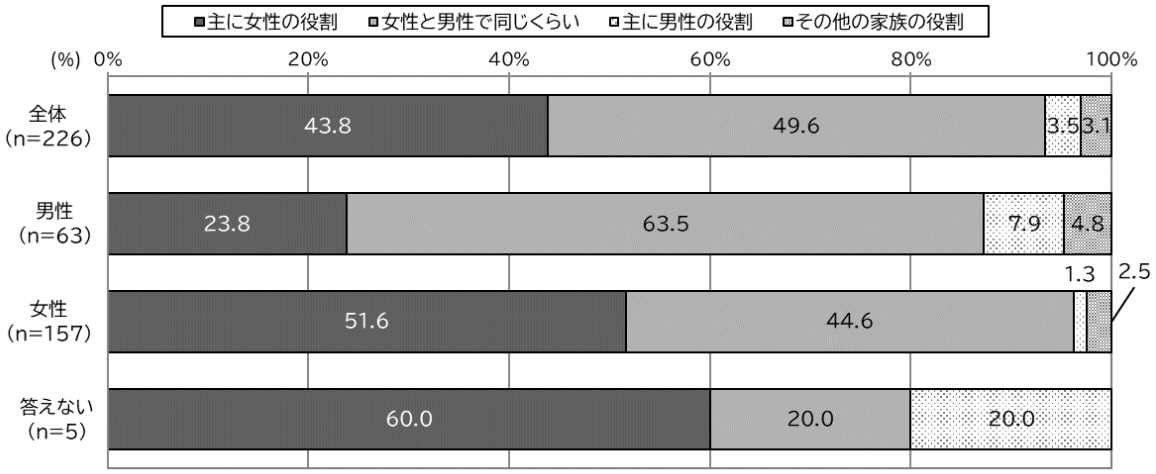
●婚姻別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体 (n=242) 9.1 52.1 36.0 2.9
結婚している(事実婚を含む)(n=196) 6.6 54.6 37.2 1.5
結婚していたことがある(死別、離別)(n=27) 29.6 40.7 22.2 7.4
結婚していない (n=18) 5.6 44.4 38.9 11.1

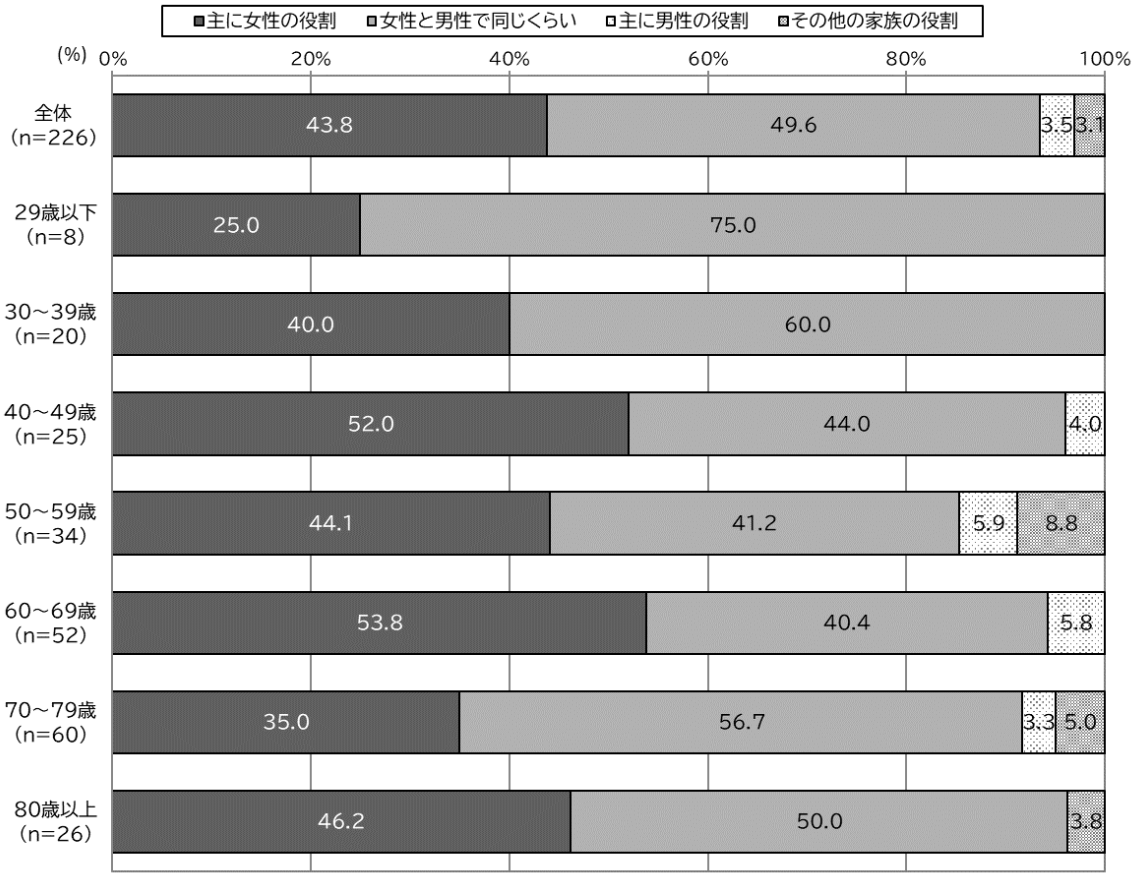
問１【現実】　ケ　子どもの世話やしつけ、教育

○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が低くなっています。

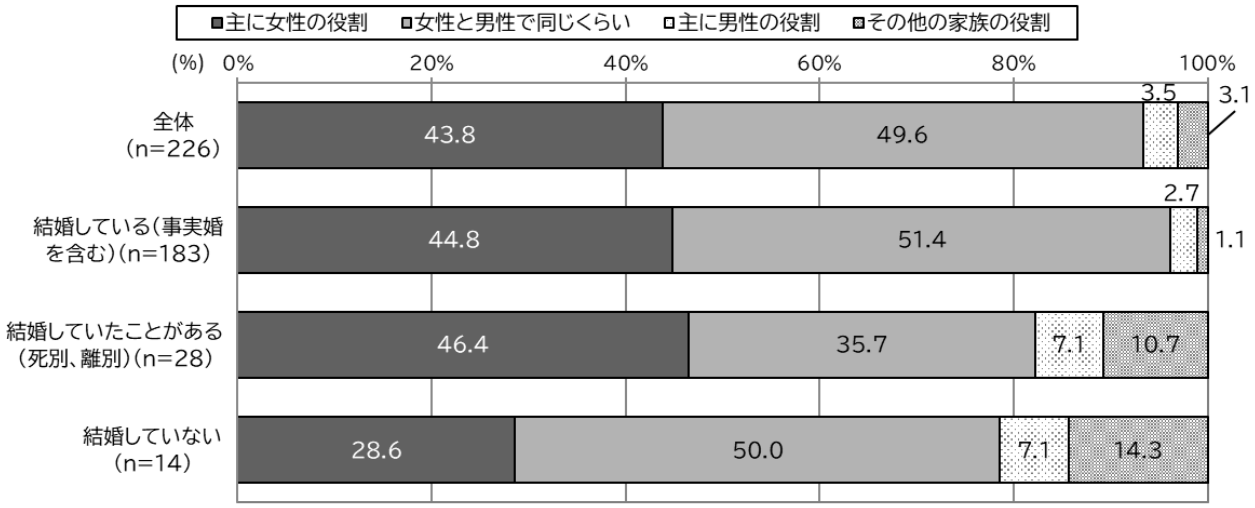
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=226） 43.8 49.6 3.5 3.1
29歳以下（n=8） 25.0 75.0
30～39歳（n=20） 40.0 60.0
40～49歳（n=25） 52.0 44.0 4.0
50～59歳（n=34） 44.1 41.2 5.9 8.8
60～69歳（n=52） 53.8 40.4 5.8
70～79歳（n=60） 35.0 56.7 3.3 5.0
80歳以上（n=26） 46.2 50.0 3.8

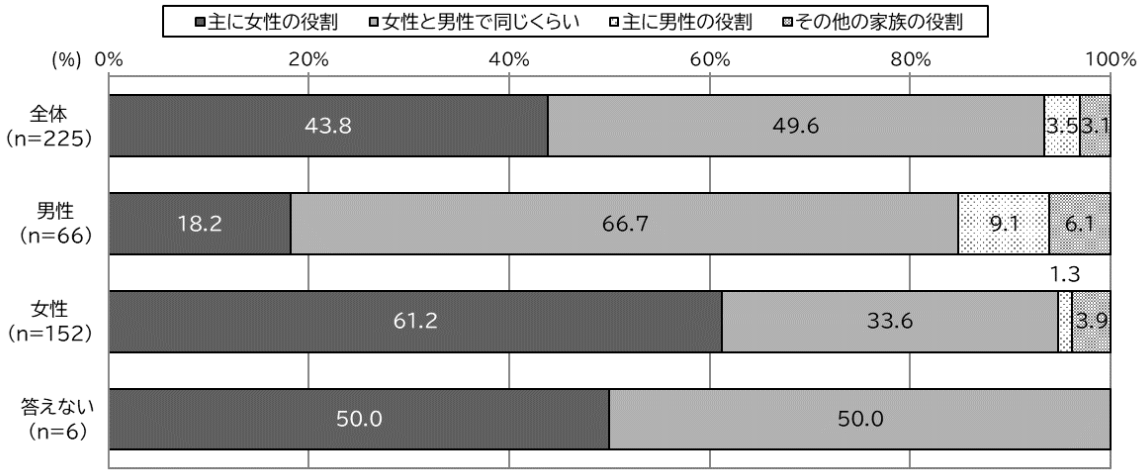
●婚姻別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=226） 43.8 49.6 3.5 3.1
結婚している（事実婚を含む）（n=183） 44.8 51.4 2.7 1.1
結婚していたことがある（死別、離別）（n=28） 46.4 35.7 7.1 10.7
結婚していない（n=14） 28.6 50.0 7.1 14.3

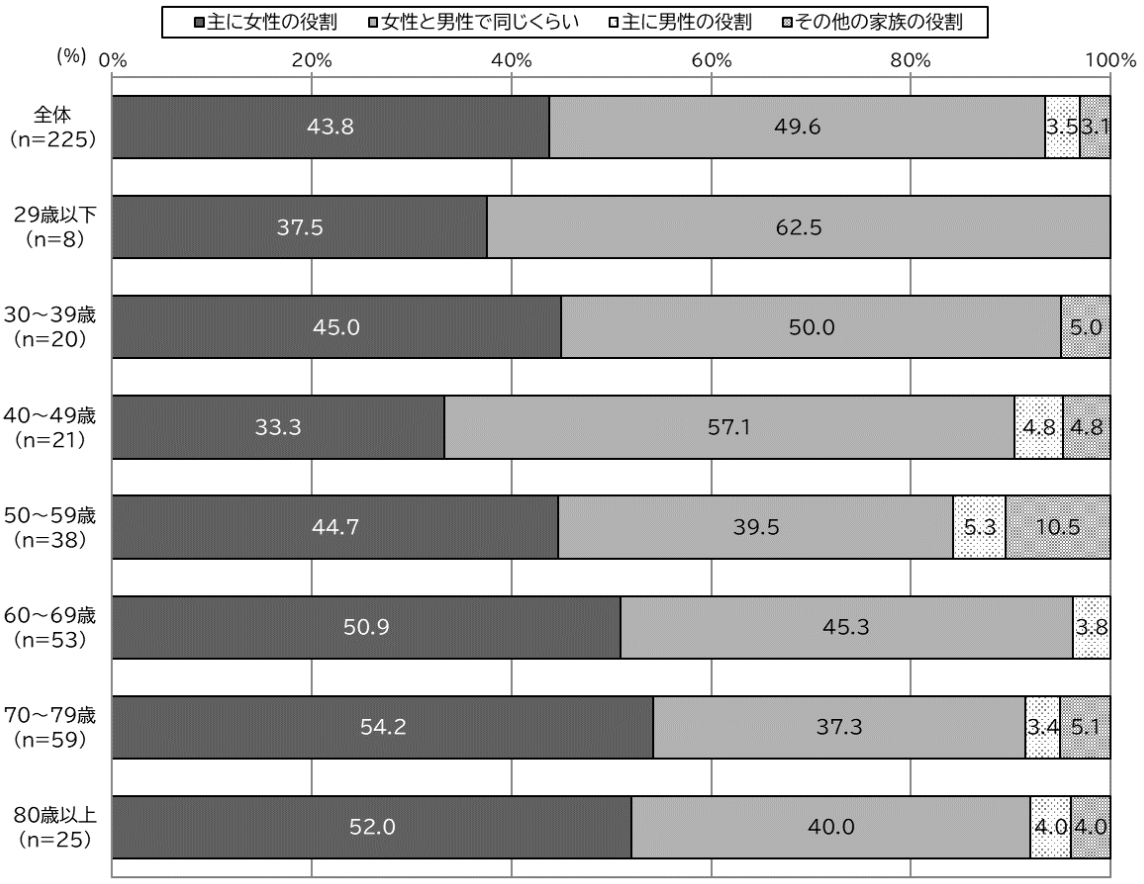
問１【現実】　コ　高齢者や病人の介護・看病

○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「女性と男性で同じくらい」が高くなっています。
○「女性」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「女性と男性で同じくらい」が低くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「女性と男性と同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が低くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「女性と男性で同じくらい」が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「主に男性の役割」が高くなっています。

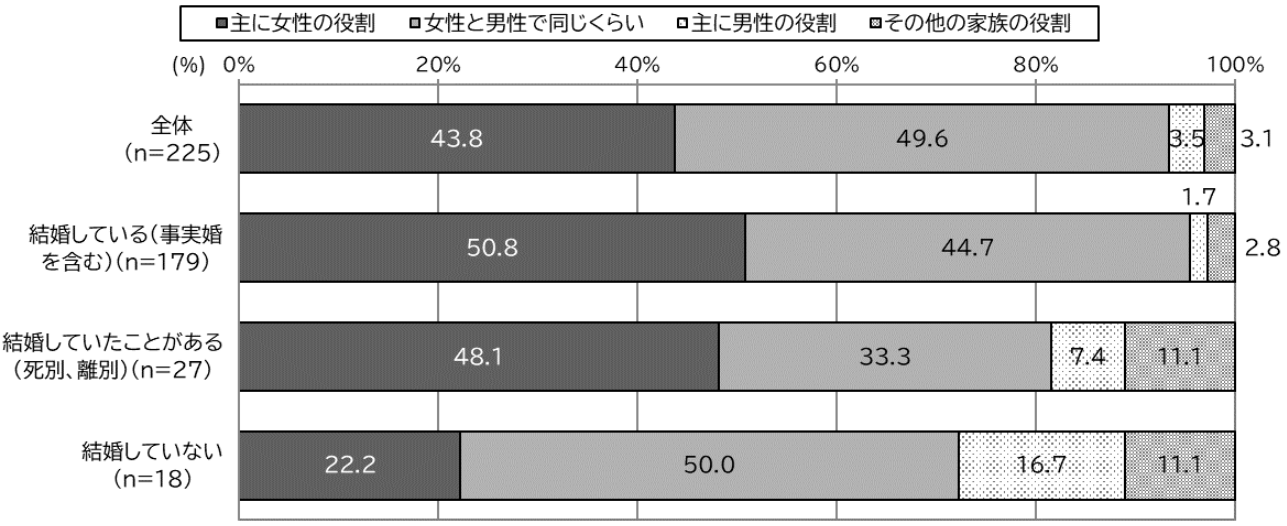
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=225） 43.8 49.6 3.5 3.1
29歳以下（n=8） 37.5 62.5
30～39歳（n=20） 45.0 50.0 5.0
40～49歳（n=21） 33.3 57.1 4.8 4.8
50～59歳（n=38） 44.7 39.5 5.3 10.5
60～69歳（n=53） 50.9 45.3 3.8
70～79歳（n=59） 54.2 37.3 3.4 5.1
80歳以上（n=25） 52.0 40.0 4.0 4.0

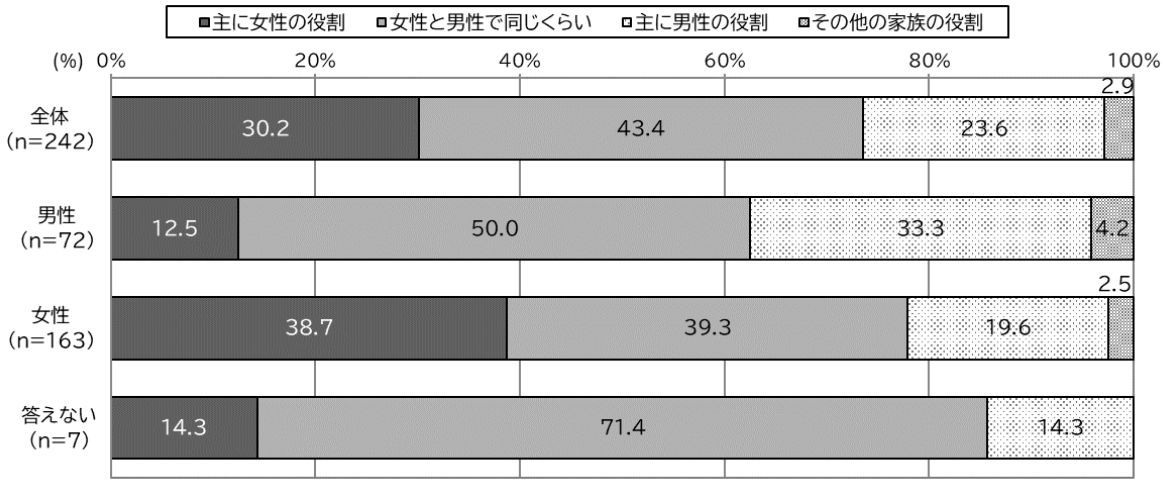
●婚姻別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=225） 43.8 49.6 3.5 3.1
結婚している（事実婚を含む）（n=179） 50.8 44.7 1.7 2.8
結婚していたことがある（死別、離別）（n=27） 48.1 33.3 7.4 11.1
結婚していない（n=18） 22.2 50.0 16.7 11.1

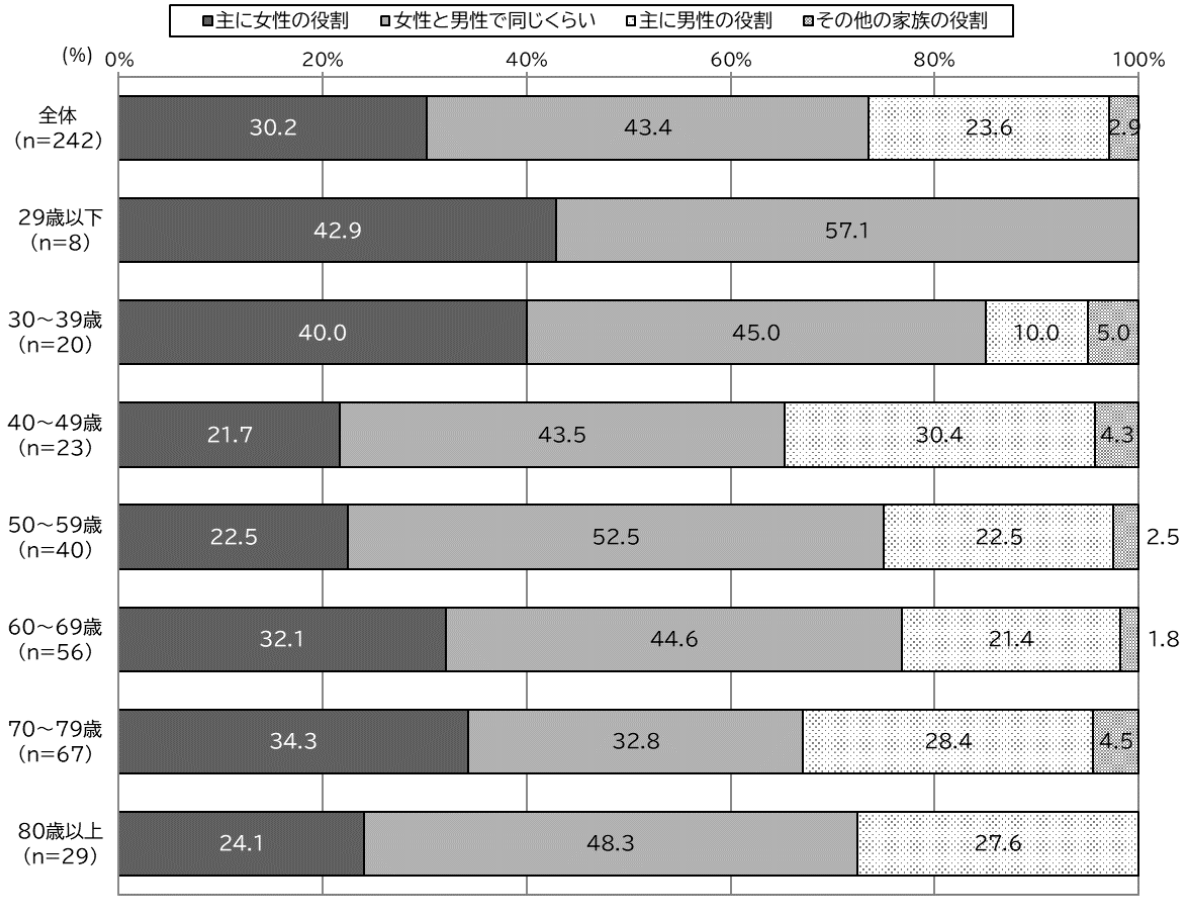
問１【現実】　サ　町内会などへの出席や近所づきあい

○性別では、「男性」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は低く、「主に男性の役割」が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」では全体と比較して「主に女性の役割」「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「主に男性の役割」が低くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「女性と男性で同じくらい」と回答した割合が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合は高く、「女性と男性で同じくらい」が低くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「主に女性の役割」と回答した割合が低くなっています。

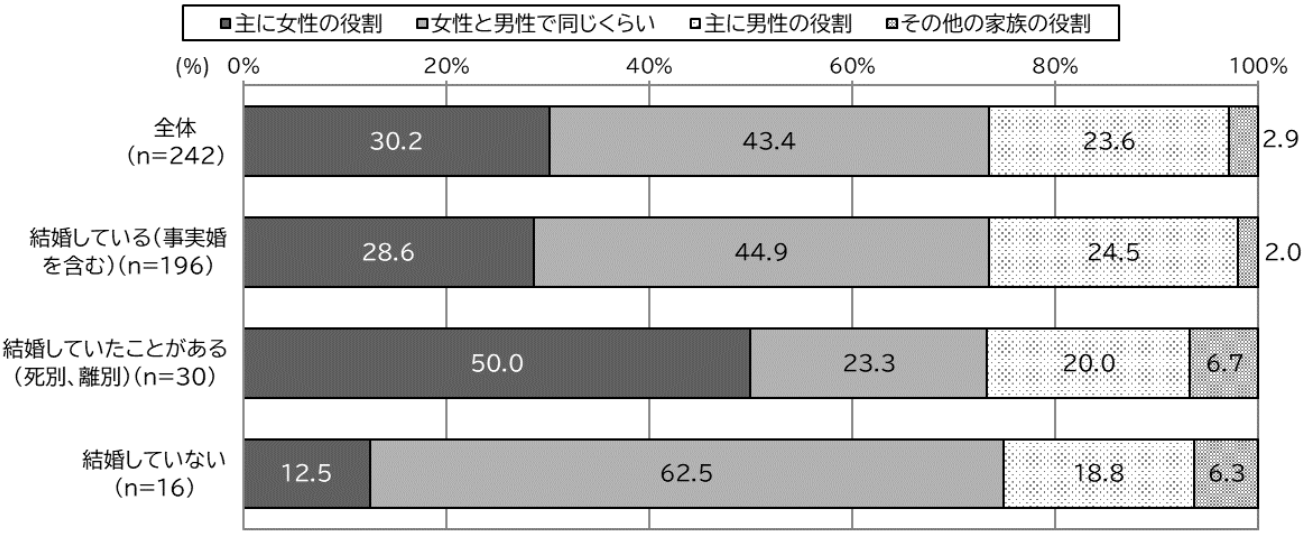
●性別



●年代別


■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=242） 30.2 43.4 23.6 2.9
29歳以下（n=8） 42.9 57.1
30～39歳（n=20） 40.0 45.0 10.0 5.0
40～49歳（n=23） 21.7 43.5 30.4 4.3
50～59歳（n=40） 22.5 52.5 22.5 2.5
60～69歳（n=56） 32.1 44.6 21.4 1.8
70～79歳（n=67） 34.3 32.8 28.4 4.5
80歳以上（n=29） 24.1 48.3 27.6

●婚姻別

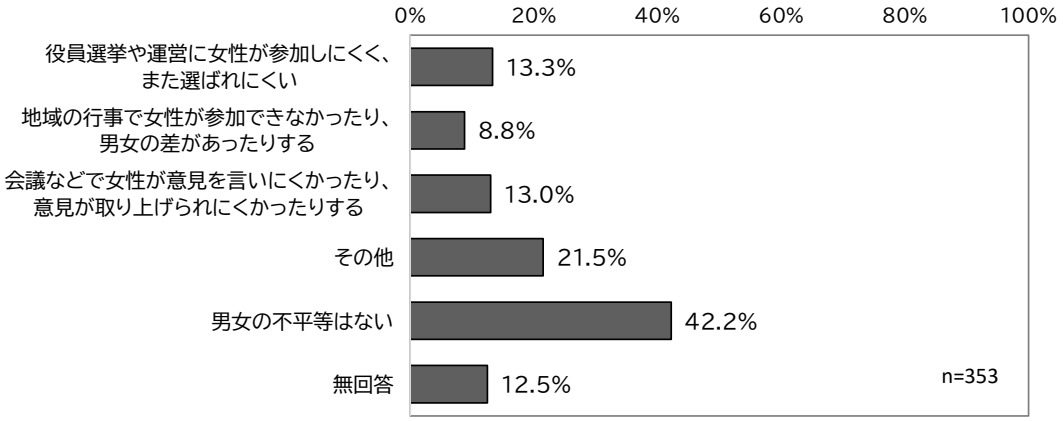

■主に女性の役割 ■女性と男性で同じくらい □主に男性の役割 ■その他の家族の役割
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=242） 30.2 43.4 23.6 2.9
結婚している（事実婚を含む）（n=196） 28.6 44.9 24.5 2.0
結婚していたことがある（死別、離別）（n=30） 50.0 23.3 20.0 6.7
結婚していない（n=16） 12.5 62.5 18.8 6.3

2　地域活動について

問 2　あなたが住んでいる地域の活動や行事等に、男女の不平等はありますか。【あてはまるものすべてに○】

○「男女の不平等はない」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「その他」の割合が 21.5%、「役員選挙や運営に女性が参加しにくく、また選ばれにくい」の割合が 13.3%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
役員選挙や運営に女性が参加しにくく、また選ばれにくい	47	13.3%
地域の行事で女性が参加できなかったり、男女の差があったりする	31	8.8%
会議などで女性が意見を言いにくかったり、意見が取り上げられにくかったりする	46	13.0%
その他	76	21.5%
男女の不平等はない	149	42.2%
無回答	44	12.5%



その他の回答内容
わからない(10 件)、参加していない(7件)、女性の参加が少ない(2件)、高齢者優先に関すること(2件)、男性優先に関すること(2件) いじめに関すること(1件)、障害を持っているので地域の活動や行事等に出席しない(1件)、女性が参加しにくいとかでは無く、女の人は出て来ない様に思う(1件)、地域の行事等交代に関すること(1件)、時と場合により活動が分かれる(1件)、新しい意見や提案には一切耳を傾けようとしないと思う(1件)、特に気にしたことがない(1件)、町内会等に加入していない(1件)

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「会議などで女性が意見を言いにくかったり、意見が取り上げられにくかったりする」と回答した割合は高く、「男女の不平等はない」が低くなっています。

○また、「男女の不平等はない」と回答した割合は、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」では全体と比較して低くなっており、「60～69歳」では高くなっていることから年代による認識の違いが見られます。

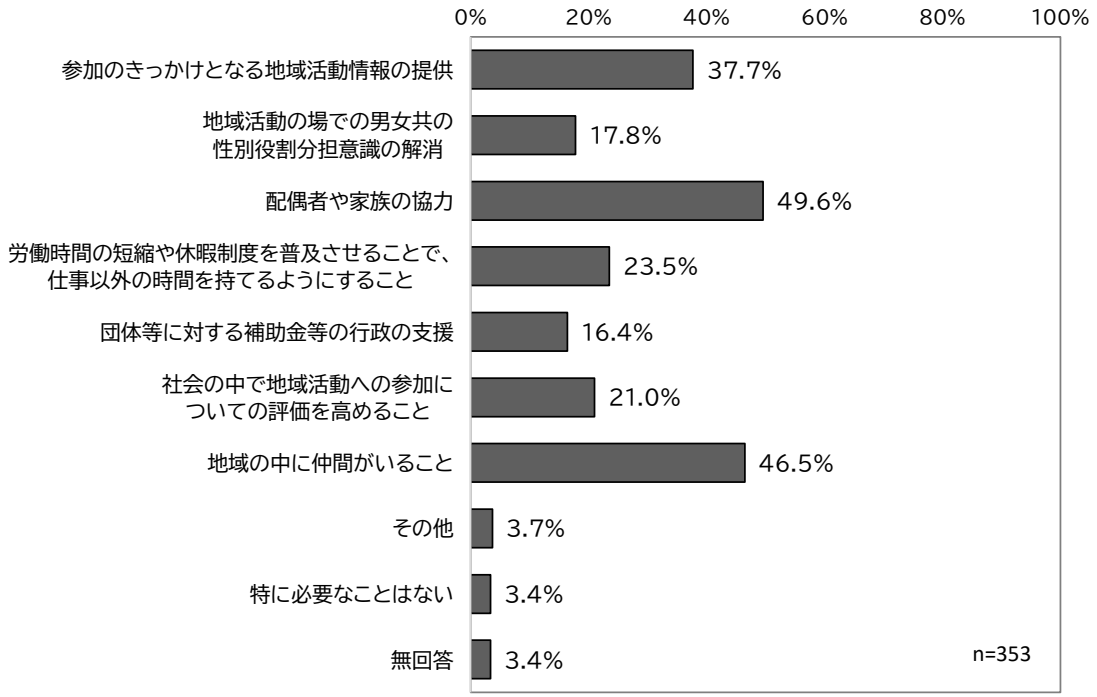
●年代別

区分	有効回答数（件）	役員選挙や運営に女性が参加しにくく、また選ばれにくい	地域の行事で女性が参加できなかったり、男女の差があったりする	会議などで女性が意見を言いにくかったり、意見が取り上げられにくかったりする	その他	男女の不平等はない	無回答
全体	353	13.3%	8.8%	13.0%	21.5%	42.2%	12.5%
29歳以下	25	8.0%	12.0%	24.0%	32.0%	28.0%	-
30～39歳	26	11.5%	11.5%	11.5%	46.2%	30.8%	-
40～49歳	35	5.7%	2.9%	11.4%	48.6%	28.6%	8.6%
50～59歳	55	7.3%	5.5%	9.1%	29.1%	47.3%	10.9%
60～69歳	71	14.1%	11.3%	5.6%	15.5%	52.1%	8.5%
70～79歳	93	20.4%	7.5%	18.3%	9.7%	43.0%	18.3%
80歳以上	46	15.2%	13.0%	15.2%	6.5%	43.5%	23.9%

問３　男性と女性がともに地域の活動や行事等に積極的に参加するためには、あなたは、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

○「配偶者や家族の協力」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「地域の中に仲間がいること」の割合が 46.5%、「参加のきっかけとなる地域活動情報の提供」の割合が 37.7%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
参加のきっかけとなる地域活動情報の提供	133	37.7%
地域活動の場での男女共の性別役割分担意識の解消	63	17.8%
配偶者や家族の協力	175	49.6%
労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること	83	23.5%
団体等に対する補助金等の行政の支援	58	16.4%
社会の中で地域活動への参加についての評価を高めること	74	21.0%
地域の中に仲間がいること	164	46.5%
その他	13	3.7%
特に必要なことはない	12	3.4%
無回答	12	3.4%



その他の回答内容
性別にかかわらず、体力、能力に応じた協力体制を整える(1件)、参加の意欲を高める魅力ある活動を計画する(1件)、人と違うことを邪険にせず個性であると理解しようと歩み寄る(1件)、地域活動の意義について啓蒙する(1件)、日常的近所付合いに関すること(1件)、移住者受入れ対応に関すること(1件)、個人の性格を尊重する(1件)、職場の理解に関すること(1件)、参加者への時間に応じた対価に関すること(1件)、わからない(1件)

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」と回答した割合は高く、「社会の中で地域活動への参加について評価を高めること」「地域の中に仲間がいること」が低くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「参加のきっかけとなる地域活動情報の提供」と「社会の中で地域活動への参加について評価を高めること」「地域の中に仲間がいること」と回答した割合は低く、「配偶者や家族の協力」が高くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「地域活動の場での男女共の性別役割分担意識の解消」「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」と回答した割合が高くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「配偶者や家族の協力」「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」と回答した割合が低くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「社会の中で地域活動への参加について評価を高めること」と回答した割合が高くなっています。

○「70～79歳」では、全体と比較して「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」と回答した割合が低くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「配偶者や家族の協力」と回答した割合が高くなっています。

○婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「配偶者や家族の協力」と回答した割合は低く、「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」が高くなっています。

●年代別

区分	有効回答数（件）	参加のきっかけとなる地域活動情報の提供	地域活動の場での男女共の性別役割分担意識の解消	配偶者や家族の協力	労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること	団体等に対する補助金等の行政の支援	社会の中で地域活動への参加についての評価を高めること	地域の中に仲間がいること	その他	特に必要なことはない	無回答
全体	353	37.7%	17.8%	49.6%	23.5%	16.4%	21.0%	46.5%	3.7%	3.4%	3.4%
29歳以下	25	32.0%	24.0%	48.0%	40.0%	8.0%	8.0%	32.0%	12.0%	-	-
30～39歳	26	26.9%	15.4%	65.4%	30.8%	11.5%	11.5%	34.6%	3.8%	11.5%	-
40～49歳	35	31.4%	8.6%	45.7%	37.1%	17.1%	25.7%	40.0%	-	-	5.7%
50～59歳	55	40.0%	25.5%	34.5%	32.7%	21.8%	14.5%	49.1%	5.5%	5.5%	-
60～69歳	71	35.2%	21.1%	53.5%	21.1%	14.1%	32.4%	46.5%	4.2%	2.8%	1.4%
70～79歳	93	46.2%	14.0%	47.3%	10.8%	16.1%	22.6%	53.8%	3.2%	1.1%	5.4%
80歳以上	46	37.0%	17.4%	60.9%	17.4%	21.7%	17.4%	47.8%	-	4.3%	8.7%

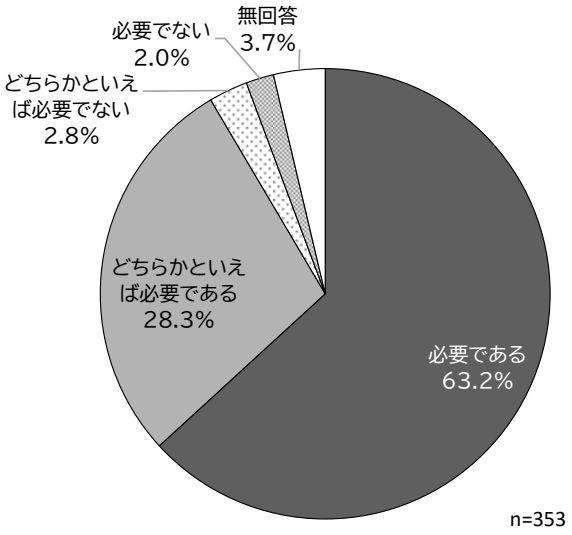
●婚姻別

区分	有効回答数（件）	参加のきっかけとなる地域活動情報の提供	地域活動の場での男女共の性別役割分担意識の解消	配偶者や家族の協力	労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること	団体等に対する補助金等の行政の支援	社会の中で地域活動への参加についての評価を高めること	地域の中に仲間がいること	その他	特に必要なことはない	無回答
全体	353	37.7%	17.8%	49.6%	23.5%	16.4%	21.0%	46.5%	3.7%	3.4%	3.4%
結婚している（事実婚を含む）	224	36.2%	16.1%	56.3%	22.3%	17.4%	22.8%	46.0%	3.1%	3.6%	2.7%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	41.9%	17.7%	40.3%	14.5%	19.4%	16.1%	53.2%	3.2%	3.2%	6.5%
結婚していない	64	40.6%	25.0%	35.9%	35.9%	10.9%	20.3%	42.2%	6.3%	1.6%	1.6%

問４　あなたは防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「必要である」の割合が 63.2％と最も高く、次いで「どちらかといえば必要である」の割合が 28.3％となっています。

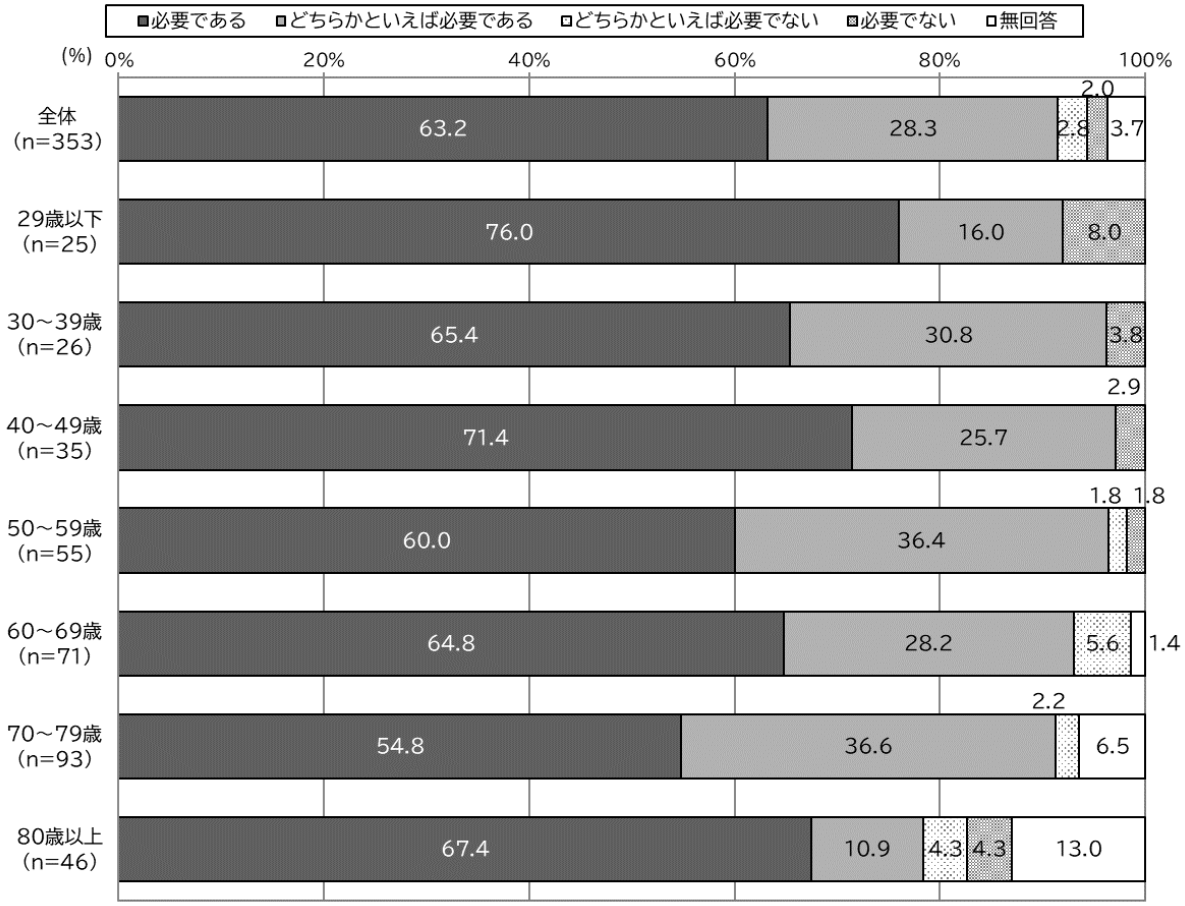
調査数(n=353)	回答数	割合
必要である	223	63.2%
どちらかといえば必要である	100	28.3%
どちらかといえば必要でない	10	2.8%
必要でない	7	2.0%
無回答	13	3.7%



（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「必要である」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

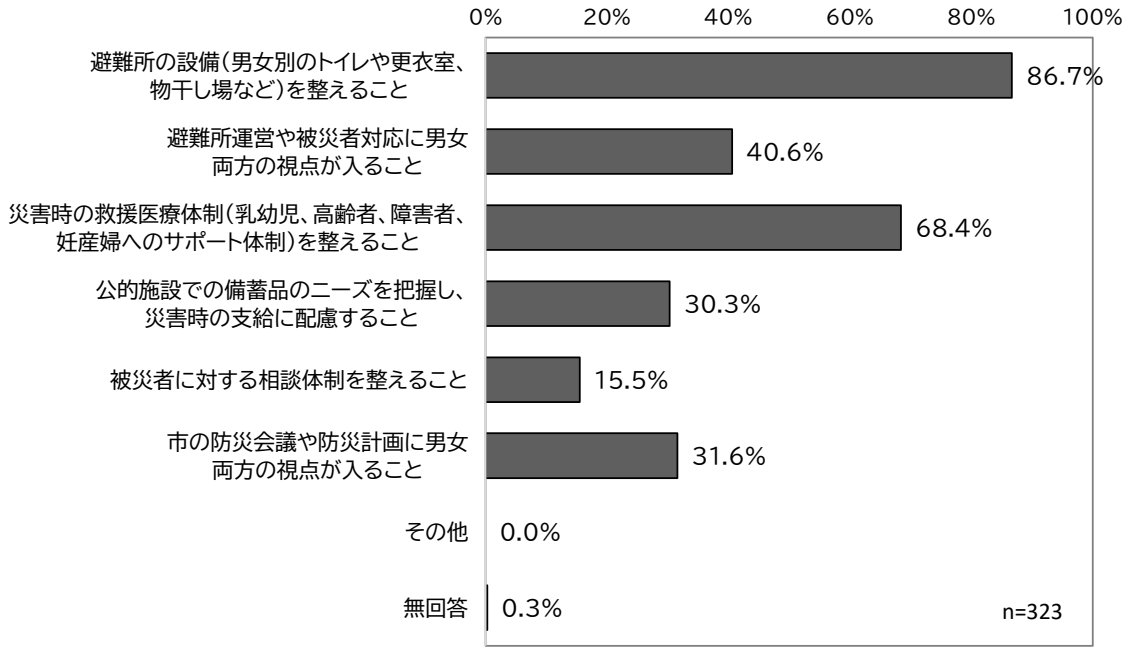


《問４で「1 必要である」「2 どちらかといえば必要である」と答えた方におたずねします》

問５　防災・災害復興対策において、性別に配慮したどのような対応が必要だと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

○「避難所の設備（男女別のトイレや更衣室、物干し場など）を整えること」の割合が 86.7％と最も高く、次いで「災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制）を整えること」の割合が 68.4％、「避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」の割合が 40.6％となっています。

調査数（n=323）	回答数	割合
避難所の設備（男女別のトイレや更衣室、物干し場など）を整えること	280	86.7%
避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること	131	40.6%
災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制）を整えること	221	68.4%
公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること	98	30.3%
被災者に対する相談体制を整えること	50	15.5%
市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること	102	31.6%
その他	-	-
無回答	1	0.3%



（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること」と回答した割合は高く、「市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること」が低くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」「市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること」と回答した割合は低く、「公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること」が高くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制）を整えること」と回答した割合は高く、「被災者に対する相談体制を整えること」が低くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「避難所の設備（男女別のトイレや更衣室、物干し場など）を整えること」「避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」と回答した割合は高く、「公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること」が低くなっています。

○「70～79歳」では、全体と比較して「被災者に対する相談体制を整えること」と回答した割合が高くなっています。

○婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

区分	有効回答数（件）	避難所の設備（男女別のトイレや更衣室、物干し場など）を整えること	避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること	災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制）を整えること	公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること	被災者に対する相談体制を整えること	市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること	その他	無回答
全体	323	86.7%	40.6%	68.4%	30.3%	15.5%	31.6%	-	0.3%
29歳以下	23	87.0%	34.8%	69.6%	60.9%	8.7%	17.4%	-	-
30～39歳	25	88.0%	20.0%	68.0%	52.0%	12.0%	12.0%	-	-
40～49歳	34	88.2%	38.2%	79.4%	23.5%	2.9%	38.2%	-	-
50～59歳	53	88.7%	39.6%	67.9%	32.1%	22.6%	30.2%	-	-
60～69歳	66	95.5%	53.0%	68.2%	16.7%	10.6%	34.8%	-	-
70～79歳	85	81.2%	42.4%	62.4%	27.1%	25.9%	35.3%	-	-
80歳以上	36	77.8%	33.3%	72.2%	33.3%	8.3%	36.1%	-	2.8%

●婚姻別

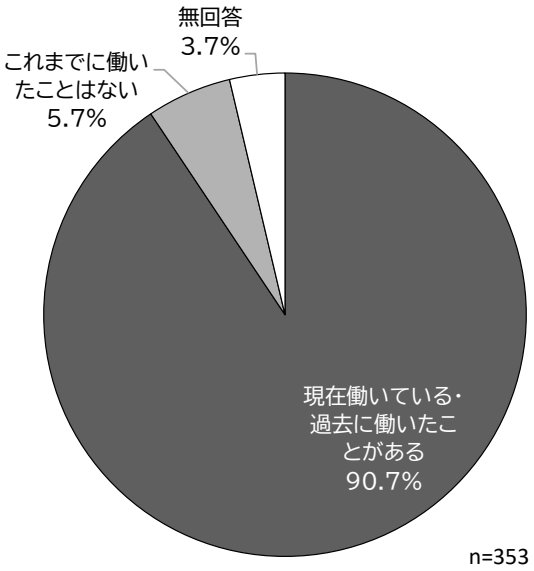
区分	有効回答数（件）	避難所の設備（男女別のトイレや更衣室、物干し場など）を整えること	避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること	災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制）を整えること	公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること	被災者に対する相談体制を整えること	市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること	その他	無回答
全体	323	86.7%	40.6%	68.4%	30.3%	15.5%	31.6%	-	0.3%
結婚している（事実婚を含む）	207	87.4%	40.6%	65.7%	26.6%	16.9%	33.3%	-	-
結婚していたことがある（死別、離別）	55	83.6%	40.0%	69.1%	32.7%	14.5%	29.1%	-	1.8%
結婚していない	60	86.7%	40.0%	76.7%	41.7%	11.7%	28.3%	-	-

3　職業生活について

問 6　あなたは、現在働いていますか。または、過去に働いた経験がありますか。自営業の家族従事者も働いている（働いていた）ものとします。【あてはまるもの１つだけに○】

○「現在働いている・過去に働いたことがある」の割合が 90.7％と最も高く、次いで「これまでに働いたことはない」の割合が 5.7％となっています。

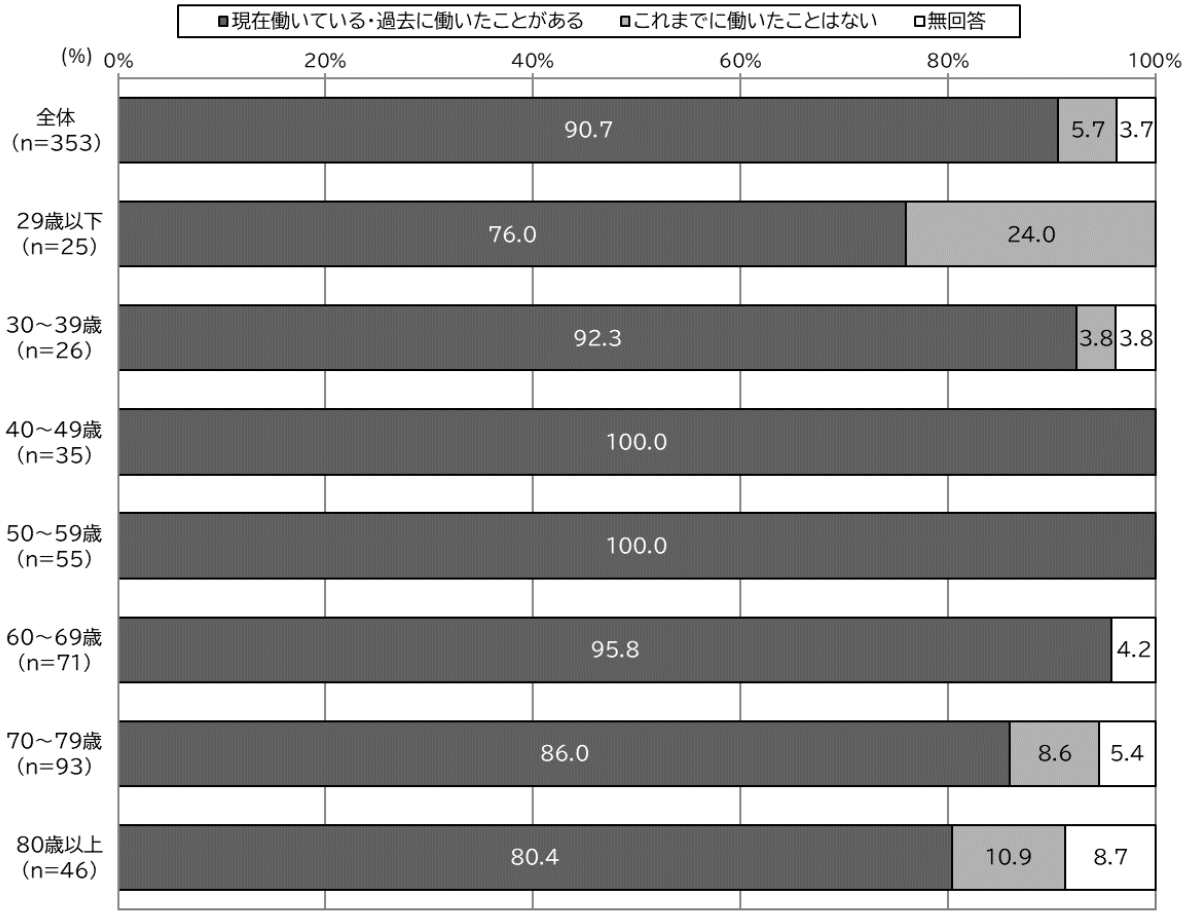
調査数（n=353）	回答数	割合
現在働いている・過去に働いたことがある	320	90.7%
これまでに働いたことはない	20	5.7%
無回答	13	3.7%



（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「現在働いている・過去に働いたことがある」と回答した割合は低く、「これまでに働いたことがない」が高くなっています。
○「40～49歳」と「50～59歳」では、全体と比較して「現在働いている・過去に働いたことがある」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、「現在働いている・過去に働いたことがある」と回答した割合が低くなっています。

●年代別

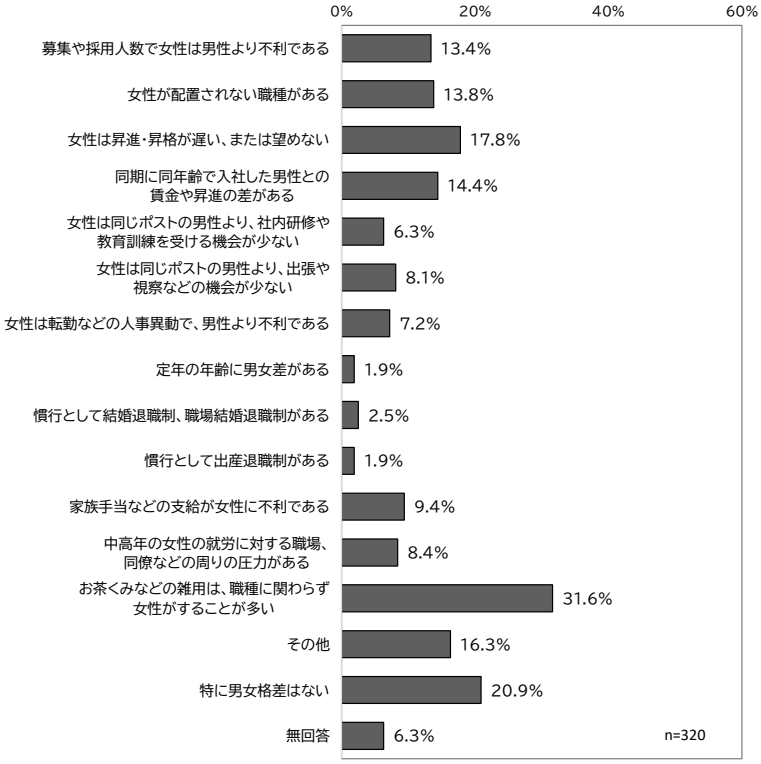


《問 6 で「1 現在働いている・過去に働いたことがある」と答えた方におたずねします》

問 7　あなたが働いている（働いていた）職場では、どのような男女格差がありますか（ありましたか）。【あてはまるものすべてに○】

○「お茶くみなどの雑用は、職種に関わらず女性がすることが多い」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「特に男女格差はない」の割合が 20.9%となっています。

調査数(n=320)	回答数	割合
募集や採用人数で女性は男性より不利である	43	13.4%
女性が配置されない職種がある	44	13.8%
女性は昇進・昇格が遅い、または望めない	57	17.8%
同期に同年齢で入社した男性との賃金や昇進の差がある	46	14.4%
女性は同じポストの男性より、社内研修や教育訓練を受ける機会が少ない	20	6.3%
女性は同じポストの男性より、出張や視察などの機会が少ない	26	8.1%
女性は転勤などの人事異動で、男性より不利である	23	7.2%
定年の年齢に男女差がある	6	1.9%
慣行として結婚退職制、職場結婚退職制がある	8	2.5%
慣行として出産退職制がある	6	1.9%
家族手当などの支給が女性に不利である	30	9.4%
中高年の女性の就労に対する職場、同僚などの周りの圧力がある	27	8.4%
お茶くみなどの雑用は、職種に関わらず女性がすることが多い	101	31.6%
その他	52	16.3%
特に男女格差はない	67	20.9%
無回答	20	6.3%



その他の回答内容
わからない（2件）、女性の優遇に関すること（2件）、パートなので気にしない（1件）、24 時間勤務のため無理（1件）、過去にはあったが現在はない（1件）、自営業だから（1件）、育児の為時短になるので職場（職種）が限られる（1件）、現場業務のため体力的差を感じる（1件）、男女ともに協力が出来ていた（1件）

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」「慣行として結婚退職制、職場結婚退職制がある」と回答した割合が高くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「特に男女格差はない」と回答した割合が高くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「女性は同じポストの男性より、出張や視察などの機会が少ない」「お茶くみなどの雑用は、職種に関わらず女性がすることが多い」と回答した割合が高くなっています。

○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「特に男女差はない」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

区分	有効回答数（件）	募集や採用人数で女性は男性より不利である	女性が配置されない職種がある	女性は昇進・昇格が遅い、または望めない	同期に同年齢で入社した男性との賃金や昇進の差がある	女性は、同ポストの男性より社内研修や教育訓練を受ける機会が少ない	女性は同じポストの男性より、出張や視察などの機会が少ない	女性は転勤などの人事異動で、男性より不利である	定年の年齢に男女差がある	慣行として結婚退職制、職場結婚退職制がある	慣行として出産退職制がある	家族手当などの支給が女性に不利である	中高年の女性の就労に対する職場、同僚などの周りの圧力がある	お茶くみなどの雑用は、職種に関わらず女性がすることが多い	その他	特に男女格差はない	無回答
全体	320	13.4%	13.8%	17.8%	14.4%	6.3%	8.1%	7.2%	1.9%	2.5%	1.9%	9.4%	8.4%	31.6%	16.3%	20.9%	6.3%
29歳以下	19	21.1%	21.1%	47.4%	15.8%	-	10.5%	10.5%	5.3%	15.8%	-	5.3%	-	26.3%	15.8%	15.8%	10.5%
30～39歳	24	20.8%	8.3%	20.8%	12.5%	12.5%	-	-	-	8.3%	12.5%	12.5%	8.3%	33.3%	41.7%	8.3%	-
40～49歳	35	5.7%	5.7%	11.4%	20.0%	-	-	14.3%	-	-	-	11.4%	5.7%	34.3%	28.6%	20.0%	2.9%
50～59歳	55	10.9%	10.9%	14.5%	3.6%	9.1%	3.6%	7.3%	-	1.8%	1.8%	7.3%	10.9%	25.5%	27.3%	18.2%	5.5%
60～69歳	68	10.3%	14.7%	11.8%	10.3%	1.5%	4.4%	2.9%	2.9%	1.5%	-	2.9%	7.4%	29.4%	8.8%	30.9%	4.4%
70～79歳	80	20.0%	17.5%	18.8%	20.0%	7.5%	11.3%	8.8%	1.3%	1.3%	2.5%	15.0%	12.5%	31.3%	7.5%	20.0%	8.8%
80歳以上	37	8.1%	16.2%	18.9%	18.9%	10.8%	24.3%	8.1%	5.4%	-	-	8.1%	5.4%	45.9%	5.4%	18.9%	10.8%

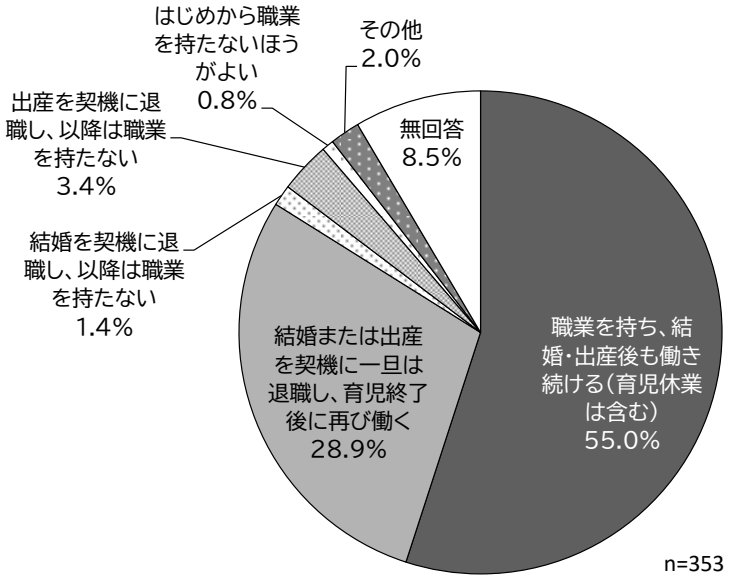
●婚姻別

区分	有効回答数（件）	募集や採用人数で女性は男性より不利である	女性が配置されない職種がある	女性は昇進・昇格が遅い、または望めない	同期に同年齢で入社した男性との賃金や昇進の差がある	女性は同じポストの男性より社内研修や教育訓練を受ける機会が少ない	女性は同じポストの男性より、出張や視察などの機会が少ない	女性は転勤などの人事異動で、男性より不利である	定年の年齢に男女差がある	慣行として結婚退職制、職場結婚退職制がある	慣行として出産退職制がある	家族手当などの支給が女性に不利である	中高年の女性の就労に対する職場、同僚などの周りの圧力がある	お茶くみなどの雑用は、職種に関わらず女性がすることが多い	その他	特に男女格差はない	無回答
全体	320	13.4%	13.8%	17.8%	14.4%	6.3%	8.1%	7.2%	1.9%	2.5%	1.9%	9.4%	8.4%	31.6%	16.3%	20.9%	6.3%
結婚している（事実婚を含む）	206	15.0%	14.1%	17.5%	13.6%	5.8%	9.2%	7.3%	1.9%	2.4%	2.4%	11.2%	8.7%	31.6%	18.4%	17.0%	6.8%
結婚していたことがある（死別、離別）	55	10.9%	14.5%	14.5%	16.4%	7.3%	7.3%	7.3%	1.8%	1.8%	1.8%	9.1%	16.4%	38.2%	5.5%	30.9%	3.6%
結婚していない	57	10.5%	12.3%	21.1%	14.0%	5.3%	3.5%	7.0%	1.8%	3.5%	-	1.8%	-	26.3%	19.3%	24.6%	7.0%

問８　女性が職業を持つことについて、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「職業を持ち、結婚・出産後も働き続ける（育児休業は含む）」の割合が 55.0％と最も高く、次いで「結婚または出産を契機に一旦は退職し、育児終了後に再び働く」の割合が 28.9％となっています。

調査数（n=353）	回答数	割合
職業を持ち、結婚・出産後も働き続ける（育児休業は含む）	194	55.0%
結婚または出産を契機に一旦は退職し、育児終了後に再び働く	102	28.9%
結婚を契機に退職し、以降は職業を持たない	5	1.4%
出産を契機に退職し、以降は職業を持たない	12	3.4%
はじめから職業を持たないほうがよい	3	0.8%
その他	7	2.0%
無回答	30	8.5%

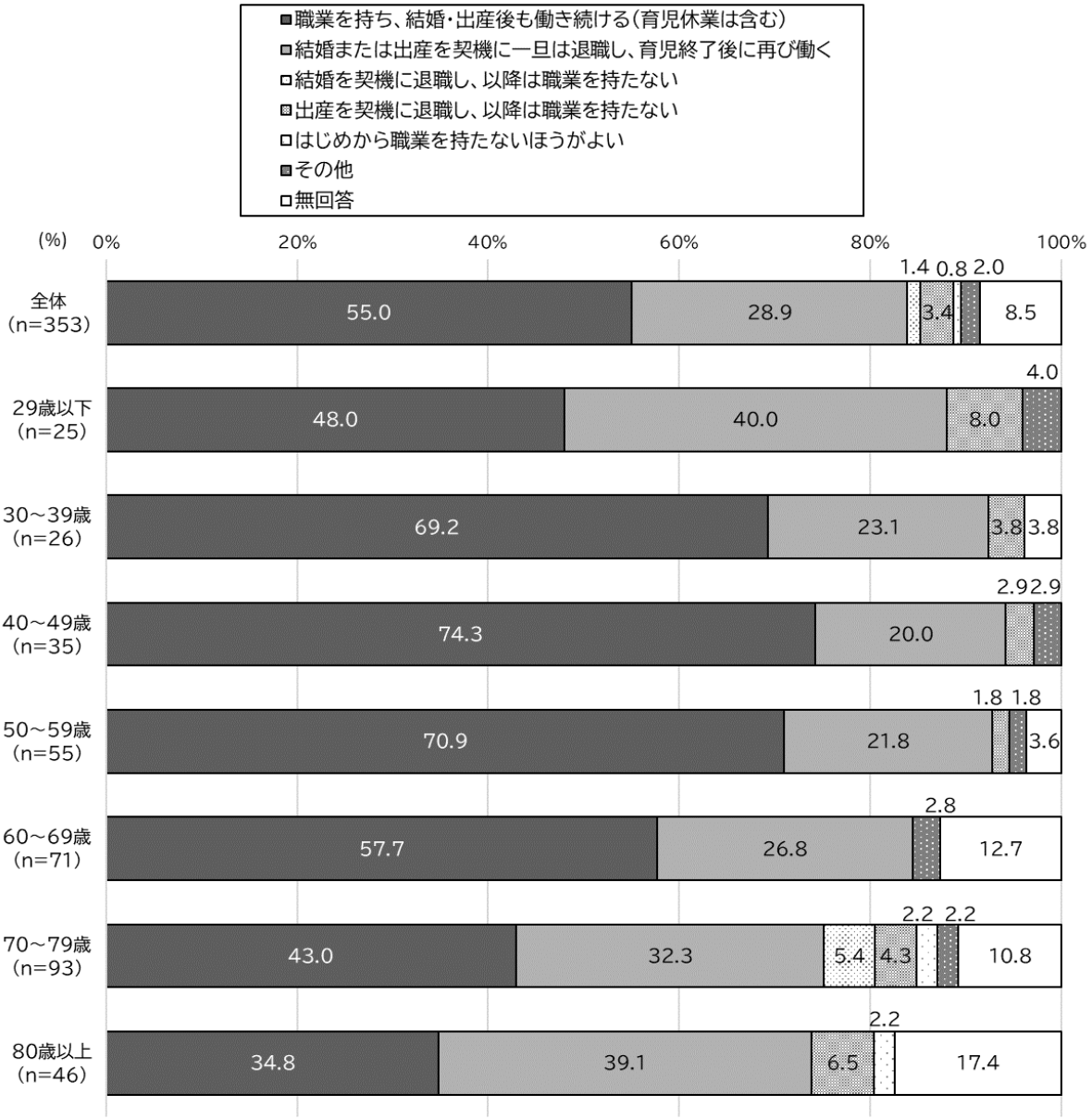


その他の回答内容
個人の意思・考えによる（3件）、選択できる環境にするべき（2件）、子育てを優先（1件）、収入割合による、男女問わず家事も育児も協力して行う（1件）

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「結婚または出産を契機に一旦は退職し、育児終了後に再び働く」と回答した割合が高くなっています。
○「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では、全体と比較して「職業を持ち、結婚・出産後も働き続ける（育児休業は含む）」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「職業を持ち、結婚・出産後も働き続ける（育児休業は含む）」と回答した割合が低くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「職業を持ち、結婚・出産後も働き続ける（育児休業は含む）」と回答した割合は低く、「結婚または出産を契機に一旦は退職し、育児終了後に再び働く」が高くなっています。

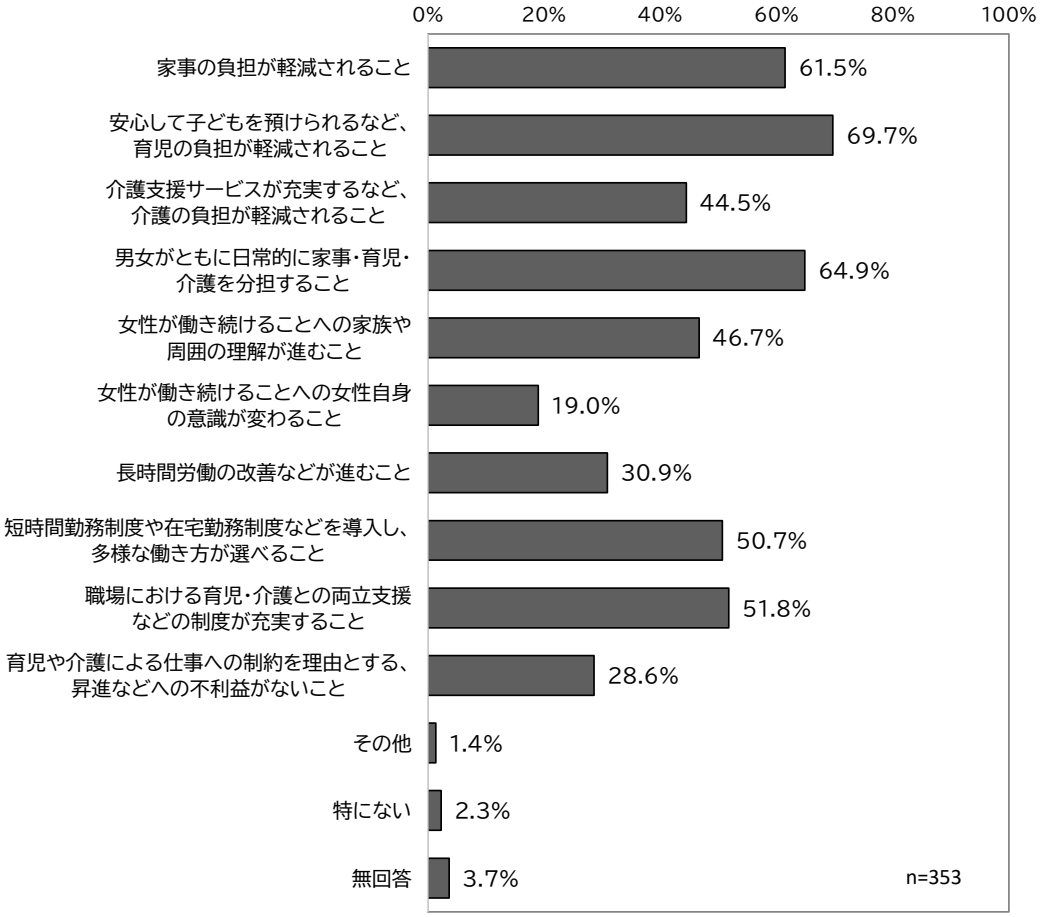
●年代別



問９　あなたは、女性が仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

○「安心して子どもを預けられるなど、育児の負担が軽減されること」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること」の割合が 64.9%、「家事の負担が軽減されること」の割合が 61.5%となっています。

調査数（n=353）	回答数	割合
家事の負担が軽減されること	217	61.5%
安心して子どもを預けられるなど、育児の負担が軽減されること	246	69.7%
介護支援サービスが充実するなど、介護の負担が軽減されること	157	44.5%
男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること	229	64.9%
女性が働き続けることへの家族や周囲の理解が進むこと	165	46.7%
女性が働き続けることへの女性自身の意識が変わること	67	19.0%
長時間労働の改善などが進むこと	109	30.9%
短時間勤務制度や在宅勤務制度などを導入し、多様な働き方が選べること	179	50.7%
職場における育児・介護との両立支援などの制度が充実すること	183	51.8%
育児や介護による仕事への制約を理由とする、昇進などへの不利益がないこと	101	28.6%
その他	5	1.4%
特にない	8	2.3%
無回答	13	3.7%



その他の回答内容
雇用側の意識改革（1件）、有休が使いにくい（1件）、子育て優先（1件）、まずは働くか専業主婦かを好きに選べるべき（1件）、働きやすい環境やパートなどプチ就労など就労の選択枠の多様化を図り、人員の確保を早い段階から取り組む（1件）

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「介護支援サービスが充実するなど、介護の負担が軽減されること」「女性が働き続けることへの家族や周囲の理解が進むこと」「短時間勤務制度や在宅勤務制度などを導入し、多様な働き方が選べること」と回答した割合は低く、「長時間労働の改善などが進むこと」が高くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「家事の負担が軽減されること」「介護支援サービスが充実するなど、介護の負担が軽減されること」「短時間勤務制度や在宅勤務制度などを導入し、多様な働き方が選べること」と回答した割合は低く、「安心して子どもを預けられるなど、育児の負担が軽減されること」「女性が働き続けることへの家族や周囲の理解が進むこと」「長時間労働の改善などが進むこと」が高くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「家事の負担が軽減されること」「安心して子どもを預けられるなど、育児の負担が軽減されること」「介護支援サービスが充実するなど、介護の負担が軽減されること」「男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること」「女性が働き続けることへの家族や周囲の理解が進むこと」「長時間労働の改善などが進むこと」「短時間勤務制度や在宅勤務制度などを導入し、多様な働き方が選べること」と回答した割合が高くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「介護支援サービスが充実するなど、介護の負担が軽減されること」「男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること」「短時間勤務制度や在宅勤務制度などを導入し、多様な働き方が選べること」「職場における育児・介護との両立支援などの制度が充実すること」「育児や介護による仕事への制約を理由とする、昇進などへの不利益がないこと」と回答した割合が高くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「女性が働き続けることへの家族や周囲の理解が進むこと」と回答した割合が低くなっています。

○「70歳～79歳」では、全体と比較して「家事の負担が軽減されること」「安心して子どもを預けられるなど、育児の負担が軽減されること」「職場における育児・介護との両立支援などの制度が充実すること」「育児や介護による仕事への制約を理由とする、昇進などへの不利益がないこと」と回答した割合が低くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること」と「短時間勤務制度や在宅勤務制度などを導入し、多様な働き方が選べること」と回答した割合が低くなっています。

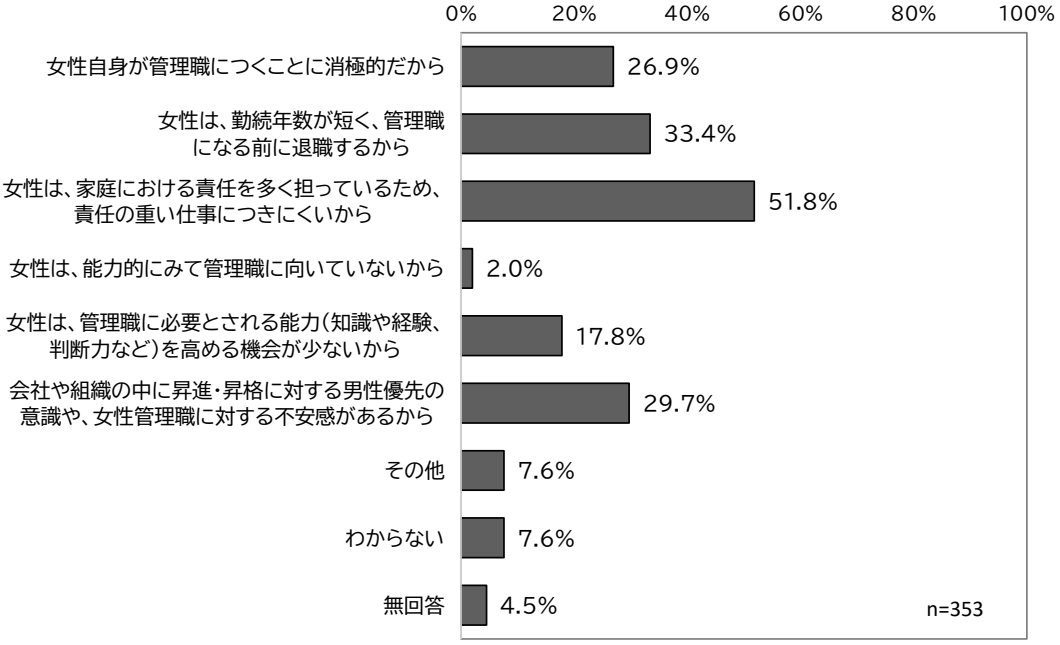
●年代別

区分	有効回答数（件）	家事の負担が軽減されること	安心して子どもを預けられるなど、育児の負担が軽減されること	介護支援サービスが充実するなど、介護の負担が軽減されること	男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること	女性が働き続けることへの家族や周囲の理解が進むこと	女性が働き続けることへの女性自身の意識が変わること	長時間労働の改善などが進むこと	短時間勤務制度や在宅勤務制度などを導入し、多様な働き方が選べること	職場における育児・介護との両立支援などの制度が充実すること	育児や介護による仕事への制約を理由とする、昇進などへの不利益がないこと	その他	特にない	無回答
全体	353	61.5%	69.7%	44.5%	64.9%	46.7%	19.0%	30.9%	50.7%	51.8%	28.6%	1.4%	2.3%	3.7%
29歳以下	25	64.0%	68.0%	32.0%	64.0%	32.0%	12.0%	44.0%	36.0%	52.0%	36.0%	-	4.0%	-
30～39歳	26	50.0%	80.8%	23.1%	65.4%	57.7%	11.5%	42.3%	38.5%	38.5%	30.8%	7.7%	-	-
40～49歳	35	88.6%	80.0%	62.9%	82.9%	54.3%	28.6%	48.6%	74.3%	60.0%	37.1%	-	2.9%	-
50～59歳	55	70.9%	76.4%	54.5%	78.2%	45.5%	16.4%	32.7%	61.8%	65.5%	43.6%	1.8%	1.8%	-
60～69歳	71	60.6%	74.6%	50.7%	67.6%	36.6%	18.3%	28.2%	52.1%	52.1%	26.8%	-	1.4%	4.2%
70～79歳	93	51.6%	59.1%	39.8%	59.1%	55.9%	20.4%	21.5%	47.3%	40.9%	19.4%	2.2%	3.2%	5.4%
80歳以上	46	56.5%	60.9%	37.0%	45.7%	41.3%	19.6%	23.9%	39.1%	56.5%	19.6%	-	2.2%	10.9%

問 10　現状では管理職（意思決定を行う管理的部門や指導的地位）につく女性が少ない状況にありますが、あなたは理由としてどのようなものがあると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

○「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから」の割合が51.8％と最も高く、次いで「女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから」の割合が33.4％、「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」の割合が 29.7％となっています。

調査数（n=353）	回答数	割合
女性自身が管理職につくことに消極的だから	95	26.9%
女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから	118	33.4%
女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから	183	51.8%
女性は、能力的にみて管理職に向いていないから	7	2.0%
女性は、管理職に必要とされる能力（知識や経験、判断力など）を高める機会が少ないから	63	17.8%
会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから	105	29.7%
その他	27	7.6%
わからない	27	7.6%
無回答	16	4.5%



その他の回答内容
女性が多い、女性の管理職がいる職場に勤めている（3件）、産休、育休、扶養などでキャリア中断や想定外の部署変更など起こりやすいから（2件）、管理者は女性が昇進することを前提に雇用していないのではないか（2件）、男性が管理する立場であることは生物的特性だと思う（1件）、管理職以前に現状はまだ正社員における女性の割合が少ない（1件）、同じ管理職でも給料に男女差がある（1件）、女性が役職に就くことへのマイナスイメージがまだ強い（1件）、管理職に適切な方は男と女に限らず、共通の技量を持っているかどうか（1件）、同じ管理職に就くのでも、職種柄による格差がある（1件）、能力があれば管理職になればよい（1件）、社会が女性に対して、もっと任せる事をすればいい（1件）、性別ではなく能力で管理職になれるか決めれば良い（1件）、女性が活躍ということに男性は抵抗があるのではないか（1件）

（参考）クロス集計結果

○性別では、「男性」で全体と比較して「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから」と回答した割合は低くなっています。

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから」と回答した割合は低くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「女性は、管理職に必要とされる能力（知識や経験、判断力など）を高める機会が少ないから」「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安があるから」と回答した割合が低くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「女性自身が管理職につくことに消極的だから」と回答した割合が高くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから」と回答した割合が高くなっています。

○「70～79歳」では、全体と比較して「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安があるから」と回答した割合が高くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「女性自身が管理職につくことに消極的だから」と回答した割合は低く、「女性は、管理職に必要とされる能力（知識や経験、判断力など）を高める機会が少ないから」が高くなっています。

○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「女性自身が管理職につくことに消極的だから」と回答した割合が低くなっています。

○「結婚していない」では、全体と比較して「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから」と回答した割合が低くなっています。

●性別

区分	有効回答数（件）	女性自身が管理職につくことに消極的だから	女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから	女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから	女性は、能力的にみて管理職に向いていないから	女性は、管理職に必要とされる能力（知識や経験、判断力など）を高める機会が少ないから	会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから	その他	わからない	無回答
全体	353	26.9%	33.4%	51.8%	2.0%	17.8%	29.7%	7.6%	7.6%	4.5%
男性	122	30.3%	38.5%	38.5%	3.3%	21.3%	26.2%	9.8%	9.8%	2.5%
女性	219	25.1%	30.6%	59.4%	0.9%	16.4%	31.5%	5.5%	6.8%	5.5%
答えない	9	22.2%	33.3%	44.4%	11.1%	11.1%	33.3%	33.3%	-	-

●年代別

区分	有効回答数（件）	女性自身が管理職につくことに消極的だから	女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから	女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから	女性は、能力的にみて管理職に向いていないから	女性は、管理職に必要とされる能力（知識や経験）を高める機会が少ないから	昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから	会社や組織の中に昇進・	その他	わからない	無回答
全体	353	26.9%	33.4%	51.8%	2.0%	17.8%	29.7%	7.6%	7.6%	4.5%
29歳以下	25	20.0%	32.0%	28.0%	8.0%	16.0%	36.0%	24.0%	8.0%	-
30～39歳	26	26.9%	34.6%	53.8%	-	7.7%	3.8%	11.5%	3.8%	-
40～49歳	35	22.9%	34.3%	60.0%	-	14.3%	25.7%	14.3%	2.9%	-
50～59歳	55	40.0%	36.4%	47.3%	1.8%	14.5%	34.5%	3.6%	10.9%	3.6%
60～69歳	71	32.4%	32.4%	62.0%	-	19.7%	28.2%	5.6%	7.0%	2.8%
70～79歳	93	23.7%	33.3%	51.6%	2.2%	18.3%	35.5%	5.4%	9.7%	6.5%
80歳以上	46	15.2%	30.4%	45.7%	4.3%	28.3%	28.3%	4.3%	6.5%	13.0%

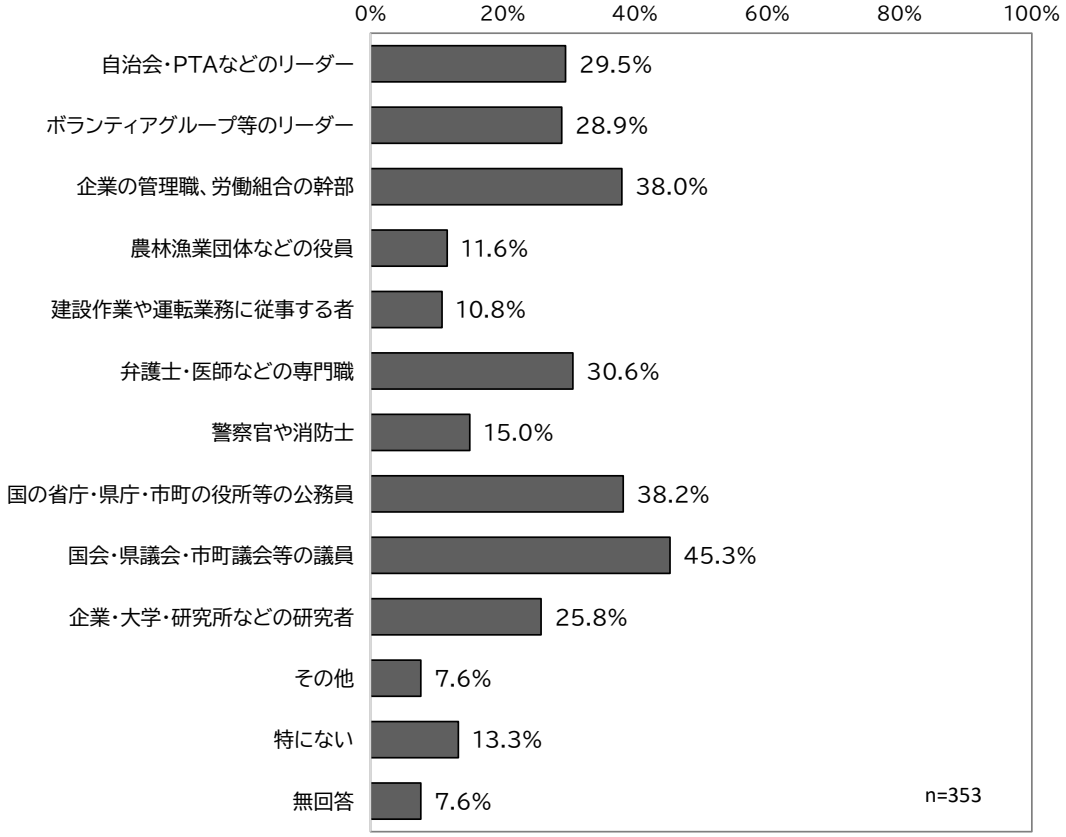
●婚姻別

区分	有効回答数（件）	女性自身が管理職につくことに消極的だから	女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから	女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから	女性は、能力的にみて管理職に向いていないから	女性は、管理職に必要とされる能力（知識や経験）を高める機会が少ないから	昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから	会社や組織の中に昇進・	その他	わからない	無回答
全体	353	26.9%	33.4%	51.8%	2.0%	17.8%	29.7%	7.6%	7.6%	4.5%
結婚している（事実婚を含む）	224	29.0%	31.3%	55.4%	1.8%	17.9%	29.9%	7.1%	7.1%	4.0%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	16.1%	32.3%	54.8%	-	14.5%	25.8%	6.5%	12.9%	8.1%
結婚していない	64	29.7%	42.2%	35.9%	4.7%	21.9%	32.8%	10.9%	4.7%	1.6%

問 11　あなたは今後どのような分野・立場で、女性の活躍が進むのがよいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

○「国会・県議会・市町議会等の議員」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「国の省庁・県庁・市町の役所等の公務員」の割合が 38.2%、「企業の管理職、労働組合の幹部」の割合が 38.0%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
自治会・PTAなどのリーダー	104	29.5%
ボランティアグループ等のリーダー	102	28.9%
企業の管理職、労働組合の幹部	134	38.0%
農林漁業団体などの役員	41	11.6%
建設作業や運転業務に従事する者	38	10.8%
弁護士・医師などの専門職	108	30.6%
警察官や消防士	53	15.0%
国の省庁・県庁・市町の役所等の公務員	135	38.2%
国会・県議会・市町議会等の議員	160	45.3%
企業・大学・研究所などの研究者	91	25.8%
その他	27	7.6%
特にない	47	13.3%
無回答	27	7.6%



その他の回答内容
能力や適性があれば分野は関係ない(3件)、全ての分野・立場(2件)、わからない(2件)、男女は関係ない(1件)、介護職(1件)、性差だけに限らず特性に応じた活躍が出来る組織体制を作る必要がある(1件)、何事にも家族の協力と理解が必要(1件)、他者が押し付けるのではなく、個々人が選ぶべき(1件)

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「ボランティアグループ等のリーダー」と回答した割合が低くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「企業の管理職、労働組合の幹部」と回答した割合は高く、「警察官や消防士」と「企業・大学・研究所などの研究者」が低くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「農林漁業団体などの役員」「警察官や消防士」と回答した割合が高くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「ボランティアグループ等のリーダー」「企業の管理職、労働組合の幹部」「弁護士・医師などの専門職」「企業・大学・研究所などの研究者」と回答した割合が高くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「弁護士・医師などの専門職」と回答した割合が低くなっています。

○「70～79歳」では、全体と比較して「企業の管理職、労働組合の幹部」と回答した割合が低くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「ボランティアグループ等のリーダー」「国の省庁・県庁・市町の役所等の公務員」と回答した割合が低くなっています。

○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「国の省庁・県庁・市町の役所等の公務員」「国会・県議会・市長議会等の役員」と回答した割合が低くなっています。

●年代別

区分	有効回答数（件）	自治会・PTAなどのリーダー	ボランティアグループ等のリーダー	企業の管理職、労働組合の幹部	農林漁業団体などの役員	建設作業や運転業務に従事する者	弁護士・医師などの専門職	警察官や消防士	国の省庁・県庁・市町の役所等の公務員	国会・県議会・市町議会等の議員	企業・大学・研究所などの研究者	その他	特にない	無回答
全体	353	29.5%	28.9%	38.0%	11.6%	10.8%	30.6%	15.0%	38.2%	45.3%	25.8%	7.6%	13.3%	7.6%
29歳以下	25	24.0%	16.0%	40.0%	12.0%	16.0%	32.0%	16.0%	48.0%	40.0%	32.0%	20.0%	8.0%	4.0%
30～39歳	26	26.9%	23.1%	53.8%	3.8%	-	26.9%	3.8%	42.3%	50.0%	15.4%	15.4%	-	-
40～49歳	35	22.9%	34.3%	37.1%	25.7%	20.0%	37.1%	25.7%	40.0%	48.6%	34.3%	11.4%	17.1%	-
50～59歳	55	38.2%	38.2%	47.3%	20.0%	16.4%	47.3%	23.6%	45.5%	45.5%	40.0%	7.3%	9.1%	3.6%
60～69歳	71	25.4%	26.8%	43.7%	9.9%	7.0%	19.7%	8.5%	35.2%	49.3%	19.7%	7.0%	11.3%	7.0%
70～79歳	93	30.1%	32.3%	28.0%	7.5%	9.7%	29.0%	18.3%	37.6%	44.1%	22.6%	5.4%	17.2%	10.8%
80歳以上	46	32.6%	19.6%	30.4%	6.5%	8.7%	26.1%	6.5%	26.1%	39.1%	21.7%	-	21.7%	17.4%

●婚姻別

区分	有効回答数（件）	自治会・PTAなどのリーダー	ボランティアグループ等のリーダー	企業の管理職、労働組合の幹部	農林漁業団体などの役員	建設作業や運転業務に従事する者	弁護士・医師などの専門職	警察官や消防士	国の省庁・県庁・市町の役所等の公務員	国会・県議会・市町議会等の議員	企業・大学・研究所などの研究者	その他	特にない	無回答
全体	353	29.5%	28.9%	38.0%	11.6%	10.8%	30.6%	15.0%	38.2%	45.3%	25.8%	7.6%	13.3%	7.6%
結婚している（事実婚を含む）	224	32.1%	31.3%	38.4%	12.5%	10.3%	31.7%	15.6%	39.3%	48.2%	25.4%	7.6%	12.5%	8.0%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	24.2%	27.4%	33.9%	11.3%	9.7%	24.2%	11.3%	29.0%	30.6%	21.0%	3.2%	24.2%	9.7%
結婚していない	64	25.0%	21.9%	42.2%	9.4%	14.1%	32.8%	17.2%	43.8%	50.0%	32.8%	12.5%	6.3%	1.6%

4　仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

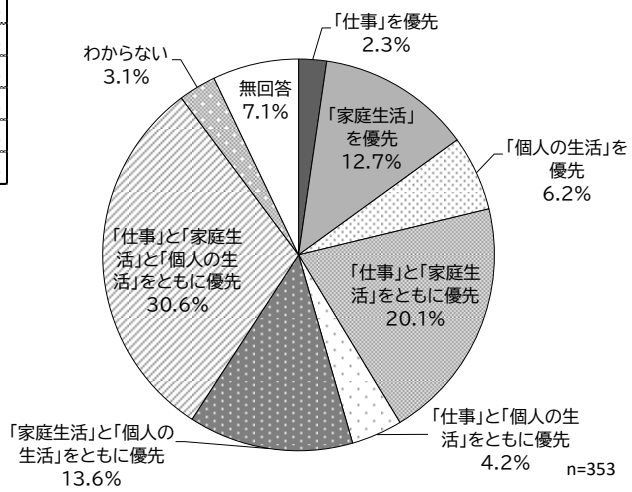
問 12　あなたは生活の中で、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」で何を優先しますか。あなたの「希望」と「現状」に最も近いものをそれぞれお答えください。（「希望」「現状」それぞれに１つを選んで番号を記入）

○《希望》では、『「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先』の割合が 30.6%と最も高く、次いで『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』の割合が 20.1%となっています。

○《現状》では、『「家庭生活」を優先』の割合が 22.9%と最も高く、次いで『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』の割合が 21.5%となっています。

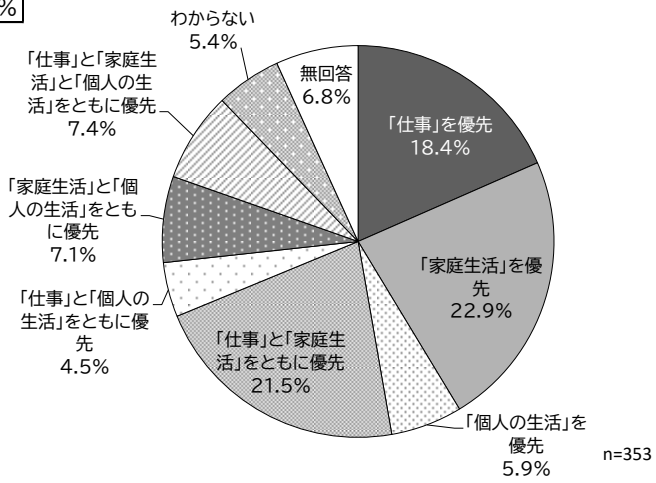
《希望》

調査数(n=353)	回答数	割合
「仕事」を優先	8	2.3%
「家庭生活」を優先	45	12.7%
「個人の生活」を優先	22	6.2%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	71	20.1%
「仕事」と「個人の生活」をともに優先	15	4.2%
「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先	48	13.6%
「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先	108	30.6%
わからない	11	3.1%
無回答	25	7.1%



《現状》

調査数(n=353)	回答数	割合
「仕事」を優先	65	18.4%
「家庭生活」を優先	81	22.9%
「個人の生活」を優先	21	5.9%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	76	21.5%
「仕事」と「個人の生活」をともに優先	16	4.5%
「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先	25	7.1%
「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先	26	7.4%
わからない	19	5.4%
無回答	24	6.8%



（参考）クロス集計結果

問 12-1　【希望】　生活での優先度

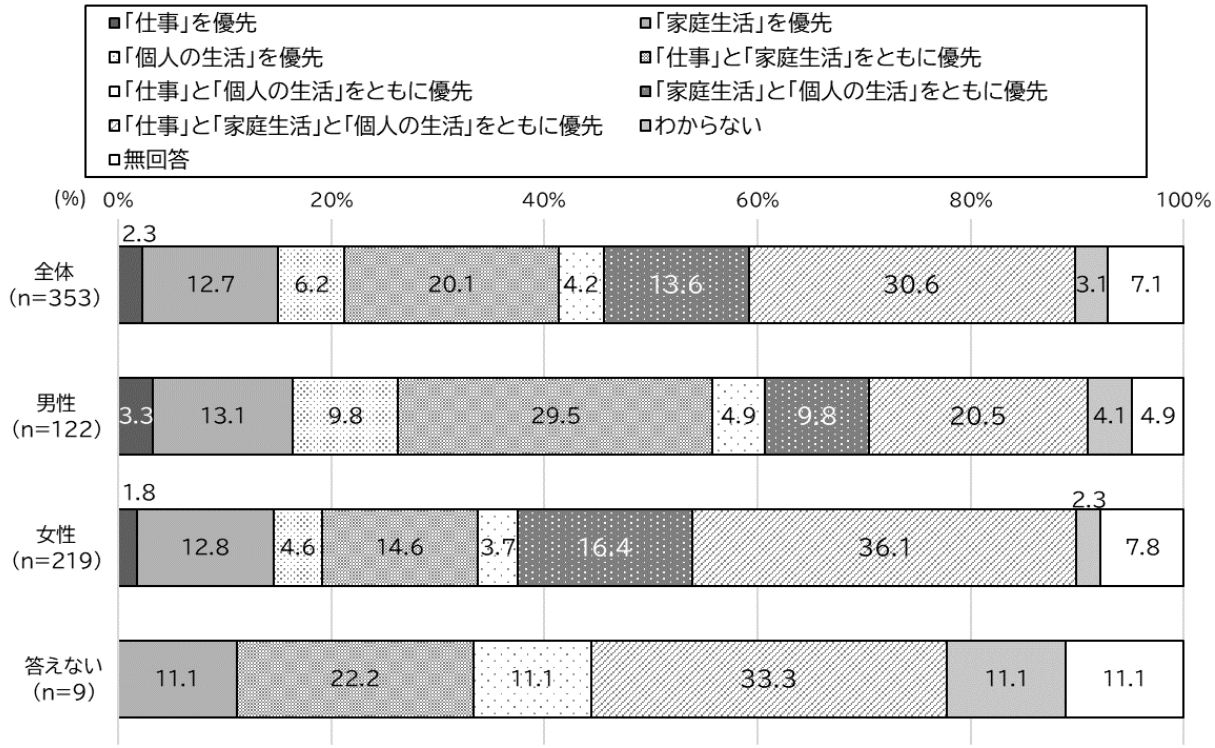
○性別では、「男性」で全体と比較して『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』と回答した割合は高く、『「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先』が低くなっています。

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して『「個人の生活」を優先』と回答した割合は高く、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が低くなっています。

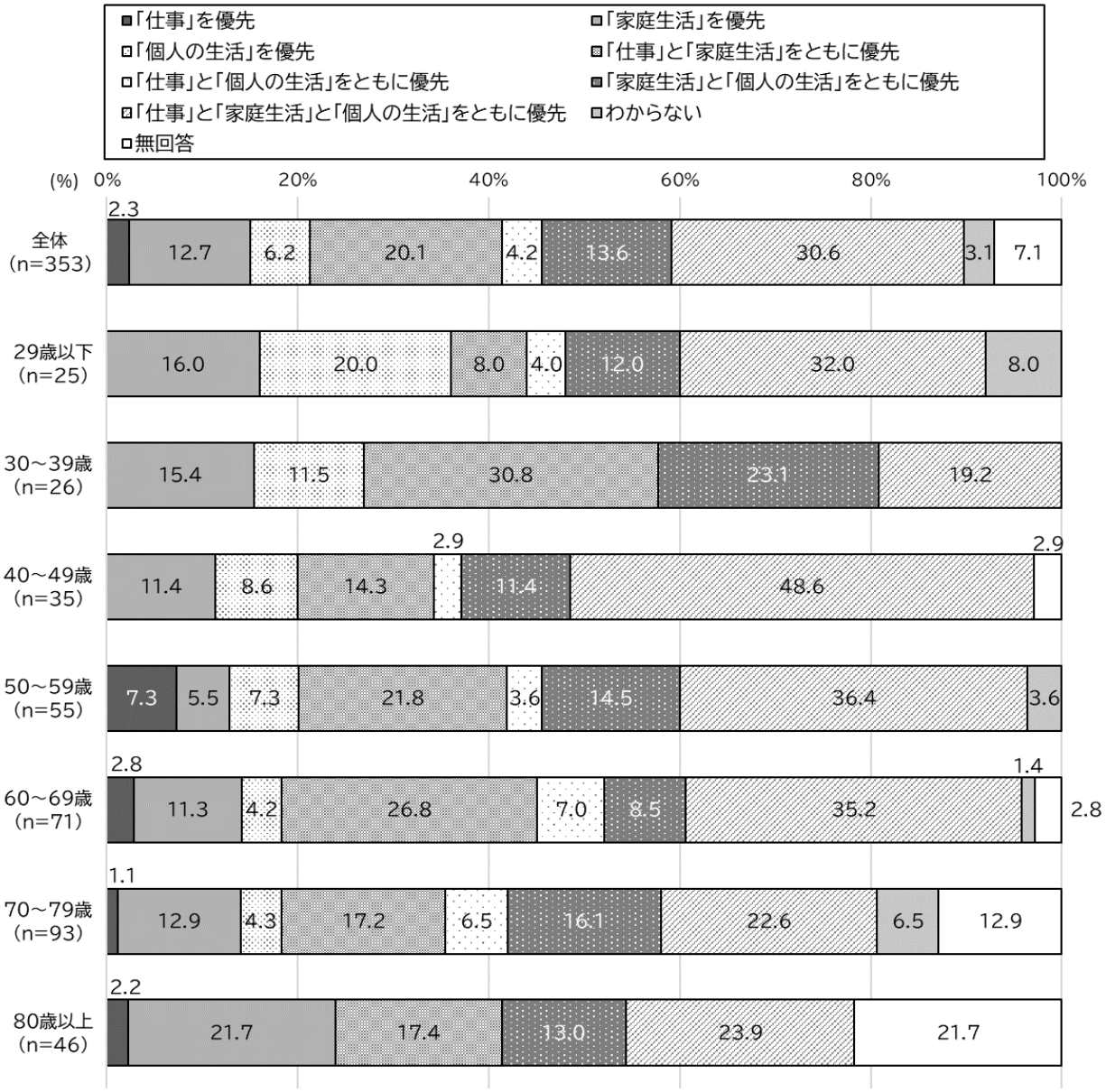
○「30～39歳」では、全体と比較して『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』と『「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先』と回答した割合は高く、『「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」』をともに優先』が低くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して『「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」』をともに優先』と回答した割合が高くなっています。

●性別



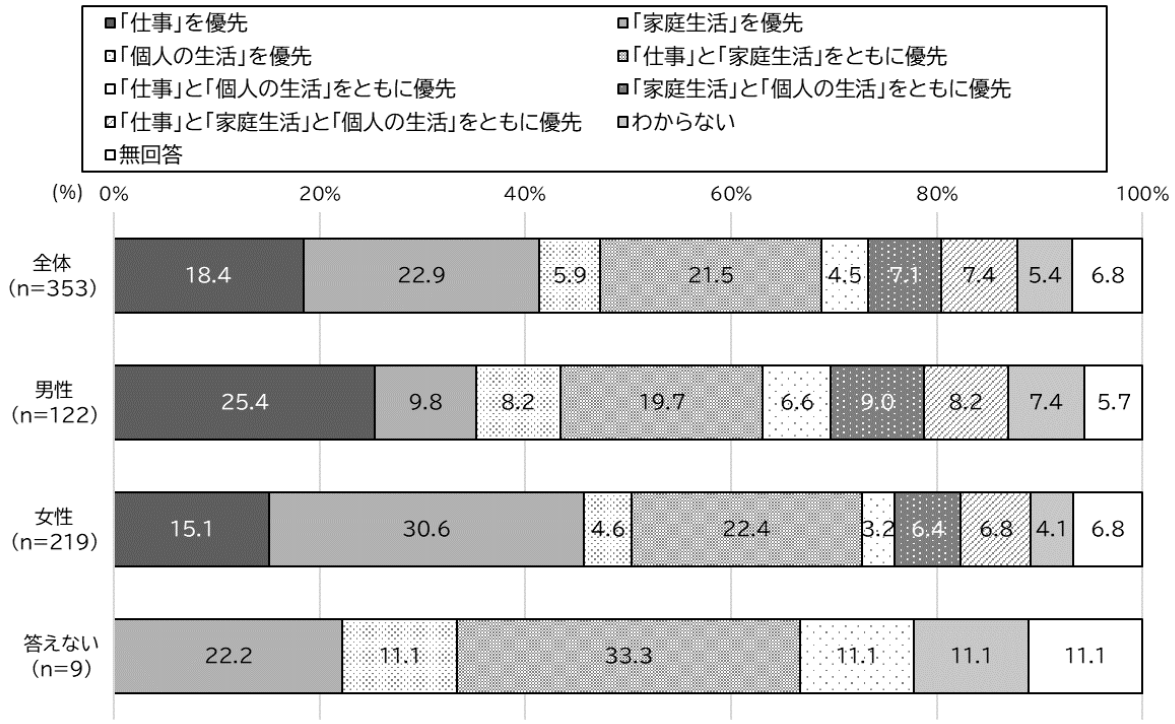
●年代別


「仕事」を優先
「家庭生活」を優先
「個人の生活」を優先
「仕事」と「家庭生活」をともに優先
「仕事」と「個人の生活」をともに優先
「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
わからない
無回答
(%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=353）
2.3
12.7
6.2
20.1
4.2
13.6
30.6
3.1
7.1
29歳以下（n=25）
16.0
20.0
8.0
4.0
12.0
32.0
8.0
30～39歳（n=26）
15.4
11.5
30.8
23.1
19.2
40～49歳（n=35）
11.4
8.6
14.3
2.9
11.4
48.6
2.9
50～59歳（n=55）
7.3
5.5
7.3
21.8
3.6
14.5
36.4
3.6
60～69歳（n=71）
2.8
11.3
4.2
26.8
7.0
8.5
35.2
1.4
2.8
70～79歳（n=93）
1.1
12.9
4.3
17.2
6.5
16.1
22.6
6.5
12.9
80歳以上（n=46）
2.2
21.7
17.4
13.0
23.9
21.7

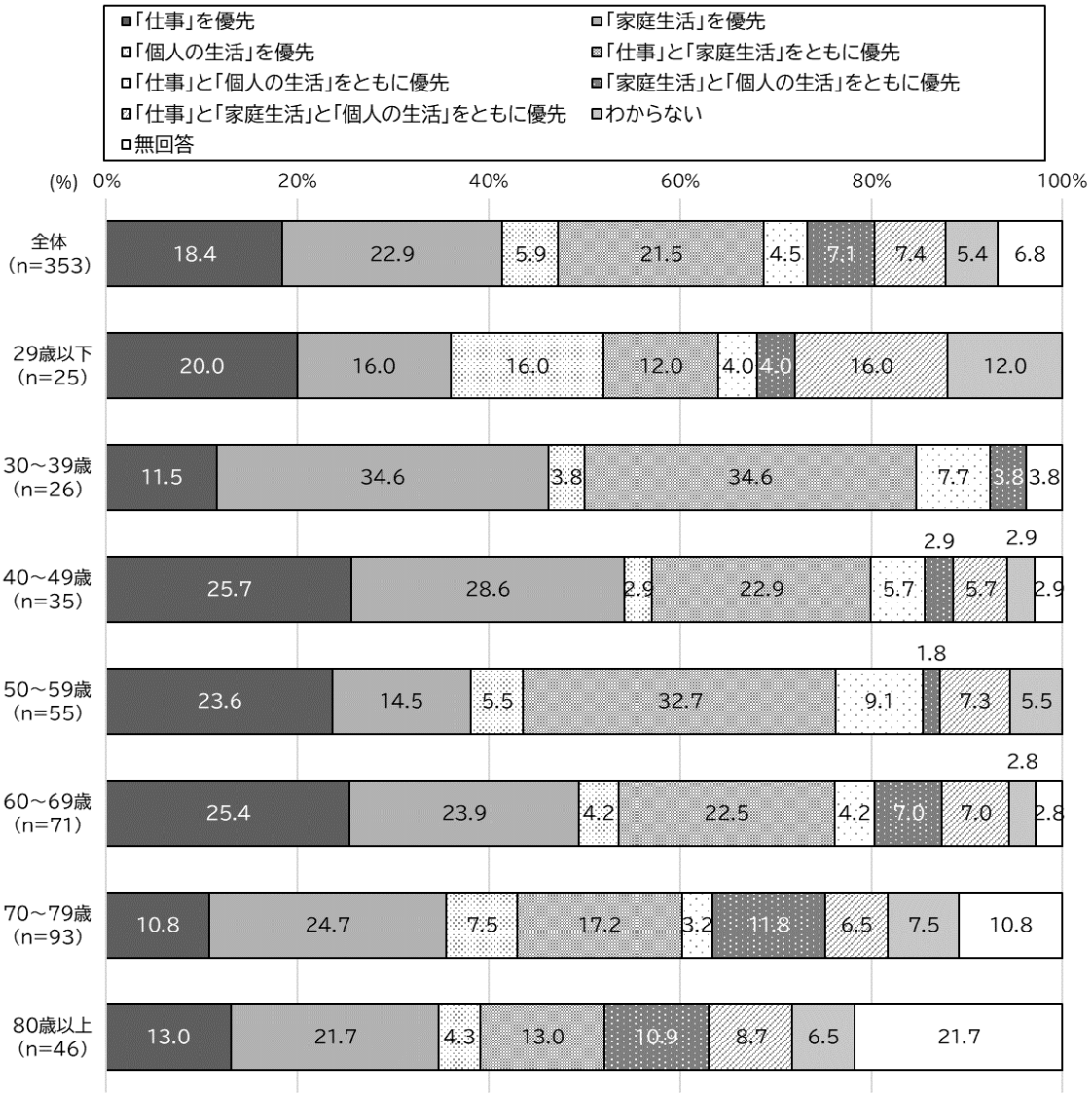
問 12-2　【現状】　生活での優先度

○性別では、「男性」で全体と比較して『「家庭生活」を優先』と回答した割合が低くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』と回答した割合が低くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して『「家庭生活」を優先』と『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』と回答した割合が高くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』と回答した割合が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して『「家庭生活」を優先』と回答した割合は低く、『「個人の生活」を優先』が高くなっています。

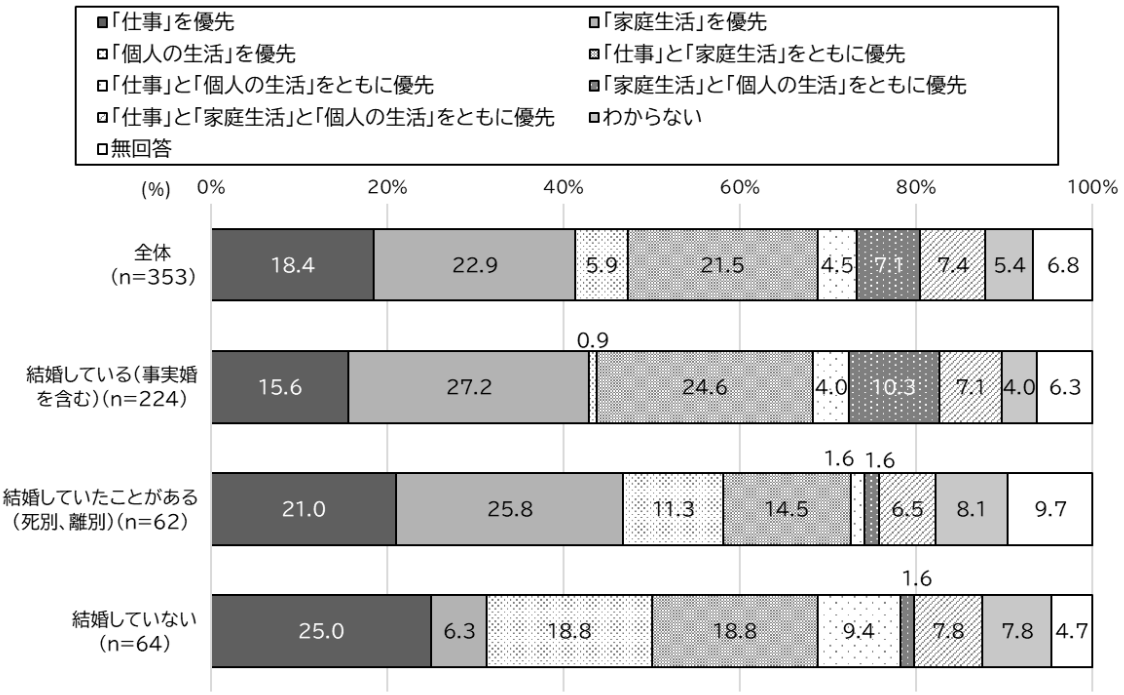
●性別



●年代別


「仕事」を優先
「家庭生活」を優先
「個人の生活」を優先
「仕事」と「家庭生活」をともに優先
「仕事」と「個人の生活」をともに優先
「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
わからない
無回答
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体 (n=353) 18.4 22.9 5.9 21.5 4.5 7.1 7.4 5.4 6.8
29歳以下 (n=25) 20.0 16.0 16.0 12.0 4.0 4.0 16.0 12.0
30～39歳 (n=26) 11.5 34.6 3.8 34.6 7.7 3.8 3.8
40～49歳 (n=35) 25.7 28.6 2.9 22.9 5.7 2.9 5.7 2.9 2.9
50～59歳 (n=55) 23.6 14.5 5.5 32.7 9.1 1.8 7.3 5.5
60～69歳 (n=71) 25.4 23.9 4.2 22.5 4.2 7.0 7.0 2.8 2.8
70～79歳 (n=93) 10.8 24.7 7.5 17.2 3.2 11.8 6.5 7.5 10.8
80歳以上 (n=46) 13.0 21.7 4.3 13.0 10.9 8.7 6.5 21.7

●婚姻別

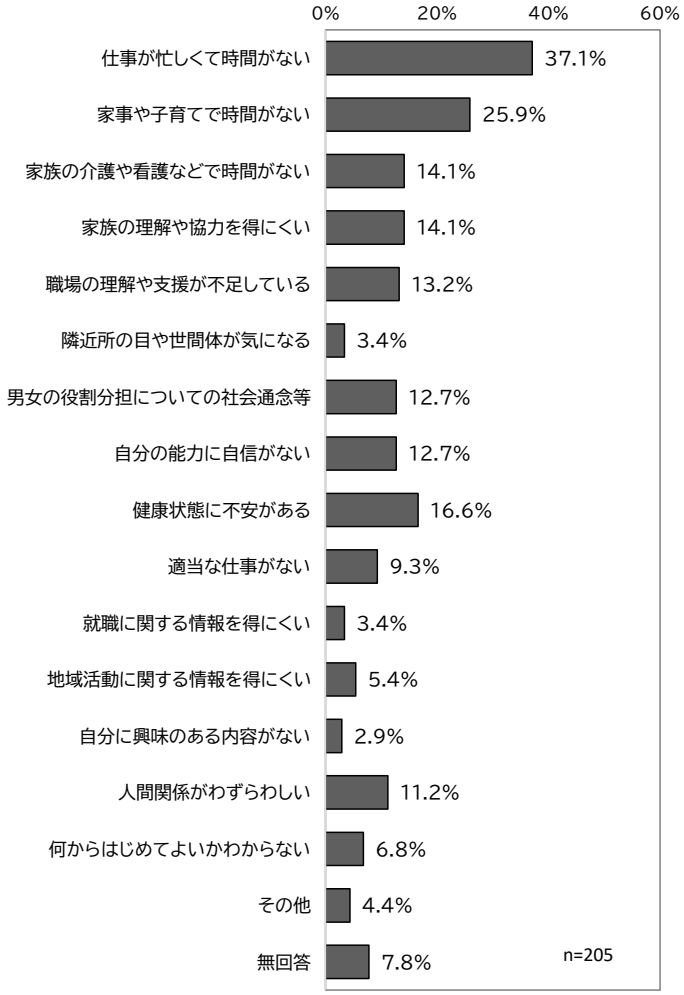

「仕事」を優先
「家庭生活」を優先
「個人の生活」を優先
「仕事」と「家庭生活」をともに優先
「仕事」と「個人の生活」をともに優先
「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
わからない
無回答
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体 (n=353) 18.4 22.9 5.9 21.5 4.5 7.1 7.4 5.4 6.8
結婚している(事実婚を含む)(n=224) 15.6 27.2 0.9 24.6 4.0 10.3 7.1 4.0 6.3
結婚していたことがある(死別、離別)(n=62) 21.0 25.8 11.3 14.5 1.6 1.6 6.5 8.1 9.7
結婚していない (n=64) 25.0 6.3 18.8 18.8 9.4 1.6 7.8 7.8 4.7

《問 12 の「希望」と「現状」の回答が異なる方におたずねします》

問 13　「現状」を「希望」に近づけることをさまたげている（ていた）のはどんなことですか。【あてはまるものすべてに○】

○「仕事が忙しくて時間がない」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「家事や子育てで時間がない」の割合が 25.9%、「健康状態に不安がある」の割合が 16.6%となっています。

調査数(n=205)	回答数	割合
仕事が忙しくて時間がない	76	37.1%
家事や子育てで時間がない	53	25.9%
家族の介護や看護などで時間がない	29	14.1%
家族の理解や協力を得にくい	29	14.1%
職場の理解や支援が不足している	27	13.2%
隣近所の目や世間体が気になる	7	3.4%
男女の役割分担についての社会通念等	26	12.7%
自分の能力に自信がない	26	12.7%
健康状態に不安がある	34	16.6%
適当な仕事がない	19	9.3%
就職に関する情報を得にくい	7	3.4%
地域活動に関する情報を得にくい	11	5.4%
自分に興味のある内容がない	6	2.9%
人間関係がわずらわしい	23	11.2%
何からはじめてよいかわからない	14	6.8%
その他	9	4.4%
無回答	16	7.8%



その他の回答内容
無職なので（3件）、収入が少ない（2件）、体力と時間がない（1件）、年齢に関係してくる（1件）、役割分担をしてから考える（1件）、今は上手くいっている（1件）、一人世帯である（1件）、まだ学生である（1件）

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「仕事が忙しくて時間がない」と「適当な仕事がない」と回答した割合が高くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「家事や子育てで時間がない」と回答した割合が高くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「仕事が忙しくて時間がない」と「家事や子育てで時間がない」回答した割合が高くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「仕事が忙しくて時間がない」と回答した割合が高くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「家族の理解や協力を得にくい」と回答した割合は高く、「家事や子育てで時間がない」と回答した割合が低くなっています。

○「70～79歳」では、全体と比較して「仕事が忙しくて時間がない」と回答した割合が低くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「健康状態に不安がある」と回答した割合が高くなっています。

○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「職場の理解や支援が不足している」と回答した割合が高くなっています。

○「結婚していない」では、全体と比較して「家事や子育てで時間がない」と回答した割合は低く、「適当な仕事がない」と「人間関係がわずらわしい」が高くなっています。

●年代別

区分	有効回答数（件）	仕事が忙しくて時間がない	家事や子育てで時間がない	家族の介護や看護などで時間がない	家族の理解や協力を得にくい	職場の理解や支援が不足している	隣近所の目や世間体が気になる	男女の役割分担についての社会通念に等	自分の能力に自信がない	健康状態に不安がある	適当な仕事がない	就職に関する情報を得にくい	地域活動に関する情報を得にくい	自分に興味のある内容がない	人間関係がわずらわしい	何からはじめてよいかわからない	その他	無回答
全体	205	37.1%	25.9%	14.1%	14.1%	13.2%	3.4%	12.7%	12.7%	16.6%	9.3%	3.4%	5.4%	2.9%	11.2%	6.8%	4.4%	7.8%
29歳以下	14	50.0%	21.4%	-	-	14.3%	-	14.3%	7.1%	7.1%	28.6%	7.1%	-	7.1%	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%
30～39歳	16	31.3%	62.5%	6.3%	12.5%	12.5%	-	25.0%	18.8%	12.5%	-	-	-	-	-	6.3%	-	6.3%
40～49歳	26	46.2%	42.3%	7.7%	19.2%	15.4%	3.8%	15.4%	30.8%	11.5%	11.5%	3.8%	11.5%	-	23.1%	11.5%	-	-
50～59歳	39	48.7%	30.8%	15.4%	10.3%	12.8%	-	5.1%	15.4%	10.3%	10.3%	2.6%	2.6%	5.1%	10.3%	10.3%	7.7%	5.1%
60～69歳	45	37.8%	11.1%	17.8%	22.2%	8.9%	-	8.9%	6.7%	17.8%	8.9%	2.2%	8.9%	2.2%	6.7%	2.2%	2.2%	11.1%
70～79歳	46	17.4%	19.6%	19.6%	10.9%	17.4%	4.3%	15.2%	4.3%	21.7%	8.7%	6.5%	6.5%	4.3%	17.4%	6.5%	6.5%	8.7%
80歳以上	18	38.9%	16.7%	16.7%	11.1%	11.1%	16.7%	16.7%	11.1%	27.8%	-	-	-	-	5.6%	5.6%	-	16.7%

●婚姻別

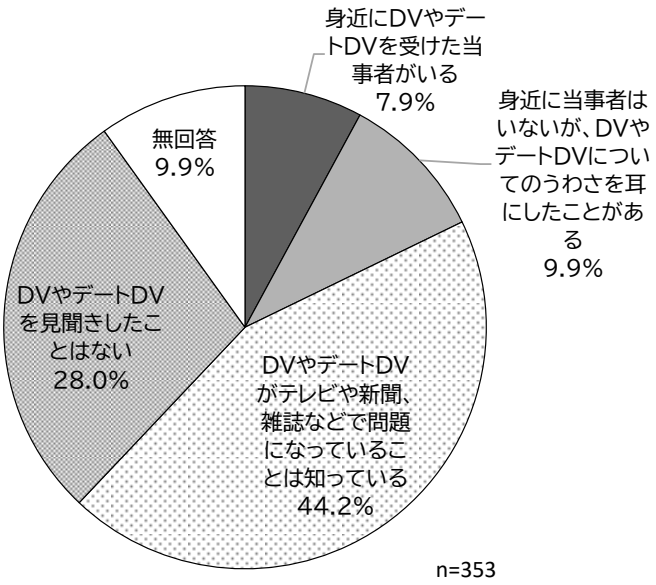
区分	有効回答数（件）	仕事が忙しくて時間がない	家事や子育てで時間がない	家族の介護や看護などで時間がない	家族の理解や協力を得にくい	職場の理解や支援が不足している	隣近所の目や世間体が気になる	男女の役割分担についての社会通念に等	自分の能力に自信がない	健康状態に不安がある	適当な仕事がない	就職に関する情報を得にくい	地域活動に関する情報を得にくい	自分に興味のある内容がない	人間関係がわずらわしい	何からはじめてよいかわからない	その他	無回答
全体	205	37.1%	25.9%	14.1%	14.1%	13.2%	3.4%	12.7%	12.7%	16.6%	9.3%	3.4%	5.4%	2.9%	11.2%	6.8%	4.4%	7.8%
結婚している（事実婚を含む）	131	41.2%	32.8%	14.5%	17.6%	9.2%	1.5%	14.5%	10.7%	12.2%	7.6%	3.1%	3.8%	1.5%	8.4%	4.6%	3.8%	6.9%
結婚していたことがある（死別、離別）	39	28.2%	23.1%	17.9%	10.3%	25.6%	10.3%	12.8%	10.3%	23.1%	2.6%	2.6%	10.3%	5.1%	12.8%	10.3%	5.1%	12.8%
結婚していない	34	29.4%	2.9%	8.8%	2.9%	14.7%	-	5.9%	20.6%	23.5%	23.5%	5.9%	5.9%	5.9%	20.6%	11.8%	5.9%	5.9%

5　配偶者等からの暴力について

問 14　あなたは、ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ、配偶者・パートナー間での暴力）やデートＤＶ（恋人からの暴力）について身近で見聞きしたことがありますか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「DVやデートDVがテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている」の割合が44.2%と最も高く、次いで「DVやデートDVを見聞きしたことはない」の割合が 28.0%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
身近にDVやデートDVを受けた当事者がいる	28	7.9%
身近に当事者はいないが、DVやデートDVについてのうわさを耳にしたことがある	35	9.9%
DVやデートDVがテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている	156	44.2%
DVやデートDVを見聞きしたことはない	99	28.0%
無回答	35	9.9%



（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「DV やデート DV を見聞きしたことはない」と回答した割合が高くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「身近に当事者はいないが、DV やデート DV についてのうわさを耳にしたことがある」「DV やデート DV を見聞きしたことはない」と回答した割合は高く、「DV やデート DV がテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている」が低くなっています。

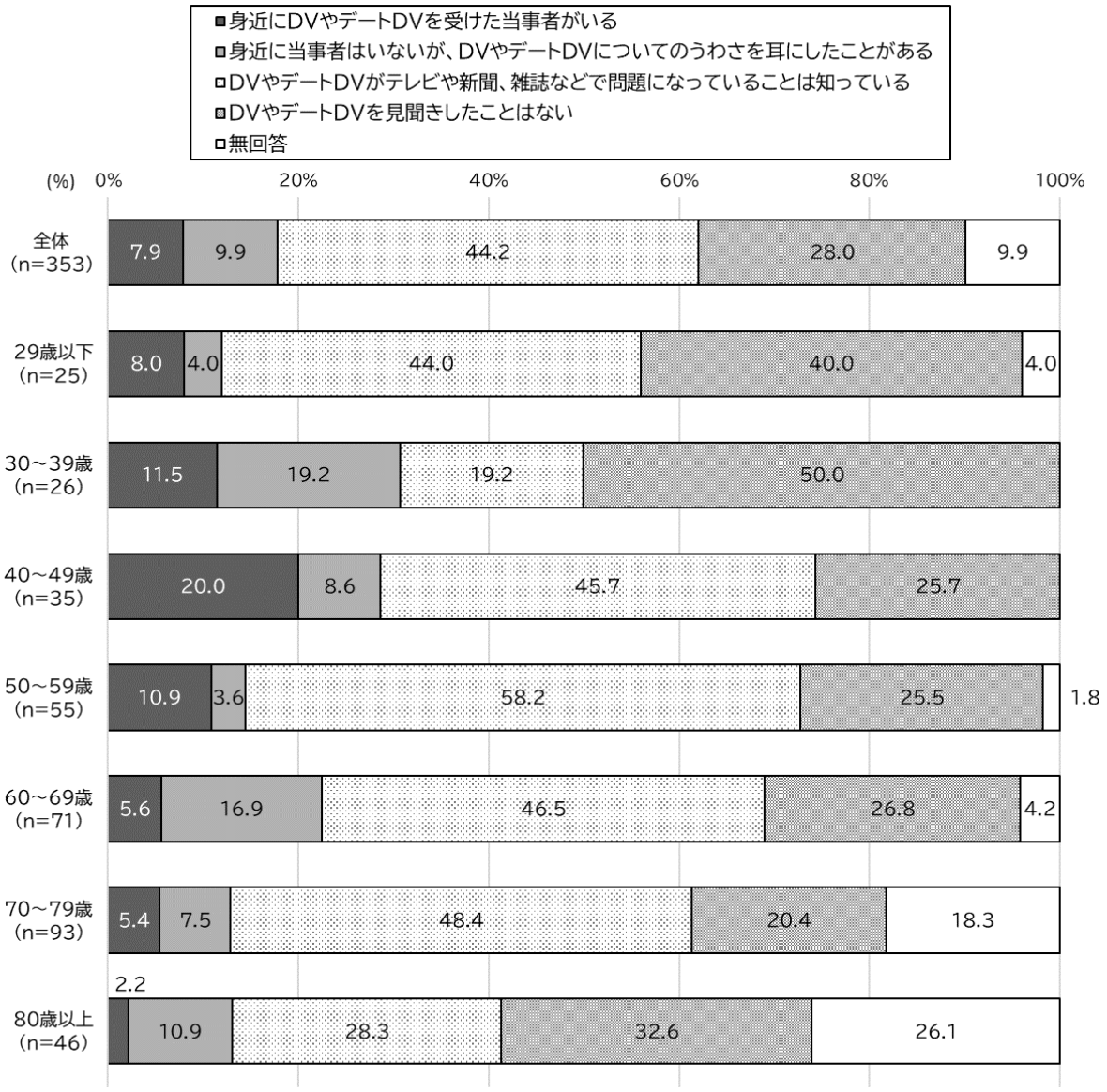
○「40～49歳」では、全体と比較して「身近に DV やデート DV を受けた当事者がいる」と回答した割合が高くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「DV やデート DV がテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている」と回答した割合が高くなっています。

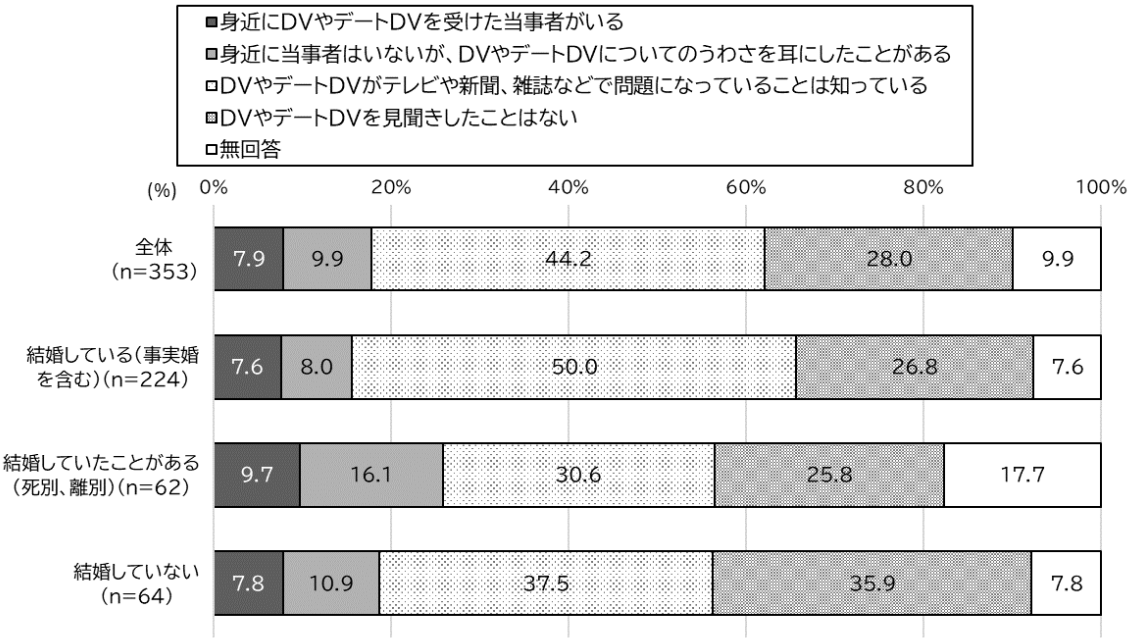
○「80歳以上」では、全体と比較して「DV やデート DV がテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている」と回答した割合が低くなっています。

○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「DV やデート DV がテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている」と回答した割合が低くなっています。

●年代別


身近にDVやデートDVを受けた当事者がいる
身近に当事者はいないが、DVやデートDVについてのうわさを耳にしたことがある
DVやデートDVがテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている
DVやデートDVを見聞きしたことはない
無回答
(%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=353）
7.9
9.9
44.2
28.0
9.9
29歳以下（n=25）
8.0
4.0
44.0
40.0
4.0
30～39歳（n=26）
11.5
19.2
19.2
50.0
40～49歳（n=35）
20.0
8.6
45.7
25.7
50～59歳（n=55）
10.9
3.6
58.2
25.5
1.8
60～69歳（n=71）
5.6
16.9
46.5
26.8
4.2
70～79歳（n=93）
5.4
7.5
48.4
20.4
18.3
80歳以上（n=46）
2.2
10.9
28.3
32.6
26.1

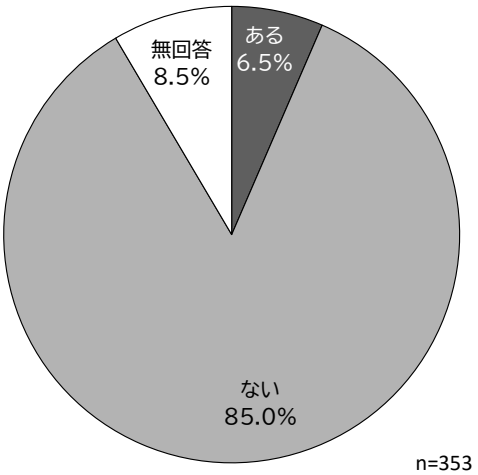
●婚姻別


身近にDVやデートDVを受けた当事者がいる
身近に当事者はいないが、DVやデートDVについてのうわさを耳にしたことがある
DVやデートDVがテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている
DVやデートDVを見聞きしたことはない
無回答
(%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=353）
7.9
9.9
44.2
28.0
9.9
結婚している（事実婚を含む）（n=224）
7.6
8.0
50.0
26.8
7.6
結婚していたことがある（死別、離別）（n=62）
9.7
16.1
30.6
25.8
17.7
結婚していない（n=64）
7.8
10.9
37.5
35.9
7.8

問 15　あなたは、配偶者・パートナー、恋人からの暴力を受けたことがありますか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「ない」の割合が 85.0%と最も高く、次いで「ある」の割合が 6.5%となっています。

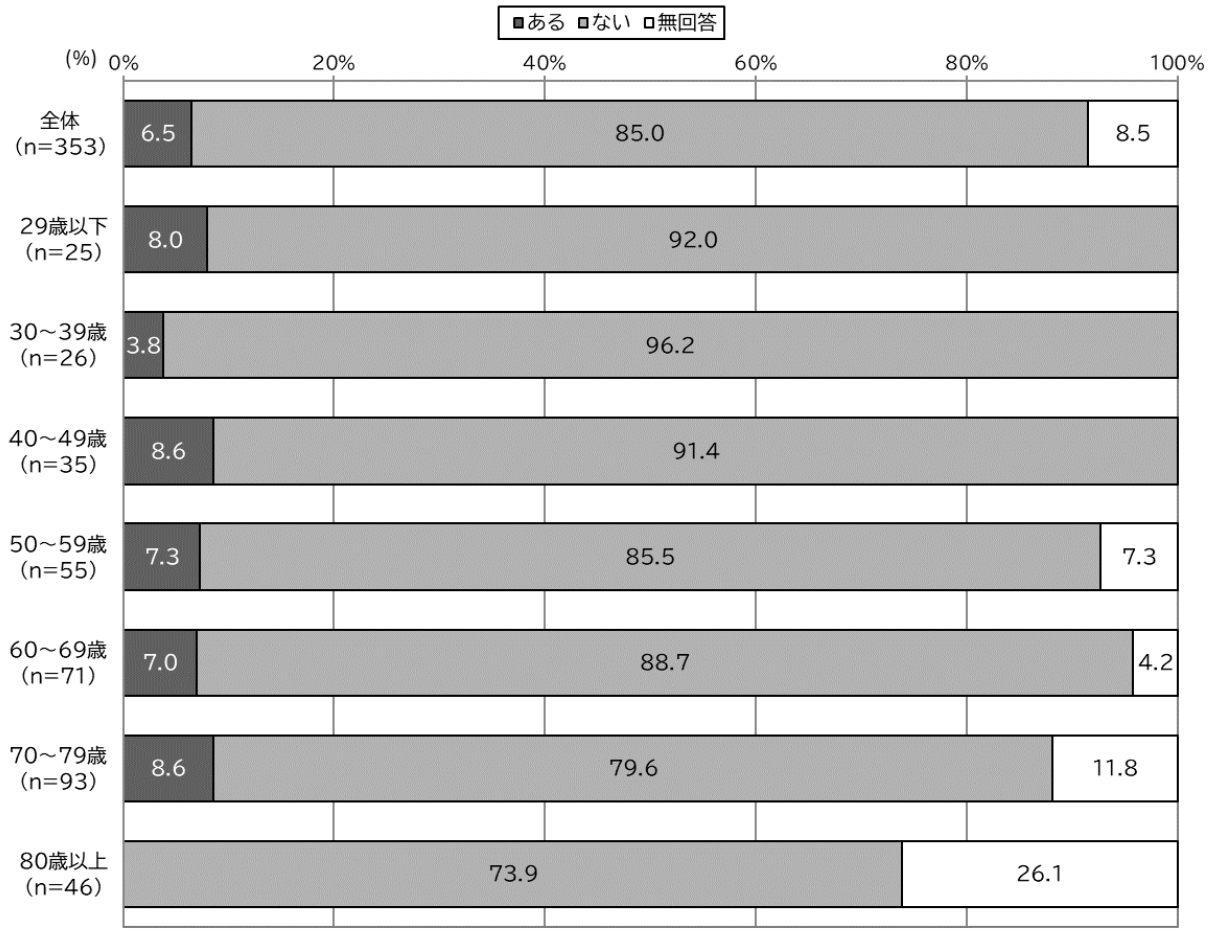
調査数(n=353)	回答数	割合
ある	23	6.5%
ない	300	85.0%
無回答	30	8.5%



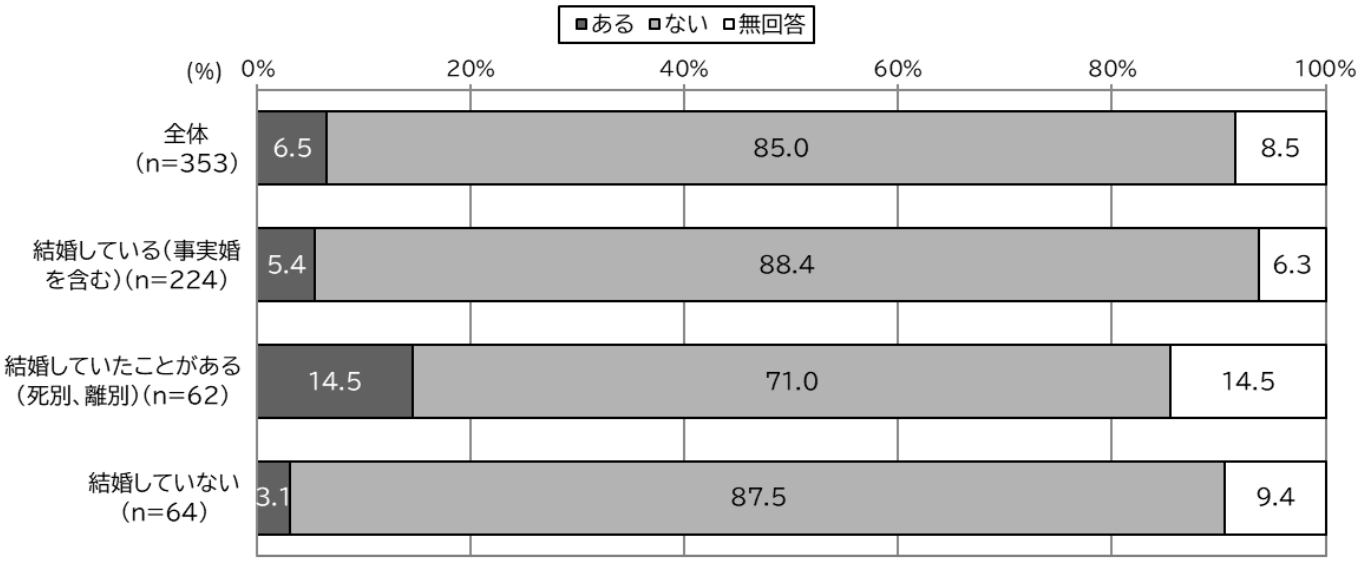
（参考）クロス集計結果

○年代別では、「30～39歳」で全体と比較して「ない」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「ない」と回答した割合が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「ある」と回答した割合が高くなっています。

●年代別



●婚姻別

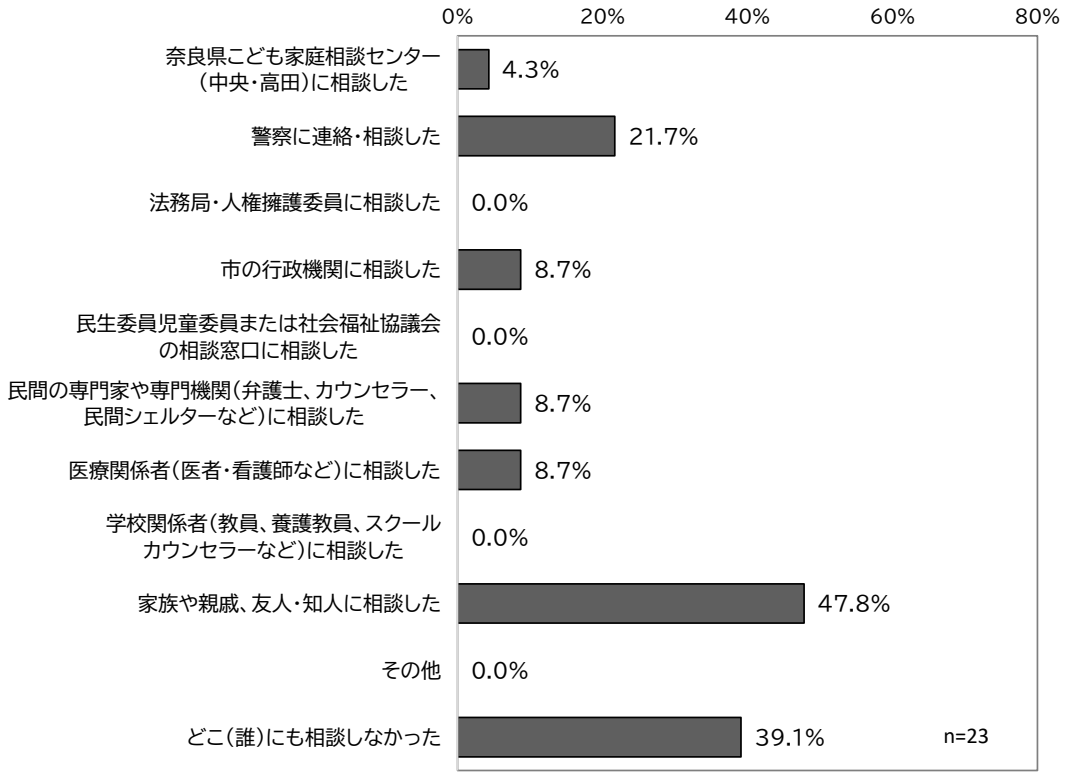


《問 15 で「ある」と答えた方におたずねします》

問 16　あなたは、これまでに配偶者または交際相手（同様の関係にある方を含みます。）から受けたそのような行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。【あてはまるものすべてに○】

○「家族や親戚、友人・知人に相談した」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「どこ（誰）にも相談しなかった」の割合が 39.1%となっています。

調査数（n=23）	回答数	割合
奈良県こども家庭相談センター（中央・高田）に相談した	1	4.3%
警察に連絡・相談した	5	21.7%
法務局・人権擁護委員に相談した	-	-
市の行政機関に相談した	2	8.7%
民生委員児童委員または社会福祉協議会の相談窓口に相談した	-	-
民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、民間シェルターなど）に相談した	2	8.7%
医療関係者（医者・看護師など）に相談した	2	8.7%
学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した	-	-
家族や親戚、友人・知人に相談した	11	47.8%
その他	-	-
どこ（誰）にも相談しなかった	9	39.1%

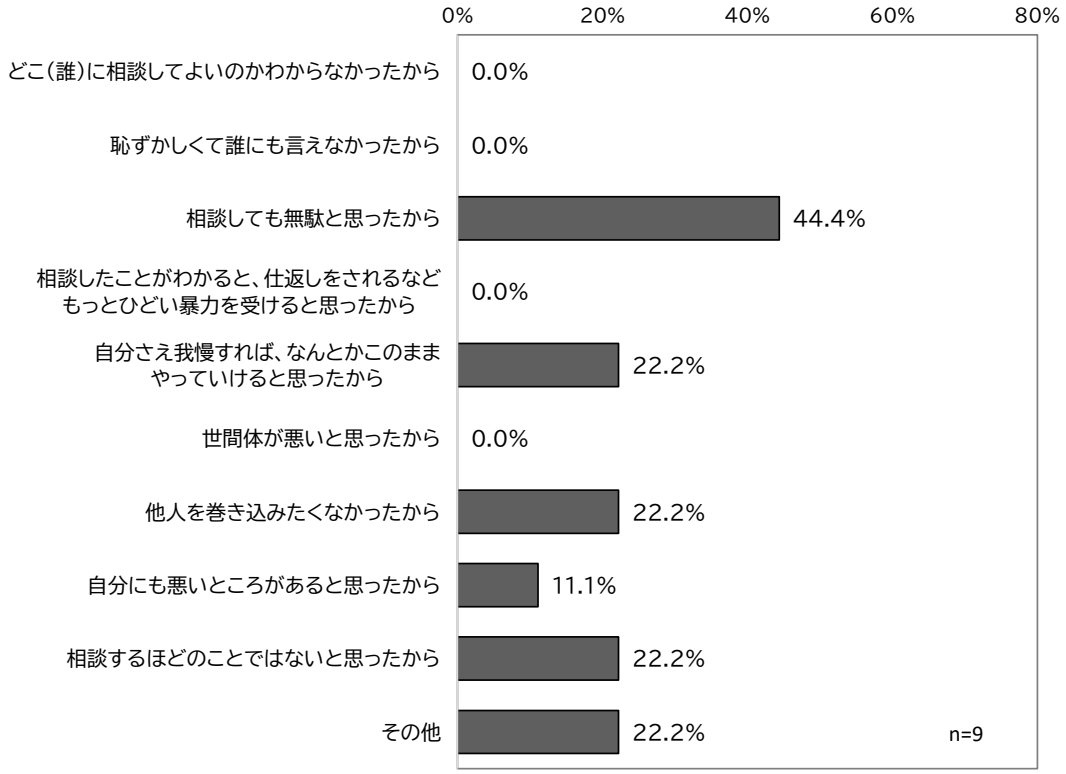


《問 16 で「11 どこ(誰)にも相談しなかった」と答えた方におたずねします》

問 17　どこ（誰）にも相談しなかったのは、なぜですか。【あてはまるものすべてに○】

○「相談しても無駄と思ったから」の割合が 44.4%となっています。

調査数(n=9)	回答数	割合
どこ(誰)に相談してよいのかわからなかったから	-	-
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	-	-
相談しても無駄と思ったから	4	44.4%
相談したことがわかると、仕返しをされるなどもっとひどい暴力を受けると思ったから	-	-
自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	2	22.2%
世間体が悪いと思ったから	-	-
他人を巻き込みたくなかったから	2	22.2%
自分にも悪いところがあると思ったから	1	11.1%
相談するほどのことではないと思ったから	2	22.2%
その他	2	22.2%



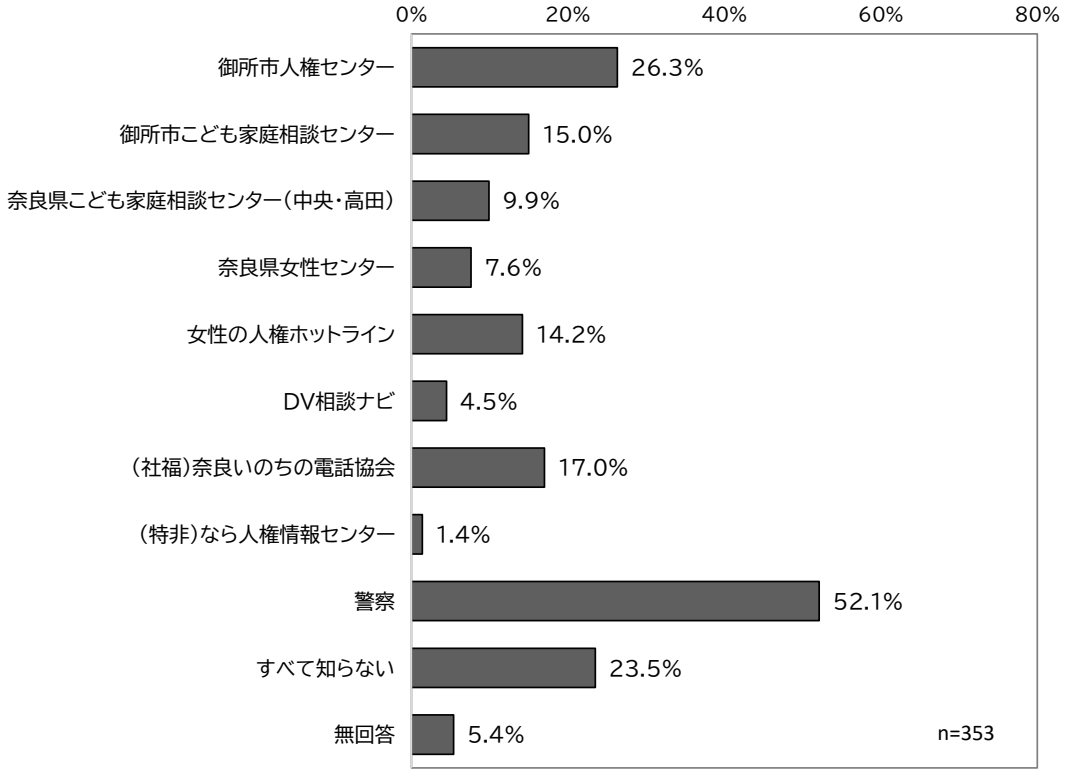
その他の回答内容
言葉の暴力が DV であるということがわからなかった(1件)、DV だと理解したのは最近の事で、若い頃は DV である事も分からなかった(1件)

《すべての方におたずねします》

問 18　あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）に関して、次の相談場所があることを知っていますか。【知っているものすべてに○】

○「警察」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「御所市人権センター」の割合が 26.3%、「すべて知らない」の割合が 23.5%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
御所市人権センター	93	26.3%
御所市こども家庭相談センター	53	15.0%
奈良県こども家庭相談センター(中央・高田)	35	9.9%
奈良県女性センター	27	7.6%
女性の人権ホットライン	50	14.2%
DV相談ナビ	16	4.5%
(社福)奈良いのちの電話協会	60	17.0%
(特非)なら人権情報センター	5	1.4%
警察	184	52.1%
すべて知らない	83	23.5%
無回答	19	5.4%



（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「すべて知らない」と回答した割合は高く、「御所市人権センター」と「御所市こども家庭相談センター」が低くなっています。
○「30～39歳」と「50～59歳」では、全体と比較して「御所市人権センター」と回答した割合は低く、「警察」が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「警察」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「御所市人権センター」と回答した割合は高く、「警察」と回答した割合が低くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「女性の人権ホットライン」「警察」と回答した割合は低く、「すべて知らない」が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「警察」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

区分	有効回答数（件）	御所市人権センター	御所市こども家庭相談センター	奈良県こども家庭相談センター（中央・高田）	奈良県女性センター	女性の人権ホットライン	DV相談ナビ	（社福）奈良いのちの電話協会	（特非）なら人権情報センター	警察	すべて知らない	無回答
全体	353	26.3%	15.0%	9.9%	7.6%	14.2%	4.5%	17.0%	1.4%	52.1%	23.5%	5.4%
29歳以下	25	12.0%	4.0%	4.0%	-	16.0%	-	12.0%	-	56.0%	36.0%	-
30～39歳	26	15.4%	19.2%	15.4%	7.7%	11.5%	11.5%	23.1%	-	69.2%	19.2%	-
40～49歳	35	20.0%	22.9%	11.4%	8.6%	22.9%	2.9%	22.9%	-	65.7%	14.3%	2.9%
50～59歳	55	16.4%	14.5%	9.1%	10.9%	14.5%	9.1%	16.4%	1.8%	67.3%	23.6%	-
60～69歳	71	32.4%	21.1%	18.3%	11.3%	21.1%	2.8%	19.7%	2.8%	50.7%	21.1%	-
70～79歳	93	35.5%	10.8%	5.4%	7.5%	11.8%	5.4%	15.1%	2.2%	43.0%	21.5%	8.6%
80歳以上	46	30.4%	13.0%	6.5%	2.2%	2.2%	-	13.0%	-	32.6%	34.8%	19.6%

●婚姻別

区分	有効回答数（件）	御所市人権センター	御所市こども家庭相談センター	奈良県こども家庭相談センター（中央・高田）	奈良県女性センター	女性の人権ホットライン	DV相談ナビ	（社福）奈良いのちの電話協会	（特非）なら人権情報センター	警察	すべて知らない	無回答
全体	353	26.3%	15.0%	9.9%	7.6%	14.2%	4.5%	17.0%	1.4%	52.1%	23.5%	5.4%
結婚している（事実婚を含む）	224	25.9%	16.5%	9.8%	7.6%	15.6%	5.4%	16.1%	0.9%	50.4%	22.8%	4.0%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	24.2%	14.5%	12.9%	9.7%	12.9%	3.2%	22.6%	1.6%	46.8%	27.4%	8.1%
結婚していない	64	31.3%	10.9%	7.8%	6.3%	10.9%	3.1%	15.6%	3.1%	64.1%	23.4%	4.7%

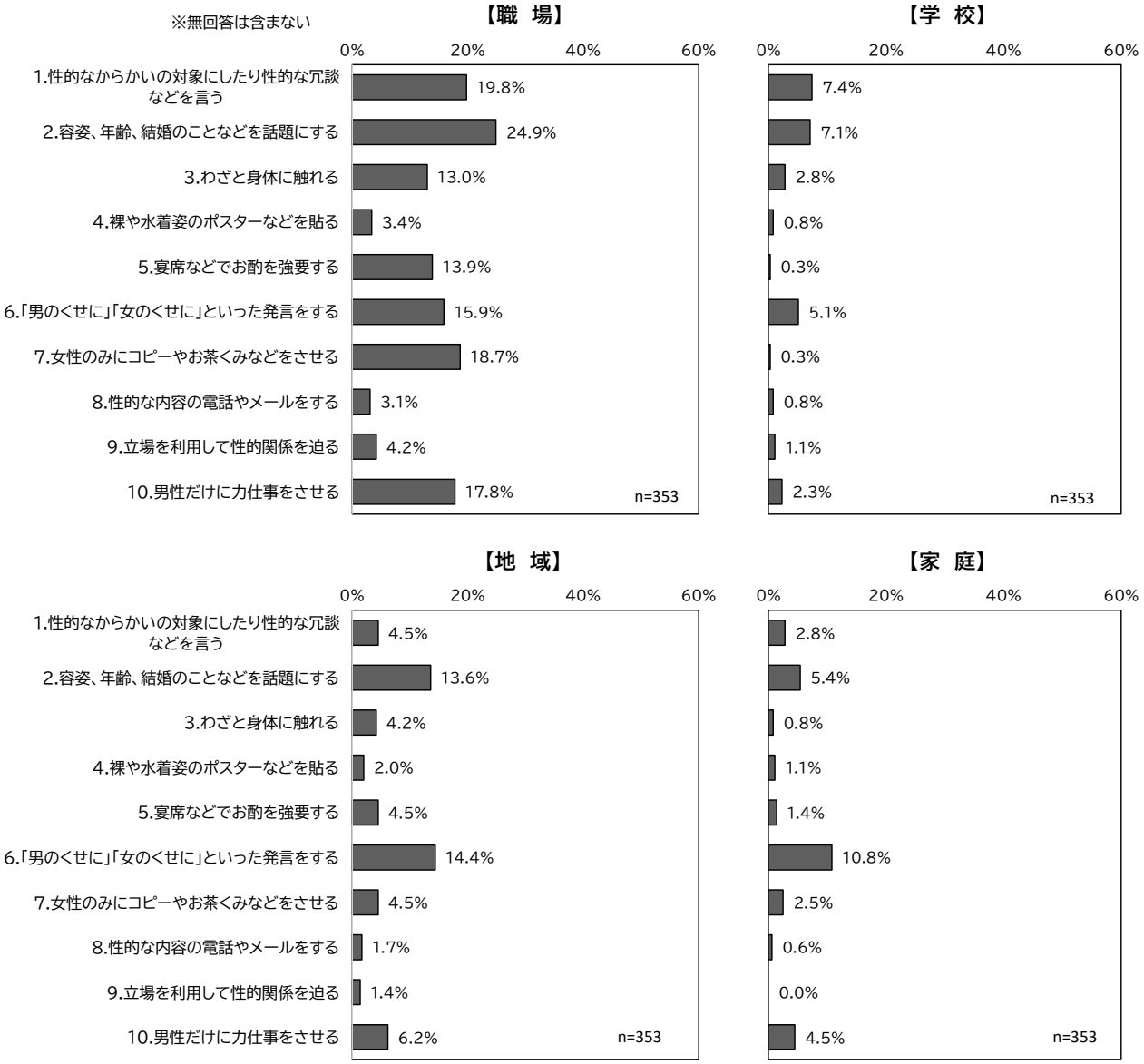
問 19　次の１～10 の性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）について、あなたが経験したものや見聞きしたものはありますか。【職場、学校、地域、家庭それぞれの場について、あてはまるものすべてに○】

○【職場】では、「2. 容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「1. 性的なからかいの対象にしたり性的な冗談などを言う」の割合が 19.8%となっています。

○【学校】では、「1. 性的なからかいの対象にしたり性的な冗談などを言う」の割合が 7.4%と最も高く、次いで「2. 容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする」の割合が 7.1%となっています。

○【地域】では、『6. 「男のくせに」「女のくせに」といった発言をする』の割合が 14.4%と最も高く、次いで「2. 容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする」の割合が 13.6%となっています。

○【家庭】では、『6. 「男のくせに」「女のくせに」といった発言をする』の割合が 10.8%と最も高く、次いで「2. 容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする」の割合が 5.4%となっています。



（参考）クロス集計結果

問 19-1　性的なからかいの対象にしたり性的な冗談などを言う

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「学校」と「地域」と回答した割合が高く、「職場」が低くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「職場」と「地域」と回答した割合が低くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「学校」と「家庭」と回答した割合が高くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「地域」と回答した割合が高くなっています。
○「60～69歳」では、全体と比較して「職場」と回答した割合が高く、「学校」「地域」が低くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「学校」と回答した割合が低くなっています。

●年代別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	86	81.4%	30.2%	18.6%	11.6%
29歳以下	7	71.4%	71.4%	28.6%	14.3%
30～39歳	13	61.5%	30.8%	7.7%	15.4%
40～49歳	14	85.7%	50.0%	21.4%	21.4%
50～59歳	17	82.4%	35.3%	35.3%	11.8%
60～69歳	16	100.0%	18.8%	6.3%	6.3%
70～79歳	13	76.9%	7.7%	15.4%	7.7%
80歳以上	6	83.3%	-	16.7%	-

問 19-2　容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする

○性別では、「男性」で全体と比較して「地域」と回答した割合が低くなっています。
○年代別では、「30～39歳」で全体と比較して「地域」と回答した割合が低くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「学校」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「職場」と「学校」と回答した割合が低くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「職場」と回答した割合は低く、「地域」が高くなっています。

●性別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	118	74.6%	21.2%	40.7%	16.1%
男性	41	80.5%	14.6%	29.3%	7.3%
女性	72	70.8%	23.6%	47.2%	20.8%
答えない	5	80.0%	40.0%	40.0%	20.0%

●年代別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	118	74.6%	21.2%	40.7%	16.1%
29歳以下	13	76.9%	30.8%	46.2%	15.4%
30～39歳	16	75.0%	12.5%	18.8%	18.8%
40～49歳	18	83.3%	27.8%	44.4%	22.2%
50～59歳	23	78.3%	34.8%	47.8%	21.7%
60～69歳	26	76.9%	15.4%	38.5%	11.5%
70～79歳	15	60.0%	6.7%	40.0%	13.3%
80歳以上	7	57.1%	14.3%	57.1%	-

問 19-3　わざと身体に触れる

○性別では、「男性」で全体と比較して「職場」と回答した割合が高く、「学校」が低くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「職場」と「学校」と回答した割合が高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「職場」と回答した割合は低く、「地域」が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「学校」と「家庭」と回答した割合高くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「地域」と回答した割合が高くなっています。
○「60～69歳」では、全体と比較して「地域」と回答した割合が低くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「職場」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「職場」と回答した割合が低くなっています。

●性別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	55	83.6%	18.2%	27.3%	5.5%
男性	15	93.3%	6.7%	20.0%	-
女性	36	77.8%	22.2%	30.6%	8.3%
答えない	4	100.0%	25.0%	25.0%	-

●年代別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	55	83.6%	18.2%	27.3%	5.5%
29歳以下	5	100.0%	40.0%	20.0%	-
30～39歳	7	57.1%	14.3%	42.9%	14.3%
40～49歳	10	90.0%	30.0%	20.0%	20.0%
50～59歳	11	81.8%	9.1%	54.5%	-
60～69歳	15	86.7%	20.0%	13.3%	-
70～79歳	4	100.0%	-	-	-
80歳以上	3	66.7%	-	33.3%	-

問 19-5　宴席などでお酌を強要する

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「職場」と回答した割合は低く、「地域」が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「職場」と回答した割合は低く、「学校」と「地域」と「家庭」が高くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「地域」と回答した割合が高くなっています。
○「60～69歳」と「70～79歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「地域」と回答した割合が低くなっています。

●年代別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	53	92.5%	1.9%	30.2%	9.4%
29歳以下	6	83.3%	-	66.7%	16.7%
30～39歳	9	100.0%	-	22.2%	11.1%
40～49歳	7	71.4%	14.3%	42.9%	28.6%
50～59歳	10	100.0%	-	40.0%	10.0%
60～69歳	8	100.0%	-	12.5%	-
70～79歳	8	87.5%	-	12.5%	-
80歳以上	5	100.0%	-	20.0%	-

問 19-6　「男のくせに」「女のくせに」といった発言をする

○性別では、「男性」で全体と比較して「職場」と回答した割合は高く、「地域」と「家庭」が低くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「職場」「学校」と「回答した割合が高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「職場」と回答した割合は高く、「地域」と「家庭」が低くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「地域」と回答した割合が高くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「学校」と「地域」と「家庭」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「職場」と「学校」と「家庭」と回答した割合が低くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「職場」と回答した割合は高く、「家庭」が低くなっています。

●性別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	109	51.4%	16.5%	46.8%	34.9%
男性	33	63.6%	9.1%	36.4%	21.2%
女性	71	47.9%	19.7%	52.1%	39.4%
答えない	5	20.0%	20.0%	40.0%	60.0%

●年代別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	109	51.4%	16.5%	46.8%	34.9%
29歳以下	8	62.5%	50.0%	50.0%	37.5%
30～39歳	12	66.7%	16.7%	25.0%	25.0%
40～49歳	16	43.8%	12.5%	56.3%	37.5%
50～59歳	16	56.3%	31.3%	56.3%	56.3%
60～69歳	30	46.7%	13.3%	46.7%	36.7%
70～79歳	18	38.9%	5.6%	44.4%	22.2%
80歳以上	9	66.7%	-	44.4%	22.2%

問 19-7　女性のみにコピーやお茶くみなどをさせる

○性別では、「男性」で全体と比較して「地域」と回答した割合が低くなっています。
○年代別では、「40～49歳」で全体と比較して「地域」と回答した割合が高くなっています。
○「60～69歳」と「70～79歳」では、全体と比較して「職場」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「職場」と回答した割合が低くなっています。

●性別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	74	89.2%	1.4%	21.6%	12.2%
男性	21	90.5%	-	9.5%	9.5%
女性	50	90.0%	2.0%	24.0%	12.0%
答えない	3	66.7%	-	66.7%	33.3%

●年代別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	74	89.2%	1.4%	21.6%	12.2%
29歳以下	2	100.0%	-	50.0%	50.0%
30～39歳	11	90.9%	-	27.3%	-
40～49歳	11	81.8%	9.1%	36.4%	18.2%
50～59歳	15	86.7%	-	13.3%	20.0%
60～69歳	11	100.0%	-	27.3%	18.2%
70～79歳	12	100.0%	-	-	-
80歳以上	12	75.0%	-	25.0%	8.3%

問 19-10　男性だけに力仕事をさせる

○性別では、「男性」で全体と比較して「職場」と回答した割合は高く、「地域」と「家庭」が低くなっています。
○「女性」では、全体と比較して「職場」と回答した割合が低くなっています。
○年代別では、「29歳以下」と「50～59歳」で全体と比較して「学校」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「職場」と回答した割合は低く、「地域」が高くなっています。

●性別

区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	75	84.0%	10.7%	29.3%	21.3%
男性	38	94.7%	10.5%	18.4%	10.5%
女性	34	73.5%	8.8%	38.2%	29.4%
答えない	3	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%

●年代別

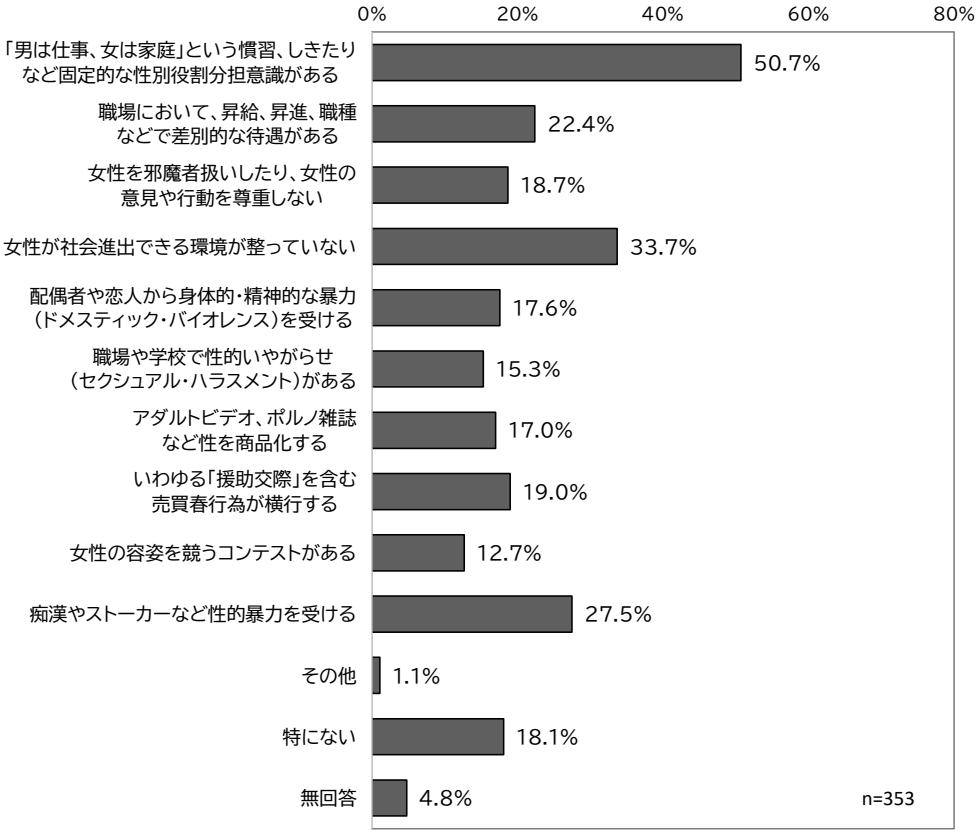
区　分	有効回答数（件）	職場	学校	地域	家庭
全体	75	84.0%	10.7%	29.3%	21.3%
29歳以下	10	90.0%	20.0%	30.0%	20.0%
30～39歳	11	90.9%	9.1%	27.3%	18.2%
40～49歳	12	75.0%	8.3%	33.3%	16.7%
50～59歳	15	93.3%	26.7%	20.0%	26.7%
60～69歳	11	81.8%	-	27.3%	27.3%
70～79歳	11	90.9%	-	36.4%	18.2%
80歳以上	5	40.0%	-	40.0%	20.0%

6　男女共同参画社会について

問 20　あなたは、女性の人権が大切にされていないと思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

○『「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある』の割合が50.7%と最も高く、次いで「女性が社会進出できる環境が整っていない」の割合が 33.7%、「痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける」の割合が 27.5%、「職場において、昇給、昇進、職種などで差別的な待遇がある」の割合が 22.4%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある	179	50.7%
職場において、昇給、昇進、職種などで差別的な待遇がある	79	22.4%
女性を邪魔者扱いしたり、女性の意見や行動を尊重しない	66	18.7%
女性が社会進出できる環境が整っていない	119	33.7%
配偶者や恋人から身体的・精神的な暴力(ドメスティック・バイオレンス)を受ける	62	17.6%
職場や学校で性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)がある	54	15.3%
アダルトビデオ、ポルノ雑誌など性を商品化する	60	17.0%
いわゆる「援助交際」を含む売買春行為が横行する	67	19.0%
女性の容姿を競うコンテストがある	45	12.7%
痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける	97	27.5%
その他	4	1.1%
特にない	64	18.1%
無回答	17	4.8%



その他の回答内容
男女ともに当てはまる(2件)、子供のいない夫婦への不理解(1件)、この中にはないと思う(1件)

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」では全体と比較して『「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある』と回答した割合は低く、「職場において、昇格、昇進、職種などで差別的な待遇がある」と「女性を邪魔者扱いしたり、女性の意見や行動を尊重しない」と「職場や学校で性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）がある」と「痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける」が高くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して『「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある』と「痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける」と回答した割合は高く、『いわゆる「援助交際」を含む売買春行為が横行する』が低くなっています。

○「40～49歳」では、『「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある』と「配偶者や恋人から身体的・精神的な暴力（ドメスティック・バイオレンス）を受ける」と「女性の容姿を競うコンテストがある」と「痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける」と回答した割合が高くなっています。

○「70～79歳」では、全体と比較して「痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける」と回答した割合が低くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「女性の容姿を競うコンテストがある」と「痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける」と回答した割合が低くなっています。

○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「女性が社会進出できる環境が整っていない」と回答した割合が低くなっています。

○「結婚していない」では、全体と比較して「女性が社会進出できる環境が整っていない」と「痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

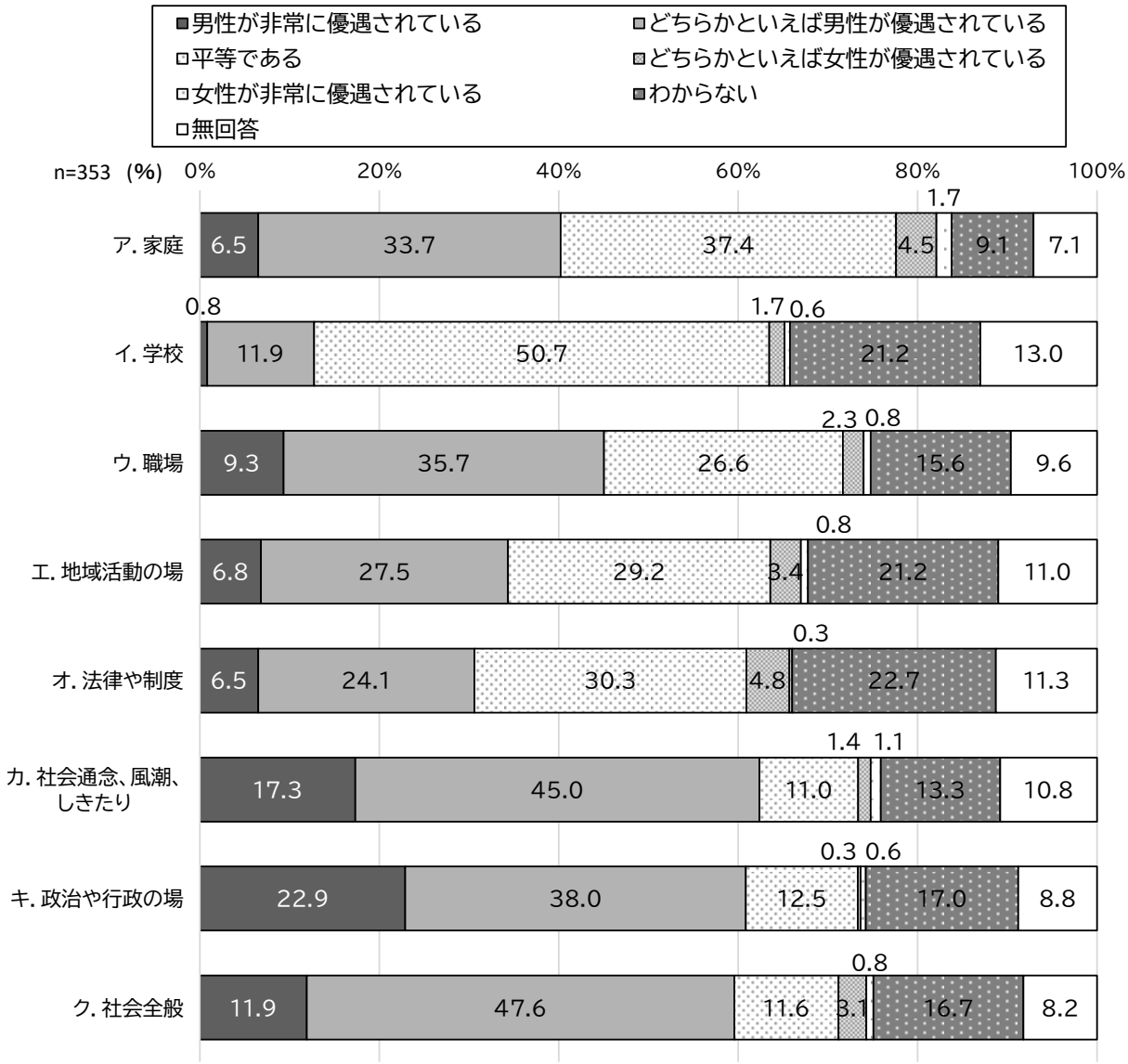
区分	有効回答数（件）	「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある	職場において、昇格、昇進、職種などで差別的な待遇がある	女性を邪魔者扱いしたり、女性の意見や行動を尊重しない	女性が社会進出できる環境が整っていない	配偶者や恋人から身体的・精神的な暴力（ドメスティック・バイオレンス）を受ける	職場や学校で性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）がある	アダルトビデオ、ポルノ雑誌など性を商品化する	いわゆる「援助交際」を含む売買春行為が横行する	女性の容姿を競うコンテストがある	痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける	その他	特にない	無回答
全体	353	50.7%	22.4%	18.7%	33.7%	17.6%	15.3%	17.0%	19.0%	12.7%	27.5%	1.1%	18.1%	4.8%
29歳以下	25	40.0%	40.0%	28.0%	40.0%	24.0%	40.0%	16.0%	28.0%	16.0%	40.0%	-	20.0%	-
30～39歳	26	65.4%	23.1%	15.4%	42.3%	23.1%	11.5%	11.5%	7.7%	15.4%	38.5%	-	11.5%	-
40～49歳	35	68.6%	20.0%	25.7%	40.0%	31.4%	14.3%	20.0%	28.6%	25.7%	48.6%	2.9%	14.3%	-
50～59歳	55	52.7%	23.6%	23.6%	36.4%	18.2%	20.0%	16.4%	25.5%	7.3%	32.7%	1.8%	16.4%	3.6%
60～69歳	71	43.7%	19.7%	14.1%	32.4%	19.7%	14.1%	23.9%	25.4%	18.3%	32.4%	1.4%	15.5%	2.8%
70～79歳	93	48.4%	22.6%	14.0%	30.1%	9.7%	9.7%	15.1%	11.8%	10.8%	12.9%	-	22.6%	6.5%
80歳以上	46	45.7%	15.2%	21.7%	28.3%	13.0%	13.0%	13.0%	10.9%	2.2%	15.2%	2.2%	21.7%	15.2%

●婚姻別

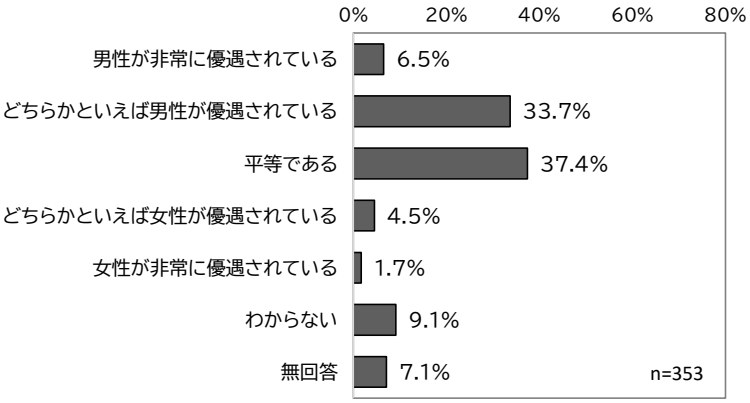
区分	有効回答数（件）	「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある	職場において、昇格、昇進、職種などで差別的な待遇がある	女性を邪魔者扱いしたり、女性の意見や行動を尊重しない	女性が社会進出できる環境が整っていない	配偶者や恋人から身体的・精神的な暴力（ドメスティック・バイオレンス）を受ける	職場や学校で性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）がある	アダルトビデオ、ポルノ雑誌など性を商品化する	いわゆる「援助交際」を含む売買春行為が横行する	女性の容姿を競うコンテストがある	痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける	その他	特にない	無回答
全体	353	50.7%	22.4%	18.7%	33.7%	17.6%	15.3%	17.0%	19.0%	12.7%	27.5%	1.1%	18.1%	4.8%
結婚している（事実婚を含む）	224	50.0%	20.1%	17.0%	34.4%	14.7%	13.8%	15.6%	16.5%	11.6%	27.2%	1.3%	17.4%	4.0%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	50.0%	25.8%	21.0%	21.0%	21.0%	11.3%	19.4%	19.4%	11.3%	14.5%	-	25.8%	11.3%
結婚していない	64	53.1%	26.6%	23.4%	45.3%	25.0%	25.0%	20.3%	28.1%	18.8%	42.2%	1.6%	12.5%	1.6%

問 21　次のア～クの場面において、あなたは、どの程度男女間で平等になっていると思いますか。【ア～クそれぞれについて、あてはまるもの１つだけに○】

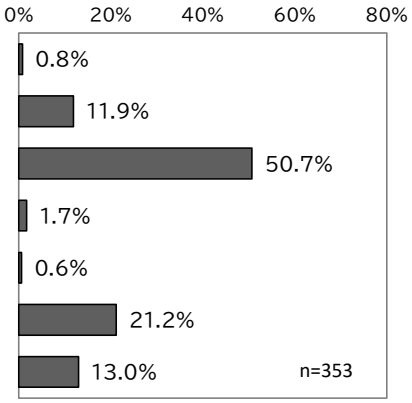
○「男性が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」を足し合わせると、「カ. 社会通念、風潮、しきたり」、「キ. 政治や行政の場」、「ク. 社会全般」において、6 割の方が「男性が優遇されている」と回答しています。



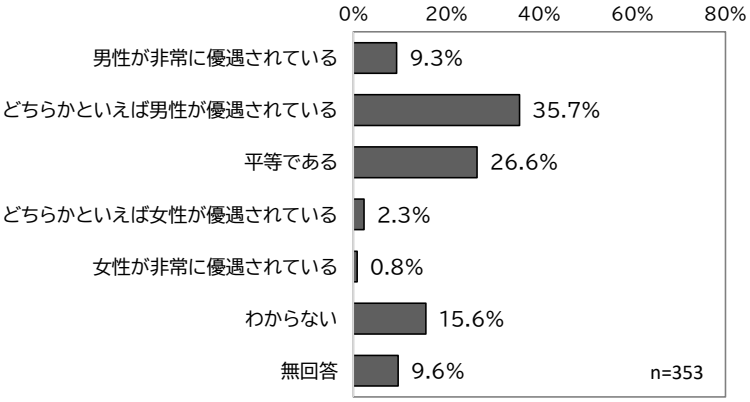
【ア. 家庭】



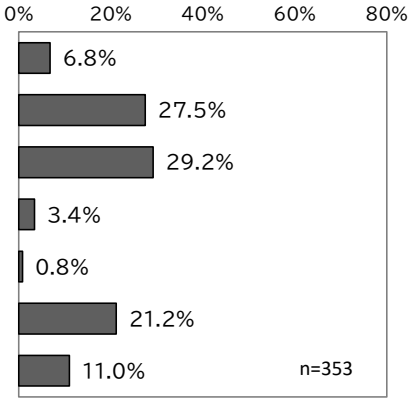
【イ. 学校】



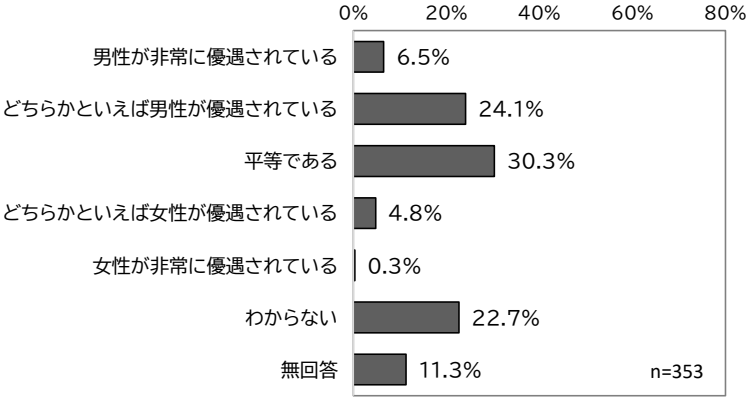
【ウ. 職場】



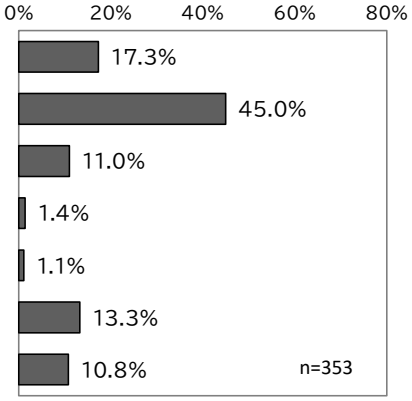
【エ. 地域活動の場】



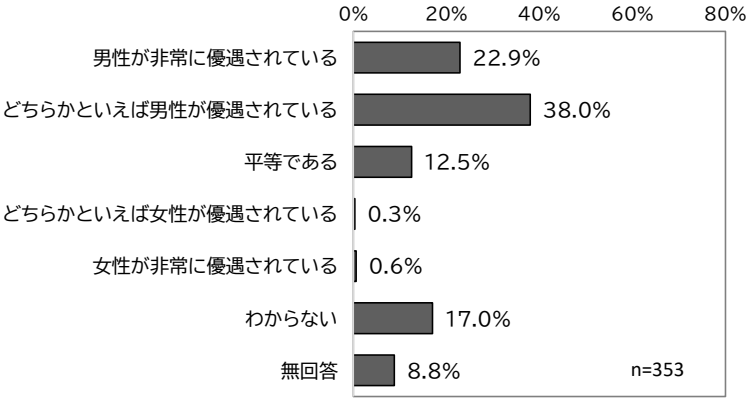
【オ. 法律や制度】



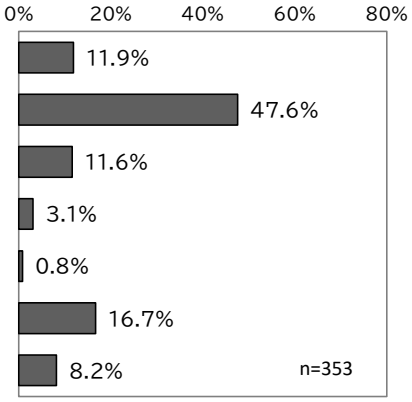
【カ. 社会通念、風潮、しきたり】



【キ. 政治や行政の場】



【ク. 社会全般】

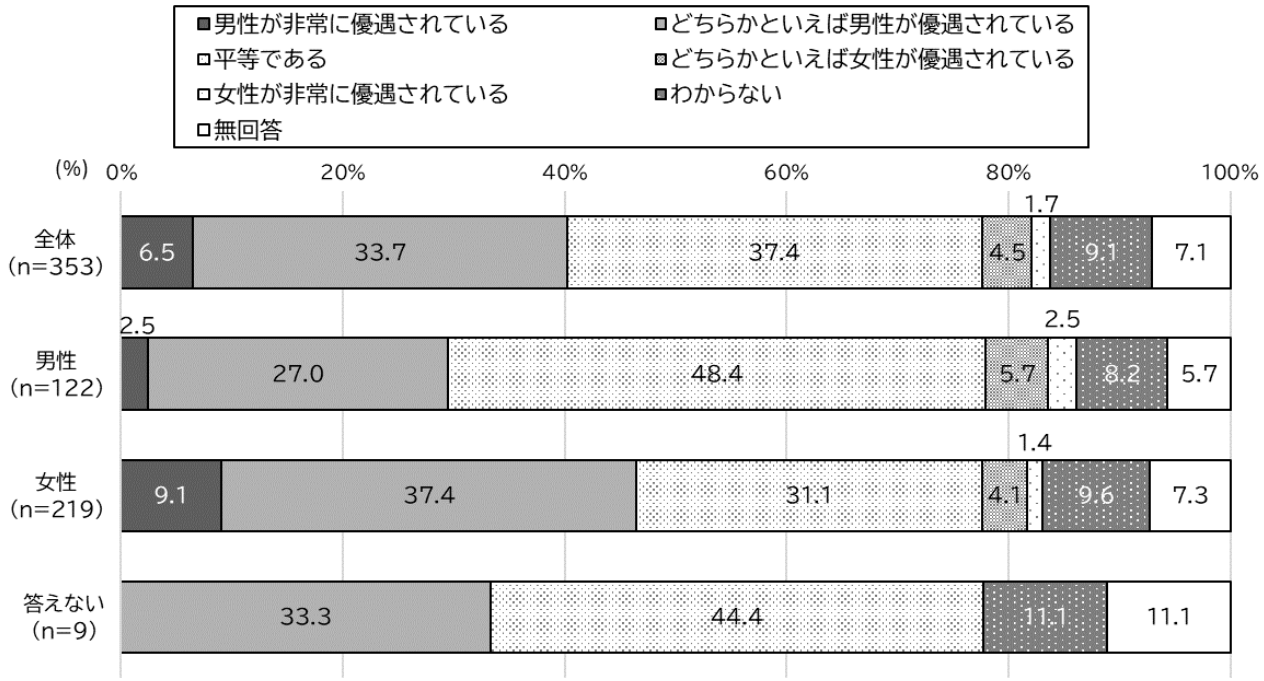


（参考）クロス集計結果

問 21　ア　家庭

○性別では、「男性」で全体と比較して「平等である」と回答した割合が高くなっています。

●性別

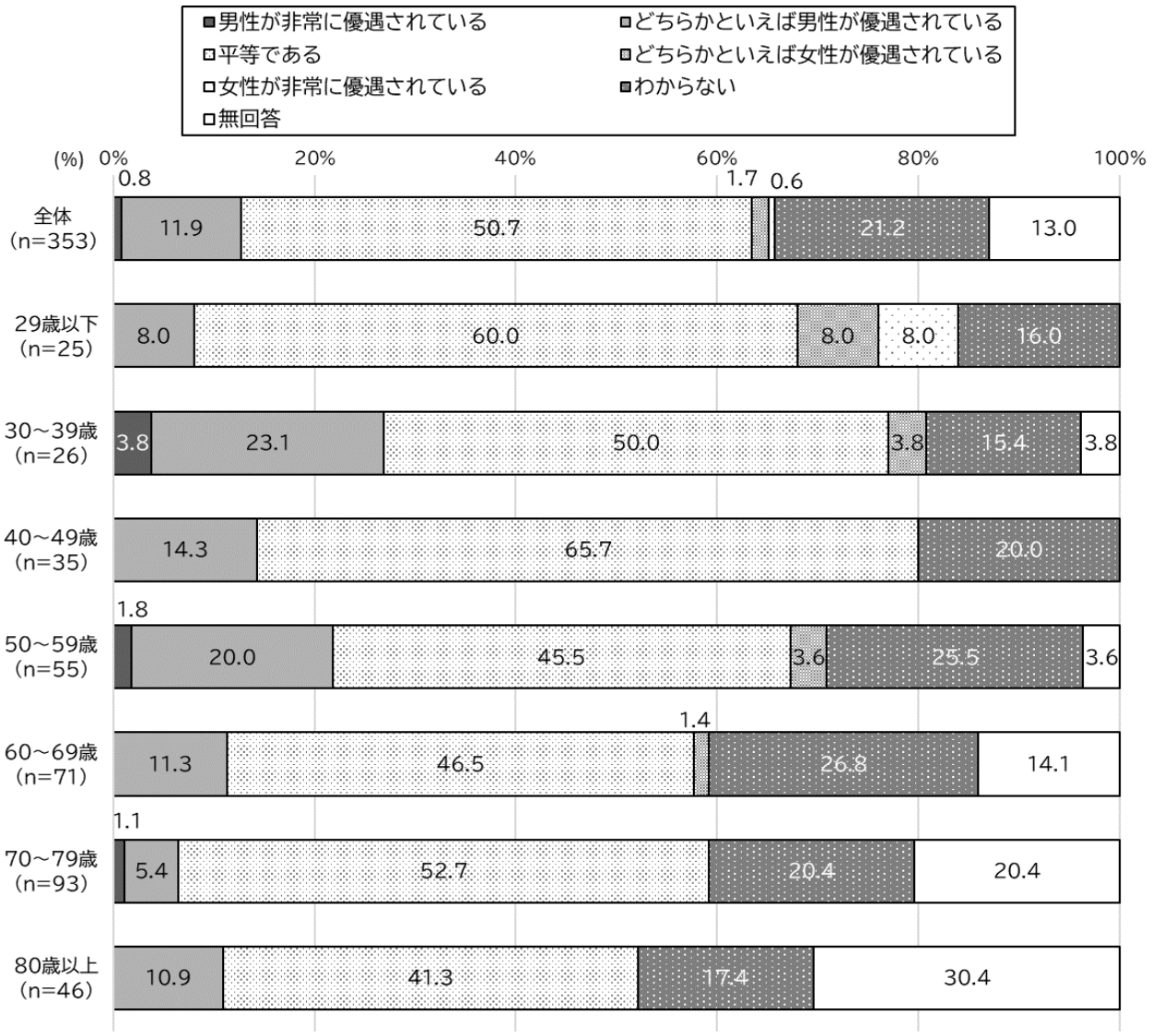


問21　イ　学校

○性別では、「29歳以下」と「40～49歳」で全体と比較して「平等である」と回答した割合が高くなっています。

○「30～39歳」と「50～59歳」では、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合は全体より高くなっています。

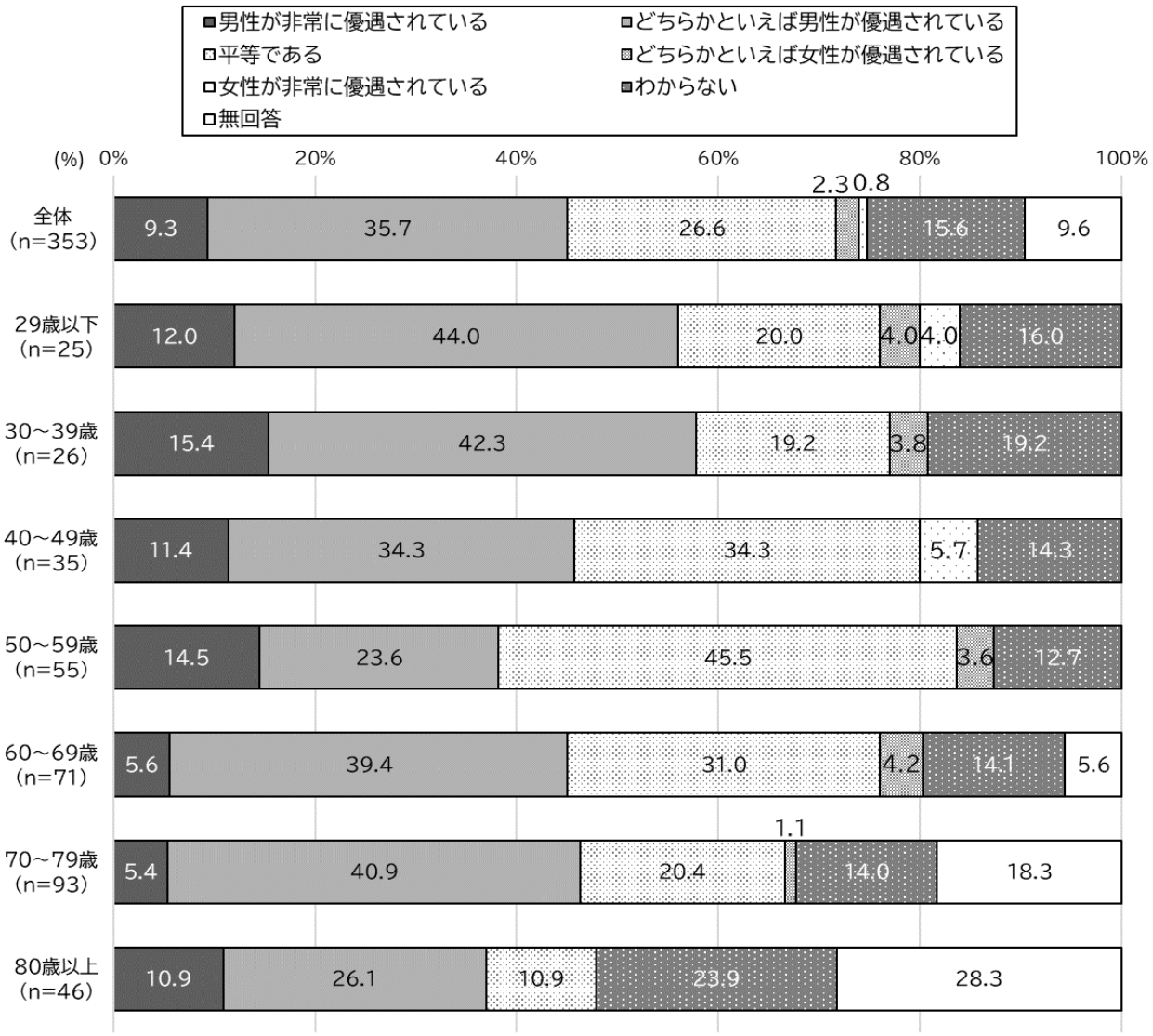
●年代別



問 21　ウ　職場

○年代別では、「29歳以下」と「30～39歳」で「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合は全体より高くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「平等である」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「平等である」と回答した割合が低くなっています。

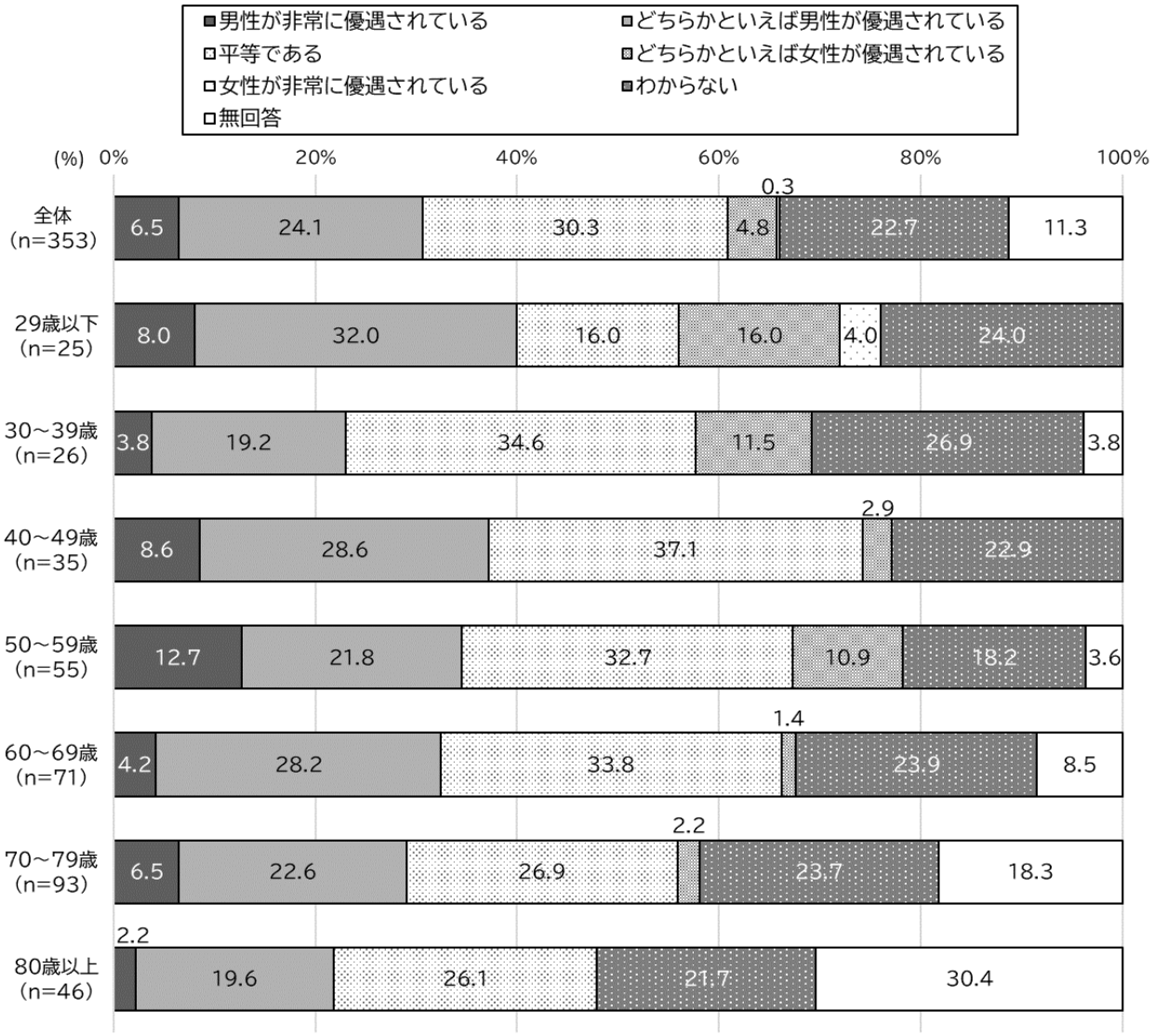
●年代別



問 21　オ　法律や制度

○年代別では、「29歳以下」で「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」を合わせた割合は全体より高くなっています。

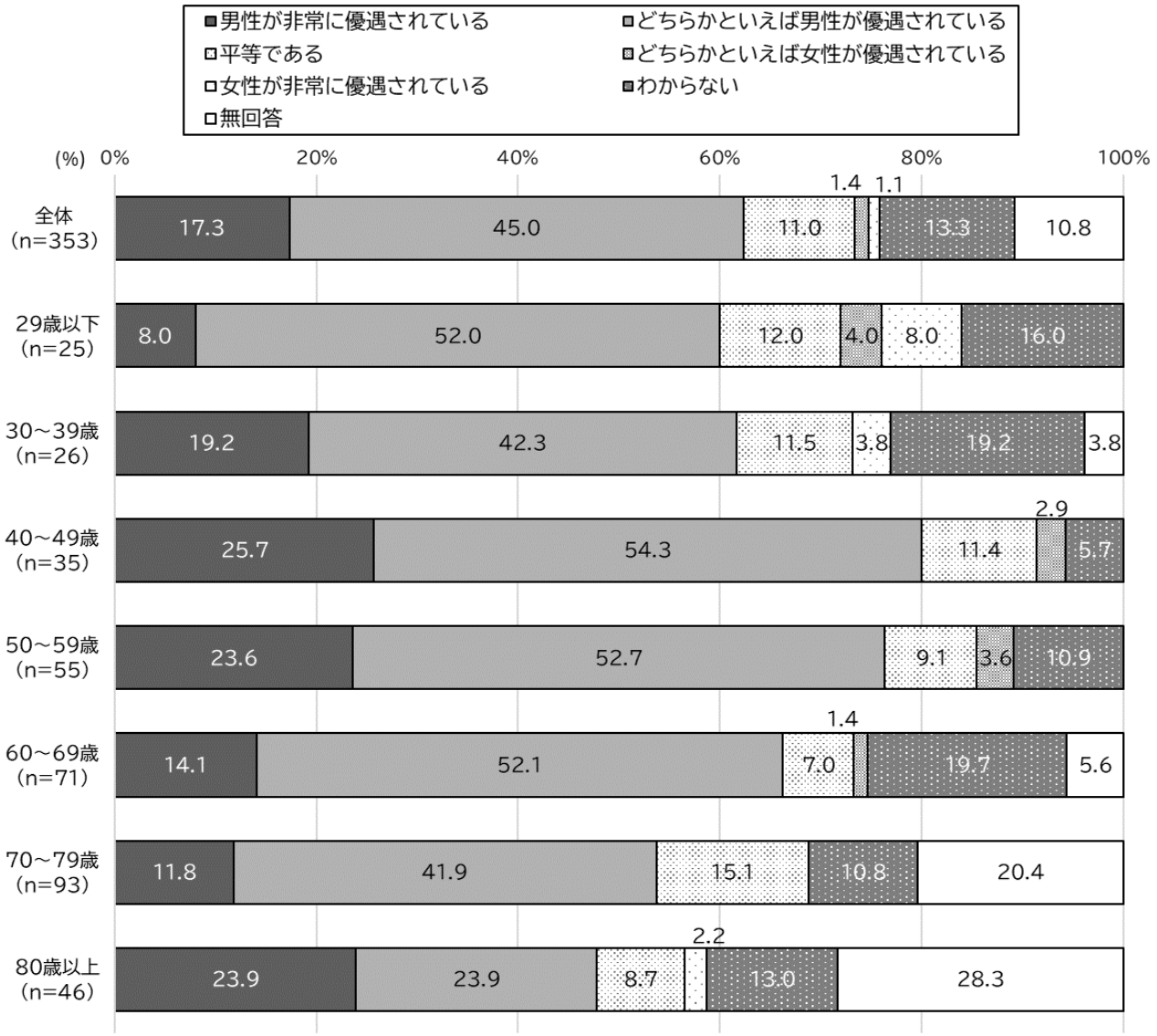
●年代別



問 21　カ　社会通念、風潮、しきたり

○年代別では、「40～49歳」と「50～59歳」で「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合は全体より高くなっています。
○「80歳以上」では、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合は全体よりが低くなっています。

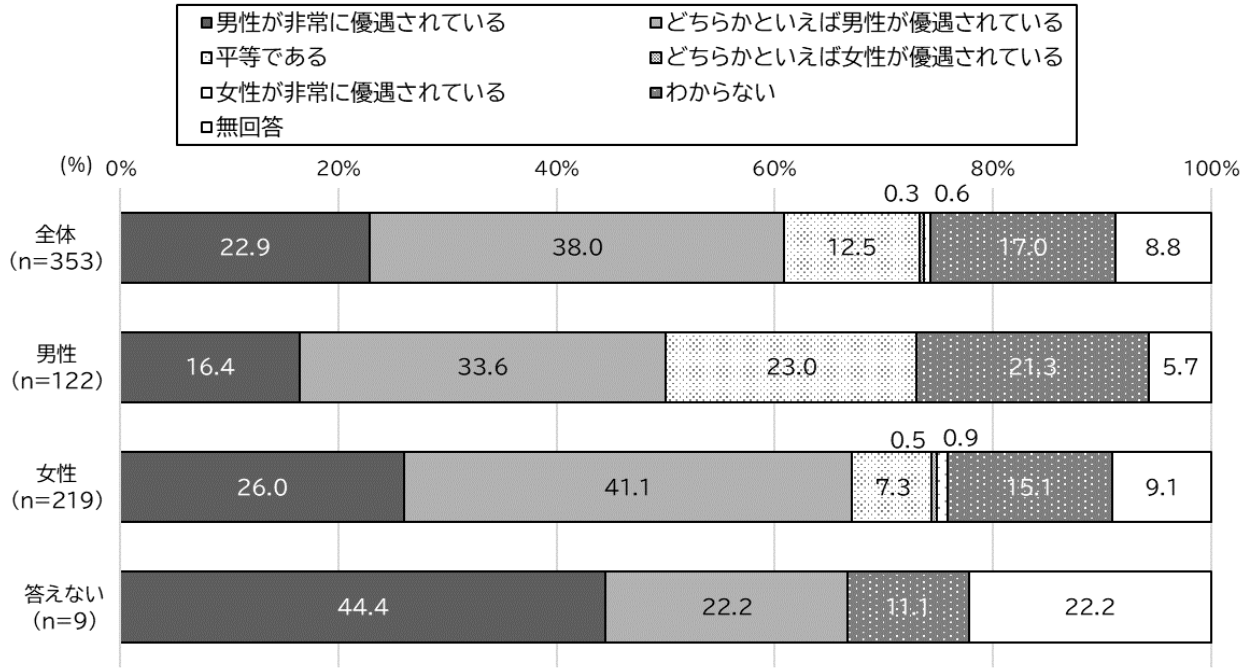
●年代別



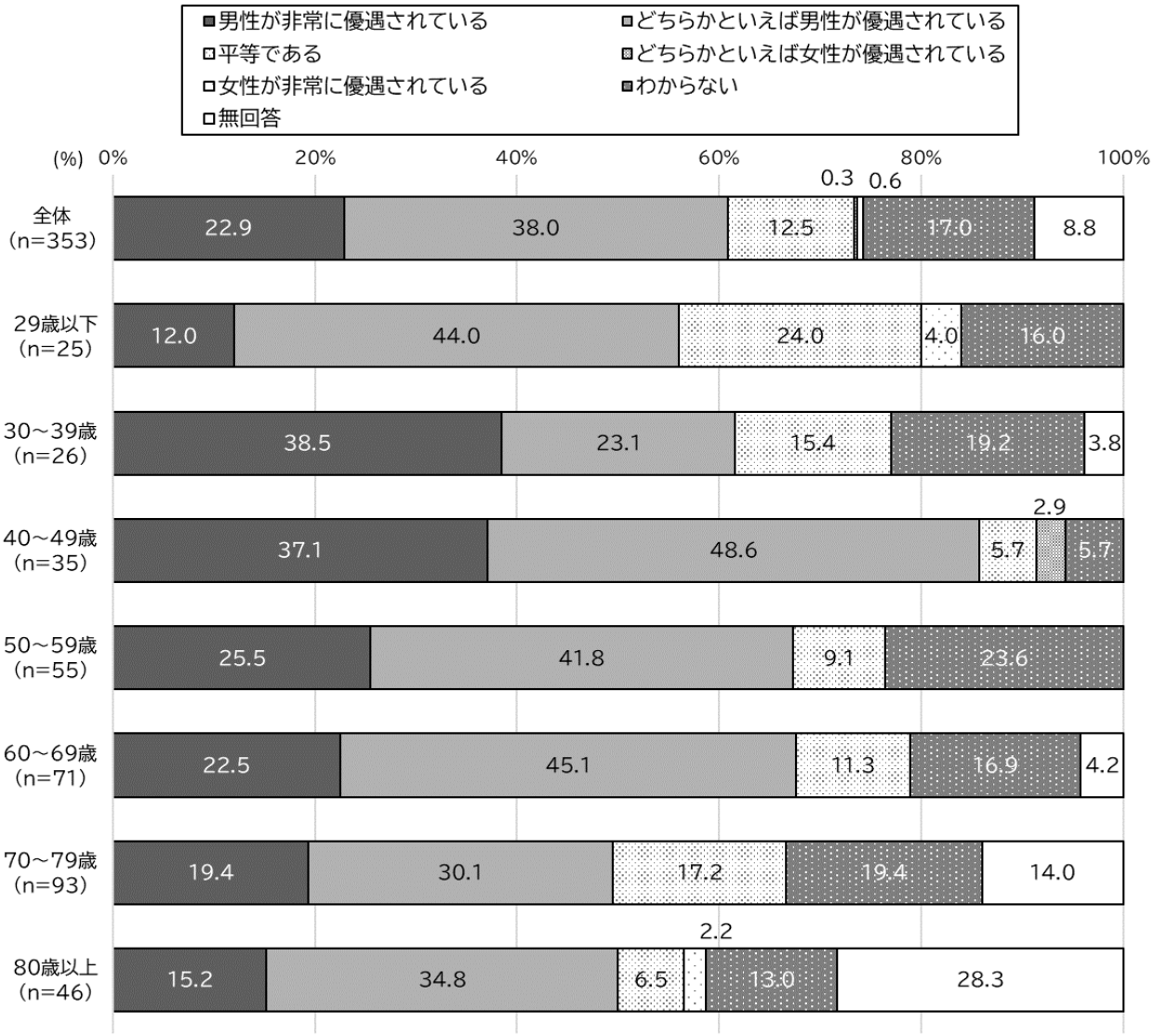
問 21　キ　政治や行政の場

○性別では、「男性」で全体と比較して「平等である」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「男性が非常に優遇されている」と回答した割合は低く、「平等である」と回答した割合は高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合は低く、「男性が非常に優遇されている」と回答した割合が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「男性が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合が高くなっています。

●性別



●年代別


男性が非常に優遇されている
どちらかといえば男性が優遇されている
平等である
どちらかといえば女性が優遇されている
女性が非常に優遇されている
わからない
無回答
(%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=353）
22.9
38.0
12.5
0.3
0.6
17.0
8.8
29歳以下（n=25）
12.0
44.0
24.0
4.0
16.0
30～39歳（n=26）
38.5
23.1
15.4
19.2
3.8
40～49歳（n=35）
37.1
48.6
5.7
2.9
5.7
50～59歳（n=55）
25.5
41.8
9.1
23.6
60～69歳（n=71）
22.5
45.1
11.3
16.9
4.2
70～79歳（n=93）
19.4
30.1
17.2
19.4
14.0
80歳以上（n=46）
15.2
34.8
6.5
2.2
13.0
28.3

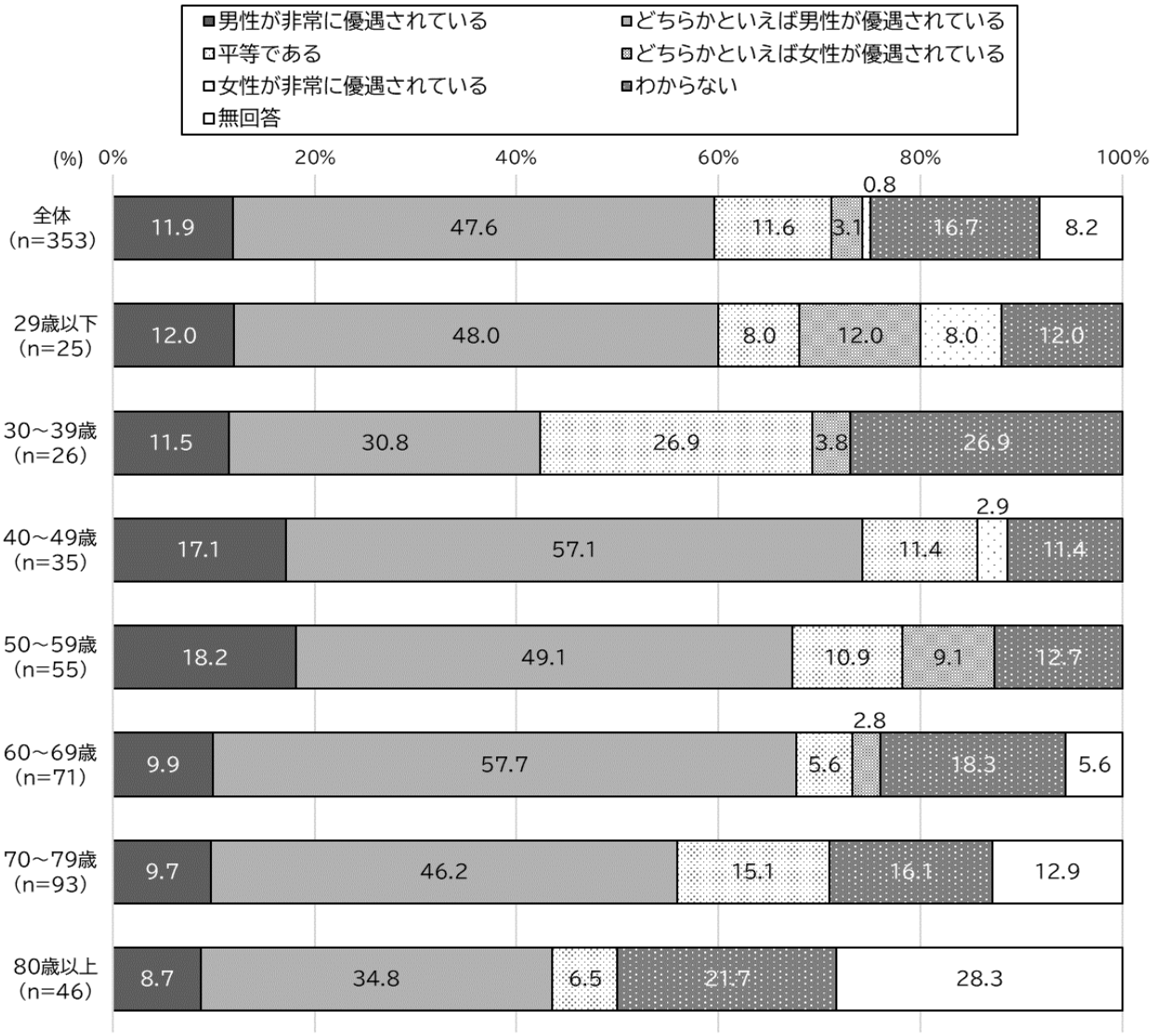
問 21　ク　社会全般

○年代別では、「30～39歳」で「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合は全体より低くなっています。また、「平等である」と回答した割合も全体より高くなっています。

○「40～49歳」では、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合が全体より高くなっています。

○「80歳以上」では、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合が全体より低くなっています。

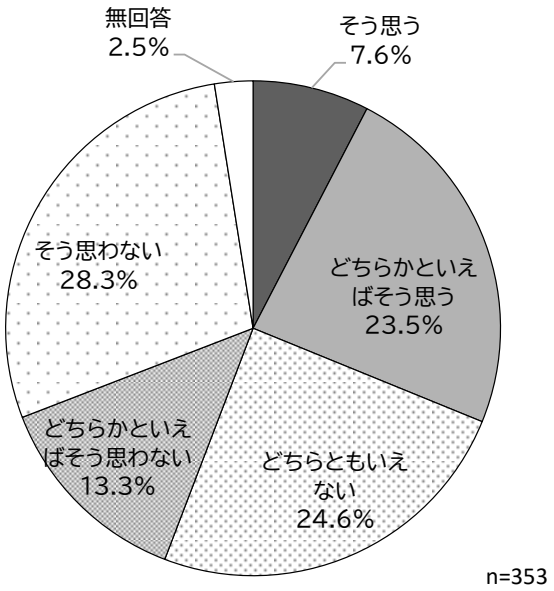
●年代別



問 22　「男は仕事、女は家事・育児」という考え方がありますが、この考え方をあなたはどのように思いますか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「そう思わない」の割合が 28.3%、「どちらともいえない」の割合が 24.6%、「どちらかといえばそう思う」の割合が 23.5%となっています。

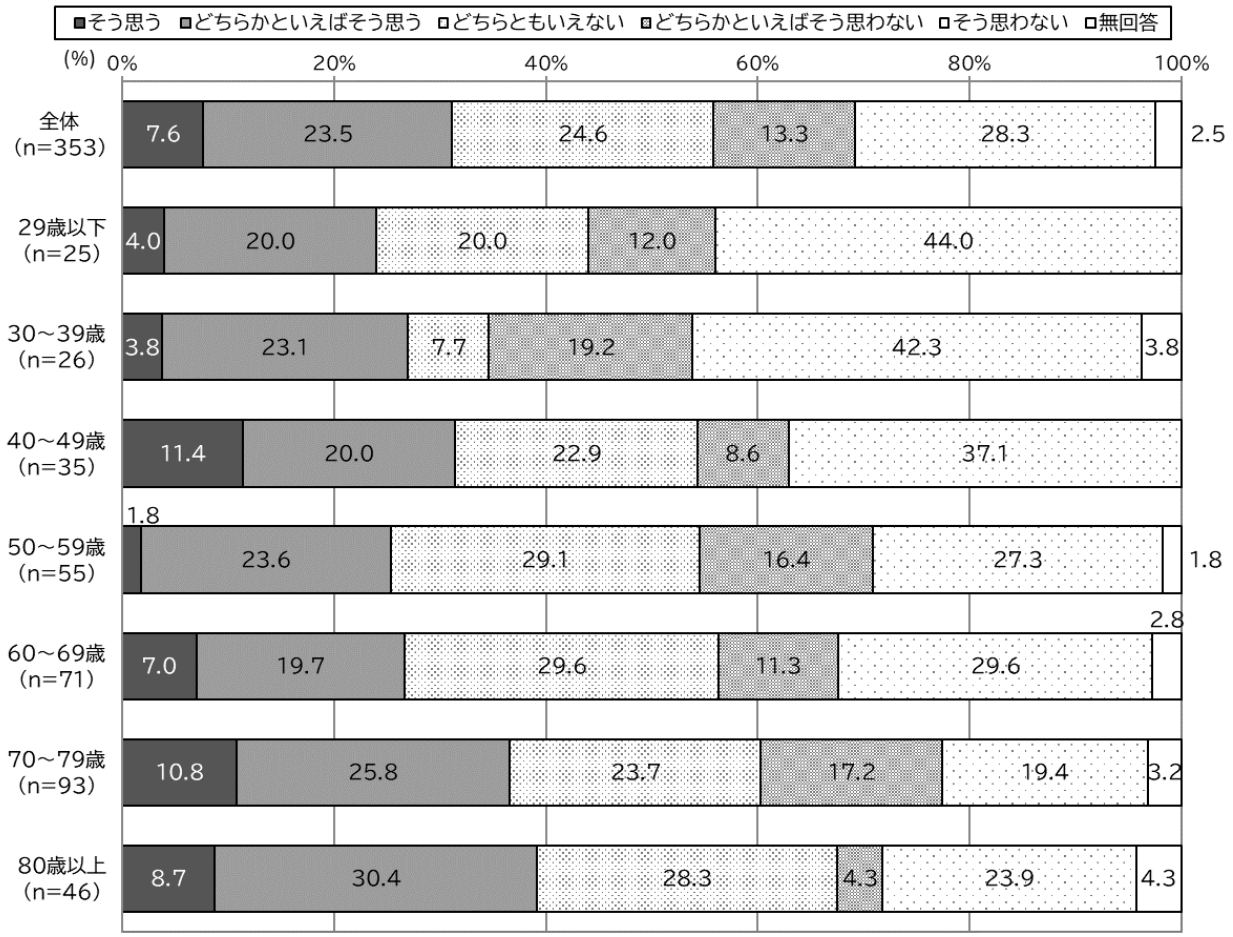
調査数(n=353)	回答数	割合
そう思う	27	7.6%
どちらかといえばそう思う	83	23.5%
どちらともいえない	87	24.6%
どちらかといえばそう思わない	47	13.3%
そう思わない	100	28.3%
無回答	9	2.5%



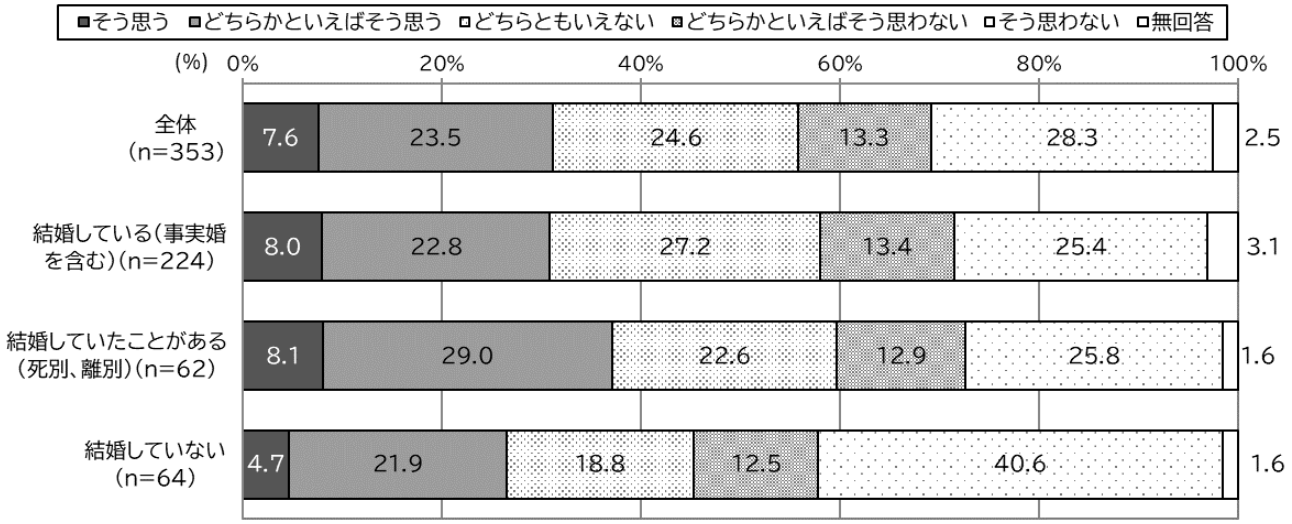
（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」で全体と比較して「そう思わない」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「そう思わない」と回答した割合が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「そう思わない」と回答した割合が高くなっています。

●年代別



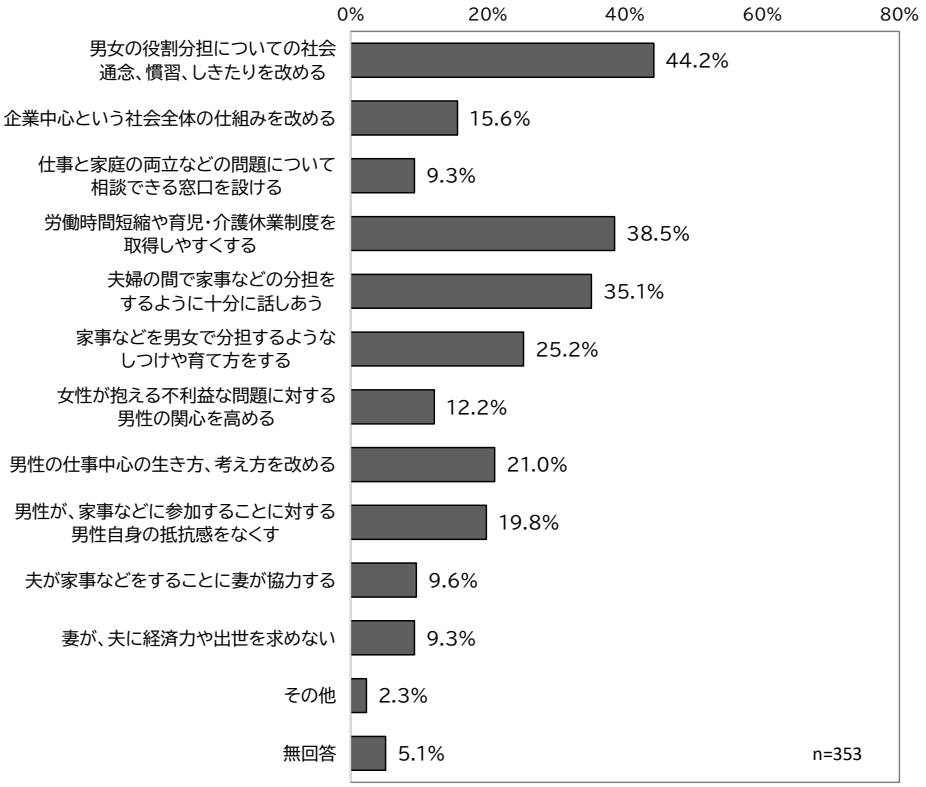
●婚姻別



問 23　今後、男性が女性とともに家事や子育て、教育、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

○「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「労働時間短縮や育児・介護休業制度を取得しやすくする」の割合が 38.5%、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話しあう」の割合が 35.1%となっています。

調査数（n=353）	回答数	割合
男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める	156	44.2%
企業中心という社会全体の仕組みを改める	55	15.6%
仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける	33	9.3%
労働時間短縮や育児・介護休業制度を取得しやすくする	136	38.5%
夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話しあう	124	35.1%
家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をする	89	25.2%
女性が抱える不利益な問題に対する男性の関心を高める	43	12.2%
男性の仕事中心の生き方、考え方を改める	74	21.0%
男性が、家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	70	19.8%
夫が家事などをすることに妻が協力する	34	9.6%
妻が、夫に経済力や出世を求めない	33	9.3%
その他	8	2.3%
無回答	18	5.1%



その他の回答内容
性的特性に合わせた付き合い方、家事を考える（1件）、離婚を切り出して、男性も参加させる（1件）、家庭内で話し合いが成立していれば役割分担は自由でなければならない（1件）、命を懸けて生命をつなぐ女性という方々に男性がもっと尊敬をするなど考え方を改めると行動は変わると思う（1件）、家庭で仕事、子育て等々もっと話すべき（1件）、個々人が選択できる世であるべき（1件）、職場の理解と個人の意識の改善（1件）、わからない（1件）

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「労働時間短縮や育児・介護休業制度を取得しやすくする」と回答した割合は高く、「家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をする」が低くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「男性が、家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」と回答した割合が低くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」と回答した割合が高くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「企業中心という社会全体の仕組みを改める」と回答した割合が高くなっています。

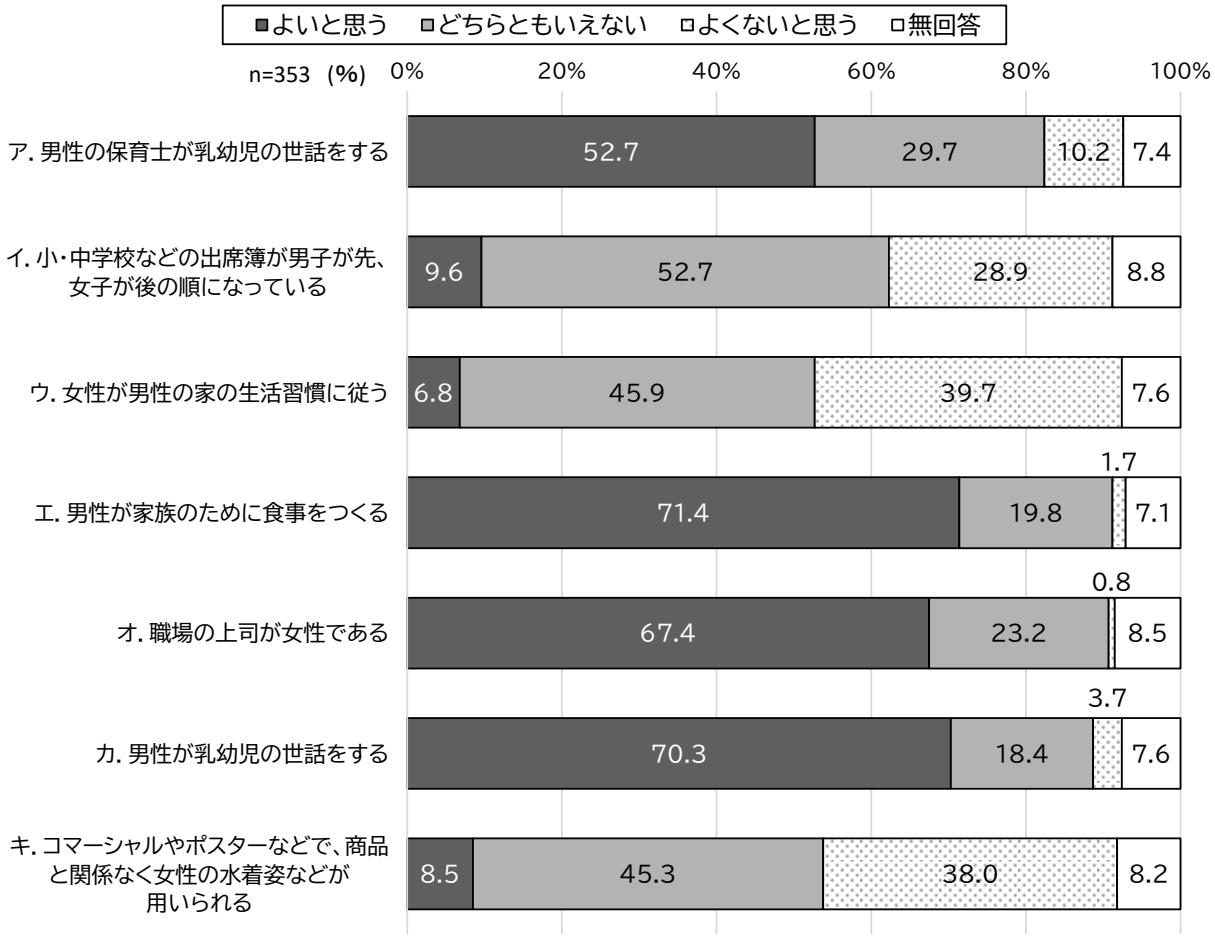
○「80歳以上」では、全体と比較して「家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をする」と回答した割合が低くなっています。

●年代別

区分	有効回答数（件）	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める	企業中心という社会全体の仕組みを改める	仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける	労働時間短縮や育児・介護休業制度を取得しやすくする	夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話しあう	家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をする	女性が抱える不利益な問題に対する男性の関心を高める	男性の仕事中心の生き方、考え方を改める	男性が、家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	夫が家事などをすることに妻が協力する	妻が、夫に経済力や出世を求めない	その他	無回答
全体	353	44.2%	15.6%	9.3%	38.5%	35.1%	25.2%	12.2%	21.0%	19.8%	9.6%	9.3%	2.3%	5.1%
29歳以下	25	36.0%	12.0%	8.0%	56.0%	40.0%	12.0%	4.0%	16.0%	16.0%	4.0%	8.0%	8.0%	4.0%
30～39歳	26	42.3%	23.1%	15.4%	38.5%	34.6%	26.9%	7.7%	23.1%	3.8%	-	11.5%	3.8%	-
40～49歳	35	45.7%	22.9%	8.6%	37.1%	42.9%	25.7%	11.4%	34.3%	14.3%	-	5.7%	2.9%	2.9%
50～59歳	55	50.9%	29.1%	10.9%	41.8%	32.7%	30.9%	9.1%	20.0%	20.0%	9.1%	12.7%	-	-
60～69歳	71	46.5%	9.9%	5.6%	35.2%	36.6%	29.6%	15.5%	21.1%	23.9%	14.1%	7.0%	1.4%	2.8%
70～79歳	93	43.0%	9.7%	6.5%	34.4%	34.4%	28.0%	9.7%	19.4%	20.4%	14.0%	8.6%	3.2%	8.6%
80歳以上	46	41.3%	13.0%	15.2%	39.1%	30.4%	13.0%	21.7%	17.4%	28.3%	10.9%	13.0%	-	10.9%

問 24　次のア～キの事柄について、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。【ア～キそれぞれについて、あてはまるもの１つだけに○】

○「エ. 男性が家族のために食事をつくる」、「オ. 職場の上司が女性である」、「カ. 男性が乳幼児の世話をする」では、約７割の方が「よいと思う」と回答しています。

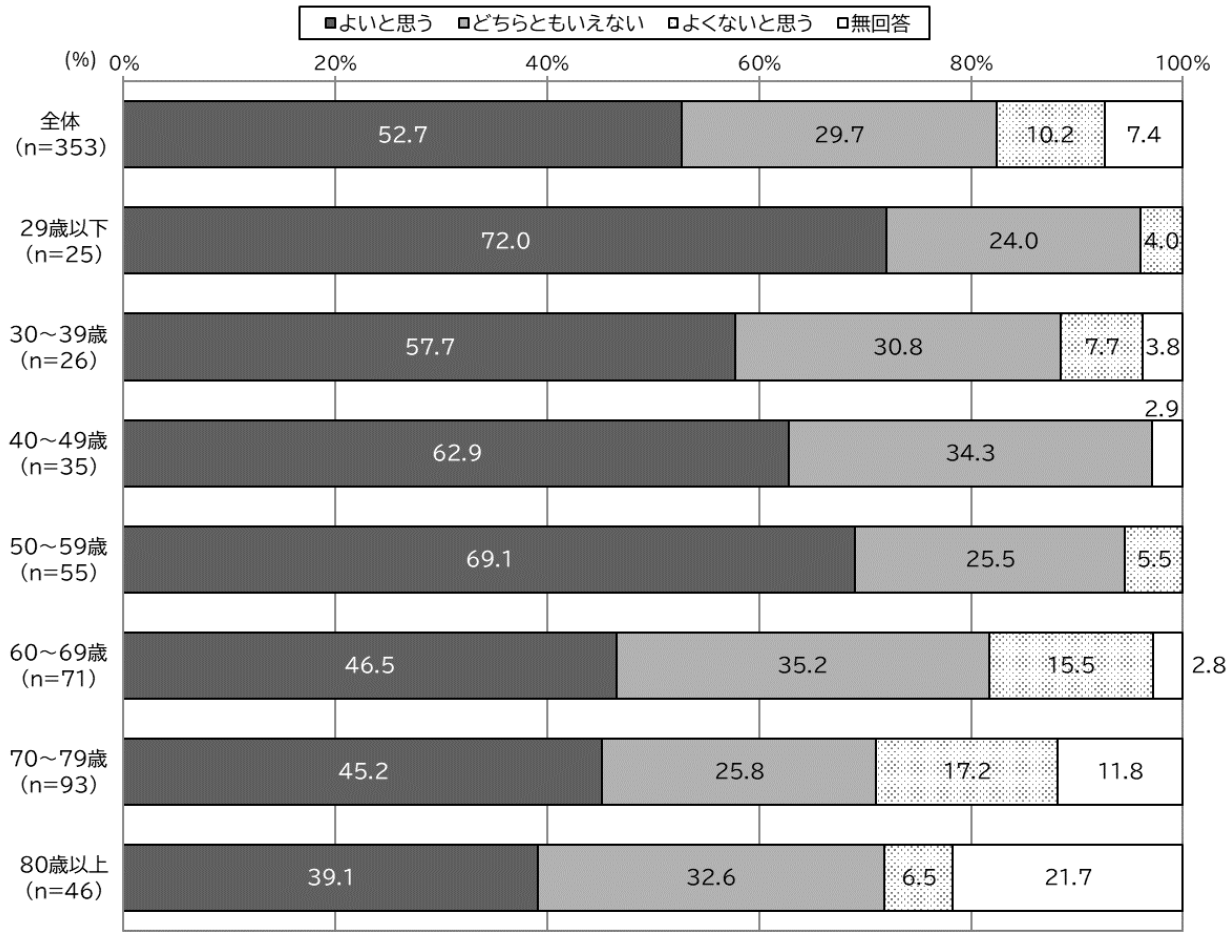


（参考）クロス集計結果

問 24　ア　男性の保育士が乳幼児の世話をする

○年代別では、「29歳以下」と「40～49歳」と「50～59歳」で全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が低くなっています。

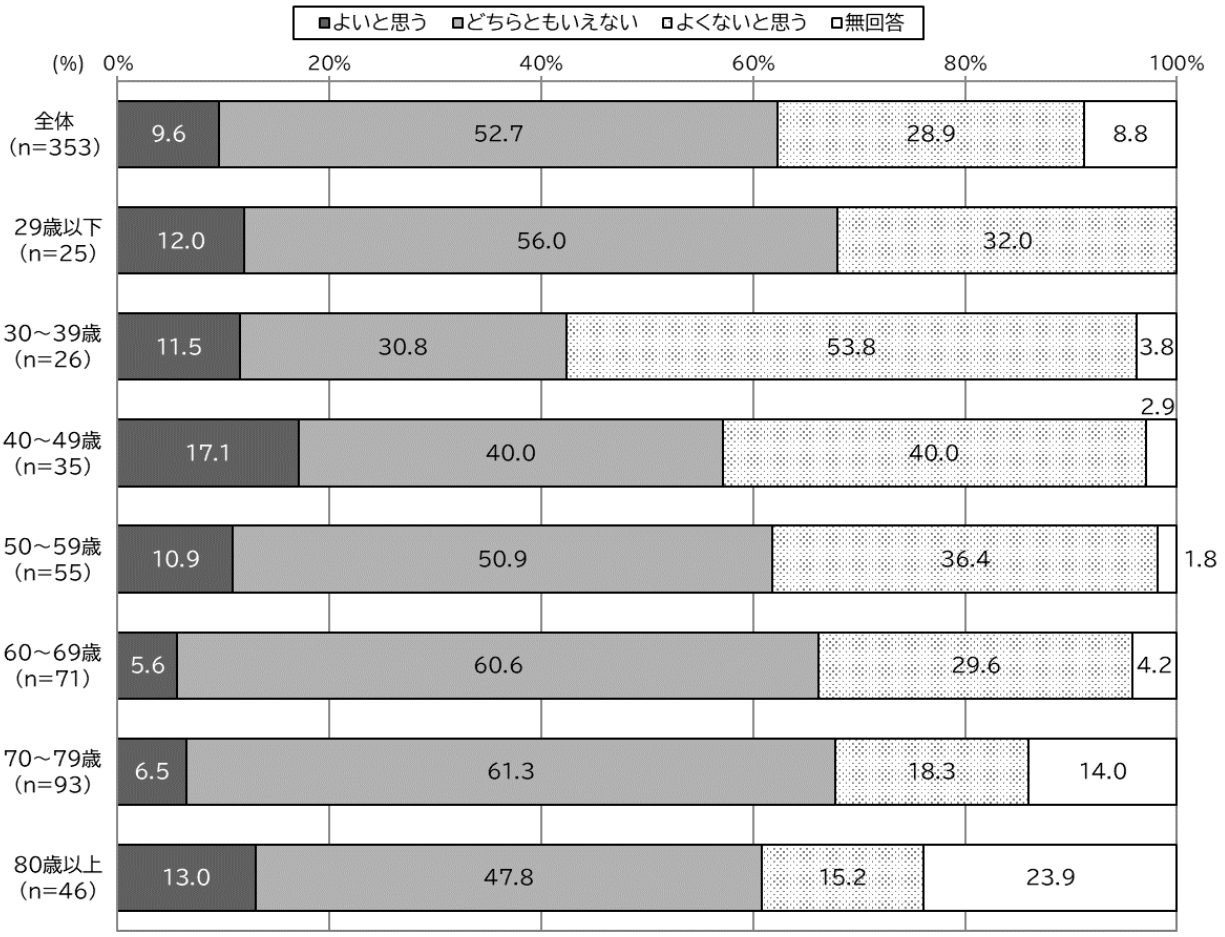
●年代別



問 24　イ　小・中学校などの出席簿が男子が先、女子が後の順になっている

○年代別では、「30～39歳」と「40～49歳」で全体と比較して「よくないと思う」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」で全体と比較して「よくないと思う」と回答した割合が低くなっています。

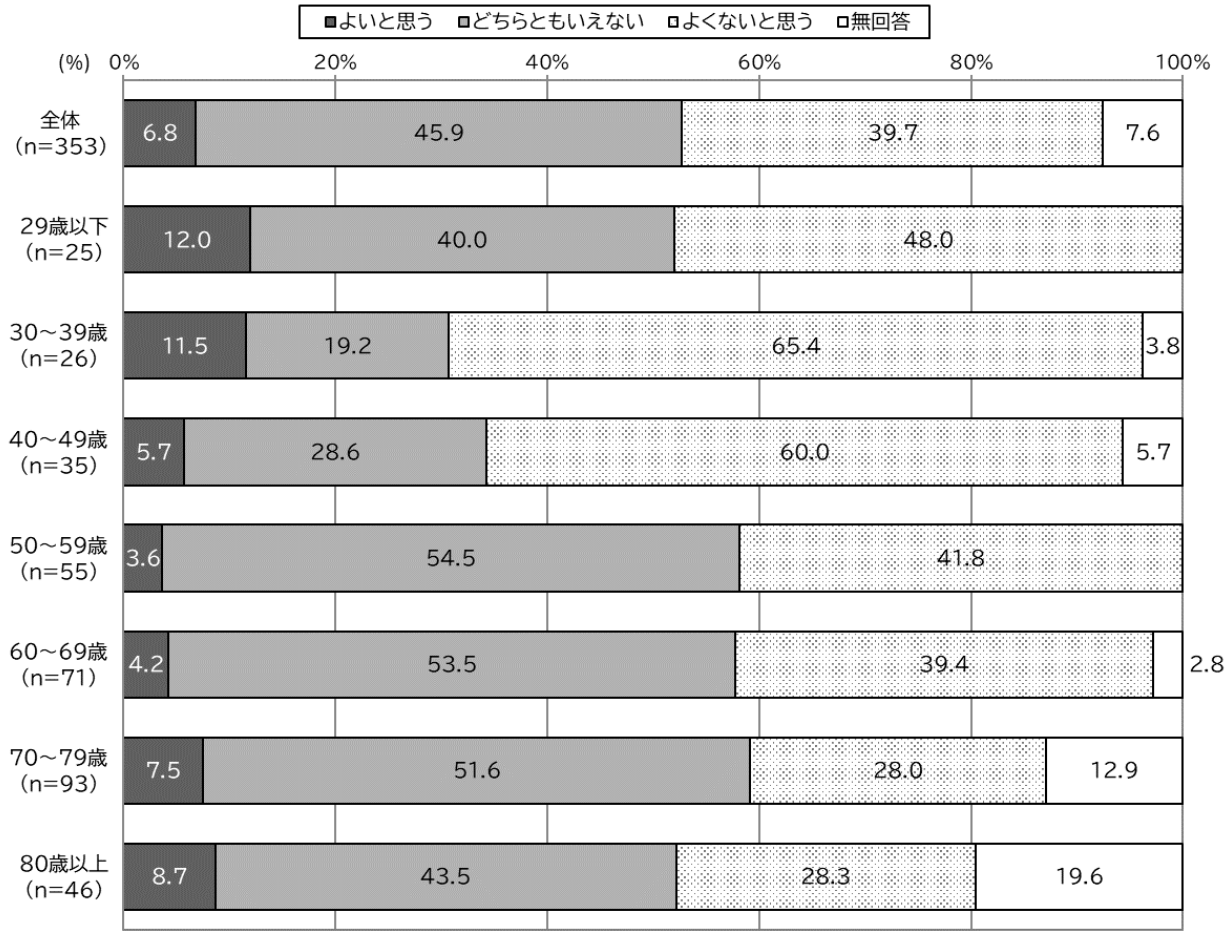
●年代別



問 24　ウ　女性が男性の家の生活習慣に従う

○年代別では、「30～39歳」と「40～49歳」で全体と比較して「よくないと思う」と回答した割合が高く、「どちらともいえない」と回答した割合は低くなっています。
○「50～59歳」と「60～69歳」で全体と比較して「どちらともいえない」と回答した割合は高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」で全体と比較して「よくないと思う」と回答した割合が低くなっています。

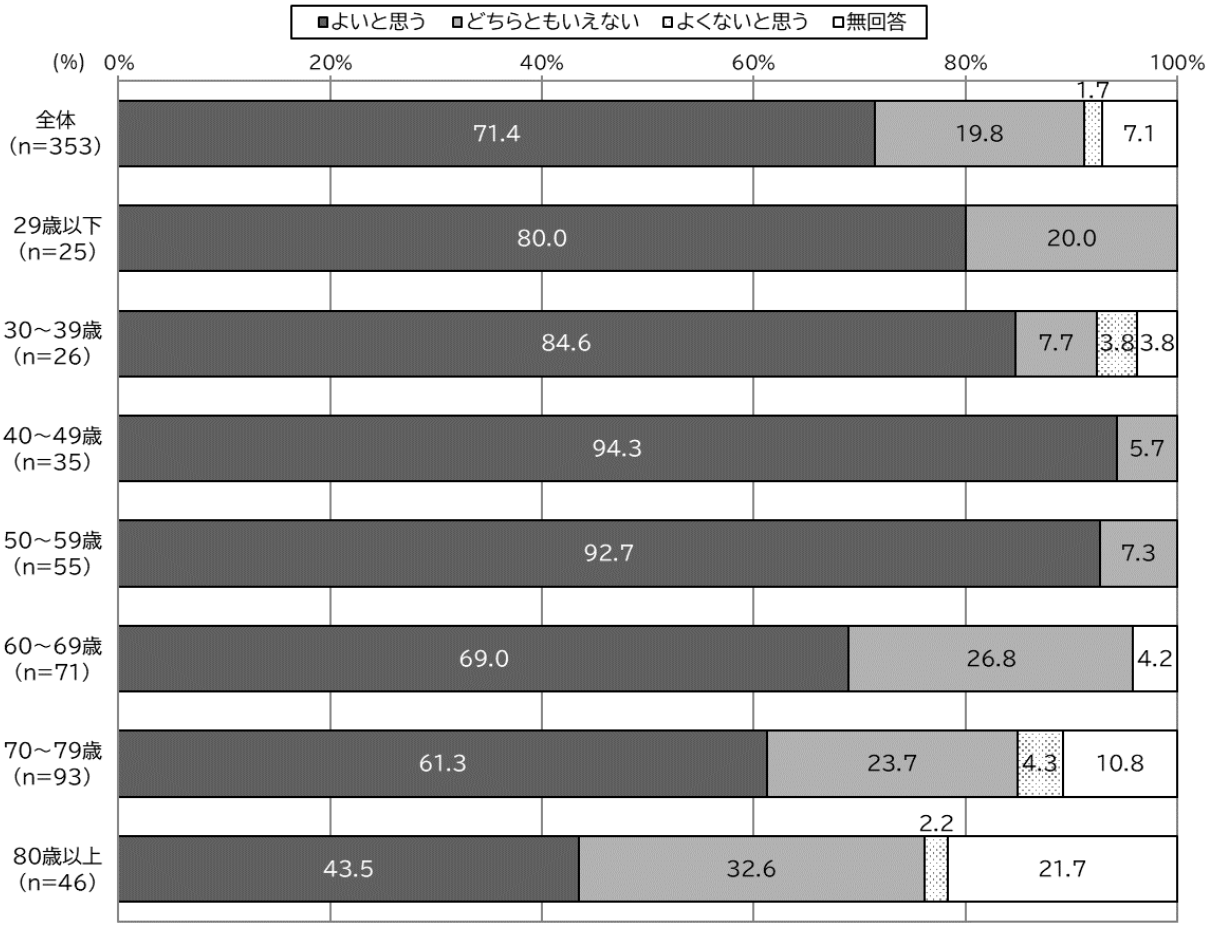
●年代別



問 24　エ　男性が家族のために食事をつくる

○年代別では、「29歳以下」から「50～59歳」で全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」で全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が低くなっています。

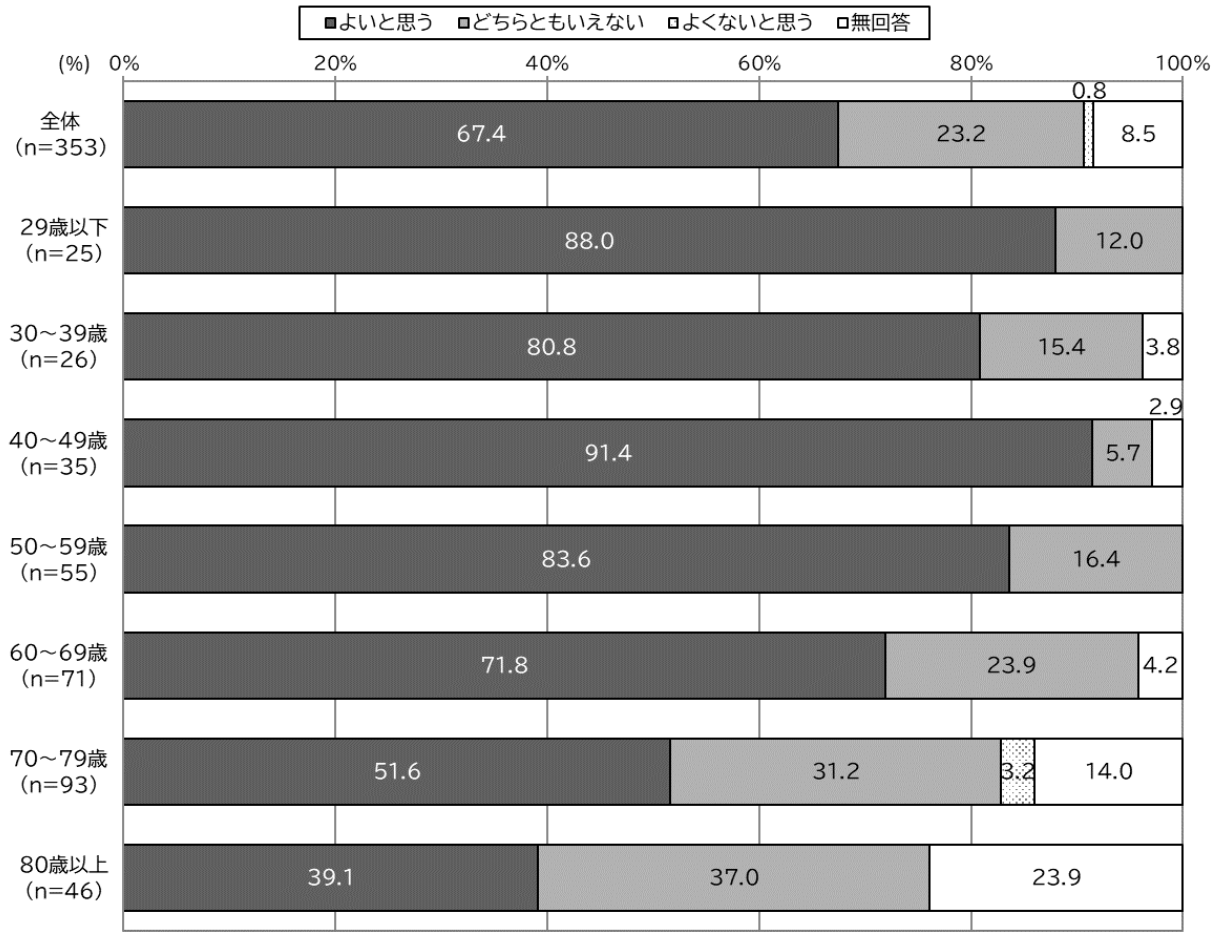
●年代別



問 24　オ　職場の上司が女性である

○年代別では、「29歳以下」から「50～59歳」で全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」で全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が低くなっています。

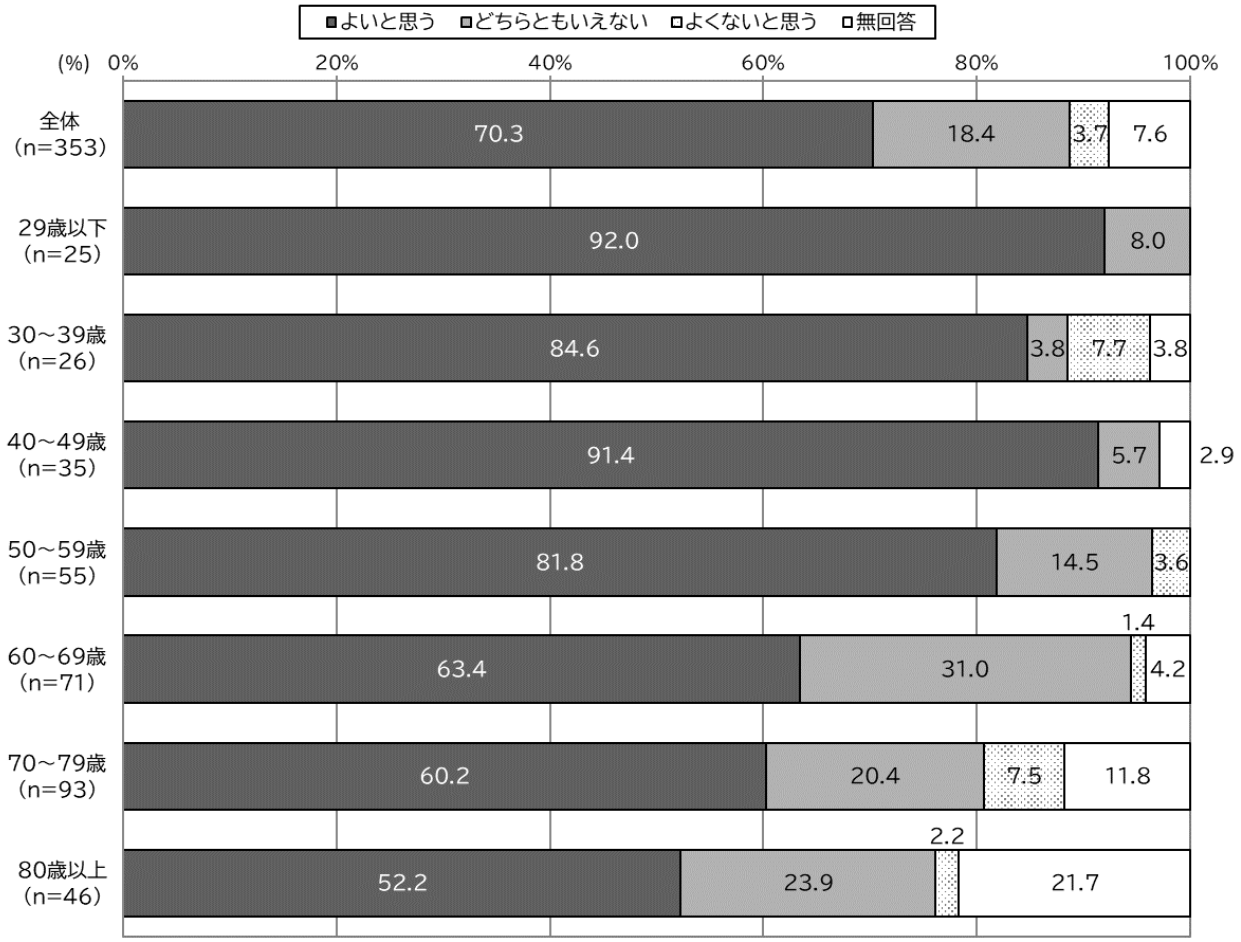
●年代別



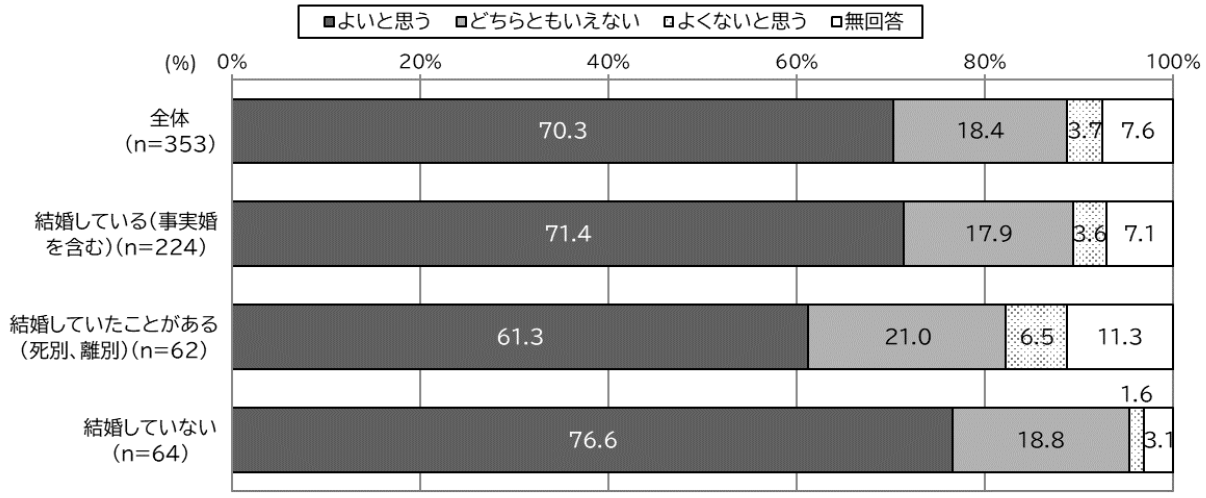
問 24　カ　男性が乳幼児の世話をする

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」「80歳以上」で全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が低くなっています。

●年代別



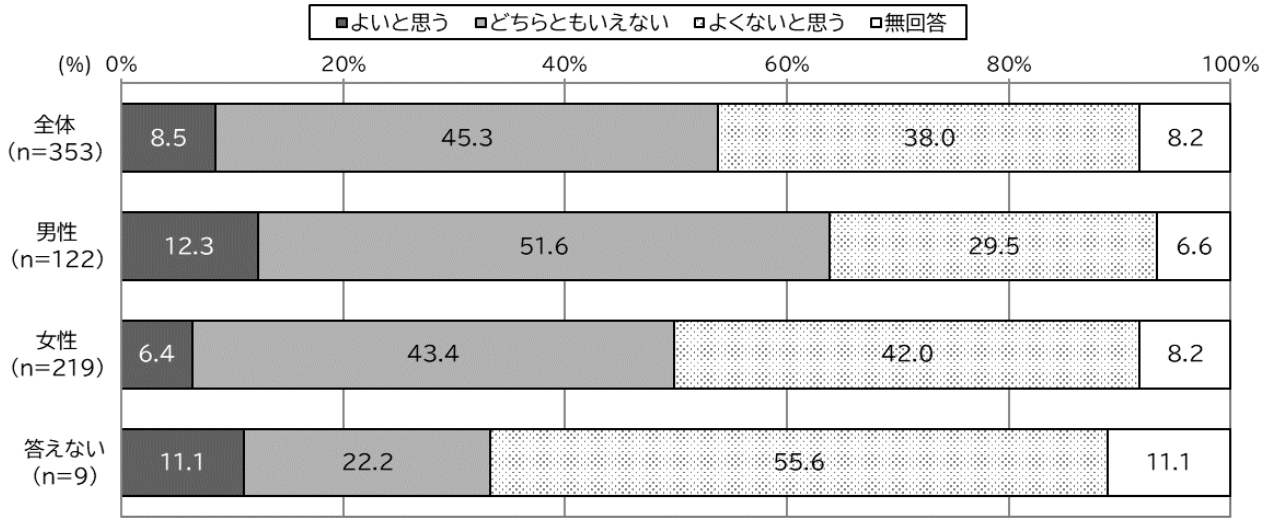
●婚姻別



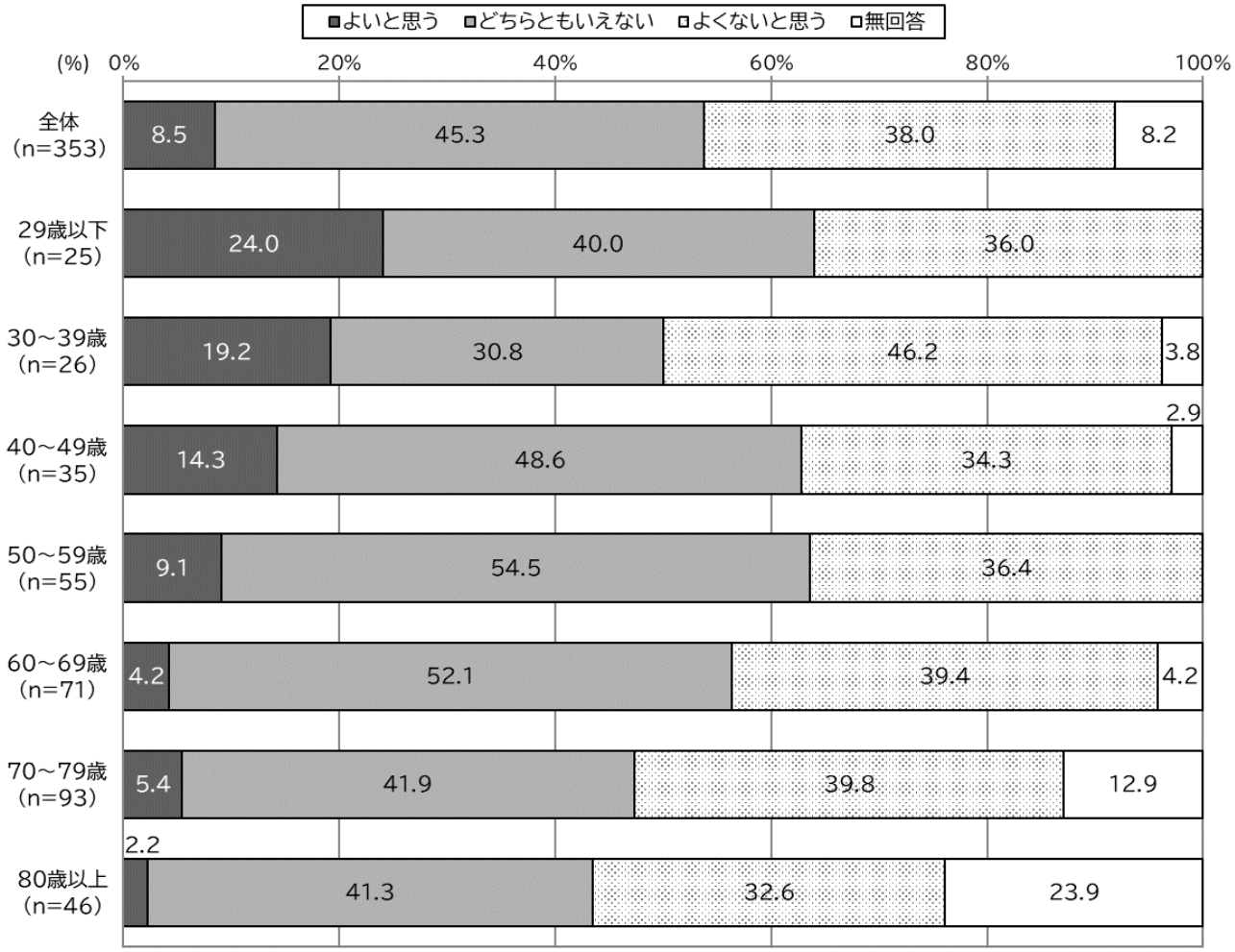
問 24　キ　コマーシャルやポスターなどで、商品と関係なく女性の水着姿などが用いられる

○性別では、「男性」で全体と比較して「よくないと思う」と回答した割合が低くなっています。
○年代別では、「29歳以下」と「30～39歳」で全体と比較して「よいと思う」と回答した割合が高くなっています。

●性別



●年代別

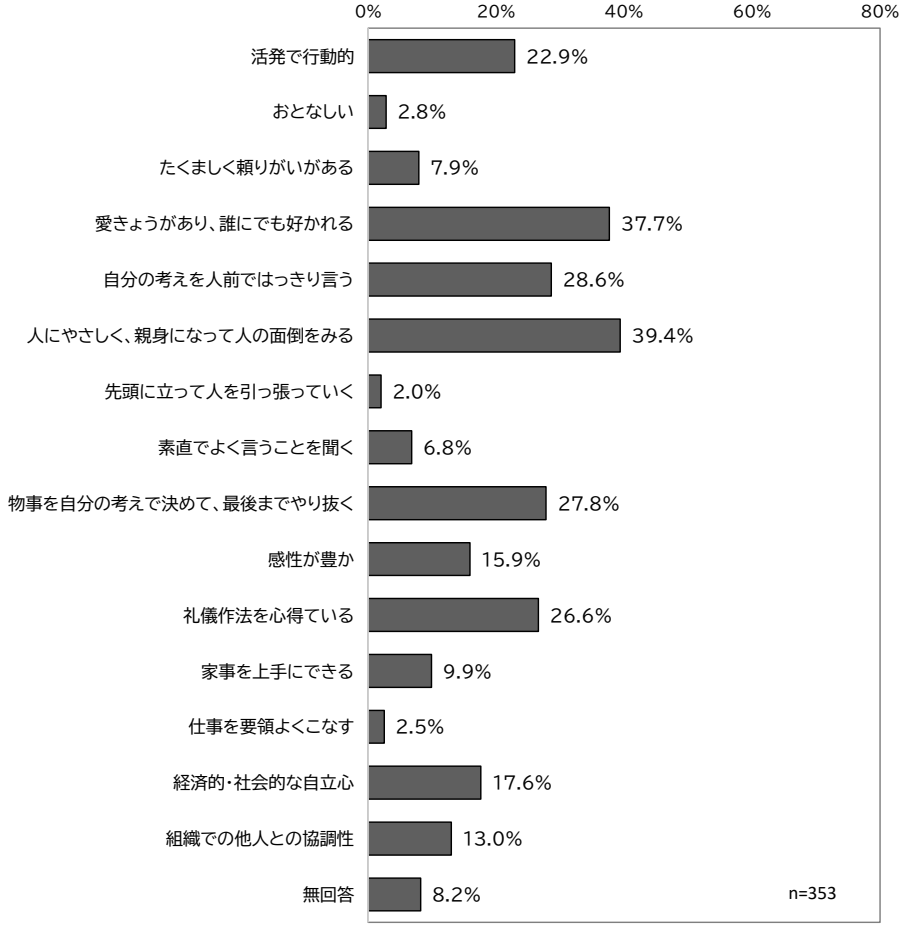


問 25　あなたは、子どもがどのように育ってほしいと思いますか。該当する子どもがいない場合でも、いると仮定してお答えください。【女の子と男の子それぞれについて、あてはまるもの３つまでに○】

○《女の子の場合》では、「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「愛きょうがあり、誰にでも好かれる」の割合が 37.7%となっています。

《女の子の場合》

調査数（n=353）	回答数	割合
活発で行動的	81	22.9%
おとなしい	10	2.8%
たくましく頼りがいがある	28	7.9%
愛きょうがあり、誰にでも好かれる	133	37.7%
自分の考えを人前ではっきり言う	101	28.6%
人にやさしく、親身になって人の面倒をみる	139	39.4%
先頭に立って人を引っ張っていく	7	2.0%
素直でよく言うことを聞く	24	6.8%
物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く	98	27.8%
感性が豊か	56	15.9%
礼儀作法を心得ている	94	26.6%
家事を上手にできる	35	9.9%
仕事を要領よくこなす	9	2.5%
経済的・社会的な自立心	62	17.6%
組織での他人との協調性	46	13.0%
無回答	29	8.2%



（参考）クロス集計結果

問 25-1　【女の子】どのように育って欲しいか

○性別では、「男性」で全体と比較して「活発で行動的」と回答した割合が高くなっています。

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「活発で行動的」と「感性が豊か」と回答した割合が高くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」と回答した割合が高く、「愛きょうがあり、誰にでも好かれる」と回答した割合は低くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」と「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」と回答した割合が高くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「愛きょうがあり、誰にでも好かれる」と「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」と「家事を上手にできる」と回答した割合が高くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「経済的・社会的な自立心」と回答した割合が高くなっています。

○「70～79歳」では、全体と比較して「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」と回答した割合が低くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」と「物事を自分で決めて、最後までやり抜く」と回答した割合が低くなっています。

○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」と回答した割合が低くなっています。

●性別

区分	有効回答数（件）	活発で行動的	おとなしい	たくましく頼りがいがある	愛きょうがあり、誰にでも好かれる	自分の考えを人前ではっきり言う	人にやさしく、親身になって人の面倒をみる	先頭に立って人を引っ張っていく	素直でよく言うことを聞く	物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く	感性が豊か	礼儀作法を心得ている	家事を上手にできる	仕事を要領よくこなす	経済的・社会的な自立心	組織での他人との協調性	無回答
全体	353	22.9%	2.8%	7.9%	37.7%	28.6%	39.4%	2.0%	6.8%	27.8%	15.9%	26.6%	9.9%	2.5%	17.6%	13.0%	8.2%
男性	122	35.2%	4.9%	10.7%	40.2%	27.0%	43.4%	3.3%	4.9%	23.8%	16.4%	26.2%	10.7%	-	10.7%	8.2%	5.7%
女性	219	16.9%	1.4%	6.8%	36.1%	30.1%	37.4%	1.4%	7.3%	29.2%	16.4%	26.5%	9.6%	4.1%	21.9%	15.1%	9.1%
答えない	9	11.1%	-	-	44.4%	22.2%	44.4%	-	-	55.6%	-	33.3%	11.1%	-	11.1%	22.2%	11.1%

●年代別

区分	有効回答数（件）	活発で行動的	おとなしい	たくましく頼りがいがある	愛きょうがあり、誰にでも好かれる	自分の考えを人前ではっきり言う	人にやさしく、親身になって人の面倒をみる	先頭に立って人を引っ張っていく	素直でよく言うことを聞く	物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く	感性が豊か	礼儀作法を心得ている	家事を上手にできる	仕事を要領よくこなす	経済的・社会的な自立心	組織での他人との協調性	無回答
全体	353	22.9%	2.8%	7.9%	37.7%	28.6%	39.4%	2.0%	6.8%	27.8%	15.9%	26.6%	9.9%	2.5%	17.6%	13.0%	8.2%
29歳以下	25	36.0%	4.0%	16.0%	28.0%	32.0%	36.0%	-	4.0%	28.0%	28.0%	28.0%	4.0%	4.0%	16.0%	12.0%	-
30～39歳	26	26.9%	3.8%	19.2%	26.9%	23.1%	50.0%	7.7%	7.7%	30.8%	15.4%	26.9%	7.7%	-	11.5%	3.8%	7.7%
40～49歳	35	17.1%	-	2.9%	40.0%	31.4%	54.3%	-	2.9%	45.7%	22.9%	22.9%	8.6%	-	14.3%	8.6%	2.9%
50～59歳	55	23.6%	-	5.5%	49.1%	23.6%	49.1%	1.8%	3.6%	32.7%	10.9%	34.5%	21.8%	-	14.5%	12.7%	3.6%
60～69歳	71	21.1%	1.4%	2.8%	39.4%	32.4%	43.7%	1.4%	4.2%	33.8%	19.7%	22.5%	4.2%	5.6%	25.4%	14.1%	4.2%
70～79歳	93	25.8%	5.4%	12.9%	33.3%	32.3%	29.0%	1.1%	10.8%	19.4%	11.8%	28.0%	11.8%	3.2%	15.1%	15.1%	10.8%
80歳以上	46	15.2%	2.2%	2.2%	39.1%	21.7%	28.3%	4.3%	6.5%	15.2%	13.0%	21.7%	6.5%	2.2%	21.7%	15.2%	23.9%

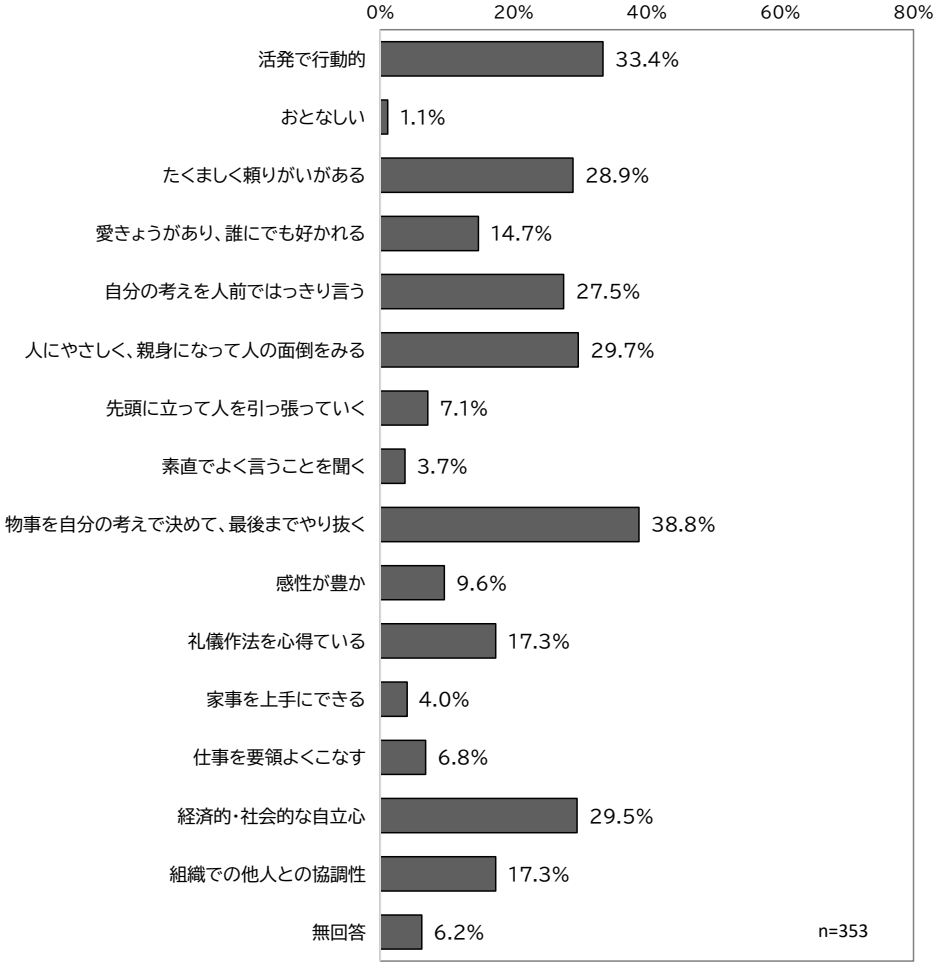
●婚姻別

区分	有効回答数（件）	活発で行動的	おとなしい	たくましく頼りがいがある	愛きょうがあり、誰にでも好かれる	自分の考えを人前ではっきり言う	人にやさしく、親身になって人の面倒をみる	先頭に立って人を引っ張っていく	素直でよく言うことを聞く	物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く	感性が豊か	礼儀作法を心得ている	家事を上手にできる	仕事を要領よくこなす	経済的・社会的な自立心	組織での他人との協調性	無回答
全体	353	22.9%	2.8%	7.9%	37.7%	28.6%	39.4%	2.0%	6.8%	27.8%	15.9%	26.6%	9.9%	2.5%	17.6%	13.0%	8.2%
結婚している（事実婚を含む）	224	23.2%	1.3%	9.8%	39.7%	31.3%	42.9%	2.7%	6.7%	30.4%	14.3%	26.3%	10.7%	1.8%	14.3%	11.2%	7.1%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	21.0%	4.8%	1.6%	30.6%	22.6%	30.6%	1.6%	8.1%	16.1%	16.1%	19.4%	12.9%	6.5%	25.8%	16.1%	16.1%
結婚していない	64	25.0%	4.7%	7.8%	37.5%	26.6%	37.5%	-	3.1%	31.3%	21.9%	34.4%	4.7%	1.6%	21.9%	15.6%	3.1%

○《男の子の場合》では、「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「活発で行動的」の割合が 33.4%となっています。

《男の子の場合》

調査数(n=353)	回答数	割合
活発で行動的	118	33.4%
おとなしい	4	1.1%
たくましく頼りがいがある	102	28.9%
愛きょうがあり、誰にでも好かれる	52	14.7%
自分の考えを人前ではっきり言う	97	27.5%
人にやさしく、親身になって人の面倒をみる	105	29.7%
先頭に立って人を引っ張っていく	25	7.1%
素直でよく言うことを聞く	13	3.7%
物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く	137	38.8%
感性が豊か	34	9.6%
礼儀作法を心得ている	61	17.3%
家事を上手にできる	14	4.0%
仕事を要領よくこなす	24	6.8%
経済的・社会的な自立心	104	29.5%
組織での他人との協調性	61	17.3%
無回答	22	6.2%



（参考）クロス集計結果

問 25-2　【男の子】どのように育って欲しいか

○性別では、「男性」で全体と比較して「活発で行動的」と回答した割合は高く、「経済的・社会的な自立心」が低くなっています。

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「感性が豊か」と「礼儀作法を心得ている」と回答した割合は高く、「経済的、社会的な自立心」が低くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」と「家事を上手にできる」と回答した割合は高く、「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」と「経済的、社会的な自立心」と「組織での他人との協調性」が低くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」と「感性が豊か」と回答した割合が高くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「愛きょうがあり、誰にでも好かれる」と「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」と回答した割合が高くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「経済的・社会的な自立心」と回答した割合が高くなっています。

○「70～79歳」では、全体と比較して「活発で行動的」と回答した割合は高く、「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」が低くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」と「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」と回答した割合が低くなっています。

○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」と回答した割合が低くなっています。

●性別

区分	有効回答数（件）	活発で行動的	おとなしい	たくましく頼りがいがある	愛きょうがあり、誰にでも好かれる	自分の考えを人前ではっきり言う	人にやさしく、親身になって人の面倒をみる	先頭に立って人を引っ張っていく	素直でよく言うことを聞く	物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く	感性が豊か	礼儀作法を心得ている	家事を上手にできる	仕事を要領よくこなす	経済的・社会的な自立心	組織での他人との協調性	無回答
全体	353	22.9%	2.8%	7.9%	37.7%	28.6%	39.4%	2.0%	6.8%	27.8%	15.9%	26.6%	9.9%	2.5%	17.6%	13.0%	8.2%
結婚している（事実婚を含む）	224	23.2%	1.3%	9.8%	39.7%	31.3%	42.9%	2.7%	6.7%	30.4%	14.3%	26.3%	10.7%	1.8%	14.3%	11.2%	7.1%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	21.0%	4.8%	1.6%	30.6%	22.6%	30.6%	1.6%	8.1%	16.1%	16.1%	19.4%	12.9%	6.5%	25.8%	16.1%	16.1%
結婚していない	64	25.0%	4.7%	7.8%	37.5%	26.6%	37.5%	-	3.1%	31.3%	21.9%	34.4%	4.7%	1.6%	21.9%	15.6%	3.1%

●年代別

区分	有効回答数（件）	活発で行動的	おとなしい	たくましく頼りがいがある	愛きょうがあり、誰にでも好かれる	自分の考えを人前ではっきり言う	人にやさしく、親身になって人の面倒をみる	先頭に立って人を引っ張っていく	素直でよく言うことを聞く	物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く	感性が豊か	礼儀作法を心得ている	家事を上手にできる	仕事を要領よくこなす	経済的・社会的な自立心	組織での他人との協調性	無回答
全体	353	33.4%	1.1%	28.9%	14.7%	27.5%	29.7%	7.1%	3.7%	38.8%	9.6%	17.3%	4.0%	6.8%	29.5%	17.3%	6.2%
29歳以下	25	32.0%	4.0%	36.0%	12.0%	28.0%	24.0%	4.0%	8.0%	36.0%	20.0%	32.0%	4.0%	4.0%	16.0%	12.0%	-
30～39歳	26	34.6%	3.8%	26.9%	19.2%	19.2%	57.7%	7.7%	11.5%	26.9%	15.4%	23.1%	15.4%	7.7%	15.4%	3.8%	-
40～49歳	35	28.6%	-	31.4%	14.3%	31.4%	45.7%	2.9%	2.9%	42.9%	20.0%	8.6%	8.6%	5.7%	22.9%	11.4%	2.9%
50～59歳	55	29.1%	1.8%	29.1%	25.5%	20.0%	41.8%	9.1%	3.6%	40.0%	7.3%	23.6%	5.5%	3.6%	30.9%	16.4%	3.6%
60～69歳	71	29.6%	-	22.5%	14.1%	28.2%	28.2%	11.3%	-	47.9%	9.9%	14.1%	1.4%	5.6%	43.7%	23.9%	2.8%
70～79歳	93	44.1%	-	32.3%	8.6%	30.1%	19.4%	5.4%	3.2%	39.8%	5.4%	16.1%	1.1%	6.5%	31.2%	18.3%	9.7%
80歳以上	46	26.1%	2.2%	26.1%	13.0%	32.6%	15.2%	6.5%	4.3%	26.1%	2.2%	13.0%	2.2%	13.0%	23.9%	21.7%	17.4%

●婚姻別

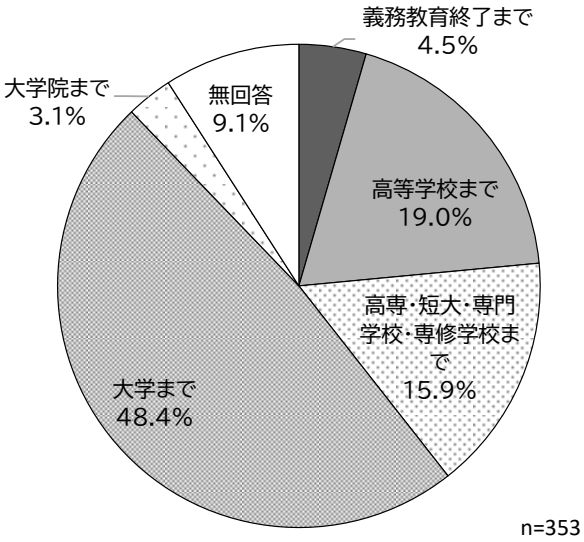
区分	有効回答数（件）	活発で行動的	おとなしい	たくましく頼りがいがある	愛きょうがあり、誰にでも好かれる	自分の考えを人前ではっきり言う	人にやさしく、親身になって人の面倒をみる	先頭に立って人を引っ張っていく	素直でよく言うことを聞く	物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く	感性が豊か	礼儀作法を心得ている	家事を上手にできる	仕事を要領よくこなす	経済的・社会的な自立心	組織での他人との協調性	無回答
全体	353	33.4%	1.1%	28.9%	14.7%	27.5%	29.7%	7.1%	3.7%	38.8%	9.6%	17.3%	4.0%	6.8%	29.5%	17.3%	6.2%
結婚している（事実婚を含む）	224	31.7%	0.9%	28.6%	16.1%	30.4%	31.7%	7.1%	3.6%	42.9%	7.6%	17.0%	4.9%	5.8%	31.7%	15.2%	5.8%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	37.1%	1.6%	24.2%	12.9%	25.8%	24.2%	6.5%	1.6%	27.4%	8.1%	14.5%	4.8%	12.9%	29.0%	21.0%	9.7%
結婚していない	64	35.9%	1.6%	34.4%	10.9%	20.3%	29.7%	7.8%	6.3%	35.9%	17.2%	21.9%	-	3.1%	23.4%	21.9%	3.1%

問 26　あなたは、子どもの学校教育はどこまで必要だと思いますか。該当するお子さんがいない場合でも、いると仮定して両方にお答えください。【女の子と男の子それぞれについて、あてはまるもの１つだけに○】

○《女の子の場合》では、「大学まで」の割合が 48.4％と最も高く、次いで「高等学校まで」の割合が 19.0％となっています。
○《男の子の場合》では、「大学まで」の割合が 56.7％と最も高く、次いで「高等学校まで」の割合が 16.4％となっています。

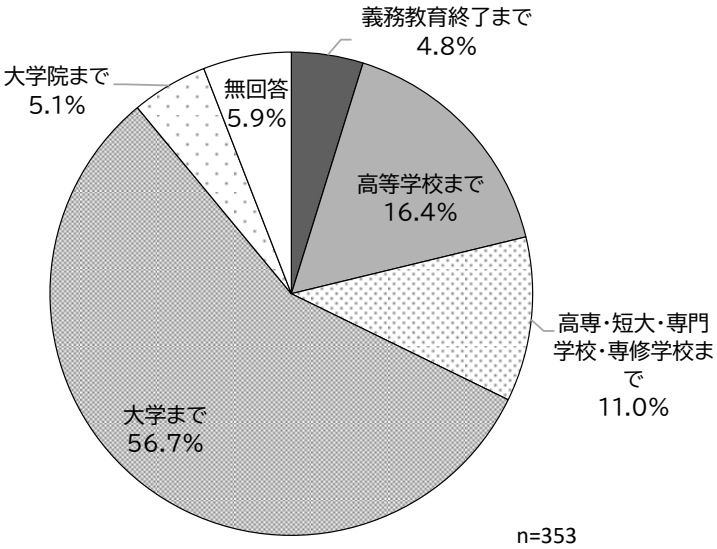
《女の子の場合》

調査数（n=353）	回答数	割合
義務教育終了まで	16	4.5%
高等学校まで	67	19.0%
高専・短大・専門学校・専修学校まで	56	15.9%
大学まで	171	48.4%
大学院まで	11	3.1%
無回答	32	9.1%



《男の子の場合》

調査数（n=353）	回答数	割合
義務教育終了まで	17	4.8%
高等学校まで	58	16.4%
高専・短大・専門学校・専修学校まで	39	11.0%
大学まで	200	56.7%
大学院まで	18	5.1%
無回答	21	5.9%

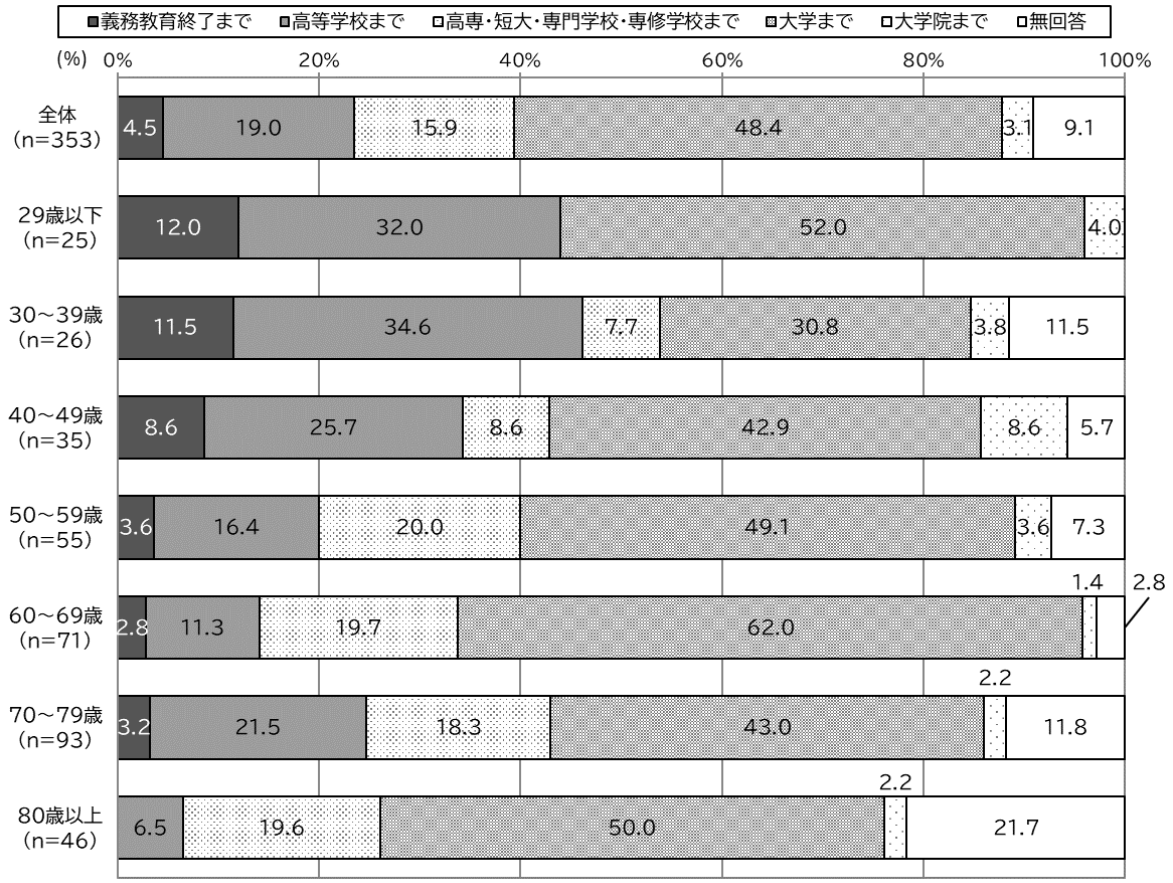


（参考）クロス集計結果

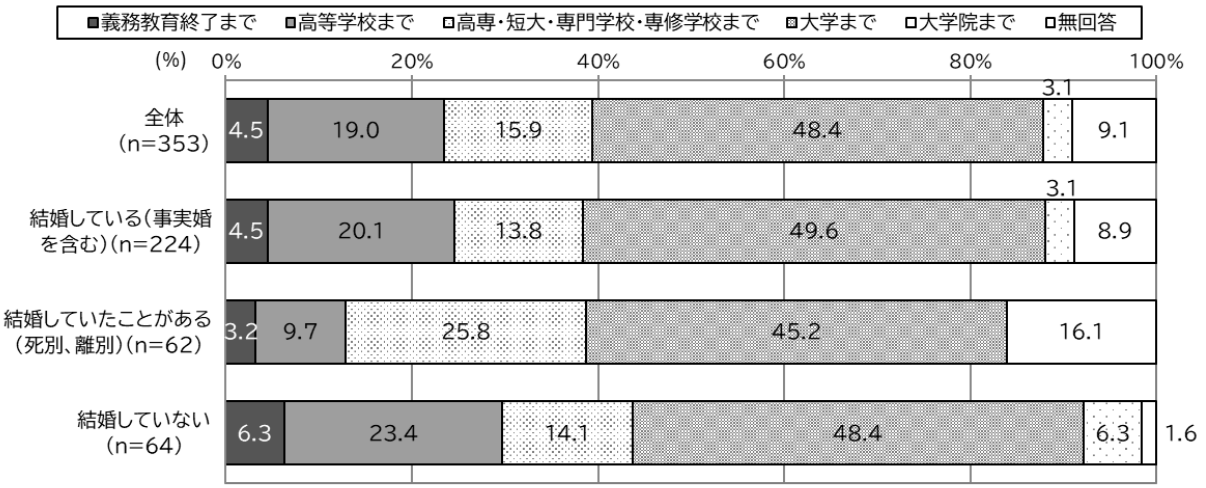
問 26-1　【女の子】必要な学校教育

○年代別では、「30～39歳」で全体と比較して「高等学校まで」と回答した割合は高く、「大学まで」が低くなっています。
○「60～69歳」では、全体と比較して「大学まで」と回答した割合は高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「高等学校まで」と回答した割合が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「高等学校まで」と回答した割合は低く、「高専・短大・専門学校・専修学校まで」が高くなっています。

●年代別



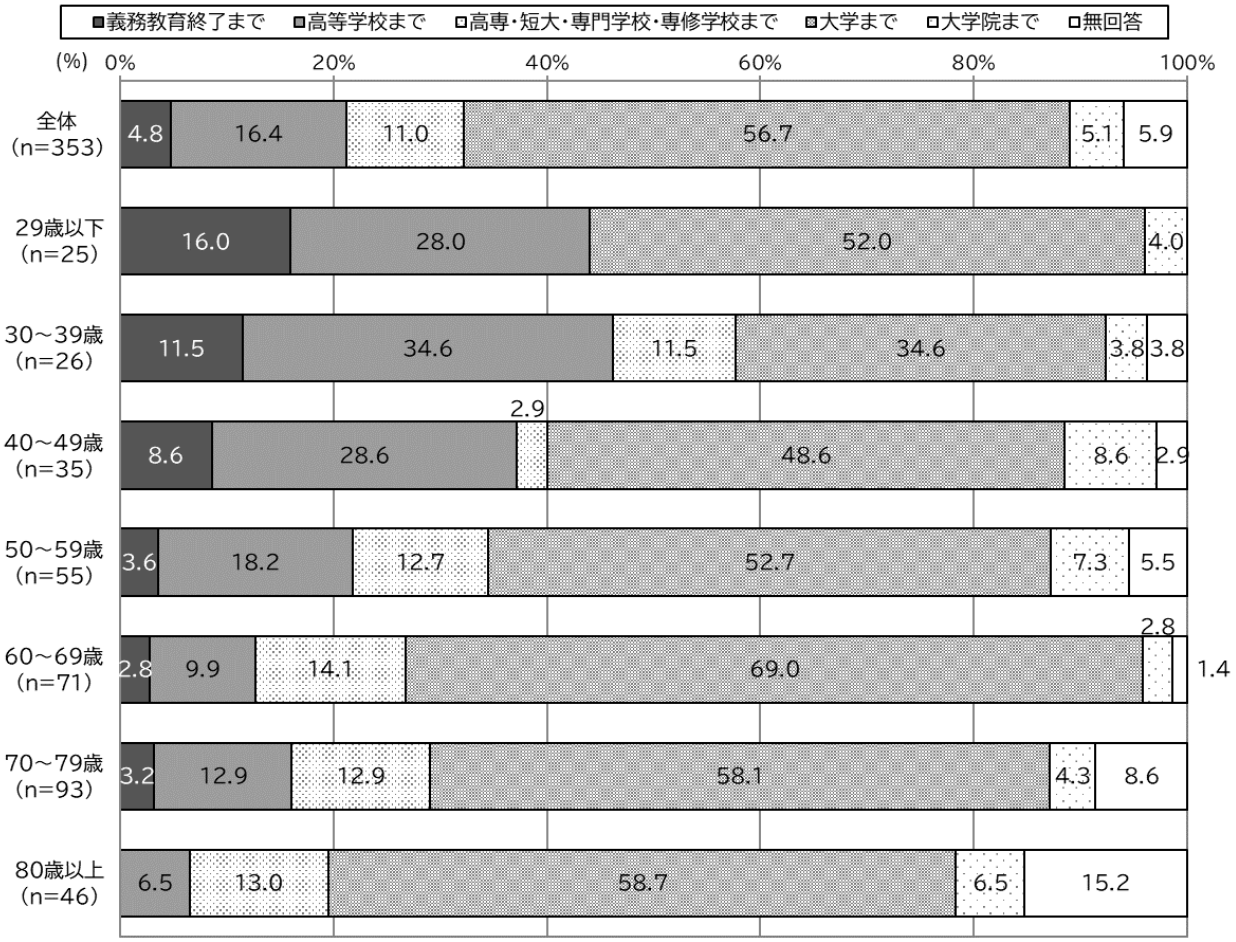
●婚姻別



問 26-2　【男の子】必要な学校教育

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「義務教育終了まで」と「高等学校まで」と回答した割合が高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「高等学校まで」と回答した割合は高く、「大学まで」が低くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「高等学校まで」と回答した割合が高くなっています。
○「60～69歳」では、全体と比較して「大学まで」と回答した割合が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「高等学校まで」と回答した割合が低くなっています。

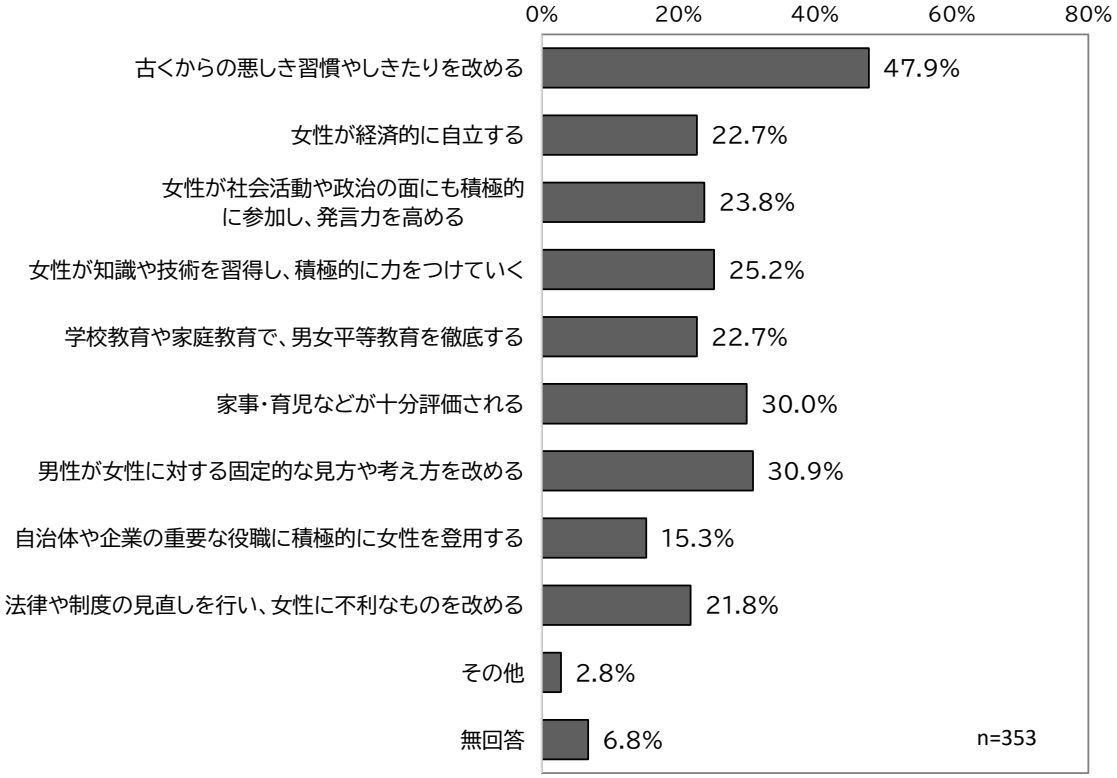
●年代別



問 27　男女平等を進めるために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

○「古くからの悪しき習慣やしきたりを改める」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「男性が女性に対する固定的な見方や考え方を改める」の割合が 30.9%、「家事・育児などが十分評価される」の割合が 30.0%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
古くからの悪しき習慣やしきたりを改める	169	47.9%
女性が経済的に自立する	80	22.7%
女性が社会活動や政治の面にも積極的に参加し、発言力を高める	84	23.8%
女性が知識や技術を習得し、積極的に力をつけていく	89	25.2%
学校教育や家庭教育で、男女平等教育を徹底する	80	22.7%
家事・育児などが十分評価される	106	30.0%
男性が女性に対する固定的な見方や考え方を改める	109	30.9%
自治体や企業の重要な役職に積極的に女性を登用する	54	15.3%
法律や制度の見直しを行い、女性に不利なものを改める	77	21.8%
その他	10	2.8%
無回答	24	6.8%



その他の回答内容
平等の定義が必要(2件)、男女平等には無理がある(1件)、今の40歳か50歳以上が他界しないと変わらない(1件)、この問には平等性が欠ける(1件)、給料の格差をなくす(1件)、男は女を養い女は家庭を守るという役割分担して時間を有効に使う(1件)、男女共に特別扱いしない(1件)、とやかく言わず、何でもやればいいと思う(1件)、特になし(1件)

（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「家事・育児などが十分評価される」と「法律や制度の見直しを行い、女性に不利なものを改める」と回答した割合が低くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「女性が経済的に自立する」と「女性が知識や技術を習得し、積極的に力をつけていく」と「自治体や企業の重要な役職に積極的に女性を登用する」と回答した割合は低く、「女性が社会活動や政治の面にも積極的に参加し、発言力を高める」と「家事・育児などが十分評価される」が高くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「古くからの悪しき習慣やしきたりを改める」と「学校教育や家庭教育で、男女平等教育を徹底する」と「男性が女性に対する固定的な見方や考え方を改める」と回答した割合が高くなっています。

○「50～59歳」では、全体と比較して「男性が女性に対する固定的な見方や考え方を改める」と回答した割合が高くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「自治体や企業の重要な役職に積極的に女性を登用する」と回答した割合が高くなっています。

○「80歳以上」では、全体と比較して「女性が社会活動や政治の面にも積極的に参加し、発言力を高める」と回答した割合は高く、「家事・育児などが十分評価される」が低くなっています。

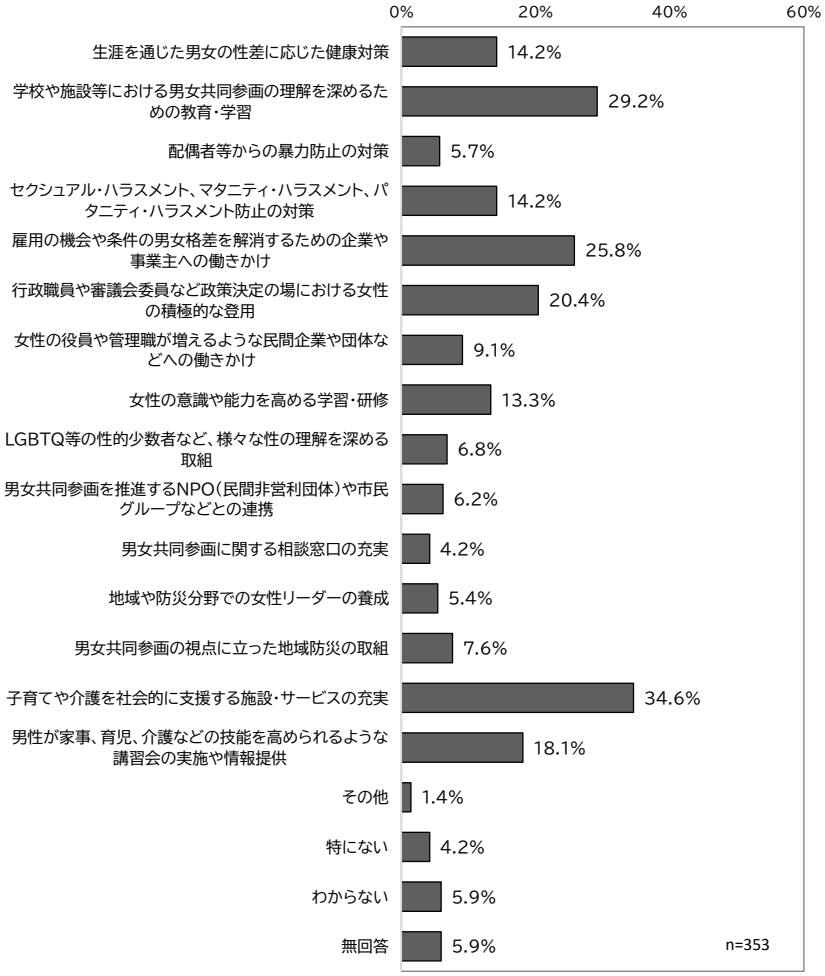
●年代別

区分	有効回答数（件）	古くからの悪しき習慣やしきたりを改める	女性が経済的に自立する	女性が社会活動や政治の面にも積極的に参加し、発言力を高める	女性が知識や技術を習得し、積極的に力をつけていく	学校教育や家庭教育で、男女平等教育を徹底する	家事・育児などが十分評価される	男性が女性に対する固定的な見方や考え方を改める	自治体や企業の重要な役職に積極的に女性を登用する	法律や制度の見直しを行い、女性に不利なものを改める	その他	無回答
全体	353	47.9%	22.7%	23.8%	25.2%	22.7%	30.0%	30.9%	15.3%	21.8%	2.8%	6.8%
29歳以下	25	40.0%	16.0%	24.0%	16.0%	28.0%	20.0%	32.0%	8.0%	8.0%	16.0%	4.0%
30～39歳	26	50.0%	11.5%	34.6%	15.4%	19.2%	46.2%	30.8%	3.8%	15.4%	3.8%	3.8%
40～49歳	35	60.0%	20.0%	17.1%	20.0%	34.3%	34.3%	42.9%	11.4%	14.3%	2.9%	2.9%
50～59歳	55	52.7%	30.9%	14.5%	32.7%	16.4%	30.9%	41.8%	10.9%	29.1%	1.8%	1.8%
60～69歳	71	54.9%	23.9%	16.9%	18.3%	25.4%	32.4%	25.4%	25.4%	26.8%	1.4%	4.2%
70～79歳	93	40.9%	22.6%	26.9%	33.3%	21.5%	29.0%	29.0%	16.1%	21.5%	1.1%	9.7%
80歳以上	46	39.1%	23.9%	34.8%	23.9%	19.6%	19.6%	21.7%	17.4%	21.7%	2.2%	17.4%

問 28　あなたは、「男女共同参画社会」の実現に向けて、御所市は今後どのようなことに力をいれて取り組むべきだと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

○「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスの充実」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育・学習」の割合が 29.2%となっています。

調査数（n=353）	回答数	割合
生涯を通じた男女の性差に応じた健康対策	50	14.2%
学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育・学習	103	29.2%
配偶者等からの暴力防止の対策	20	5.7%
セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント防止の対策	50	14.2%
雇用の機会や条件の男女格差を解消するための企業や事業主への働きかけ	91	25.8%
行政職員や審議会委員など政策決定の場における女性の積極的な登用	72	20.4%
女性の役員や管理職が増えるような民間企業や団体などへの働きかけ	32	9.1%
女性の意識や能力を高める学習・研修	47	13.3%
LGBTQ等の性的少数者など、様々な性の理解を深める取組	24	6.8%
男女共同参画を推進するNPO（民間非営利団体）や市民グループなどとの連携	22	6.2%
男女共同参画に関する相談窓口の充実	15	4.2%
地域や防災分野での女性リーダーの養成	19	5.4%
男女共同参画の視点に立った地域防災の取組	27	7.6%
子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスの充実	122	34.6%
男性が家事、育児、介護などの技能を高められるような講習会の実施や情報提供	64	18.1%
その他	5	1.4%
特にない	15	4.2%
わからない	21	5.9%
無回答	21	5.9%



その他の回答内容
男性が家事をする事が当たり前になる様な広告等喚起をする（1件）、無理だと思う（1件）、高額ゴミ袋の価格改善（1件）、保育士の給与 UP（1件）、社会として個人の幸福追求の手段としての男女平等が、平等実現のために不幸を起こしていないか確認して、幸福・平等・繁栄の何を目指すか目標を設定する（1件）

（参考）クロス集計結果

〇年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「生涯を通じた男女の性差に応じた健康対策」「配偶者等からの暴力防止の対策」「セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント防止の対策」「LGBTQ 等の性的少数者など、様々な性の理解を深める取組」と回答した割合は高く、「子育てや介護を社会的に支援する施設、サービスの充実」が低くなっています。

〇「30～39歳」では、全体と比較して「学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育、学習」と「配偶者等からの暴力防止の対策」と回答した割合が高くなっています。

〇「40～49歳」では、全体と比較して「学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育、学習」と「配偶者等からの暴力防止の対策」と「女性の意識や能力を高める学習、研修」と回答した割合が高くなっています。

〇「50～59歳」では、全体と比較して「セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント防止の対策」と回答した割合が高くなっています。

〇「60～69歳」では、全体と比較して「子育てや介護を社会的に支援する施設、サービスの充実」と回答した割合が高くなっています。

〇婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育、学習」と「行政職員や審議会委員など政策決定の場における女性の積極的な登用」と回答した割合が低くなっています。

〇「結婚していない」では、全体と比較して「セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント防止の対策」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

区分	有効回答数（件）	生涯を通じた男女の性差に応じた健康対策	学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育・学習	配偶者等からの暴力防止の対策	セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント防止の対策	雇用の機会や条件の男女格差を解消するための企業や事業主への働きかけ	行政職員や審議会委員など政策決定の場における女性の積極的な登用	女性の役員や管理職が増えるよう民間企業や団体などへの働きかけ	女性の意識や能力を高める学習・研修	LGBTQ等の性的少数者など、様々な性の理解を深める取組	男女共同参画を推進するNPO（民間非営利団体）や市民グループなどとの連携	男女共同参画に関する相談窓口の充実	地域や防災分野での女性リーダーの養成	男女共同参画の視点に立った地域防災の取組	子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスの充実	男性が家事、育児、介護などの技能を高められるような講習会の実施や情報提供	その他	特にない	わからない	無回答
全体	353	14.2%	29.2%	5.7%	14.2%	25.8%	20.4%	9.1%	13.3%	6.8%	6.2%	4.2%	5.4%	7.6%	34.6%	18.1%	1.4%	4.2%	5.9%	5.9%
29歳以下	25	24.0%	36.0%	16.0%	24.0%	24.0%	16.0%	12.0%	8.0%	16.0%	-	4.0%	-	4.0%	24.0%	16.0%	8.0%	-	8.0%	4.0%
30～39歳	26	7.7%	42.3%	15.4%	11.5%	19.2%	15.4%	3.8%	11.5%	7.7%	-	3.8%	7.7%	3.8%	26.9%	26.9%	3.8%	11.5%	-	-
40～49歳	35	8.6%	51.4%	14.3%	5.7%	25.7%	11.4%	8.6%	25.7%	11.4%	-	-	2.9%	8.6%	40.0%	11.4%	2.9%	5.7%	2.9%	2.9%
50～59歳	55	18.2%	21.8%	5.5%	29.1%	30.9%	20.0%	9.1%	14.5%	9.1%	1.8%	9.1%	3.6%	3.6%	29.1%	18.2%	-	1.8%	7.3%	3.6%
60～69歳	71	9.9%	31.0%	-	9.9%	26.8%	25.4%	7.0%	12.7%	7.0%	5.6%	4.2%	8.5%	9.9%	46.5%	15.5%	1.4%	1.4%	9.9%	1.4%
70～79歳	93	15.1%	21.5%	2.2%	11.8%	28.0%	24.7%	11.8%	9.7%	1.1%	11.8%	3.2%	3.2%	9.7%	35.5%	21.5%	-	6.5%	5.4%	7.5%
80歳以上	46	15.2%	21.7%	4.3%	8.7%	17.4%	15.2%	8.7%	15.2%	6.5%	13.0%	4.3%	10.9%	8.7%	28.3%	17.4%	-	4.3%	4.3%	19.6%

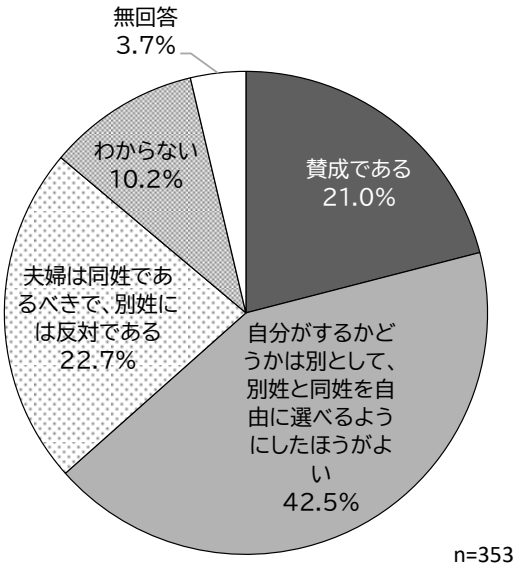
●婚姻別

区分	有効回答数（件）	生涯を通じた男女の性差に応じた健康対策	学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育・学習	配偶者等からの暴力防止の対策	セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント防止の対策	雇用の機会や条件の男女格差を解消するための企業や事業主への働きかけ	行政職員や審議会委員など政策決定の場における女性の積極的な登用	女性の役員や管理職が増えるよう民間企業や団体などへの働きかけ	女性の意識や能力を高める学習・研修	LGBTQ等の性的少数者など、様々な性の理解を深める取組	男女共同参画を推進するNPO（民間非営利団体）や市民グループなどとの連携	男女共同参画に関する相談窓口の充実	地域や防災分野での女性リーダーの養成	男女共同参画の視点に立った地域防災の取組	子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスの充実	男性が家事、育児、介護などの技能を高められるような講習会の実施や情報提供	その他	特にない	わからない	無回答
全体	353	14.2%	29.2%	5.7%	14.2%	25.8%	20.4%	9.1%	13.3%	6.8%	6.2%	4.2%	5.4%	7.6%	34.6%	18.1%	1.4%	4.2%	5.9%	5.9%
結婚している（事実婚を含む）	224	14.7%	29.5%	4.9%	9.4%	26.3%	22.8%	9.4%	14.3%	3.6%	7.6%	3.6%	5.4%	8.5%	35.7%	18.8%	1.3%	4.0%	4.9%	6.3%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	11.3%	19.4%	4.8%	16.1%	25.8%	9.7%	8.1%	11.3%	12.9%	4.8%	3.2%	4.8%	8.1%	33.9%	19.4%	-	8.1%	9.7%	8.1%
結婚していない	64	14.1%	37.5%	9.4%	28.1%	23.4%	21.9%	9.4%	12.5%	12.5%	3.1%	7.8%	6.3%	4.7%	32.8%	15.6%	3.1%	1.6%	4.7%	3.1%

問 29　現在は、結婚すると夫婦は同じ姓を名乗ることになっていますが、別々の姓を名乗るか、同じ姓を名乗るかを選択できるようにすることについて、あなたはどのように思いますか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい」の割合が42.5%と最も高く、次いで「夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である」の割合が22.7%となっています。

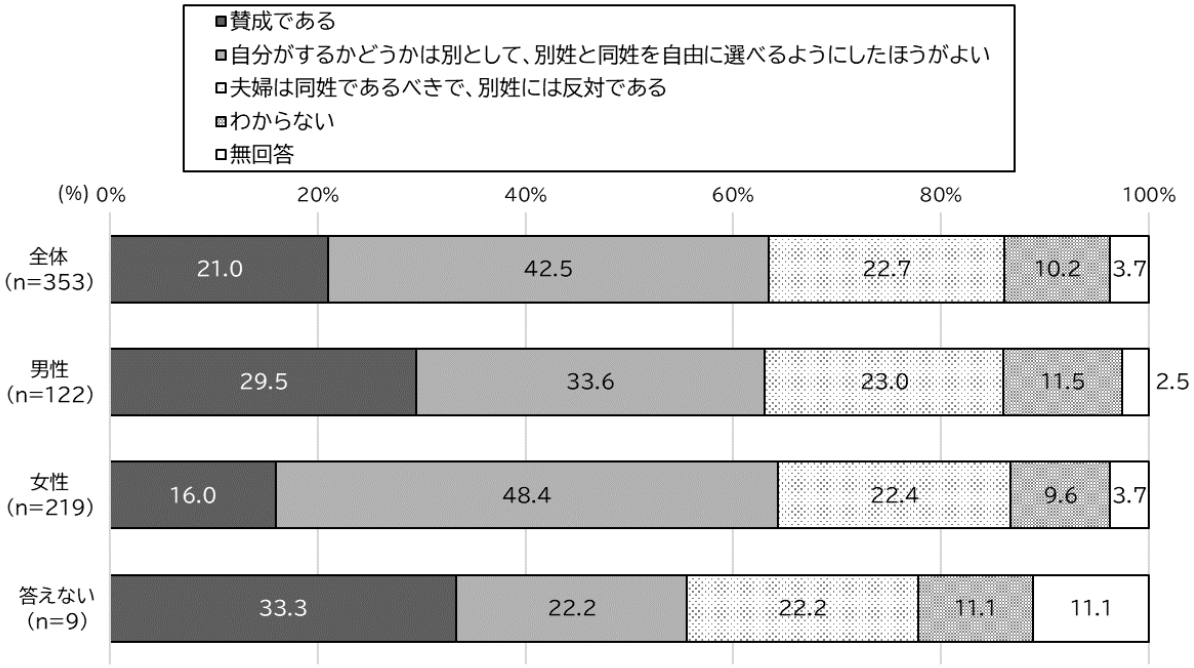
調査数（n=353）	回答数	割合
賛成である	74	21.0%
自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい	150	42.5%
夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である	80	22.7%
わからない	36	10.2%
無回答	13	3.7%



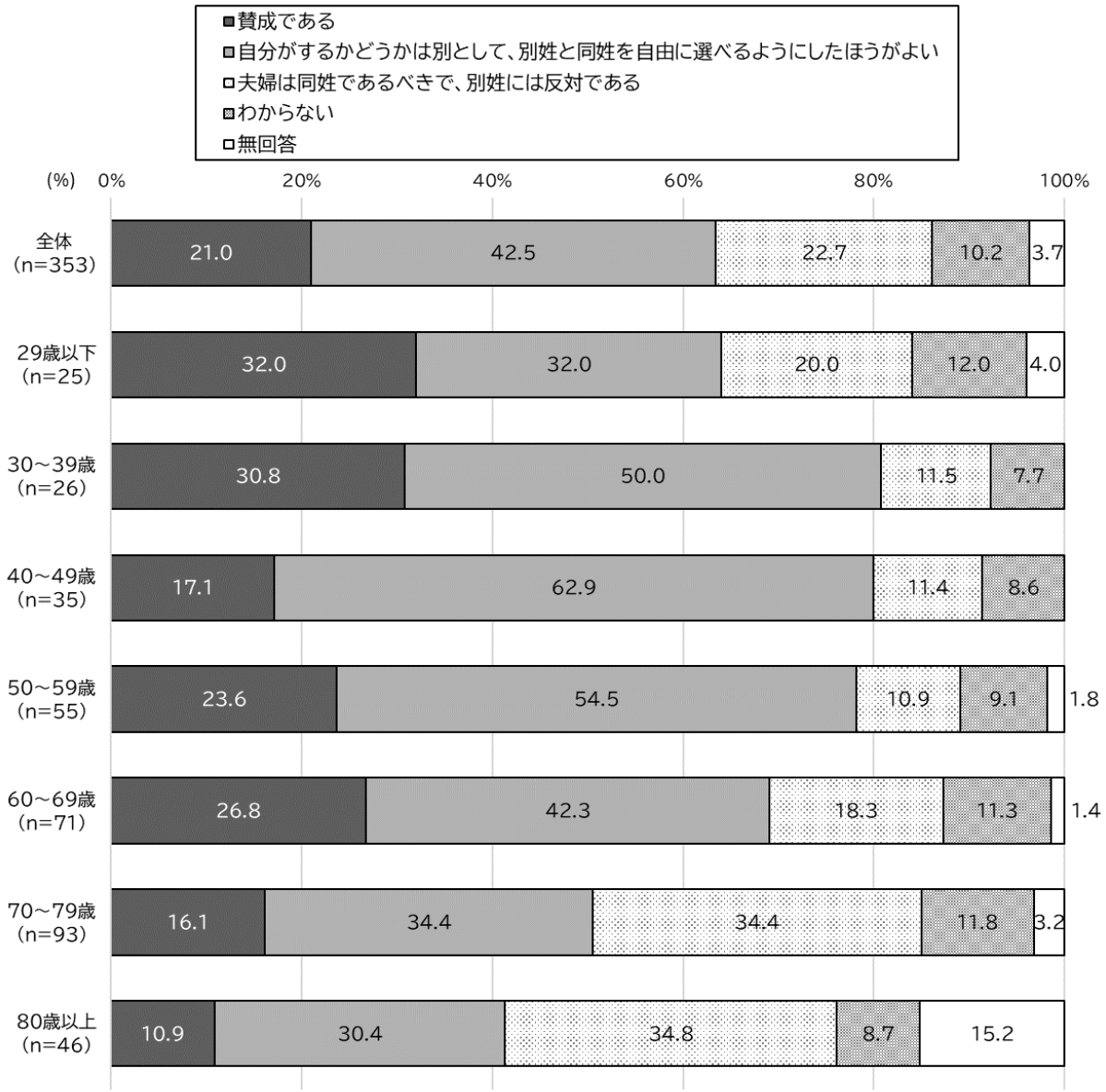
（参考）クロス集計結果

○性別では、「男性」で全体と比較して「自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい」と回答した割合が低くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「賛成である」と回答した割合は高く、「自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい」が低くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「賛成である」と回答した割合は高く、「夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である」が低くなっています。
○「40～49歳」と「50～59歳」では、全体と比較して「自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい」と回答した割合は高く、「夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である」が低くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である」と回答した割合が低くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「賛成である」と「自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい」と回答した割合は低く、「夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である」が高くなっています。

●性別



●年代別

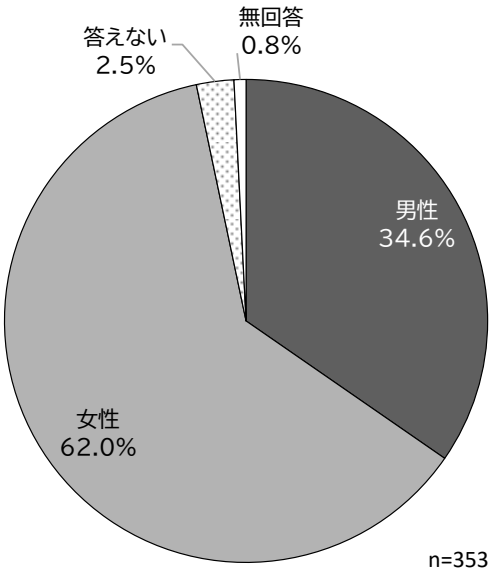

賛成である
自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい
夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である
わからない
無回答
(%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=353）
21.0
42.5
22.7
10.2
3.7
29歳以下（n=25）
32.0
32.0
20.0
12.0
4.0
30～39歳（n=26）
30.8
50.0
11.5
7.7
40～49歳（n=35）
17.1
62.9
11.4
8.6
50～59歳（n=55）
23.6
54.5
10.9
9.1
1.8
60～69歳（n=71）
26.8
42.3
18.3
11.3
1.4
70～79歳（n=93）
16.1
34.4
34.4
11.8
3.2
80歳以上（n=46）
10.9
30.4
34.8
8.7
15.2

7　あなたご自身について

問 30　あなたの性別はどちらですか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「女性」の割合が 62.0%、「男性」の割合が 34.6%となっています。

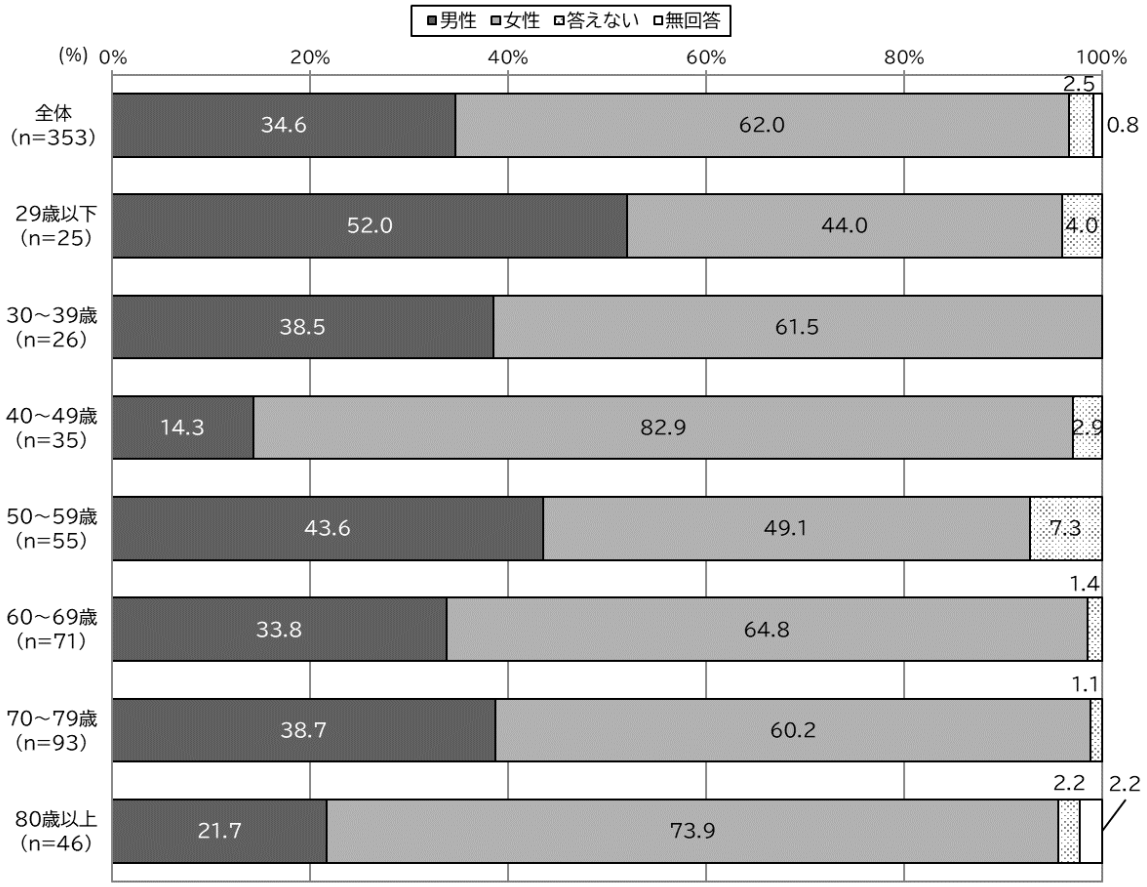
調査数(n=353)	回答数	割合
男性	122	34.6%
女性	219	62.0%
答えない	9	2.5%
無回答	3	0.8%



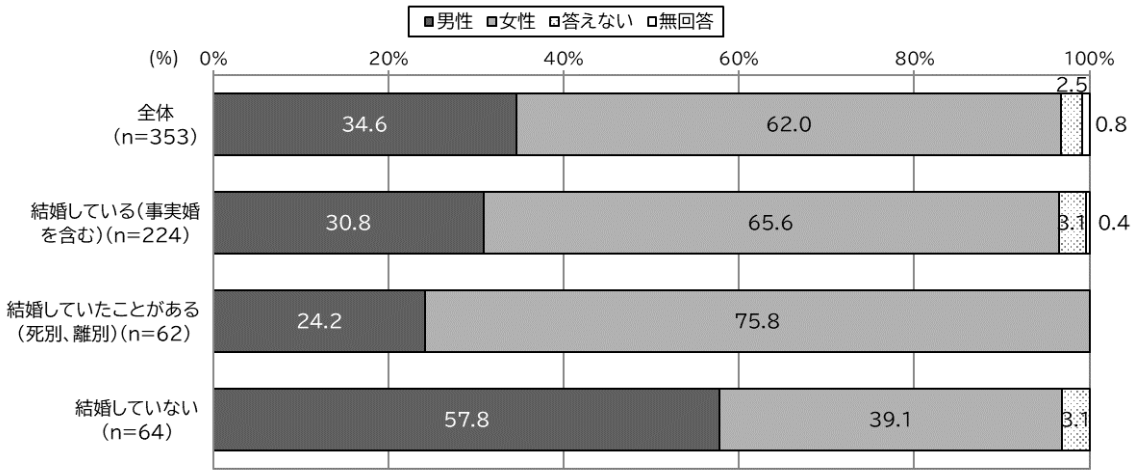
（参考）クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」と「50～59歳」で全体と比較して「男性」と回答した割合は高く、「女性」が低くなっています。
○「40～49歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「男性」と回答した割合は低く、「女性」は高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」で全体と比較して「男性」と回答した割合は低く、「女性」が高くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「男性」と回答した割合は高く、「女性」は低くなっています。

●年代別



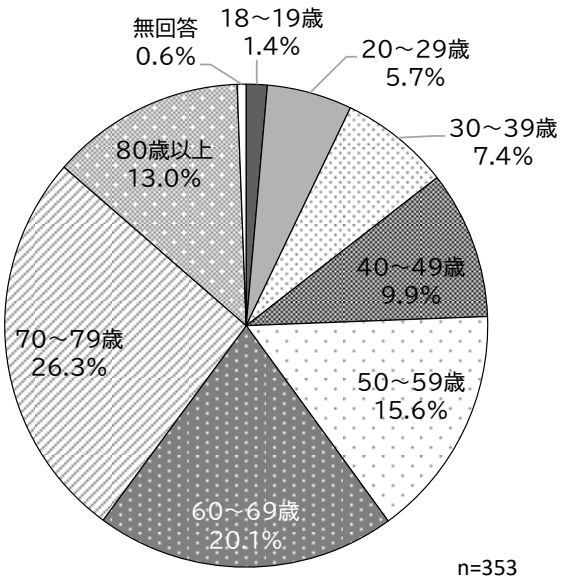
●婚姻別



問 31　あなたは、現時点（令和 6 年 1 月）で何歳ですか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「70～79 歳」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「60～69 歳」の割合が 20.1%、「50～59 歳」の割合が 15.6%となっています。

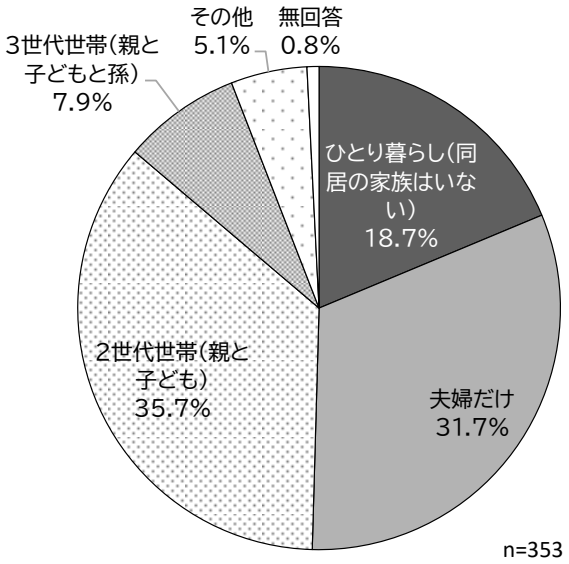
調査数(n=353)	回答数	割合
18～19歳	5	1.4%
20～29歳	20	5.7%
30～39歳	26	7.4%
40～49歳	35	9.9%
50～59歳	55	15.6%
60～69歳	71	20.1%
70～79歳	93	26.3%
80歳以上	46	13.0%
無回答	2	0.6%



問 32　あなたの同居の家族構成はどれにあたりますか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「2世代世帯（親と子ども）」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「夫婦だけ」の割合が 31.7%、「ひとり暮らし（同居の家族はいない）」の割合が 18.7%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
ひとり暮らし(同居の家族はいない)	66	18.7%
夫婦だけ	112	31.7%
2世代世帯(親と子ども)	126	35.7%
3世代世帯(親と子どもと孫)	28	7.9%
その他	18	5.1%
無回答	3	0.8%

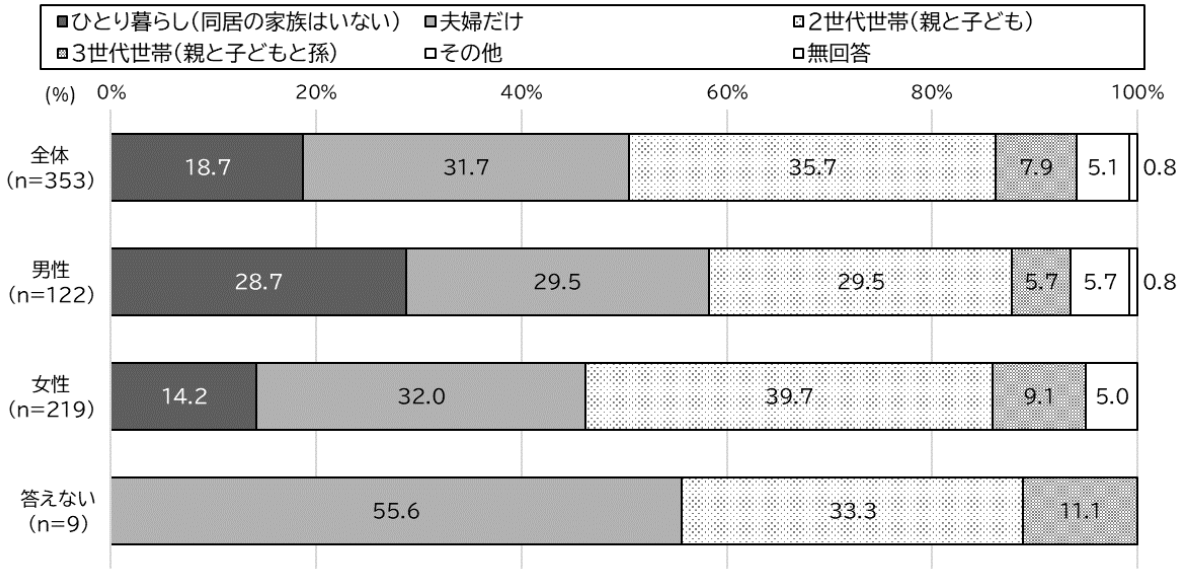


その他の回答内容
兄弟・姉妹(3件)、夫とその妹(1件)、3世帯妹・子ども(1件)、一人暮らしで同居家族がいる(1件)、共同生活(1件)、父母・姉(1件)、兄と母親(1件)、夫婦と子供(1件)、娘夫婦の隣(1件)、数歩先に義母宅がある(1件)、グループホーム入所者(1件)

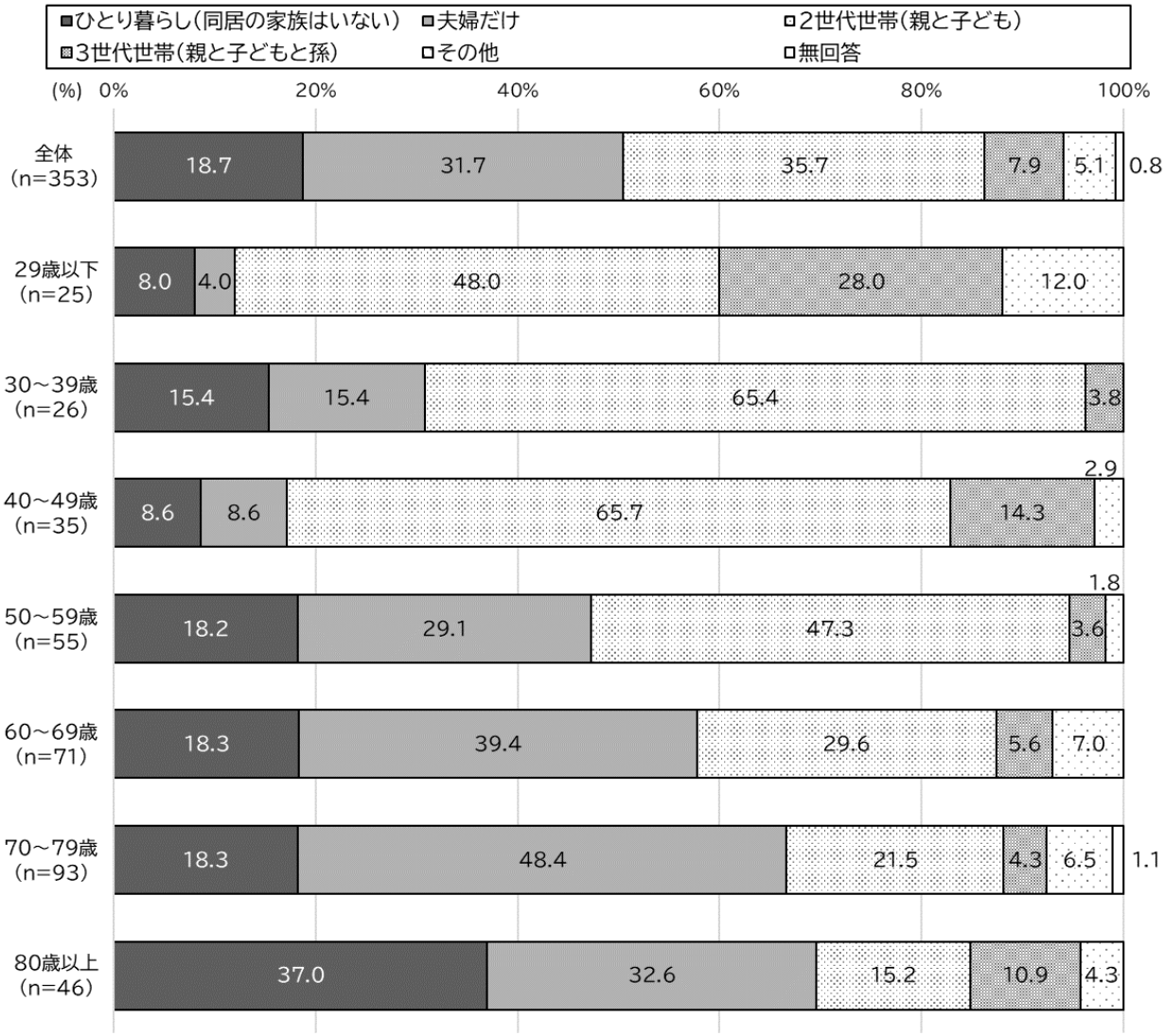
（参考）クロス集計結果

○性別では、「男性」で全体と比較して「ひとり暮らし（同居の家族はいない）」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「ひとり暮らし（同居の家族はいない）」と「夫婦だけ」と回答した割合は低く、「2世代世帯（親と子ども）」と「3世代世帯（親と子どもと孫）」が高くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「夫婦だけ」と回答した割合は低く、「2世代世帯（親と子ども）」が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「ひとり暮らし（同居の家族はいない）」と「夫婦だけ」と回答した割合は低く、「2世代世帯（親と子ども）」が高くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「2世代世帯（親と子ども）」と回答した割合が高くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「夫婦だけ」と回答した割合は高く、「2世代世帯（親と子ども）」が低くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「ひとり暮らし（同居の家族はいない）」と回答した割合は高く、「2世代世帯（親と子ども）」が低くなっています。
○婚姻別では、「結婚している（事実婚を含む）」で全体と比較して「ひとり暮らし（同居の家族はいない）」と回答した割合は低く、「夫婦だけ」が高くなっています。
○「結婚していたことがある（死別、離別）」では、全体と比較して「ひとり暮らし（同居の家族はいない）」と回答した割合は高く、「2世代世帯（親と子ども）」と「3世代世帯（親と子どもと孫）」が低くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「ひとり暮らし（同居の家族はいない）」と回答した割合が高くなっています。

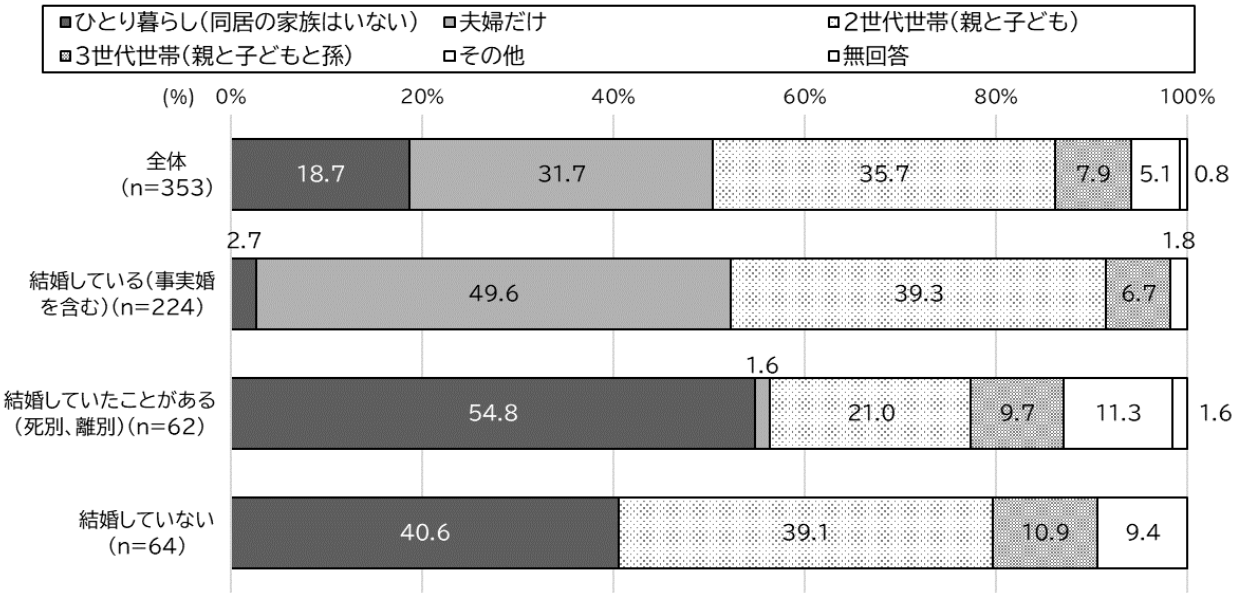
●性別



●年代別


ひとり暮らし(同居の家族はいない)
夫婦だけ
2世代世帯(親と子ども)
3世代世帯(親と子どもと孫)
その他
無回答
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体 (n=353) 18.7 31.7 35.7 7.9 5.1 0.8
29歳以下 (n=25) 8.0 4.0 48.0 28.0 12.0
30～39歳 (n=26) 15.4 15.4 65.4 3.8
40～49歳 (n=35) 8.6 8.6 65.7 14.3 2.9
50～59歳 (n=55) 18.2 29.1 47.3 3.6 1.8
60～69歳 (n=71) 18.3 39.4 29.6 5.6 7.0
70～79歳 (n=93) 18.3 48.4 21.5 4.3 6.5 1.1
80歳以上 (n=46) 37.0 32.6 15.2 10.9 4.3

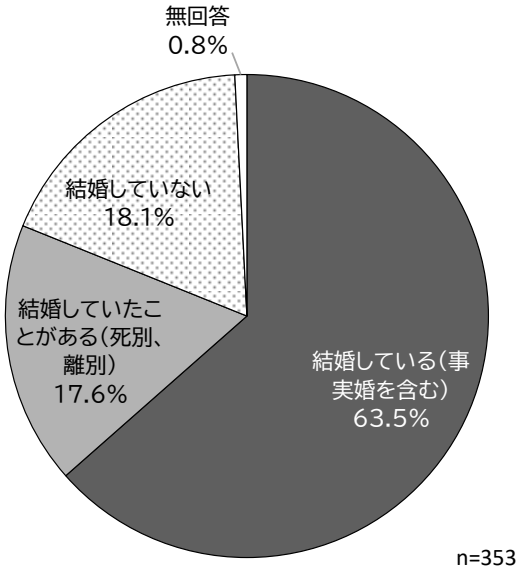
●婚姻別


ひとり暮らし(同居の家族はいない)
夫婦だけ
2世代世帯(親と子ども)
3世代世帯(親と子どもと孫)
その他
無回答
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体 (n=353) 18.7 31.7 35.7 7.9 5.1 0.8
結婚している(事実婚を含む)(n=224) 2.7 49.6 39.3 6.7 1.8
結婚していたことがある(死別、離別)(n=62) 54.8 1.6 21.0 9.7 11.3 1.6
結婚していない (n=64) 40.6 39.1 10.9 9.4

問 33　あなたは結婚していますか。【あてはまるもの１つだけに○】

○「結婚している（事実婚を含む）」の割合が 63.5％と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が 18.1％、「結婚していたことがある（死別、離別）」の割合が 17.6％となっています。

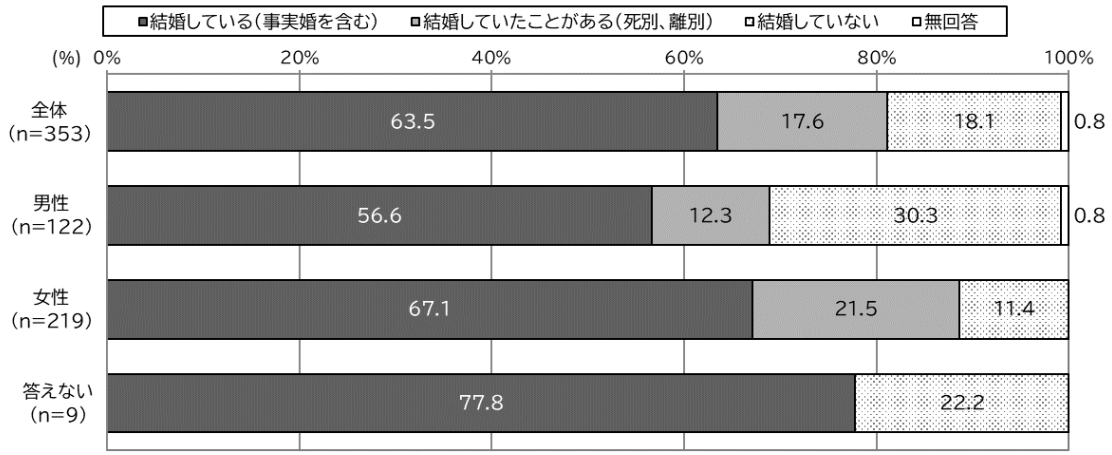
調査数（n=353）	回答数	割合
結婚している（事実婚を含む）	224	63.5%
結婚していたことがある（死別、離別）	62	17.6%
結婚していない	64	18.1%
無回答	3	0.8%



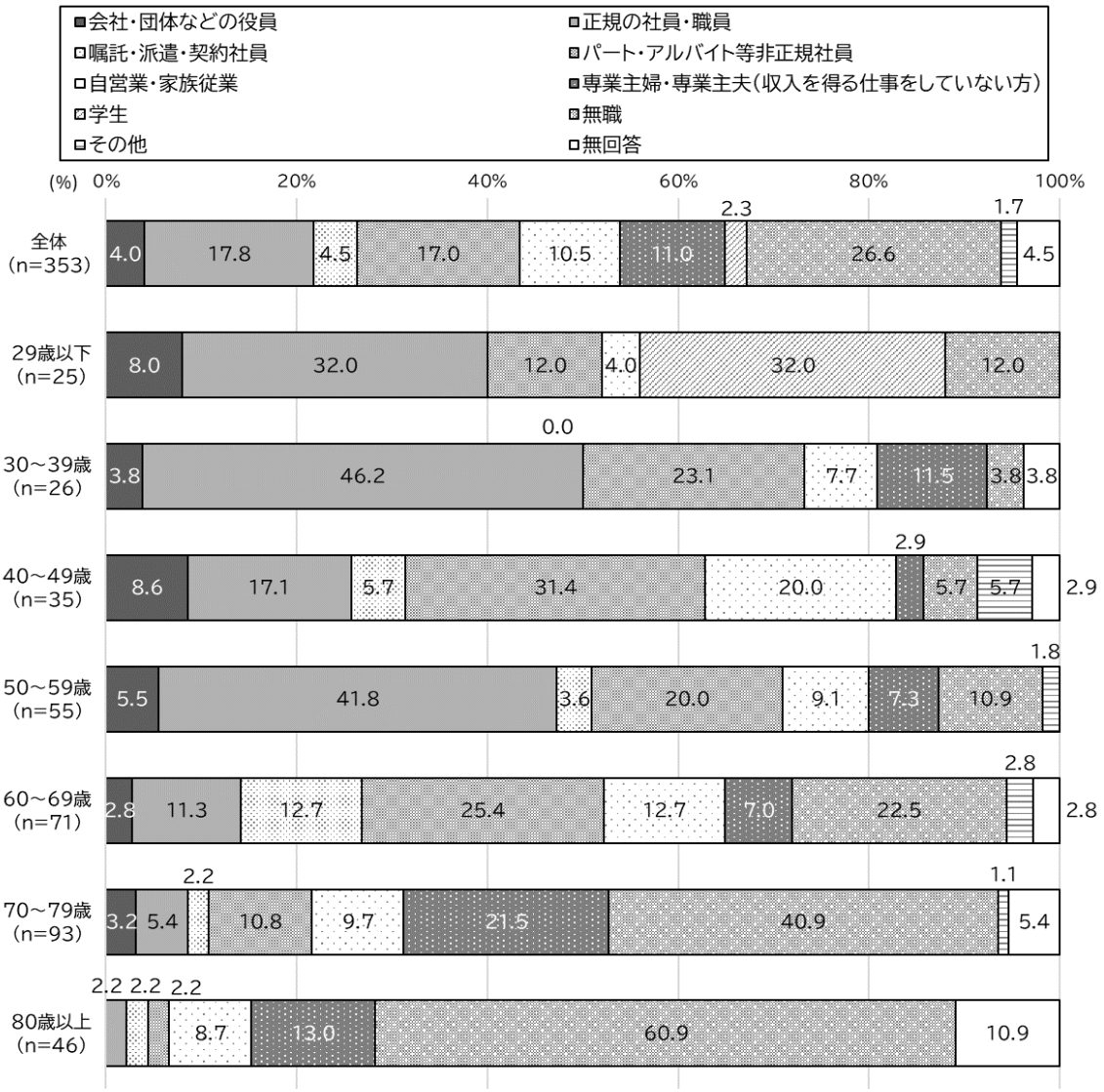
（参考）クロス集計結果

○性別では、「男性」で全体と比較して「結婚していない」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「結婚している（事実婚を含む）」と回答した割合は低く、「結婚していない」が高くなっています。
○「30～39歳」と「60～69歳」では、全体と比較して「結婚している（事実婚を含む）」と回答した割合が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「結婚していたことがある（死別、離別）」と回答した割合が低くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「結婚している（事実婚を含む）」と「結婚していない」と回答した割合は低く、「結婚していたことがある（死別、離別）」が高くなっています。

●性別



●年代別

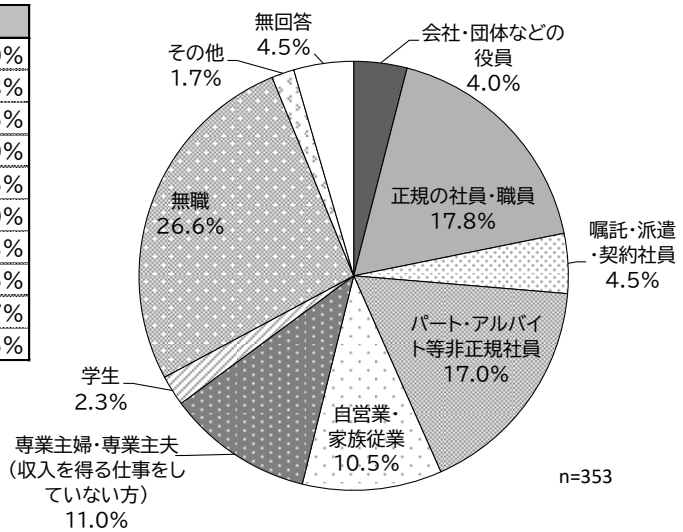

会社・団体などの役員
正規の社員・職員
嘱託・派遣・契約社員
パート・アルバイト等非正規社員
自営業・家族従業
専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）
学生
無職
その他
無回答
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=353）
4.0 17.8 4.5 17.0 10.5 11.0 2.3 26.6 1.7 4.5
29歳以下（n=25）
8.0 32.0 12.0 4.0 32.0 12.0
30～39歳（n=26）
3.8 46.2 0.0 23.1 7.7 11.5 3.8 3.8
40～49歳（n=35）
8.6 17.1 5.7 31.4 20.0 2.9 5.7 5.7 2.9
50～59歳（n=55）
5.5 41.8 3.6 20.0 9.1 7.3 10.9 1.8
60～69歳（n=71）
2.8 11.3 12.7 25.4 12.7 7.0 22.5 2.8 2.8
70～79歳（n=93）
3.2 5.4 2.2 10.8 9.7 21.5 40.9 1.1 5.4
80歳以上（n=46）
2.2 2.2 2.2 8.7 13.0 60.9 10.9

問 34　あなたやあなたの配偶者（それに相当する人を含む。）は仕事についていますか。【それぞれあてはまるもの１つだけに〇】　（配偶者がいない方は，ご自身の欄だけご記入ください。）

〇《あなたの職業》、《配偶者の職業》ともに、「無職」が約3割となっています。

《あなたの職業》

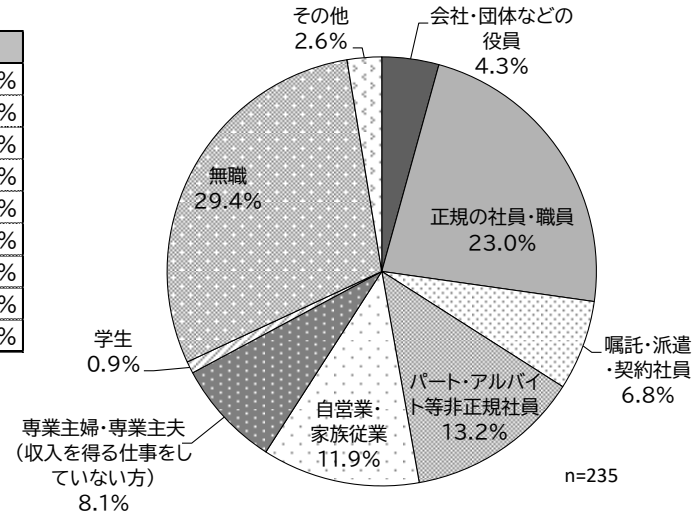
調査数(n=353)	回答数	割合
会社・団体などの役員	14	4.0%
正規の社員・職員	63	17.8%
嘱託・派遣・契約社員	16	4.5%
パート・アルバイト等非正規社員	60	17.0%
自営業・家族従業	37	10.5%
専業主婦・専業主夫(収入を得る仕事をしていない方)	39	11.0%
学生	8	2.3%
無職	94	26.6%
その他	6	1.7%
無回答	16	4.5%



その他の回答内容
農業(1件)、フリーランス(1件)、個人事業主(1件)、内職(1件)、地方公務員(1件)、ダンス教師(1件)、その他(1件)

《配偶者の職業》 ※無回答は除外(配偶者がいない方)

調査数(n=235)	回答数	割合
会社・団体などの役員	10	4.3%
正規の社員・職員	54	23.0%
嘱託・派遣・契約社員	16	6.8%
パート・アルバイト等非正規社員	31	13.2%
自営業・家族従業	28	11.9%
専業主婦・専業主夫(収入を得る仕事をしていない方)	19	8.1%
学生	2	0.9%
無職	69	29.4%
その他	6	2.6%



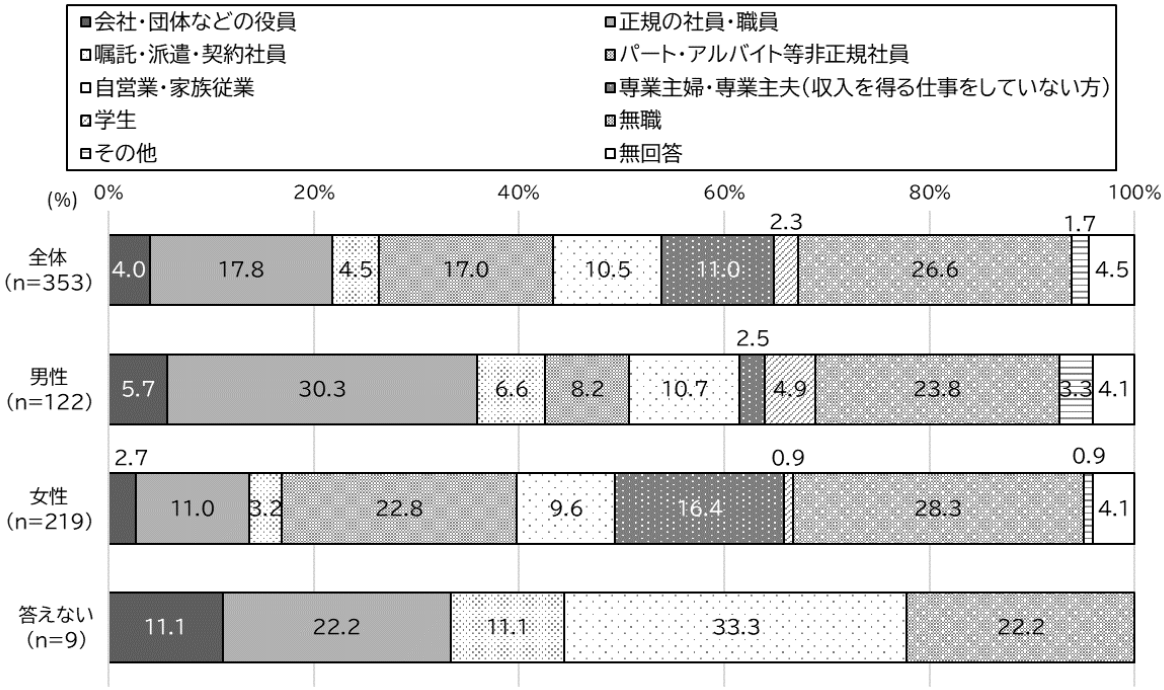
その他の回答内容
農業(3件)、死亡(2件)、家庭菜園(1件)、兼業主婦(1件)、なし(1件)

（参考）クロス集計結果

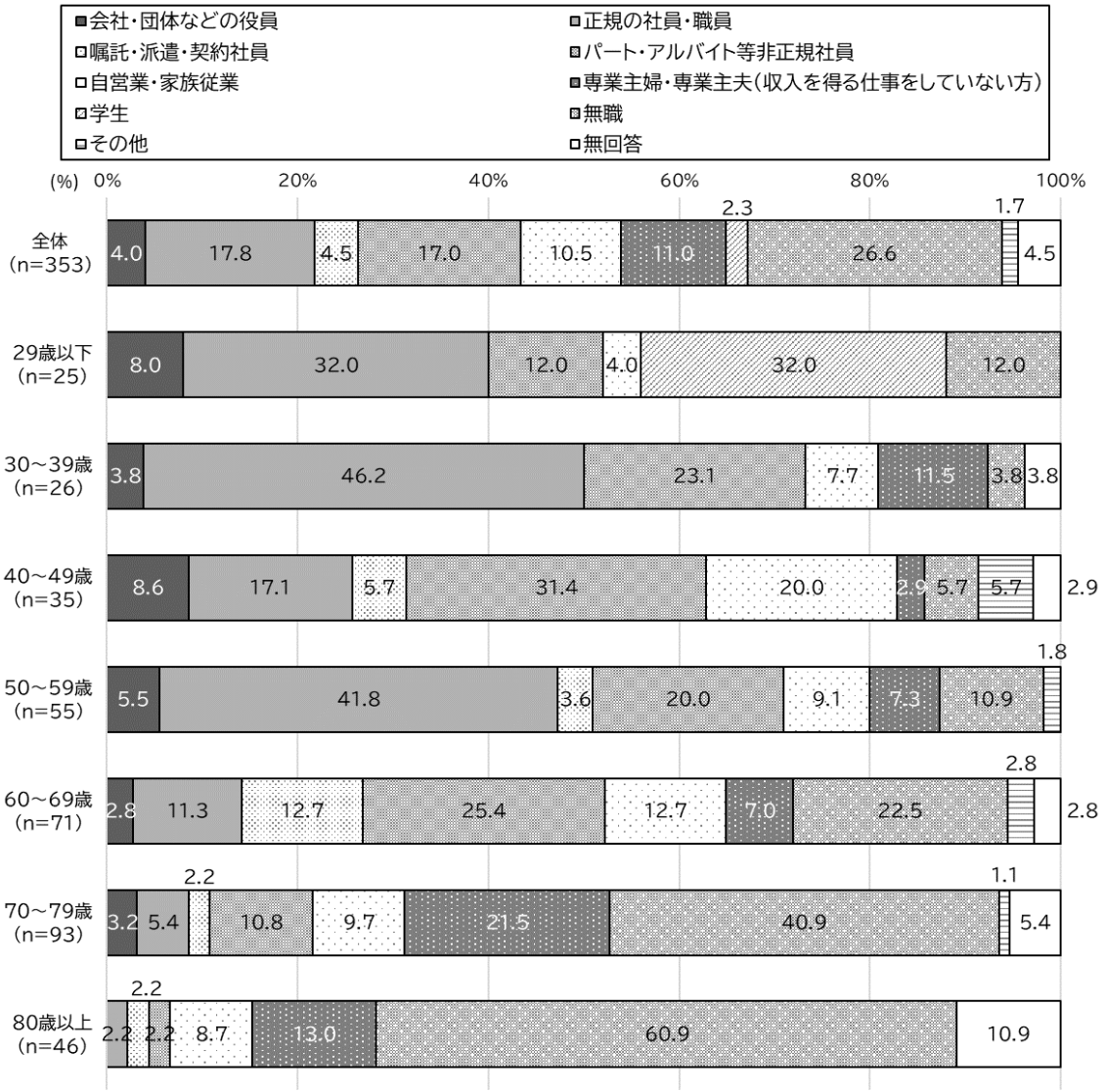
問 34-1　【あなたの職業】仕事についているか

○性別では、「男性」で全体と比較して「正規の社員・職員」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「正規の社員・職員」と「学生」と回答した割合は高く、「無職」が低くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「正規の社員・職員」と回答した割合は高く、「無職」が低くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「パート・アルバイト等非正規社員」と「自営業・家族従業」と回答した割合は高く、「無職」は低くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「正規の社員・職員」と回答した割合は高く、「無職」が低くなっています。
○「70～79歳」では、全体と比較して「正規の社員・職員」と回答した割合は低く、「専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）」と「無職」が高くなっています。
○「80歳以上」では、全体と比較して「正規の社員・職員」と「パート・アルバイト等非正規社員」と回答した割合は低く、「無職」が高くなっています。
○婚姻別では、「結婚していたことがある（死別、離別）」と回答した割合が高くなっています。
○「結婚していない」では、全体と比較して「正規の社員・職員」と「学生」と回答した割合が高くなっています。

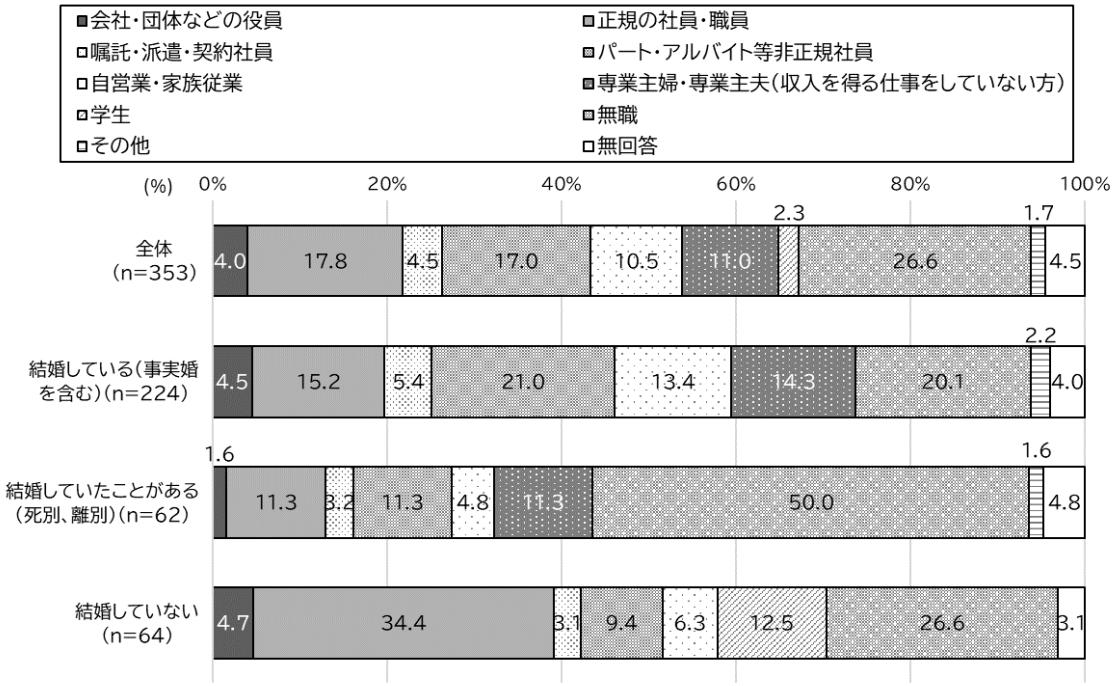
●性別



●年代別


会社・団体などの役員
正規の社員・職員
嘱託・派遣・契約社員
パート・アルバイト等非正規社員
自営業・家族従業
専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）
学生
無職
その他
無回答
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=353）
29歳以下（n=25）
30～39歳（n=26）
40～49歳（n=35）
50～59歳（n=55）
60～69歳（n=71）
70～79歳（n=93）
80歳以上（n=46）

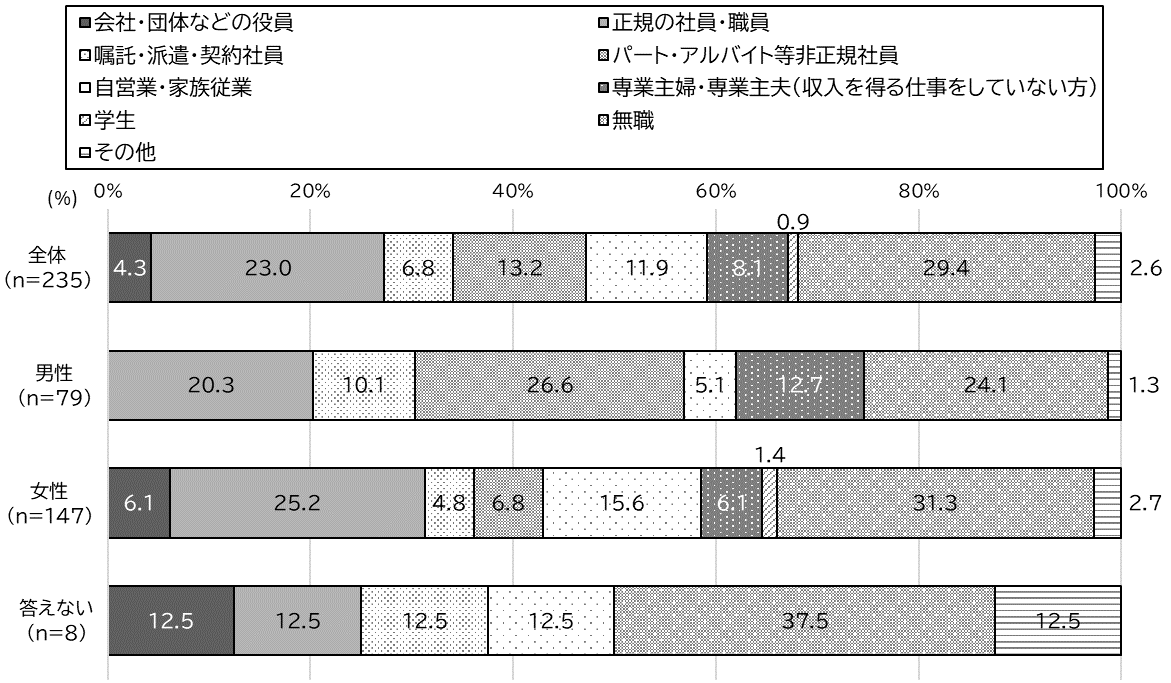
●婚姻別


会社・団体などの役員
正規の社員・職員
嘱託・派遣・契約社員
パート・アルバイト等非正規社員
自営業・家族従業
専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）
学生
無職
その他
無回答
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=353）
結婚している（事実婚を含む）（n=224）
結婚していたことがある（死別、離別）（n=62）
結婚していない（n=64）

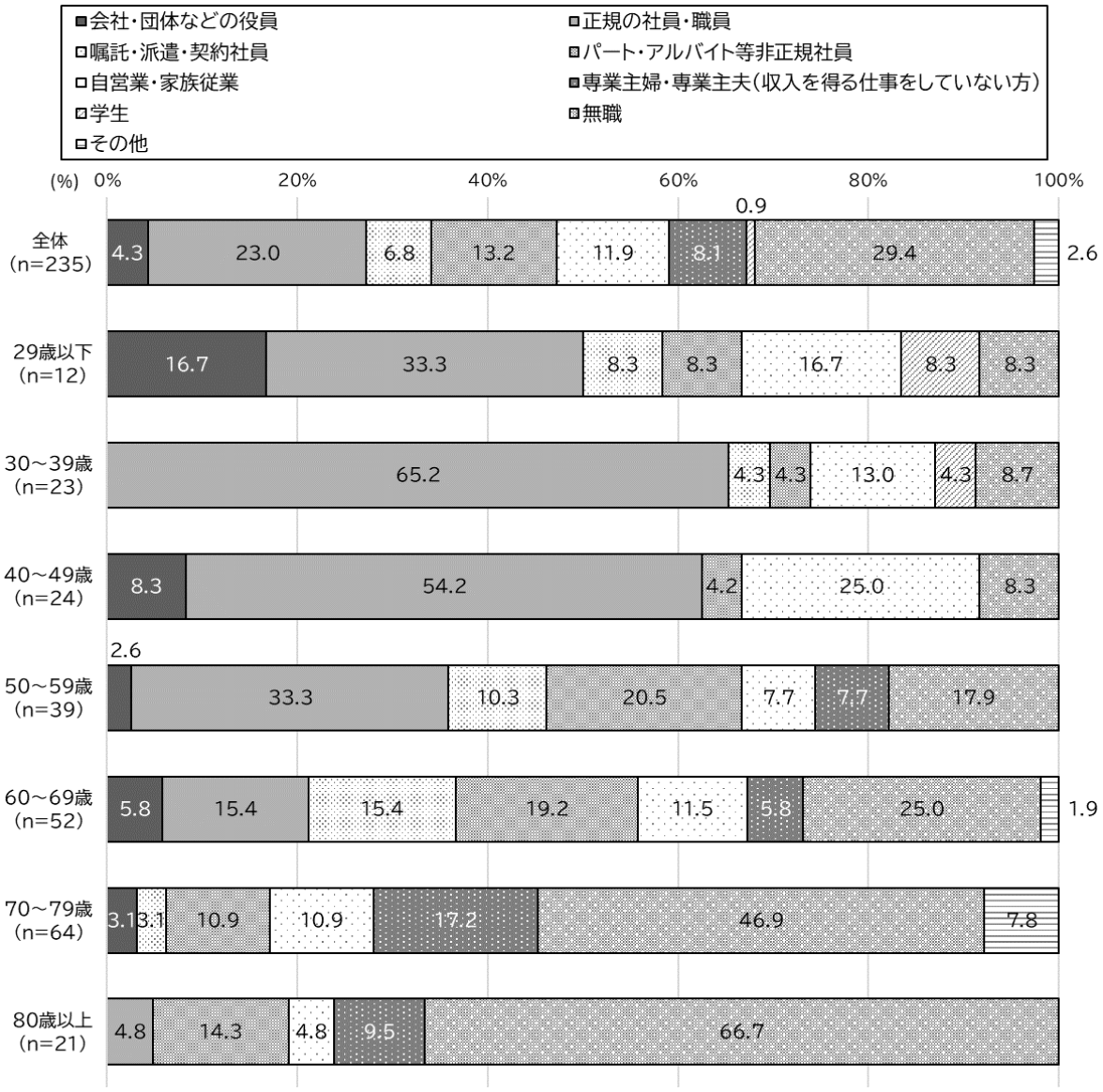
問 34-2　【配偶者の職業】仕事についているか

○性別では、「男性」で全体と比較して「パート・アルバイト等非正規社員」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「会社・団体などの役員」と「正規の社員・職員」と回答した割合は高く、「無職」が低くなっています。
○「30～39歳」では、全体と比較して「正規の社員・職員」と回答した割合は高く、「無職」が低くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「正規の社員・職員」と「自営業・家族従業」と回答した割合は高く、「無職」が低くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「正規の社員・職員」と回答した割合は高く、「無職」が低くなっています。
○「70～79歳」と「80歳以上」では、全体と比較して「無職」と回答した割合が高くなっています。

●性別



●年代別


会社・団体などの役員
正規の社員・職員
嘱託・派遣・契約社員
パート・アルバイト等非正規社員
自営業・家族従業
専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）
学生
無職
その他
(%) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
全体（n=235） 4.3 23.0 6.8 13.2 11.9 8.1 0.9 29.4 2.6
29歳以下（n=12） 16.7 33.3 8.3 8.3 16.7 8.3 8.3
30～39歳（n=23） 65.2 4.3 4.3 13.0 4.3 8.7
40～49歳（n=24） 8.3 54.2 4.2 25.0 8.3
50～59歳（n=39） 2.6 33.3 10.3 20.5 7.7 7.7 17.9
60～69歳（n=52） 5.8 15.4 15.4 19.2 11.5 5.8 25.0 1.9
70～79歳（n=64） 3.1 3.1 10.9 10.9 17.2 46.9 7.8
80歳以上（n=21） 4.8 14.3 4.8 9.5 66.7

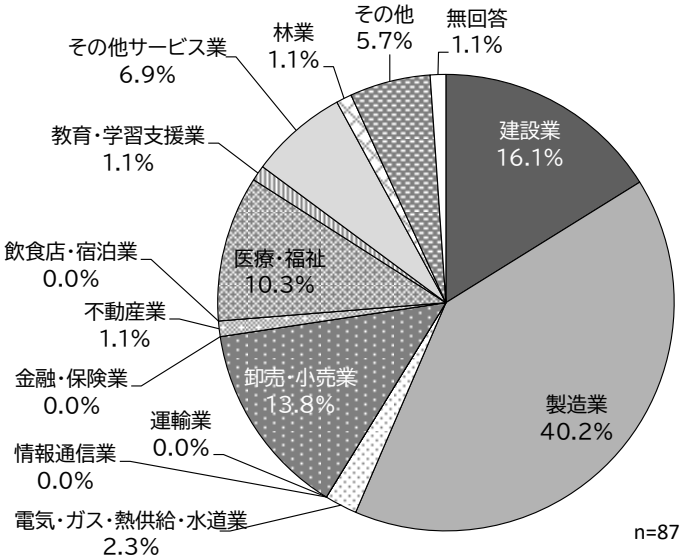
Ⅳ　事業所アンケート調査結果

1　事業所の概要等について

問１　貴事業所の業種は何ですか。【いずれか主要な業種１つだけに○】

○「製造業」の割合が40．2％、「建設業」の割合が16．1％、「卸売・小売業」の割合が13．8％となっています。

調査数（n=87）	回答数	割合
建設業	14	16.1%
製造業	35	40.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	2.3%
情報通信業	-	-
運輸業	-	-
卸売・小売業	12	13.8%
金融・保険業	-	-
不動産業	1	1.1%
飲食店・宿泊業	-	-
医療・福祉	9	10.3%
教育・学習支援業	1	1.1%
その他サービス業	6	6.9%
林業	1	1.1%
その他	5	5.7%
無回答	1	1.1%

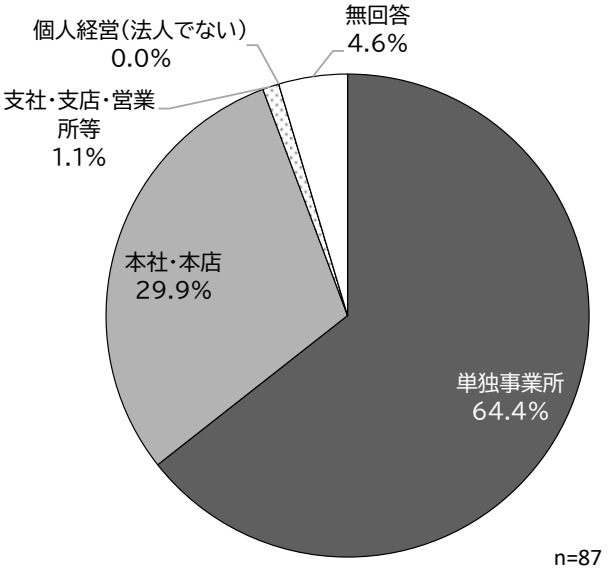


その他の回答内容
資源回収業（1件）、酪農（1件）、造園業（1件）、設備業（1件）、廃棄物処理業（1件）

問２　貴事業所は次のどれに該当しますか。【いずれか１つだけに○】

○「単独事業所」の割合が64．4％、「本社・本店」の割合が29．9％となっています。

調査数（n=87）	回答数	割合
単独事業所	56	64.4%
本社・本店	26	29.9%
支社・支店・営業所等	1	1.1%
個人経営（法人でない）	-	-
無回答	4	4.6%



問３　貴事業所の従業員数は何人ですか。①正社員、②パート・アルバイト・臨時、③派遣等に分けてそれぞれ男女別にお答えください。（記入回答）

○正社員総数の「1～10人未満」が59．8%となっています。性別で見ると、男性と女性それぞれ70．1%となっています。
○パート・アルバイト・臨時総数の「1～10人未満」が50．6%となっています。性別で見ると、男性で、「1～10人未満」が34．5%、女性で49．4%となっています。
○派遣等総数の「1～10人未満」が11．5%となっています。性別で見ると、男性と女性それぞれ6．9%となっています。

① 正社員

総数

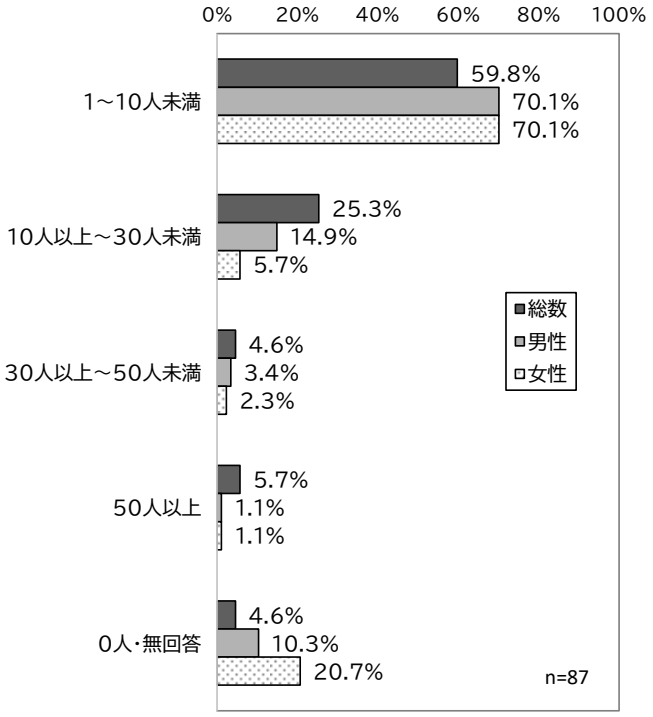
全体(n=87)	事業所数	割合
1～10人未満	52	59.8%
10人以上～30人未満	22	25.3%
30人以上～50人未満	4	4.6%
50人以上	5	5.7%
0人・無回答	4	4.6%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10人未満	61	70.1%
10人以上～30人未満	13	14.9%
30人以上～50人未満	3	3.4%
50人以上	1	1.1%
0人・無回答	9	10.3%

女性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10人未満	61	70.1%
10人以上～30人未満	5	5.7%
30人以上～50人未満	2	2.3%
50人以上	1	1.1%
0人・無回答	18	20.7%



②パート・アルバイト・臨時

総数

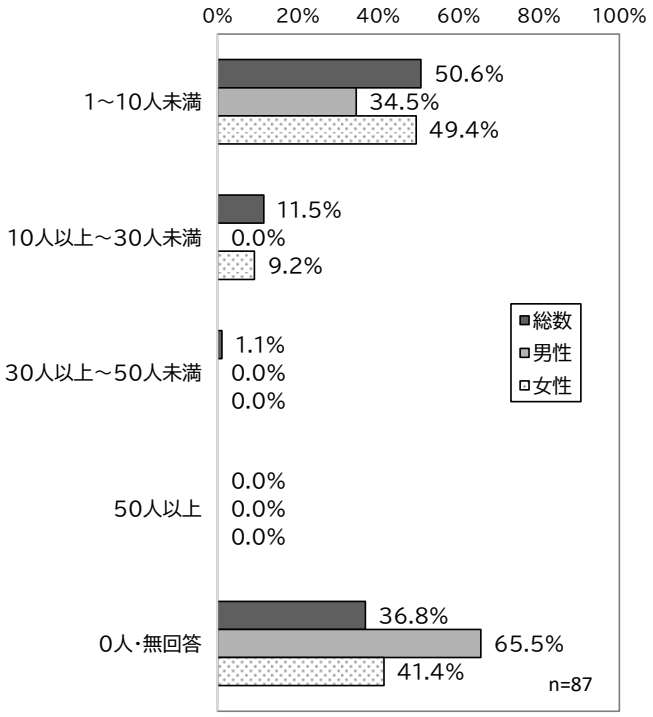
全体(n=87)	事業所数	割合
1～10人未満	44	50.6%
10人以上～30人未満	10	11.5%
30人以上～50人未満	1	1.1%
50人以上	-	-
0人・無回答	32	36.8%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10人未満	30	34.5
10人以上～30人未満	-	-
30人以上～50人未満	-	-
50人以上	-	-
0人・無回答	57	65.5

女性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10人未満	43	49.4
10人以上～30人未満	8	9.2
30人以上～50人未満	-	-
50人以上	-	-
0人・無回答	36	41.4



③派遣等

総数

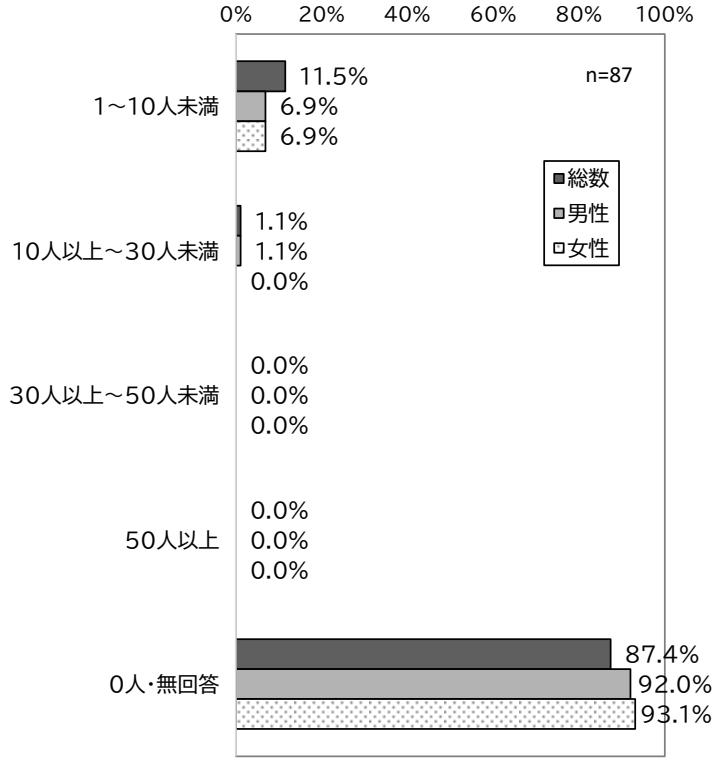
全体(n=87)	事業所数	割合
1～10人未満	10	11.5%
10人以上～30人未満	1	1.1%
30人以上～50人未満	-	-
50人以上	-	-
0人・無回答	76	87.4%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10人未満	6	6.9%
10人以上～30人未満	1	1.1%
30人以上～50人未満	-	-
50人以上	-	-
0人・無回答	80	92.0%

女性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10人未満	6	6.9%
10人以上～30人未満	-	-
30人以上～50人未満	-	-
50人以上	-	-
0人・無回答	81	93.1%



問４　正社員のうち管理職は何人ですか。（記入回答）

○総数では、「1～5人未満」の割合が70.1%となっています。
○男性は全体と概ね同じ傾向となっていますが、女性は「0人・無回答」は47.1%となっています。

総数

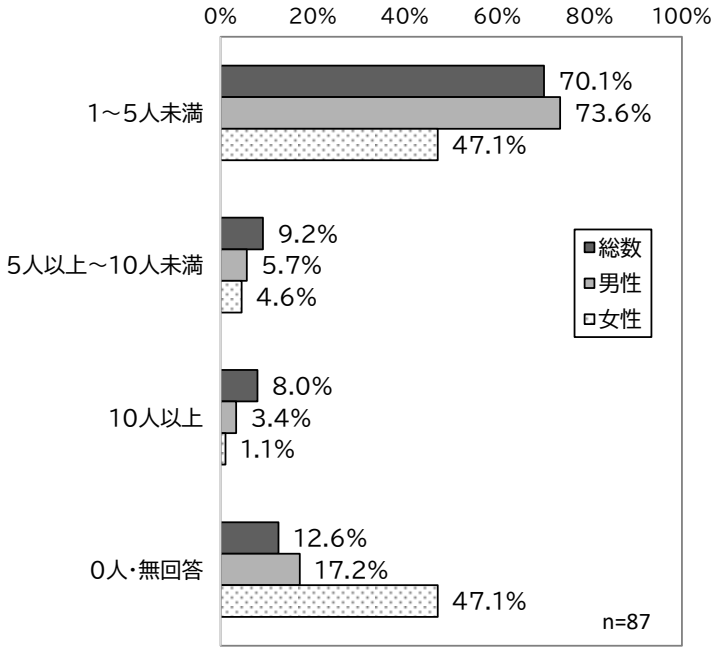
全体(n=87)	事業所数	割合
1～5人未満	61	70.1%
5人以上～10人未満	8	9.2%
10人以上	7	8.0%
無回答	11	12.6%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～5人未満	64	73.6%
5人以上～10人未満	5	5.7%
10人以上	3	3.4%
0人・無回答	15	17.2%

女性

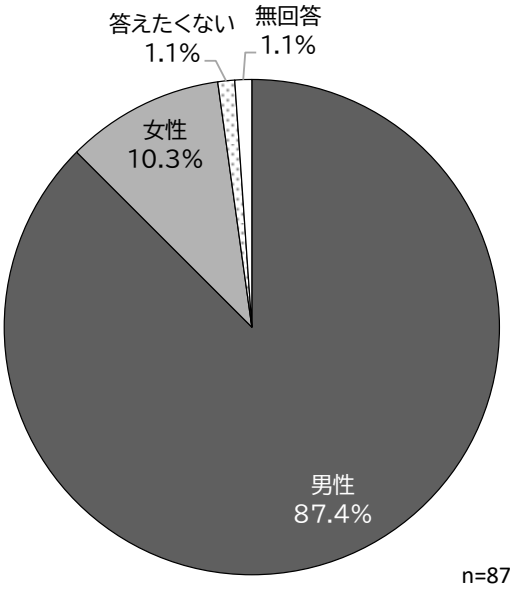
全体(n=87)	事業所数	割合
1～5人未満	41	47.1%
5人以上～10人未満	4	4.6%
10人以上	1	1.1%
0人・無回答	41	47.1%



問５　代表者は男性ですか、女性ですか。【いずれか１つだけに○】

○「男性」の割合が87．4％、「女性」の割合が10．3％となっています。

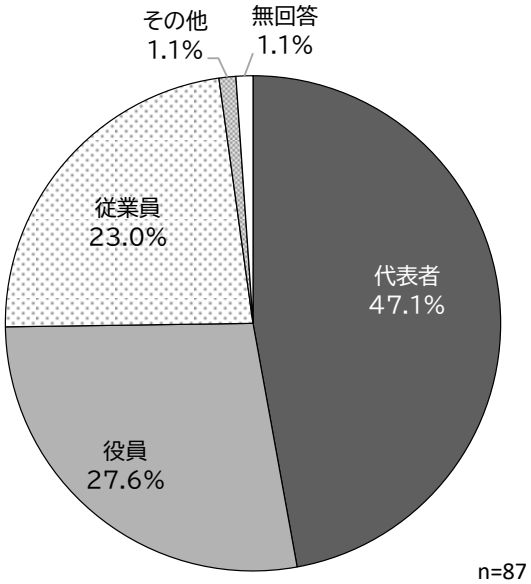
調査数（n=87）	回答数	割合
男性	76	87.4%
女性	9	10.3%
答えたくない	1	1.1%
無回答	1	1.1%



問６　回答者は、どなたですか。【いずれか１つだけに○】

○「代表者」の割合が47．1％、「役員」の割合が27．6％、「従業員」の割合が23．0％となっています。

調査数（n=87）	回答数	割合
代表者	41	47.1%
役員	24	27.6%
従業員	20	23.0%
その他	1	1.1%
無回答	1	1.1%



その他の回答内容
家族従業員（1件）

問 20　貴事業所の従業員の平均勤続年数をお答えください。【小数点第２位を四捨五入して、ご記入ください。】（記入回答）

○正社員の平均勤続年数では、「10年以上～30年未満」で「女性」が37．9％、「男性」で51．7％となっています。
○パート・アルバイト・臨時では、「1～10年」で「女性」が27．6％、「男性」で14．9％となっています。「10年以上～30年未満」で「女性」が24．1％、「男性」で9．2％となっています。

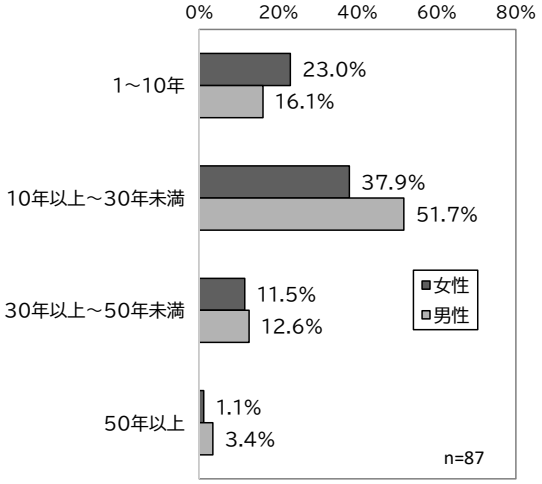
①正社員

女性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10年	20	23.0%
10年以上～30年未満	33	37.9%
30年以上～50年未満	10	11.5%
50年以上	1	1.1%
無回答	23	26.4%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10年	14	16.1%
10年以上～30年未満	45	51.7%
30年以上～50年未満	11	12.6%
50年以上	3	3.4%
無回答	14	16.1%



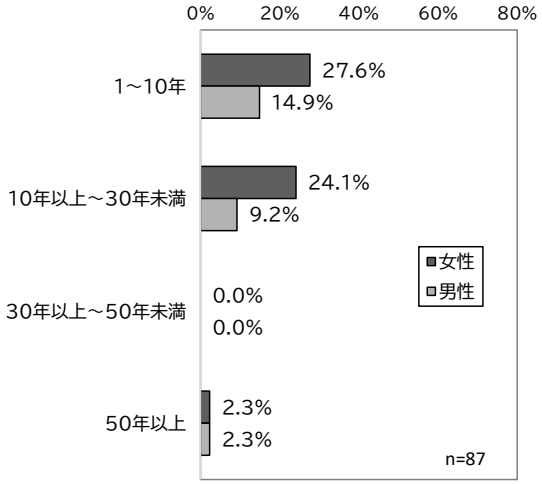
②パート・アルバイト・臨時

女性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10年	24	27.6%
10年以上～30年未満	21	24.1%
30年以上～50年未満	-	-
50年以上	2	2.3%
無回答	40	46.0%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10年	13	14.9%
10年以上～30年未満	8	9.2%
30年以上～50年未満	-	-
50年以上	2	2.3%
無回答	64	73.6%



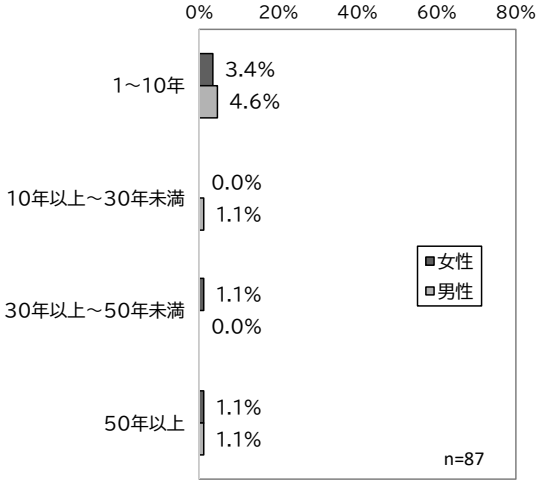
③派遣等

女性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10年	3	3.4%
10年以上～30年未満	-	-
30年以上～50年未満	1	1.1%
50年以上	1	1.1%
無回答	82	94.3%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10年	4	4.6%
10年以上～30年未満	1	1.1%
30年以上～50年未満	-	-
50年以上	1	1.1%
無回答	81	93.1%



問 21　貴事業所の従業員の平均残業時間をお答えください。【令和４年度における１か月あたりの平均残業時間をご記入ください。また、小数点第２位を四捨五入して、ご記入ください。】（記入回答）

○正社員の平均残業時間では、女性で「1～10時間以内」と回答した割合が24．1%、男性で「10時間以上50時間未満」と回答した割合が28．7%となっています。
○パート・アルバイト・臨時平均残業時間では、女性で「1～10時間以内」と回答した割合が12．6%となっています。

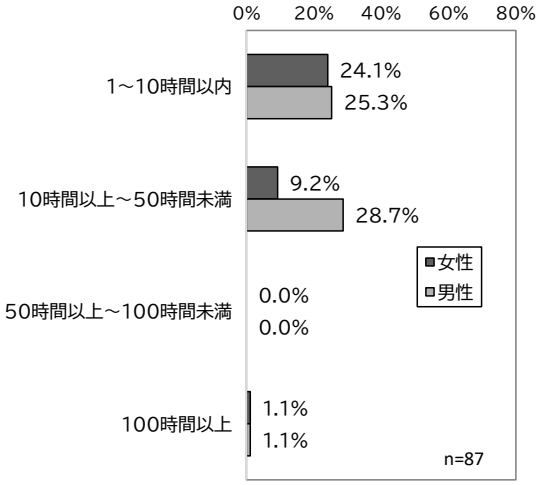
①正社員

女性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10時間以内	21	24.1%
10時間以上～50時間未満	8	9.2%
50時間以上～100時間未満	-	-
100時間以上	1	1.1%
無回答	57	65.5%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10時間以内	22	25.3%
10時間以上～50時間未満	25	28.7%
50時間以上～100時間未満	-	-
100時間以上	1	1.1%
無回答	39	44.8%



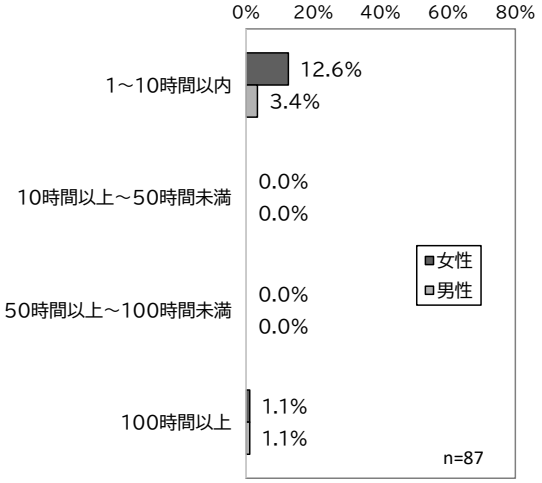
②パート・アルバイト・臨時

女性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10時間以内	11	12.6%
10時間以上～50時間未満	-	-
50時間以上～100時間未満	-	-
100時間以上	1	1.1%
無回答	75	86.2%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10時間以内	3	3.4%
10時間以上～50時間未満	-	-
50時間以上～100時間未満	-	-
100時間以上	1	1.1%
無回答	83	95.4%



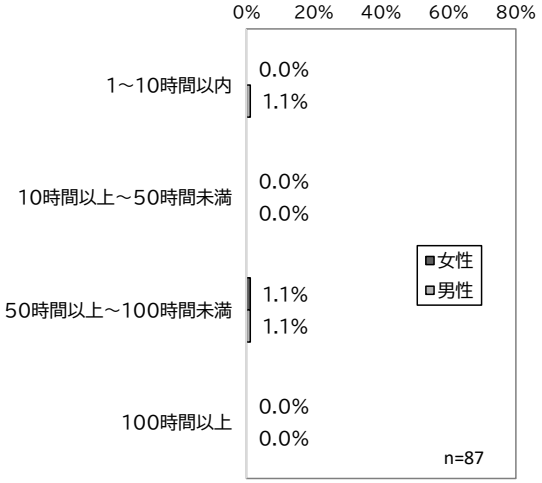
③派遣等

女性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10時間以内	-	-
10時間以上～50時間未満	-	-
50時間以上～100時間未満	1	1.1%
100時間以上	-	-
無回答	86	98.9%

男性

全体(n=87)	事業所数	割合
1～10時間以内	1	1.1%
10時間以上～50時間未満	-	-
50時間以上～100時間未満	1	1.1%
100時間以上	-	-
無回答	85	97.7%



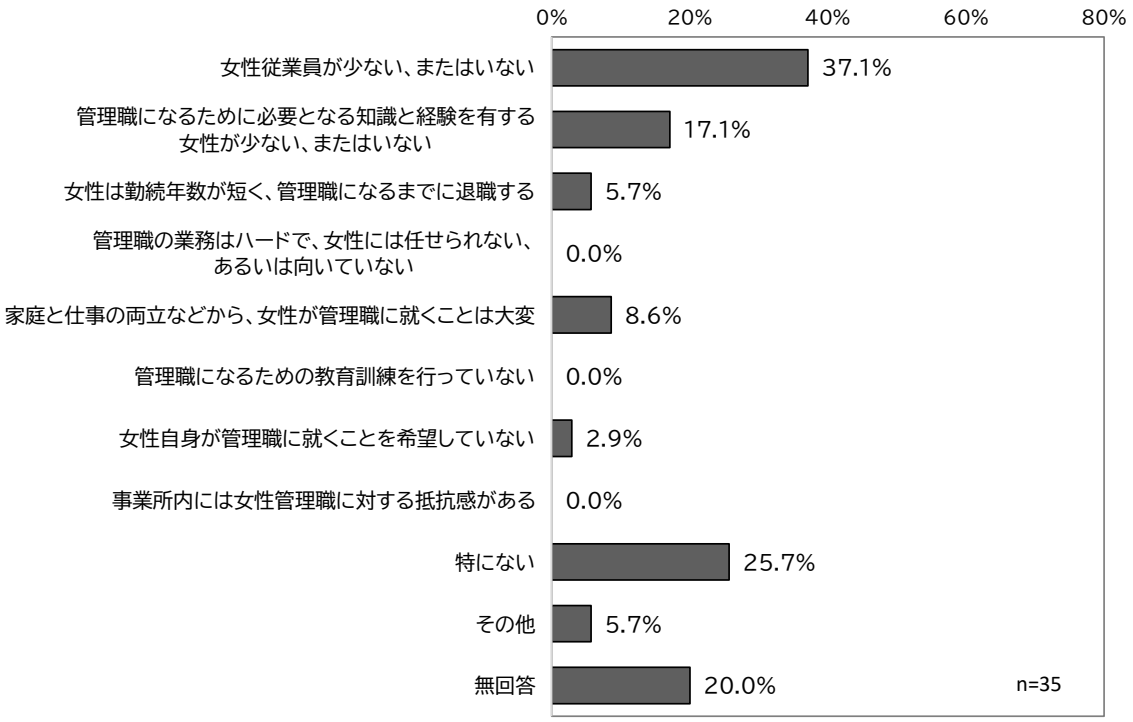
2　従業員の雇用、制度利用、労働環境などについて

《女性管理職が10%未満の事業所におたずねします。》

問７　女性管理職が少ない（または、いない）のは、どのような理由からですか。【あてはまるものすべてに○】

○「女性従業員が少ない、またはいない」の割合が37.1%と最も高く、次いで「特にない」の割合が25.7%、「管理職になるために必要となる知識と経験を有する女性が少ない、またはいない」の割合が17.1%となっています。

調査数（n=35）	回答数	割合
女性従業員が少ない、またはいない	13	37.1%
管理職になるために必要となる知識と経験を有する女性が少ない、またはいない	6	17.1%
女性は勤続年数が短く、管理職になるまでに退職する	2	5.7%
管理職の業務はハードで、女性には任せられない、あるいは向いていない	-	-
家庭と仕事の両立などから、女性が管理職に就くことは大変	3	8.6%
管理職になるための教育訓練を行っていない	-	-
女性自身が管理職に就くことを希望していない	1	2.9%
事業所内には女性管理職に対する抵抗感がある	-	-
特にない	9	25.7%
その他	2	5.7%
無回答	7	20.0%



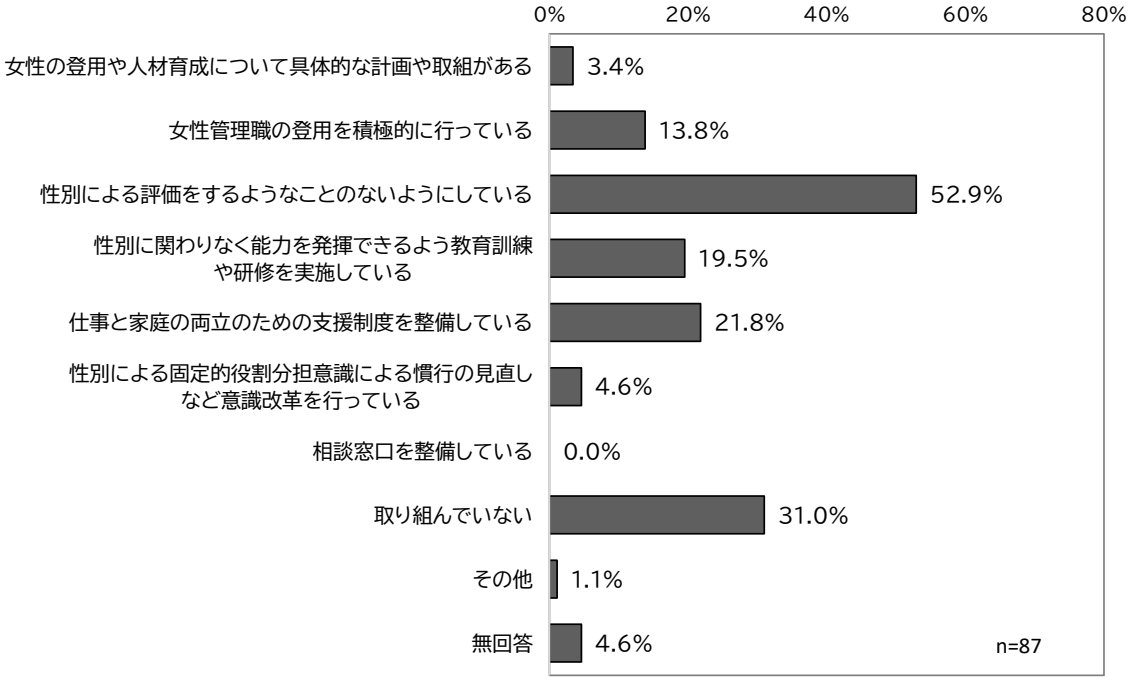
その他の回答内容
必要ない（2件）、応募がない（1件）

《すべての事業所におたずねします。》

問８　貴事業所では、「ポジティブ・アクション」（女性社員の活躍推進）に関して、どのような取組をしていますか。【あてはまるものすべてに○】

○「性別による評価をするようなことのないようにしている」の割合が52．9％と最も高く、次いで「取り組んでいない」の割合が31．0％、「仕事と家庭の両立のための支援制度を整備している」の割合が21．8％となっています。

調査数（n=87）	回答数	割合
女性の登用や人材育成について具体的な計画や取組がある	3	3.4%
女性管理職の登用を積極的に行っている	12	13.8%
性別による評価をするようなことのないようにしている	46	52.9%
性別に関わりなく能力を発揮できるよう教育訓練や研修を実施している	17	19.5%
仕事と家庭の両立のための支援制度を整備している	19	21.8%
性別による固定的役割分担意識による慣行の見直しなど意識改革を行っている	4	4.6%
相談窓口を整備している	-	-
取り組んでいない	27	31.0%
その他	1	1.1%
無回答	4	4.6%



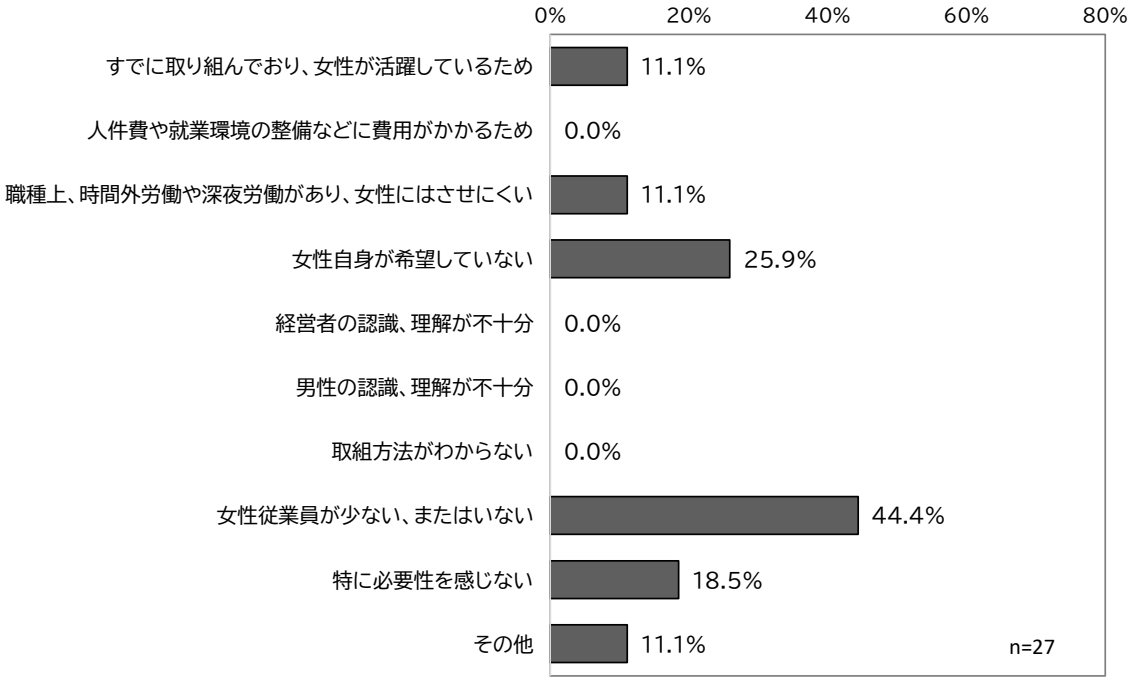
その他の回答内容
女性しかいない（1件）

《問8で「8　取り組んでいない」を選択した事業所におたずねします。》

問９　取り組んでいない理由をお答えください。【あてはまるものすべてに○】

○「女性従業員が少ない、またはいない」の割合が44．4％と最も高く、次いで「女性自身が希望していない」の割合が25．9％、「特に必要性を感じない」の割合が18．5％となっています。

調査数（n=27）	回答数	割合
すでに取り組んでおり、女性が活躍しているため	3	11.1%
人件費や就業環境の整備などに費用がかかるため	-	-
職種上、時間外労働や深夜労働があり、女性にはさせにくい	3	11.1%
女性自身が希望していない	7	25.9%
経営者の認識、理解が不十分	-	-
男性の認識、理解が不十分	-	-
取組方法がわからない	-	-
女性従業員が少ない、またはいない	12	44.4%
特に必要性を感じない	5	18.5%
その他	3	11.1%



その他の回答内容
仕事がハードである為、無理だと思う（1件）、現在の建設業界では全て男性の職人である為（1件）、対象者がおらず雇用の予定がないため（1件）

《すべての事業所におたずねします。》

問 10　育児休業の取得状況等について、男女別にお答えください。（記入回答）

○女性の育児休業対象者が、「1人」と回答した事業所が7件あり、そのうち取得したのは6件となっています。「2人」と回答した事業所では、「2人」が取得しています。
○男性の育児休業対象者が、「1人」と回答した事業所が4件あり、そのうち取得したのは1件となっています。「5人」と回答した事業所では、「5人」が取得しています。

① 令和4年度中、本人又は配偶者が出産

【女性従業員】

総数（n=87）	事業所数
1人	7
2人	1
0人・無回答	79

【男性従業員】

総数（n=87）	事業所数
1人	4
2人	1
5人	1
0人・無回答	81

② そのうち、育児休業を取得

【女性従業員】

総数（n=87）	事業所数
1人	6
2人	1
0人・無回答	80

【男性従業員】

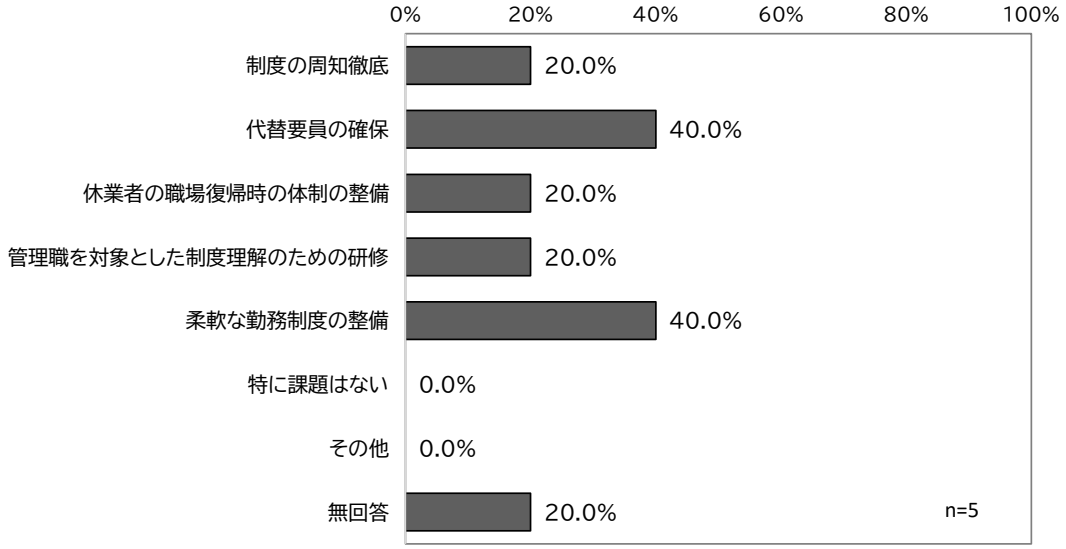
総数（n=87）	事業所数
1人	1
5人	1
0人・無回答	85

《育児休業対象者がいたのに、育児休業を取得した従業員がいなかった事業所におたずねします。》

問 11　育児休業の活用をすすめるうえで、どのようなことが課題と考えますか。【あてはまるものすべてに○】

○「代替要員の確保」、「柔軟な勤務制度の整備」の割合が40．0%となっています。

調査数（n=5）	回答数	割合
制度の周知徹底	1	20.0%
代替要員の確保	2	40.0%
休業者の職場復帰時の体制の整備	1	20.0%
管理職を対象とした制度理解のための研修	1	20.0%
柔軟な勤務制度の整備	2	40.0%
特に課題はない	-	-
その他	-	-
無回答	1	20.0%



その他の回答内容
対象者がいない（3件）

《すべての事業所におたずねします。》

問 12　介護休業の取得状況について、男女別にお答えください。（記入回答）

○介護休業を取得した人数について、男性は0件でした。女性では、「1人」と回答した事業所が2件、「6人」と回答した事業所が1件となっています。

① 令和4年度中、介護休業を取得

【女性従業員】

総数（n=87）	事業所数
1人	2
6人	1
0人・無回答	84

【男性従業員】

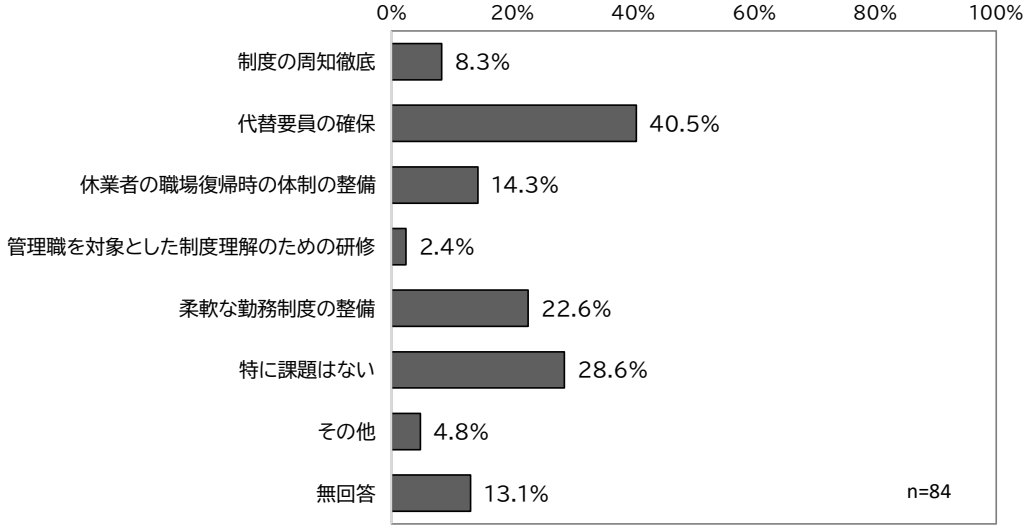
取得なし

《介護休業を取得した従業員がいなかった事業所におたずねします。》

問 13　介護休業の活用をすすめるうえで、どのようなことが課題と考えますか。【あてはまるものすべてに○】

○「代替要員の確保」の割合が40．5％と最も高く、次いで「特に課題はない」の割合が28．6％、「柔軟な勤務制度の整備」の割合が22．6％となっています。

調査数（n=84）	回答数	割合
制度の周知徹底	7	8.3%
代替要員の確保	34	40.5%
休業者の職場復帰時の体制の整備	12	14.3%
管理職を対象とした制度理解のための研修	2	2.4%
柔軟な勤務制度の整備	19	22.6%
特に課題はない	24	28.6%
その他	4	4.8%
無回答	11	13.1%



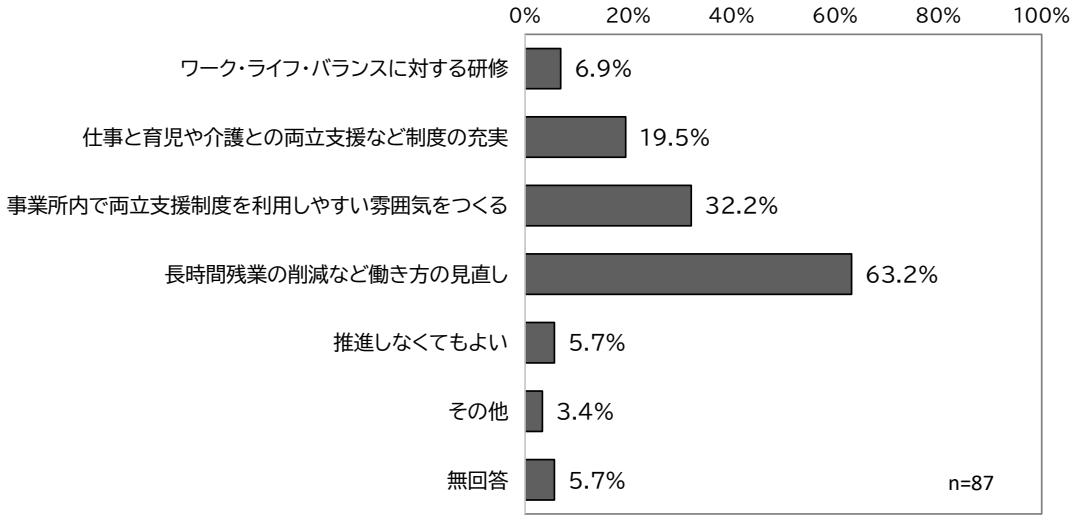
その他の回答内容
対象者がいない（3件）、介護休業を取得しないといけない状況がなかった（1件）

《すべての事業所におたずねします。》

問 14　ワーク・ライフ・バランスの推進のために、現在実施している取組についてお答えください。【あてはまるものすべてに○、「５」を選択した事業所は、理由をご記入ください。】

○「長時間残業の削減など働き方の見直し」の割合が63．2％と最も高く、次いで「事業所内で両立支援制度を利用しやすい雰囲気をつくる」の割合が32．2％、「仕事と育児や介護との両立支援など制度の充実」の割合が19．5％となっています。

調査数（n=87）	回答数	割合
ワーク・ライフ・バランスに対する研修	6	6.9%
仕事と育児や介護との両立支援など制度の充実	17	19.5%
事業所内で両立支援制度を利用しやすい雰囲気をつくる	28	32.2%
長時間残業の削減など働き方の見直し	55	63.2%
推進しなくてもよい	5	5.7%
その他	3	3.4%
無回答	5	5.7%



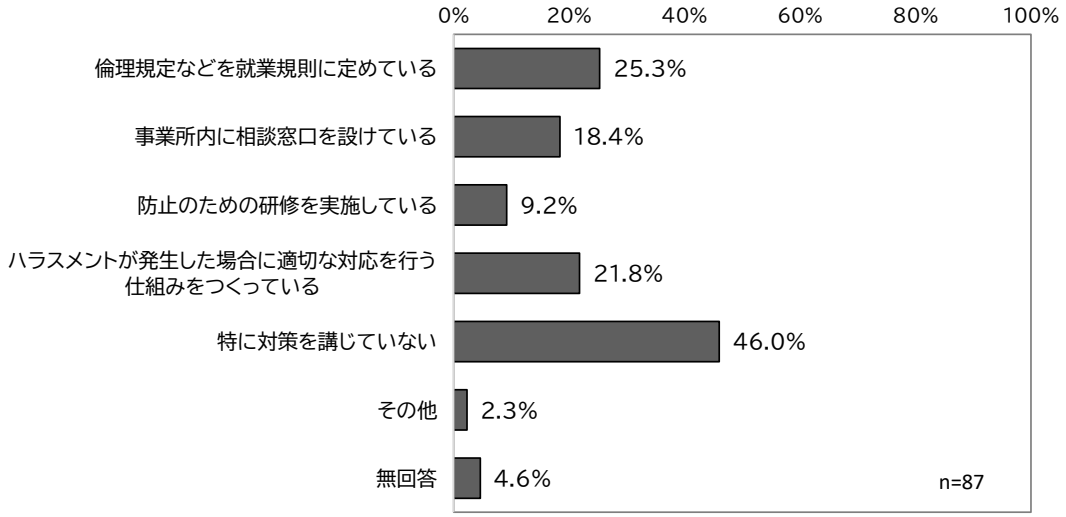
理由
家族経営のため（2件）、適当に対応している（1件）、対象者がいない（1件）

その他の回答内容
今、育児や介護等で困っている事がない（1件）、家族のため、必要なし（1件）

問15　貴事業所で、ハラスメント（セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、妊娠・出産・育児休業等ハラスメント）防止対策に向けての取組についてお答えください。【あてはまるものすべてに○】

○「特に対策を講じていない」の割合が46．0％と最も高く、次いで「倫理規定などを就業規則に定めている」の割合が25．3％となっています。

調査数（n=87）	回答数	割合
倫理規定などを就業規則に定めている	22	25.3%
事業所内に相談窓口を設けている	16	18.4%
防止のための研修を実施している	8	9.2%
ハラスメントが発生した場合に適切な対応を行う仕組みをつくっている	19	21.8%
特に対策を講じていない	40	46.0%
その他	2	2.3%
無回答	4	4.6%



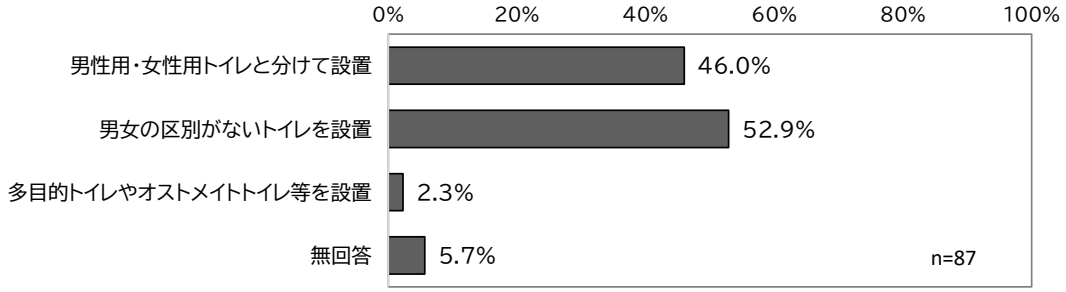
その他の回答内容
家族のため、問題なし（1件）、対象者がいない（1件）

3　性の多様性に対する配慮について

問 16　貴事業所では、どのようなトイレを設けていますか。【あてはまるものすべてに○、「３」を選択した事業所は、具体的な特徴をご記入ください。】

○「男女の区別がないトイレを設置」の割合が52．9％、「男性用・女性用トイレと分けて設置」の割合が46．0％となっています。

調査数（n=87）	回答数	割合
男性用・女性用トイレと分けて設置	40	46.0%
男女の区別がないトイレを設置	46	52.9%
多目的トイレやオストメイトトイレ等を設置	2	2.3%
無回答	5	5.7%

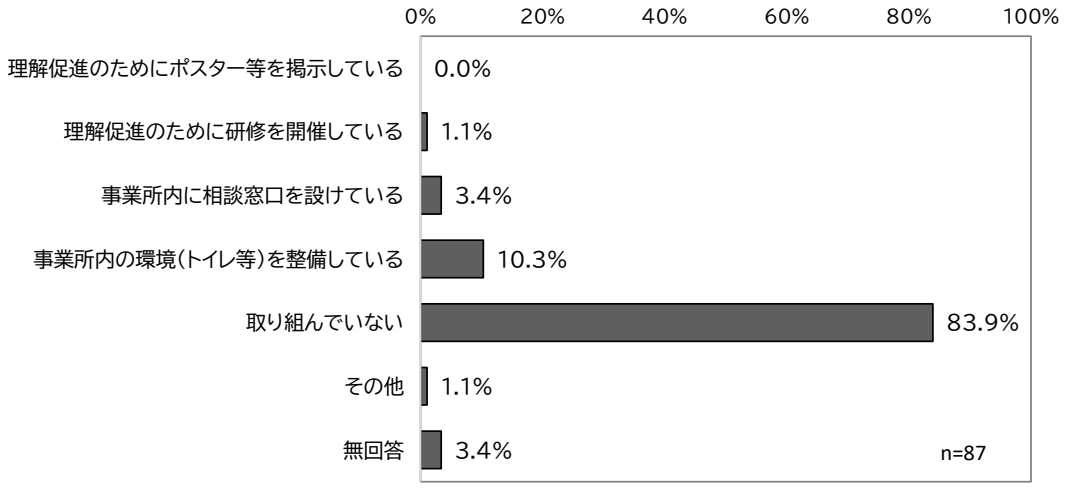


その他の回答内容
多目的トイレがもともと設置されている（1件）

問 17　貴事業所では、性的マイノリティに対する配慮に関して、どのような取組をしていますか。【あてはまるものすべてに○】

○「取り組んでいない」の割合が83．9％と、最も高くなっています。

調査数（n=87）	回答数	割合
理解促進のためにポスター等を掲示している	-	-
理解促進のために研修を開催している	1	1.1%
事業所内に相談窓口を設けている	3	3.4%
事業所内の環境（トイレ等）を整備している	9	10.3%
取り組んでいない	73	83.9%
その他	1	1.1%
無回答	3	3.4%



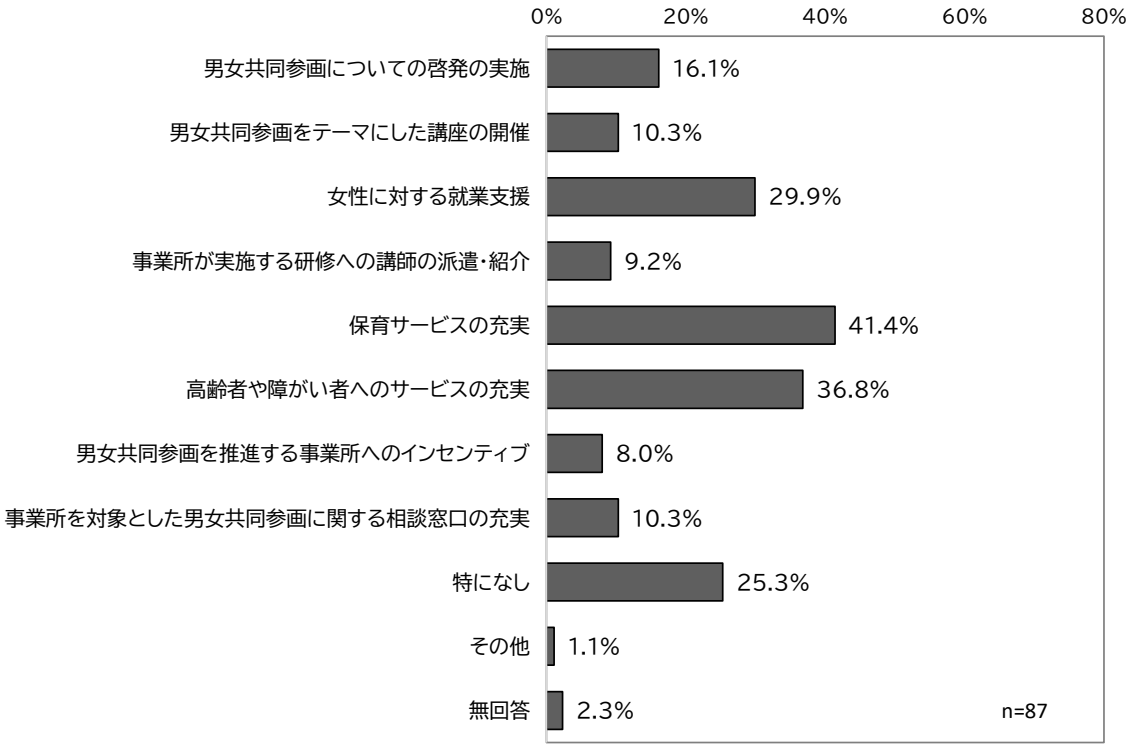
その他の回答内容
対象者がいない（1件）

4　男女共同参画への行政の取組について

問 18　男女が共同して参画することのできる職場づくりを推進するために、御所市ではどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

○「保育サービスの充実」の割合が41．4％と最も高く、次いで「高齢者や障がい者へのサービスの充実」の割合が36．8％、「女性に対する就業支援」の割合が29．9％となっています。

調査数（n=87）	回答数	割合
男女共同参画についての啓発の実施	14	16.1%
男女共同参画をテーマにした講座の開催	9	10.3%
女性に対する就業支援	26	29.9%
事業所が実施する研修への講師の派遣・紹介	8	9.2%
保育サービスの充実	36	41.4%
高齢者や障がい者へのサービスの充実	32	36.8%
男女共同参画を推進する事業所へのインセンティブ	7	8.0%
事業所を対象とした男女共同参画に関する相談窓口の充実	9	10.3%
特になし	22	25.3%
その他	1	1.1%
無回答	2	2.3%



その他の回答内容
市には何も期待していない（1件）

問 19　女性の雇用や男女共同参画等についてのご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

回答内容
法人は福祉業の為、女性の比率が高い職場です。厚生労働省が定める数値目標等を達成していない事業所に、いかにその意識を根付かせるか、という視点ばかりで、すでに数値達成している事業所への配慮が全くない（1件）、人手はありますが雇用するだけの仕事がなく、年間を通じて安定した収入を得ることが出来ていない状況（1件）、女性がフルで働くという事についてはたくさんの障害が立ちはだかるため、地域で子育て、そして安心して仕事が出来る様、学童だけではなく無料塾、センターなどがあると良いのではないでしょうか（1件）、現状、女性側も消極的なアクションが多いのでポジティブな考えや行動で対処すれば男女同様に評価されるという認識が出来る職場を作らねばならない（1件）

Ⅴ　アンケート調査票

御所市からの大切なお願い

男女共同参画に関するアンケート調査にご協力ください

あなたの声をもとに、御所市の男女共同参画の方向性をつくります！

※この調査は、令和５（2023）年 11 月１日現在、市内にお住まいの 18 歳以上の方のなかから、800 人の方を無作為に選び、実施するものです。

※調査結果は、男女共同参画のための取組を考えていく上で参考とするために実施するものであり、この目的以外には使用しません。

※答えた内容は、個人がわからないようにしますので、安心して、自分の思う答えを書いてください。

※質問中には、関係者や当事者の方がご覧になった場合に、心情を害されるおそれのある表現などが含まれていることがありますが、今後の政策検討に必要な項目ですので、ご理解いただきますようお願いします。

インターネットで回答する場合

手順1	手順2	手順3
←左のコードを読み取り	専用フォームにアクセス ID を入力	回答して送信すれば完了

ID

郵送で回答する場合

手順1	手順2	手順3
調査票に記入	返信用封筒に入れて	ポストに投函

１月２４日（水）までに回答をお願いします

■調査実施主体

御所市　市民協働部　人権施策課（松村・大塚）0745-65-2210

■アンケートに関するお問い合わせ先

株式会社地域計画建築研究所大阪事務所（水野・田口）06-6205-3600

家庭生活について

問１　次のア～コの家庭の中での仕事は、夫婦のどちらがするのが理想だと思いますか。また、配偶者・パートナーのいる方は、現実にはどのようにしていますか。【ア～サそれぞれについて、１つだけに○（理想はすべての方、現実はあてはまる方のみ）】

	理想《すべての方が回答》				現実《あてはまる方のみ回答》			
	1 主に女性の役割	2 女性と男性で同じくらい	3 主に男性の役割	4 その他の家族の役割	1 主に女性の役割	2 女性と男性で同じくらい	3 主に男性の役割	4 その他の家族の役割
ア　食事の支度	1	2	3	4	1	2	3	4
イ　食事の後片づけ	1	2	3	4	1	2	3	4
ウ　洗濯	1	2	3	4	1	2	3	4
エ　掃除	1	2	3	4	1	2	3	4
オ　ゴミ出し	1	2	3	4	1	2	3	4
カ　日常的な家計管理	1	2	3	4	1	2	3	4
キ　家庭の収入割合	1	2	3	4	1	2	3	4
ク　土地や家屋の購入決定	1	2	3	4	1	2	3	4
ケ　子どもの世話やしつけ、教育	1	2	3	4	1	2	3	4
コ　高齢者や病人の介護・看病	1	2	3	4	1	2	3	4
サ　町内会などへの出席や近所づきあい	1	2	3	4	1	2	3	4

地域活動について

問２　あなたが住んでいる地域の活動や行事等に、男女の不平等はありますか。【あてはまるものすべてに○】

1　役員選挙や運営に女性が参加しにくく、また選ばれにくい
2　地域の行事で女性が参加できなかったり、男女の差があったりする
3　会議などで女性が意見を言いにくかったり、意見が取り上げられにくかったりする
4　その他（具体的に：　　）
5　男女の不平等はない

問３　男性と女性がともに地域の活動や行事等に積極的に参加するためには、あなたは、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

1	参加のきっかけとなる地域活動情報の提供
2	地域活動の場での男女共の性別役割分担意識の解消
3	配偶者や家族の協力
4	労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること
5	団体等に対する補助金等の行政の支援
6	社会の中で地域活動への参加についての評価を高めること
7	地域の中に仲間がいること
8	その他（具体的に：　　）
9	特に必要なことはない

問４　あなたは防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。【あてはまるもの１つだけに○】

1	必要である	→問５へ	2	どちらかといえば必要である	→問５へ
3	どちらかといえば必要でない	→問６へ	4	必要でない	→問６へ

＜問４で「１　必要である」「２　どちらかといえば必要である」と答えた方におたずねします＞

問５　防災・災害復興対策において、性別に配慮したどのような対応が必要だと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

1	避難所の設備（男女別のトイレや更衣室、物干し場など）を整えること
2	避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること
3	災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制）を整えること
4	公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること
5	被災者に対する相談体制を整えること
6	市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること
7	その他（具体的に：　　）

職業生活について

問６　あなたは、現在働いていますか。または、過去に働いた経験がありますか。自営業の家族従事者も働いている（働いていた）ものとします。【あてはまるもの１つだけに○】

1	現在働いている・過去に働いたことがある	→問７をお答えください
2	これまでに働いたことはない	→問８へお進みください

<問６で「１ 現在働いている・過去に働いたことがある」と答えた方におたずねします>

問７　あなたが働いている（働いていた）職場では、どのような男女格差がありますか（ありましたか）。【あてはまるものすべてに○】

1	募集や採用人数で女性は男性より不利である	2	女性が配置されない職種がある
3	女性は昇進・昇格が遅い、または望めない	4	同期に同年齢で入社した男性との賃金や昇進の差がある
5	女性は同じポストの男性より、社内研修や教育訓練を受ける機会が少ない	6	女性は同じポストの男性より、出張や視察などの機会が少ない
7	女性は転勤などの人事異動で、男性より不利である	8	定年の年齢に男女差がある
9	慣行として結婚退職制、職場結婚退職制がある	10	慣行として出産退職制がある
11	家族手当などの支給が女性に不利である	12	中高年の女性の就労に対する職場、同僚などの周りの圧力がある
13	お茶くみなどの雑用は、職種に関わらず女性がすることが多い		
14	その他（具体的に：　　）	15	特に男女格差はない

問８　女性が職業を持つことについて、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。【あてはまるもの１つだけに○】

1	職業を持ち、結婚・出産後も働き続ける（育児休業は含む）	2	結婚または出産を契機に一旦は退職し、育児終了後に再び働く
3	結婚を契機に退職し、以降は職業を持たない	4	出産を契機に退職し、以降は職業を持たない
5	はじめから職業を持たないほうがよい	6	その他（具体的に：　　）

問９　あなたは、女性が仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1	家事の負担が軽減されること	2	安心して子どもを預けられるなど、育児の負担が軽減されること
3	介護支援サービスが充実するなど、介護の負担が軽減されること	4	男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること
5	女性が働き続けることへの家族や周囲の理解が進むこと	6	女性が働き続けることへの女性自身の意識が変わること
7	長時間労働の改善などが進むこと	8	短時間勤務制度や在宅勤務制度などを導入し、多様な働き方が選べること
9	職場における育児・介護との両立支援などの制度が充実すること	10	育児や介護による仕事への制約を理由とする、昇進などへの不利益がないこと
11	その他（具体的に：　　）	12	特にない

問 10　現状では管理職（意思決定を行う管理的部門や指導的地位）につく女性が少ない状況にありますが、あなたは理由としてどのようなものがあると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1	女性自身が管理職につくことに消極的だから
2	女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから
3	女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから
4	女性は、能力的にみて管理職に向いていないから
5	女性は、管理職に必要とされる能力（知識や経験、判断力など）を高める機会が少ないから
6	会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから
7	その他（具体的に：　　）
8	わからない

問 11　あなたは今後どのような分野・立場で、女性の活躍が進むのがよいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1	自治会・ＰＴＡなどのリーダー	2	ボランティアグループ等のリーダー
3	企業の管理職、労働組合の幹部	4	農林漁業団体などの役員
5	建設作業や運転業務に従事する者	6	弁護士・医師などの専門職
7	警察官や消防士	8	国の省庁・県庁・市町の役所等の公務員
9	国会・県議会・市町議会等の議員	10	企業・大学・研究所などの研究者
11	その他（具体的に：　　）	12	特にない

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス※）について

※ワーク・ライフ・バランス
男女がともに、人生の段階に応じて、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動について、自らの希望に応じて多様な生き方を選択、実現できる状態のこと。

問 12　あなたは生活の中で、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」で何を優先しますか。あなたの「希望」と「現状」に最も近いものをそれぞれお答えください。（「希望」「現状」それぞれに１つを選んで番号を記入）

		希望	現状
1	「仕事」を優先		
2	「家庭生活」を優先		
3	「個人の生活」を優先		
4	「仕事」と「家庭生活」をともに優先		
5	「仕事」と「個人の生活」をともに優先		
6	「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先		
7	「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先		
8	わからない		

<問 12 の「希望」と「現状」の回答が異なる方におたずねします>

問 13　「現状」を「希望」に近づけることをさまたげている（ていた）のはどんなことですか。【あてはまるものすべてに○】

1　仕事が忙しくて時間がない	2　家事や子育てで時間がない
3　家族の介護や看護などで時間がない	4　家族の理解や協力を得にくい
5　職場の理解や支援が不足している	6　隣近所の目や世間体が気になる
7　男女の役割分担についての社会通念等	8　自分の能力に自信がない
9　健康状態に不安がある	10　適当な仕事がない
11　就職に関する情報を得にくい	12　地域活動に関する情報を得にくい
13　自分に興味のある内容がない	14　人間関係がわずらわしい
15　何からはじめてよいかわからない	16　その他（具体的に：　　）

配偶者等からの暴力について

問 14　あなたは、ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ、配偶者・パートナー間での暴力）やデートＤＶ（恋人からの暴力）について身近で見聞きしたことがありますか。【あてはまるもの１つだけに○】

1　身近にＤＶやデートＤＶを受けた当事者がいる
2　身近に当事者はいないが、ＤＶやデートＤＶについてのうわさを耳にしたことがある
3　ＤＶやデートＤＶがテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている
4　ＤＶやデートＤＶを見聞きしたことはない

問 15　あなたは、配偶者・パートナー、恋人からの暴力を受けたことがありますか。【あてはまるもの１つだけに○】

1　ある　→問 16 へ	2　ない→問 18 へ

<問 15 で「ある」と答えた方におたずねします>

問 16　あなたは、これまでに配偶者または交際相手（同様の関係にある方を含みます。）から受けたそのような行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。【あてはまるものすべてに○】

1　奈良県こども家庭相談センター（中央・高田）に相談した
2　警察に連絡・相談した
3　法務局・人権擁護委員に相談した
4　市の行政機関に相談した
5　民生委員児童委員または社会福祉協議会の相談窓口に相談した
6　民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、民間シェルターなど）に相談した
7　医療関係者（医者・看護師など）に相談した
8　学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した
9　家族や親戚、友人・知人に相談した
10　その他（具体的に：　　）

⇒問 18 へ

11　どこ（誰）にも相談しなかった　**⇒問 17 へ**

<問 16 で「11 どこ（誰）にも相談しなかった」と答えた方におたずねします>

問 17　どこ（誰）にも相談しなかったのは、なぜですか。【あてはまるものすべてに○】

1	どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから
2	恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3	相談しても無駄と思ったから
4	相談したことがわかると、仕返しをされるなどもっとひどい暴力を受けると思ったから
5	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
6	世間体が悪いと思ったから
7	他人を巻き込みたくなかったから
8	自分にも悪いところがあると思ったから
9	相談するほどのことではないと思ったから
10	その他（具体的に：　　）

<すべての方におたずねします>

問 18　あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）に関して、次の相談場所があることを知っていますか。【知っているものすべてに○】

1	御所市人権センター	2	御所市こども家庭相談センター
3	奈良県こども家庭相談センター（中央・高田）	4	奈良県女性センター
5	女性の人権ホットライン	6	DV 相談ナビ
7	（社福）奈良いのちの電話協会	8	（特非）なら人権情報センター
9	警察	10	すべて知らない

問 19　次の 1 ～10 の性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）について、あなたが経験したものや見聞きしたものはありますか。【職場、学校、地域、家庭それぞれの場について、あてはまるものすべてに○】

	職場	学校	地域	家庭
1　性的なからかいの対象にしたり性的な冗談などを言う				
2　容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする				
3　わざと身体に触れる				
4　裸や水着姿のポスターなどを貼る				
5　宴席などでお酌を強要する				
6　「男のくせに」「女のくせに」といった発言をする				
7　女性のみにコピーやお茶くみなどをさせる				
8　性的な内容の電話やメールをする				
9　立場を利用して性的関係を迫る				
10　男性だけに力仕事をさせる				

男女共同参画社会について

問 20　あなたは、女性の人権が大切にされていないと思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

1　「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある	2　職場において、昇給、昇進、職種などで差別的な待遇がある
3　女性を邪魔者扱いしたり、女性の意見や行動を尊重しない	4　女性が社会進出できる環境が整っていない
5　配偶者や恋人から身体的・精神的な暴力（ドメスティック・バイオレンス）を受ける	6　職場や学校で性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）がある
7　アダルトビデオ、ポルノ雑誌など性を商品化する	8　いわゆる「援助交際」を含む売買春行為が横行する
9　女性の容姿を競うコンテストがある	10　痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける
11　その他（具体的：　　）	12　特にない

問 21　次のア～クの場面において、あなたは、どの程度男女間で平等になっていると思いますか。【ア～クそれぞれについて、あてはまるもの１つだけに○】

	1 男性が非常に優遇されている	2 どちらかといえば男性が優遇されている	3 平等である	4 どちらかといえば女性が優遇されている	5 女性が非常に優遇されている	6 わからない
ア　家庭	1	2	3	4	5	6
イ　学校	1	2	3	4	5	6
ウ　職場	1	2	3	4	5	6
エ　地域活動の場	1	2	3	4	5	6
オ　法律や制度	1	2	3	4	5	6
カ　社会通念、風潮、しきたり	1	2	3	4	5	6
キ　政治や行政の場	1	2	3	4	5	6
ク　社会全般	1	2	3	4	5	6

問 22　「男は仕事、女は家事・育児」という考え方がありますが、この考え方をあなたはどのように思いますか。【あてはまるもの１つだけに○】

1　そう思う	2　どちらかといえばそう思う
3　どちらともいえない	4　どちらかといえばそう思わない
5　そう思わない	

問 23　今後、男性が女性とともに家事や子育て、教育、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

1	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める
2	企業中心という社会全体の仕組みを改める
3	仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける
4	労働時間短縮や育児・介護休業制度を取得しやすくする
5	夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話しあう
6	家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をする
7	女性が抱える不利益な問題に対する男性の関心を高める
8	男性の仕事中心の生き方、考え方を改める
9	男性が、家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
10	夫が家事などをすることに妻が協力する
11	妻が、夫に経済力や出世を求めない
12	その他（具体的に：　　）

問 24　次のア～キの事柄について、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。【ア～キそれぞれについて、あてはまるもの１つだけに○】

	1 よいと思う	2 どちらともいえない	3 よくないと思う
ア　男性の保育士が乳幼児の世話をする	1	2	3
イ　小・中学校などの出席簿が男子が先、女子が後の順になっている	1	2	3
ウ　女性が男性の家の生活習慣に従う	1	2	3
エ　男性が家族のために食事をつくる	1	2	3
オ　職場の上司が女性である	1	2	3
カ　男性が乳幼児の世話をする	1	2	3
キ　コマーシャルやポスターなどで、商品と関係なく女性の水着姿などが用いられる	1	2	3

問 25　あなたは、子どもがどのように育ってほしいと思いますか。該当する子どもがいない場合でも、いると仮定してお答えください。【女の子と男の子それぞれについて、あてはまるもの３つまでに○】

	女の子の場合	男の子の場合
1　活発で行動的	1	1
2　おとなしい	2	2
3　たくましく頼りがいがある	3	3
4　愛きょうがあり、誰にでも好かれる	4	4
5　自分の考えを人前ではっきり言う	5	5
6　人にやさしく、親身になって人の面倒をみる	6	6
7　先頭に立って人を引っ張っていく	7	7
8　素直でよく言うことを聞く	8	8
9　物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く	9	9
10　感性が豊か	10	10
11　礼儀作法を心得ている	11	11
12　家事を上手にできる	12	12
13　仕事を要領よくこなす	13	13
14　経済的・社会的な自立心	14	14
15　組織での他人との協調性	15	15

問 26　あなたは、子どもの学校教育はどこまで必要だと思いますか。該当するお子さんがいない場合でも、いると仮定して両方にお答えください。【女の子と男の子それぞれについて、あてはまるもの１つだけに○】

	女の子の場合	男の子の場合
1　義務教育終了まで	1	1
2　高等学校まで	2	2
3　高専・短大・専門学校・専修学校まで	3	3
4　大学まで	4	4
5　大学院まで	5	5

問 27　男女平等を進めるために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

1　古くからの悪しき習慣やしきたりを改める	2　女性が経済的に自立する
3　女性が社会活動や政治の面にも積極的に参加し、発言力を高める	4　女性が知識や技術を習得し、積極的に力をつけていく
5　学校教育や家庭教育で、男女平等教育を徹底する	6　家事・育児などが十分評価される
7　男性が女性に対する固定的な見方や考え方を改める	8　自治体や企業の重要な役職に積極的に女性を登用する
9　法律や制度の見直しを行い、女性に不利なものを改める	10　その他（具体的に：　　）

問 28　あなたは、「男女共同参画社会」の実現に向けて、御所市は今後どのようなことに力をいれて取り組むべきだと思いますか。【あてはまるもの３つまでに○】

1　生涯を通じた男女の性差に応じた健康対策	2　学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育・学習
3　配偶者等からの暴力防止の対策	4　セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント※防止の対策
5　雇用の機会や条件の男女格差を解消するための企業や事業主への働きかけ	6　行政職員や審議会委員など政策決定の場における女性の積極的な登用
7　女性の役員や管理職が増えるような民間企業や団体などへの働きかけ	8　女性の意識や能力を高める学習・研修
9　ＬＧＢＴＱ※等の性的少数者など、様々な性の理解を深める取組	10　男女共同参画を推進するＮＰＯ（民間非営利団体）や市民グループなどとの連携
11　男女共同参画に関する相談窓口の充実	12　地域や防災分野での女性リーダーの養成
13　男女共同参画の視点に立った地域防災の取組	14　子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスの充実
15　男性が家事、育児、介護などの技能を高められるような講習会の実施や情報提供	16　その他（具体的に：　　）
17　特にない	18　わからない

※パタニティ・ハラスメント…男性社員が育児休暇を取得する際に受けるいやがらせやいじめのことです。
※ＬＧＢＴＱ…「Lesbian（レズビアン）」、「Gay（ゲイ）」、「Bisexual（バイセクシュアル）」、「Transgender（トランスジェンダー）」、「Queer（クィア）／Questioning（クエスチョニング）」の頭文字を取って名付けられた、幅広いセクシュアリティ（性のあり方）を総称する言葉です。

問 29　現在は、結婚すると夫婦は同じ姓を名乗ることになっていますが、別々の姓を名乗るか、同じ姓を名乗るかを選択できるようにすることについて、あなたはどのように思いますか。【あてはまるもの１つだけに○】

1　賛成である
2　自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい
3　夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である
4　わからない

あなたご自身について

問 30　あなたの性別はどちらですか。【あてはまるもの１つだけに○】

1　男性	2　女性	3　答えない

問 31　あなたは、現時点（令和６年１月）で何歳ですか。【あてはまるもの１つだけに○】

1　18～19 歳	2　20～29 歳	3　30～39 歳
4　40～49 歳	5　50～59 歳	6　60～69 歳
7　70～79 歳	8　80 歳以上	

問 32　あなたの同居の家族構成はどれにあたりますか。【あてはまるもの１つだけに○】

1　ひとり暮らし（同居の家族はいない）	2　夫婦だけ
3　２世代世帯（親と子ども）	4　３世代世帯（親と子どもと孫）
5　その他（　　）	

問 33　あなたは結婚していますか。【あてはまるもの１つだけに○】

1　結婚している（事実婚を含む）
2　結婚していたことがある（死別、離別）
3　結婚していない

問 34　あなたやあなたの配偶者（それに相当する人を含む。）は仕事についていますか。【それぞれあてはまるもの１つだけに○】　**（配偶者がいない方は，ご自身の欄だけご記入ください。）**

あなたの職業	配偶者の職業
1　会社・団体などの役員	1　会社・団体などの役員
2　正規の社員・職員	2　正規の社員・職員
3　嘱託・派遣・契約社員	3　嘱託・派遣・契約社員
4　パート・アルバイト等非正規社員	4　パート・アルバイト等非正規社員
5　自営業・家族従業	5　自営業・家族従業
6　専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）	6　専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）
7　学生	7　学生
8　無職	8　無職
9　その他（具体的に：　　）	9　その他（具体的に：　　）

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

御所市からの大切なお願い

男女共同参画についての事業所アンケート調査にご協力下さい

皆様には、日頃から行政運営にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

本市では、男女が平等でお互いの人権が尊重され、だれもが個性や能力を発揮でき、あらゆる分野において女性が活躍できる公平性の高い社会の構築を進めています。

また、多様性を認め合い、つながり、個人が尊重される共生社会の実現、豊かな人権文化の創造を目指しています。

このたび、本市における男女共同参画のさらなる推進及び人権尊重のまちづくりを一層推進するための基礎資料とさせていただきたく、アンケート調査を行うこととなりました。

調査対象として、国税庁に登録されている御所市内の法人格を有する企業・団体からランダムにお選びし、このアンケート調査票を送らせていただきました。回答の内容は、すべて統計的に処理し、外部に漏れたり、他の目的に利用することは一切ございません。

皆様には、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和６年１月

インターネットで回答する場合

手順1	手順2	手順3
←左のコードを読み取り	専用フォームにアクセス	回答して送信すれば完了

郵送で回答する場合

手順1	手順2	手順3
調査票に記入	返信用封筒に入れて	ポストに投函

１月２４日（水）までに回答をお願いします

■調査実施主体

御所市　市民協働部　人権施策課（松村・大塚）0745-65-2210

■アンケートに関するお問い合わせ先

株式会社地域計画建築研究所大阪事務所（水野・田口）06-6205-3600

事業所の概要についておたずねします

問１　貴事業所の業種は何ですか。【いずれか主要な業種１つだけに○】

1　建設業	2　製造業	3　電気・ガス・熱供給・水道業
4　情報通信業	5　運輸業	6　卸売・小売業
7　金融・保険業	8　不動産業	9　飲食店・宿泊業
10　医療・福祉	11　教育・学習支援業	12　その他サービス業
13　林業	14　その他（　　）	

問２　貴事業所は次のどれに該当しますか。【いずれか１つだけに○】

1　単独事業所	2　本社・本店	3　支社・支店・営業所等	4　個人経営（法人でない）

問３　貴事業所の従業員数は何人ですか。①正社員、②パート・アルバイト・臨時、③派遣等に分けてそれぞれ男女別にお答えください。

	総数	男性	女性
①正社員	（　　）人	（　　）人	（　　）人
②パート・アルバイト・臨時	（　　）人	（　　）人	（　　）人
③派遣等	（　　）人	（　　）人	（　　）人

問４　正社員のうち管理職は何人ですか。

総数（　　）人	男性（　　）人	女性（　　）人

問５　代表者は男性ですか、女性ですか。【いずれか１つだけに○】

1　男性	2　女性	3　答えたくない

回答者について、おたずねします

問６　回答者は、どなたですか。【いずれか１つだけに○】

1　代表者	2　役員
3　従業員	4　その他（　　）

従業員の雇用、制度利用、労働環境などについて、おたずねします

＜女性管理職が１０％未満の事業所におたずねします。＞ →それ以外の事業所は問８へ

問７　女性管理職が少ない（または、いない）のは、どのような理由からですか。

【あてはまるものすべてに○】

1	女性従業員が少ない、またはいない
2	管理職になるために必要となる知識と経験を有する女性が少ない、またはいない
3	女性は勤続年数が短く、管理職になるまでに退職する
4	管理職の業務はハードで、女性には任せられない、あるいは向いていない
5	家庭と仕事の両立などから、女性が管理職に就くことは大変
6	管理職になるための教育訓練を行っていない
7	女性自身が管理職に就くことを希望していない
8	事業所内には女性管理職に対する抵抗感がある
9	特にない
10	その他（具体的に：　　）

＜すべての事業所におたずねします。＞

問８　貴事業所では、「ポジティブ・アクション※」（女性社員の活躍推進）に関して、どのような取組をしていますか。【あてはまるものすべてに○】

1	女性の登用や人材育成について具体的な計画や取組がある	⇒⇒⇒**問 10 へ**
2	女性管理職の登用を積極的に行っている	
3	性別による評価をするようなことのないようにしている	
4	性別に関わりなく能力を発揮できるよう教育訓練や研修を実施している	
5	仕事と家庭の両立のための支援制度を整備している	
6	性別による固定的役割分担意識による慣行の見直しなど意識改革を行っている	
7	相談窓口を整備している	
8	取り組んでいない　⇒⇒⇒**問 9 へ**	
9	その他（具体的に：　　）	⇒⇒⇒**問 10 へ**

※「ポジティブ・アクション」とは、固定的な性別による役割分担意識や過去の経緯から、男女の労働者間に生じている格差を解消するための積極的な取組のことです。

＜問８で「８　取り組んでいない」を選択した事業所におたずねします。＞

問９　取り組んでいない理由をお答えください。【あてはまるものすべてに○】

1	すでに取り組んでおり、女性が活躍しているため
2	人件費や就業環境の整備などに費用がかかるため
3	職種上、時間外労働や深夜労働があり、女性にはさせにくい
4	女性自身が希望していない
5	経営者の認識、理解が不十分
6	男性の認識、理解が不十分
7	取組方法がわからない
8	女性従業員が少ない、またはいない
9	特に必要性を感じない
10	その他（具体的に：　　）

＜すべての事業所におたずねします。＞

問 10　育児休業の取得状況等について、男女別にお答えください。

	女性従業員	男性従業員
①令和４年度中、本人又は配偶者が出産	（　　）人	（　　）人
②そのうち、育児休業を取得	（　　）人	（　　）人

＜育児休業対象者がいたのに、育児休業を取得した従業員がいなかった事業所におたずねします。＞ →それ以外の事業所は問 12 へ

問 11　育児休業の活用をすすめるうえで、どのようなことが課題と考えますか。【あてはまるものすべてに○】

1　制度の周知徹底
2　代替要員の確保
3　休業者の職場復帰時の体制の整備
4　管理職を対象とした制度理解のための研修
5　柔軟な勤務制度の整備
6　特に課題はない
7　その他（具体的に：　　）

＜すべての事業所におたずねします。＞

問 12　介護休業の取得状況について、男女別にお答えください。

	女性従業員	男性従業員
①令和４年度中、介護休業を取得	（　　）人	（　　）人

＜介護休業を取得した従業員がいなかった事業所におたずねします。＞

→それ以外の事業所は問 14 へ

問 13　介護休業の活用をすすめるうえで、どのようなことが課題と考えますか。【あてはまるものすべてに○】

1　制度の周知徹底
2　代替要員の確保
3　休業者の職場復帰時の体制の整備
4　管理職を対象とした制度理解のための研修
5　柔軟な勤務制度の整備
6　特に課題はない
7　その他（具体的に：　　）

＜これ以降の質問は、すべての事業所におたずねします。＞

問 14　ワーク・ライフ・バランスの推進のために、現在実施している取組についてお答えください。【あてはまるものすべてに○、「５」を選択した事業所は、理由をご記入ください。】

1	ワーク・ライフ・バランスに対する研修
2	仕事と育児や介護との両立支援など制度の充実
3	事業所内で両立支援制度を利用しやすい雰囲気をつくる
4	長時間残業の削減など働き方の見直し
5	推進しなくてもよい（理由：　　）
6	その他（具体的に：　　）

問 15　貴事業所で、ハラスメント（セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、妊娠・出産・育児休業等ハラスメント※）防止対策に向けての取組についてお答えください。【あてはまるものすべてに○】

1	倫理規定などを就業規則に定めている
2	事業所内に相談窓口を設けている
3	防止のための研修を実施している
4	ハラスメントが発生した場合に適切な対応を行う仕組みをつくっている
5	特に対策を講じていない
6	その他（具体的に：　　）

※「妊娠・出産・育児休業等ハラスメント」とは、職場において行われる上司・同僚からの言動（妊娠・出産したこと、育児休業、介護休業等の利用に関する言動）により、妊娠・出産した女性労働者や育児休業・介護休業等を申出・取得した男女労働者の就業環境が害されることをいいます。

問 16　貴事業所では、どのようなトイレを設けていますか。【あてはまるものすべてに○、「３」を選択した事業所は、具体的な特徴をご記入ください。】

1	男性用・女性用トイレと分けて設置
2	男女の区別がないトイレを設置
3	多目的トイレやオストメイトトイレ等を設置（具体的な特徴：　　）

性の多様性に対する配慮についておたずねします

問 17　貴事業所では、性的マイノリティに対する配慮に関して、どのような取組をしていますか。
【あてはまるものすべてに○】

1	理解促進のためにポスター等を掲示している
2	理解促進のために研修を開催している
3	事業所内に相談窓口を設けている
4	事業所内の環境（トイレ等）を整備している
5	取り組んでいない
6	その他（具体的に：　　）

男女共同参画への行政の取組についておたずねします

問 18　男女が共同して参画することのできる職場づくりを推進するために、御所市ではどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1	男女共同参画についての啓発の実施
2	男女共同参画をテーマにした講座の開催
3	女性に対する就業支援
4	事業所が実施する研修への講師の派遣・紹介
5	保育サービスの充実
6	高齢者や障がい者へのサービスの充実
7	男女共同参画を推進する事業所へのインセンティブ
8	事業所を対象とした男女共同参画に関する相談窓口の充実
9	特になし
10	その他（具体的に：　　）

問 19　女性の雇用や男女共同参画等についてのご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

事業所の概要について再度おたずねします

問 20　貴事業所の従業員の平均勤続年数をお答えください。

【小数点第２位を四捨五入して、ご記入ください。】

	女性	男性
①正社員	（　　）年	（　　）年
②パート・アルバイト・臨時	（　　）年	（　　）年
③派遣等	（　　）年	（　　）年

問 21　貴事業所の従業員の平均残業時間をお答えください。【令和４年度における１か月あたりの平均残業時間をご記入ください。また、小数点第２位を四捨五入して、ご記入ください。】

	女性	男性
①正社員	（　　）時間	（　　）時間
②パート・アルバイト・臨時	（　　）時間	（　　）時間
③派遣等	（　　）時間	（　　）時間

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

御所市　男女共同参画に関する
市民意識調査報告書

編集・発行

御所市役所　市民協働部　人権施策課

〒639-2244　奈良県御所市柏原 235